東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建設工事

■建築工事

□電気設備工事

□機械設備工事

平成２２年０３月

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

建築意匠図

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
1000	図面リスト	N.S.	1201	矩計図１	1:30	1401	建具共通事項・建具詳細図１	図　示	1601	昇降機詳細図１	1:50	1701	施設計画平面図	1:150
1001	特記仕様書１	N.S.	1202	矩計図２	1:30	1402	建具詳細図２	図　示	1602	昇降機詳細図２	1:50	1702	植栽計画平面図	1:150
1002	特記仕様書２	N.S.	1203	矩計図３	1:30	1403	建具符号図１	1:200	1603	昇降機詳細図３	図　示	1703	排水計画平面図	1:150
1003	特記仕様書３	N.S.	1204	矩計図４	1:30	1404	建具符号図２	1:200	1604	煙突詳細図	1:20	1704	詳細図１	図　示
1004	特記仕様書４	N.S.	1205	断面詳細図１	1:50	1405	建具符号図３	1:200	1605	移動観覧席詳細図	1:20	1705	詳細図２	図　示
1005	特記仕様書５	N.S.	1206	断面詳細図２	1:50	1406	建具符号図４	1:200	1606	ブラインド符号図・リスト	1:300	1706	詳細図３	図　示
1006	特記仕様書６	N.S.	1207	断面詳細図３	1:50	1407	建具表１	1:100	1607	暗幕ロールスクリーン詳細図	1:50	1707	詳細図４	図　示
1007	特記仕様書７（追記）	N.S.	1208	断面詳細図４	1:50	1408	建具表２	1:100	1608	電動暗幕カーテン詳細図	図　示	1708	詳細図５	図　示
1008	特記仕様書８（木造耐火）	N.S.	1209	断面詳細図５	1:50	1409	建具表３	1:100	1609	システムトイレ詳細図	1:30	1709	詳細図６	図　示
1009	特記仕様書９（木造耐火）	N.S.	1210	断面詳細図６	1:50	1410	建具表４	1:100	1610	サイレンサー及び吸音壁詳細図	図　示	1710	詳細図７	図　示
1010	工事区分表	N.S.	1211	断面詳細図７	1:50	1411	建具表５	1:100	1611	多目的ホール舞台機構設備図１	N.S.	1711	詳細図８	図　示
1011	敷地求積図	1:200	1212	断面詳細図８	1:50	1412	建具表６	1:100	1612	多目的ホール舞台機構設備図２	1:100	1712	詳細図９	図　示
1012	配置図・敷地案内図	1:200	1213	階段（１）詳細図１	1:50	1413	建具表７	1:100	1613	多目的ホール舞台機構設備図３	1:100	1713	詳細図１０	図　示
1013	平均地盤算定図	1:200	1214	階段（１）詳細図２	1:50	1414	建具表８	1:100	1614	多目的ホール舞台機構設備図４	1:100	1714	中庭４Ｆ施設平面図	1:50
1014	建築面積・各階床面積算定図	1:400	1215	階段（２）詳細図	1:50	1415	建具表９	1:100	1615	多目的ホール舞台機構設備図５	1:100	1715	中庭４Ｆ植栽平面図	1:50
1015	造成計画平面図	1:200	1216	階段（３）詳細図	1:30	1416	建具表１０	1:100	1616	多目的ホール舞台機構設備図６	1:100	1716	中庭４Ｆ詳細図	図　示
1016	仮設計画図	1:200	1217	階段（４）詳細図	1:30	1417	建具表１１	1:100	1617	多目的ホール舞台機構設備図７	1:100			
			1218	階段（５）詳細図	1:30	1418	建具表１２	1:100	1618	多目的ホール舞台機構設備図８	図　示			
1101	仕上共通事項・外部仕上表	N.S.	1219	階段（７）詳細図	1:50	1419	建具表１３	1:100	1621	サイン計画図１	1:150			
1102	内部仕上表１	N.S.	1220	屋外階段（１）詳細図	1:50	1421	スライディングウォール詳細図１	1:100	1622	サイン計画図２	1:150			
1103	内部仕上表２	N.S.	1221	屋外階段（２）詳細図	1:30	1422	スライディングウォール詳細図２	1:100	1623	サイン計画図３	1:150			
1104	内部仕上表３	N.S.	1222	屋外階段（３）詳細図	1:50	1423	スライディングウォール詳細図３	図　示	1624	サイン計画図４	1:150			
1105	内部仕上表４	N.S.				1424	スライディングウォール詳細図４	図　示	1625	サイン計画図５	1:150			
1106	内部仕上表５	N.S.	1301	１階平面詳細図	1:100	1431	パーティション詳細図１	1:5	1626	サイン計画図６	1:150			
1107	内部仕上表６	N.S.	1302	２階平面詳細図	1:100	1432	パーティション詳細図２	1:5	1627	サイン計画図７	1:150			
1108	内部仕上表７	N.S.	1303	３階平面詳細図	1:100	1451	アルミサッシュ詳細図１	1:5	1628	サイン計画図８	図　示			
1109	内部仕上表８	N.S.	1304	４階平面詳細図	1:100	1452	アルミサッシュ詳細図２	1:5	1629	サイン計画図９	図　示			
1110	ピット平面図・１階平面図	1:200	1305	５階平面詳細図	1:100	1453	アルミサッシュ詳細図３	1:5	1630	サイン計画図１０	図　示			
1111	２階平面図・３階平面図	1:200	1306	６階平面詳細図	1:100	1454	アルミサッシュ詳細図４	1:5	1631	サイン計画図１１	図　示			
1112	４階平面図・５階平面図	1:200	1307	コア廻り詳細図１	図　示	1455	アルミサッシュ詳細図５	1:5	1632	サイン計画図１２	図　示			
1113	６階平面図・ＰＨ階平面図	1:200	1308	コア廻り詳細図１	図　示	1456	アルミパネル詳細図	図　示						
1114	立面図	1:200	1309	水廻り詳細図１	図　示									
1115	中庭周り立面図	1:100	1310	水廻り詳細図２	図　示	1501	壁種別図	図　示						
1116	断面図	1:150	1311	水廻り詳細図３	図　示	1502	部分詳細図１	図　示						
			1312	展開図	1:100	1503	部分詳細図２	図　示						
			1313	天井伏図１	1:200	1504	部分詳細図３	図　示						
			1314	天井伏図２	1:200	1505	部分詳細図４	図　示						
			1315	天井伏図３	1:200	1506	部分詳細図５	図　示						
			1316	防水範囲図	1:400	1507	部分詳細図６	図　示						
			1317	断熱範囲図	1:400	1508	部分詳細図７	図　示						
						1509	部分詳細図８	図　示						
						1510	部分詳細図９	図　示						
						1511	部分詳細図１０	図　示						
						1512	部分詳細図１１	図　示						
						1513	部分詳細図１２	図　示						
						1514	部分詳細図１３	図　示						
						1515	部分詳細図１４	図　示						

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課　長	副課長	主　幹	主　査	主　査	主　査	主　査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課						
課　長						

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製　図	検　図	納品検査
代　表 設計者	一級建築士 第239114号	石井　靖人				
担　当 設計者	一級建築士 第219846号	原田　聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
図面リスト	1000
縮尺 N.S.	区分 建築意匠図

工事概要

1. 工事名称	東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）　建設工事
2. 工事場所	地名地番：　埼玉県春日部市南１丁目１番地内 住居表示：
3. 工事種別	⊙新築　・増築　・改築　・改修　・その他（　　）
4. 工事種目	1.　敷地面積　：　5,212.4 ㎡ 2.　主体構造　：　鉄骨造（１階～４階、PH階）　木造（５～６階）　※階段室、EVシャフトはS造 3.　建築面積　：　2,850.96 ㎡ 4.　延床面積　：　10,534.56 ㎡ 5.　各階面積 1F　2,568.59 ㎡ 2F　1,126.17 ㎡ 3F　847.62 ㎡ 4F　1,633.03 ㎡ 5F　2,167.09 ㎡ 6F　2,167.09 ㎡ PHF　24.97 ㎡ 合計　10,534.56 ㎡ 6.　容積対象延床面積　：　10534.56 ㎡ 7.　駐車場等床面積　：　0 ㎡（外部） 8.　駐車台数　：　30 台（内、身体障がい者用2台）、駐輪台数131台 9.　建ぺい率　：　54.70 %（許容建ぺい率　100 %） 10.　容積率　：　202.11 %（許容容積率　400 %）（地区計画、最低容積率200%） 11.　階数　：地下 － 階、地上 6 階、塔屋 1 階 12.　建物高さ 1）設計GL　：　海抜 ＋6.358 m ＝KBM 2）１階床高　：　KBM ＋0.142 m 3）軒　高　：　GL ＋23.4 m 4）最高高さ　：　GL ＋27.5 m 13.　地業　：　杭基礎
5. 工期期間	着工　2010 年　　契約日　　～　竣工　2011 年 6 月 30 日　（予定）
6. 部分使用/引渡	・あり　⊙なし 範囲： 期日：　　年　　月　　日
7. 発注方式	⊙一括　・分割　・その他（　　）
8. 工事範囲	⊙建築　⊙電気　⊙空調　⊙衛生　⊙昇降機　⊙外構　・解体 ⊙その他（　舞台機構　）

⊙上記工事種目全てを工事範囲とする。
・上記工事種目のうち＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2　仮設工事	※工事範囲全て
3　土工事	
4　地業工事	
5　鉄筋工事	
6　コンクリート工事	
7　鉄骨工事	
8　コンクリートブロック・ＡＬＣ パネル・押出成形セメント板工事	
9　防水工事	
１０　石　工　事	
１１　タイル工事	
１２　木工事	
１３　屋根及びとい工事	
１４　金属工事	
１５　左官工事	
１６　建具工事	
１７　カーテンウォール工事	
１８　塗装工事	
１９　内装工事	
２０　ユニット及びその他の工事	

9. 別途工事	工事区分表による。
10. 建築概要	1.　用途地域　　商業地域 2.　防火地区　⊙防火地域　・準防火地域　・指定なし 3.　高度地区　・１種　・２種　・３種　・４種　⊙指定なし 4.　最高高さ制限　⊙なし　・あり（　m） 5.　日影規制　⊙なし　・あり（ 5m 以内　　時間、 5m 以上　　時間） ： 6.　耐火・防火の種別　⊙・耐火建築物　・準耐火（・イ・ロ）　・防火構造 7.　建物用途　：事務所、集会所 8.　消防法の防火対象物　：　16 項−イ（１～４階：１項−ロ、５階：15項、６階：６項−イ） 9.　確認済証番号年月日　：番号　・　年　月　日 検査済証番号年月日　：番号　・　年　月　日（竣工時記載） 確認審査・検査機関名　：埼玉県春日部市 都市整備部 建築課 10.　その他

11. 官公署必要届出先一覧

工事着手前の主な協議先一覧

種　別	申請（協議）項目	届出先窓口
大臣認定関連	—	—
・防災・構造評定関連	—	—
許可申請関連	—	—
開発許可関連	—	—
省エネ法関連	—	—
・雨水流出抑制関連	春日部市開発指導要綱	—
・構築設置届関連	春日部市開発指導要綱	—
・バリアフリー新法関連	—	—
・緑化計画関連	—	—
廃棄物の保管場所関連	—	—
・駐車・駐輪場関連	—	—
景観条例関連	—	—
・消防関連	—	—
・道路関連	—	—
その他事前協議等	—	—

12. 品質管理計画

1.　設計荷重

1)主要部分の床積載荷重

階	室名	床積載荷重（N/㎡）	摘要
1階	多目的ホール	4,900	
5階	書庫	11,800	
5階	事務室など	2,900	
6階	多目的ホール	2,900	

2)　積雪荷重
イ．垂直積雪量　：　0.3m
ロ．多雪地域指定の有無　：　・あり（単位重量　　N/ ㎡）　⊙なし

3)　風圧力
イ．V_0 ＝　34 m/sec
風速の再現期間　※ 50 年相当　・ 100 年相当　・ 200 年相当
ロ．地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ

4)　構造設計手法
⊙耐震構造　・制震構造　・免震構造

2. 想定耐用年数（計画供用期間）
構造体　：・ 30 年　※ 65 年　⊙ 100 年

13. その他の設計条件

1)　設計用地下水位　：設計　GL　－　m
2)　凍結深度　：設計　GL　－　m
3)　建築物１階の防潮レベル　：設計　GL　＋　m
4)　時間最大降雨量　：　100 mm/h　（※越谷市　68mm/hの転換）
5)　10分間最大降雨量　：　16.7 mm/10min
6)　過去の冠水履歴：　※なし　⊙あり　・不明

14. 主要設備の概要

1)　電気設備　別途工事（設計図に拠る）
2)　空気調和設備　別途工事（設計図に拠る）
3)　衛生設備　別途工事（設計図に拠る）
4)　昇降機設備
5)　機械式駐車場設備　なし
6)　ゴンドラ設備　なし
7)　その他設備（　　）

15. 特殊設備の概要　—

特記仕様書の適用

1. 適用範囲
1)　項目は、各項目番号の前に■の印がついたものを適用する。
2)　特記事項は⊙印の付いたものを適用する。この場合※印があっても、それは適用しない。
但し、⊙印のない場合は※印の付いたものを適用する。又、⊙印と※印の両方が付いた場合は両方とも適用する。
3)　製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（）内は製品名を示す。
4)　G はグリーン購入法該当品目を表す。

2. 共通仕様又は標準仕様
1)本特記仕様書及び図面、現場説明書に記載されていない事項は、下記による。
a. 共通仕様書：「1章一般共通事項」については、埼玉県建築工事特別共通仕様書及び、国土交通省大臣官房営繕部監修「公共建築工事共通仕様書平成19年版」（以下、共仕という）による。
b. 標準仕様書：「2章仮設工事～23章植栽工事」については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成19年版」および各設備工事については「電気設備工事特記仕様書」「空調設備工事特記仕様書」「衛生設備工事特記仕様書」記載事項による。（以下、標仕という）による。
2)標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。
3)各章の章・節・項の番号は共仕及び標仕の当該番号に対応する。
4)各章の章・節・項の番号が共仕及び標仕の番号に追加されている項目は、共仕及び標仕に対する追記事項とする。
5)各章の章・節・項の番号が共仕又は標仕の番号と同一で、共仕又は標仕の規定に対して特仕で追加、読替えなどを行っている場合は、それらも併せて適用する。

3. 適用基準等
⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修最新版）
・工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

1　章　一般共通事項（共仕を適用）

1　節　一般事項

■1.1.1
適用範囲
1)契約図書間に相違がある場合の優先順位は、次の(1)～(7)の順番のとおりとする。
(1)　工事請負契約書
(2)　質問回答書
(3)　現場説明書、工事説明書、入札説明書
(4)　特記仕様書（本書）
(5)　設計図
(6)　共通仕様書
(7)　標準仕様書

■1.1.2
用語の定義
1)「監督職員」は「監督員」に統み替える。「監督員」とは、契約書に規定する監督員をいう。

■1.1.3
官公署その他への届出手続き等
1)工事の各段階に必要な官公署その他への各種申請又は届出については、請負者の責任で遅滞なくこれを行う。
2)工事着工後、必要な申請・届出一覧表を作成して監理者を経由して監督員に提出する。

■1.1.4
工事実績情報の登録
※1)行う　・行わない

■1.1.6
別契約の関連工事
1)別途工事の円滑な推進のため、監督員より指示のある場合はこれに従う。
2)施工図・施工計画書などの作成に際し、関連工事との取合い・納まりなどについて十分打合せ・調整を行う。

■1.1.7
疑義に関する協議等
1)現場の納まり、取合い等の関係で、材料の寸法、仕様、工法、取付け位置又は取付け方法などを多少変更し、又は取付け数量を多少増減するなどの軽微な変更は監督員の指示により行う。

■1.1.13
設計変更
1)共仕［1.1.7（a）］但し書きに該当しない設計変更に係る工事は監督員の指示に従って行う。
2)指示により工事費の増減が伴う場合は、請負者は施工に先立ち工事費増減内訳書を提出し、監理者に提出し監督員の承諾を受ける。
3)工事費増減内訳書における工事単価は、原則として工事請負契約時の単価とする。

■1.1.14
工事費に含まれる費用
1)本工事を完成させるために本工事に付帯して当然必要な作業・材料などは、設計図書に記載がない場合でも本工事に含む。
2)本工事に必要な下記の工事及び費用は本工事に含まれる。
a.施工、材料及び製品の試験、見本等の作成、検査に要する費用
b.工事施工に必要な敷地周辺の障害となるものの移設と復旧
c.工事期間中の官公署、その他の手続の費用
d.工事用機器、材料などの取り入れに必要な搬入口及び通路の設置とそれらに伴う補強、及び片付け
e.工事用仮設機材（足場・クレーン等）による電波障害対策費用　f.家屋調査

■1.1.15
工事費に含まれない費用
1)次に示す費用は発注者の負担とする。
a.予測し得ながった大規模地下埋設物・障害物及び公害防止法に基づく汚染土壌の撤去に要する費用
b.近隣との紛争解決に要する費用。但し、工法及び工事施工に起因するものは施工者負担
c.工事施工上以外のテレビ電波障害の調査及び対策費用
d.発注者の要請による式典・建物披露などに要する費用（ただし発注者が式典等を行う場合には協力すること）

■1.1.16
CAD図面データの取扱い
1)施工図等や完成図（竣工図）を作成する為に設計図のCADデータを利用する場合は、監督員に申し出て、
設計者とそのデータの取扱い等について「CAD図面データ利用に関する確認書」を別途取り交わす。
尚、設計図のCADデータの著作権は設計者に帰属し、これを漏洩したり、目的外に利用してはならない。

■1.1.17
経年調査と実施
1)工事引渡後、請負者等は、工事全般について瑕疵及び損耗に関する調査を、それぞれ引渡日から
起算して（※1年目　※2年目　・5年目　・10年目）に行う。
2)調査の実施時期及び具体的な実施要領は、請負者等が立案し監理者及び発注者と協議する。
3)調査終了後速やかに調査の結果を記録し、監理者を経由して発注者に提出する。
4)前項の調査の結果、工事目的物に瑕疵が認められた場合は、請負者等は監理者及び発注者と協議の上、速やかに
工事請負契約に基づいて適切な対応を行う。
5)調査に必要な費用は全て請負者の負担とする。
6)調査立会い者は下記とする。
⊙　発注者
⊙　監理者
⊙　請負者現場代理人、主任技術者又は監理技術者及び工事専門技術者

■1.1.18
特許権などの取扱い
1)本工事に関して、第三者の権利となる特許権・実用新案権・意匠権・商標権などに属する工事材料・建築設備機器・施工方法などを使用する場合は、請負者の責任で必要な手続等を行った後に、これを採用する。万が一、第三者の権利を侵害するようなことが生じた場合は、請負者の責任においてこれを解決する。
2)設計図書内に特許権等に係る事項のある場合は、監理者及び監督員と協議する。
3)施工図等一切の提出書類の著作権に係る当該建築物に限る使用権版権は、埼玉県及び春日部市、設計者、監理者に委譲する。

■1.1.19
監理者の承認について
1)工事の過程で行われる監理者の承認行為は、工事の品質が適正に確保されていることについての確認行為であり、監理者が承認したからといって、工事目的物に対し不具合及び欠陥があった場合の請負者責任を軽減するものではない。

2節　工事関係図書

■1.2.1
実施工程表
1)請負者等は工事の着手に先立ち、又は着手後速やかに実施工程表を作成し、監理者を経由して監督員に提出する。
監理者は、実施工程表に問題があると認められる場合は、監督員及び請負者等にその旨を報告・通知する。
2)実施工程表には、次の内容を記載する。
a.　総合図、施工図・施工計画書などの作成・提出・承認の期間
b.　官公署への届出などの手続きの時期
c.　建築主事・所轄消防署による中間検査など関係法令に基づく官公署検査の時期
d.　完成時の諸検査の日程
e.　部分使用・部分引渡しの日程及び関係する諸検査の時期
f.　関連工事の主要な工程
g.　その他、特記事項（受電、実験、主要な材料の見本決定時期等）
3)実施工程表に変更の必要が生じた場合は、関連工事の工程と調整の上、速やかに変更工程表を作成し、監理者を経由して監督員に提出する。

■1.2.2
施工計画書
1)総合施工計画書は、工事全体を通じて請負者が行う工事組織の構成と運用、工事現場の整備と維持、工事請負契約に基づく監督員及び監理者への対応などについて、本工事の固有の条件に適応した具体的な方策を定める。
2)各工種別の施工計画書の品質計画については、設計図書と十分な整合を計り作成する。
3)施工要領書は、請負者が機器・材料製造者、専門工事業者などと協議の上、施工計画書記載の各項目を実行するための詳細要領を定めたもので、監督員が指示した場合は、これを監理者を経由して監督員に提出する。

■1.2.6
総合図の作成等
1)工事着手に先立ち、又は工事着手と並行して速やかに総合図を作成し、工事に支障ないようつとめる。
2)総合図は、請負者が建築・設備等関連工事の全体を把握し、施工図作成の円滑化のために活用することを目的とし、施工図・工作図・製作図などの作成前に完成させる。
3)総合図の作成要領は以下の通りとする。
a.総合図原図として建築詳細図（縮尺 1/50 、平面詳細図、展開図、天井伏図）を作成し、監理者に提出し監督員の承諾を受ける。
b.上記総合図原図に別途工事の機器等を含む設備機器配置図を記入し、監理者に提出し監督員の承諾を受ける。
c.設備機器配置図作成にあたっては、事前に各請負者間で位置調整を行うこと。調整の結果、設計変更が必要な場合は、監督員の指示をうける。
d.又、作成した総合図に基づく別途工事関連打合せには、各請負者の担当者を出席させること。
e.各請負者間及び別途工事関連の調整の結果、総合図の修正が必要な場合、速やかに訂正を行い、監理者に提出し監督員の承諾を受ける。
4)総合図・施工図等提出するにあたっては、予め、それらの内容が設計図書と適合しているかの確認を請負者の責任において行う。
5)請負者は、総合図・施工図調整担当者として、本工事に類似した工事の施工図調整経験を持つ原則として一級建築士の資格を有する者を選任し、本工事に専任させる。

■1.2.7
提出書類
1)提出書類については、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」による。なお、下表に記載のあるものについては下表による。
2)竣工図は、工事目的物の引渡時に設計変更の行われた箇所について設計原図を訂正し、監理者の確認
を受けて監督員に提出する。尚、CADデータについては、設計者より提供を受けたデータの修正を行い、CD-Rに記録し提出する。
CD-Rには工事名・設計図名・図番・修正年月日・施工者社名（捺印）など必要事項を記載したラベルを貼り所定のファイルに収納し提出する。
3)埼玉県電子納品運用ガイドラインに基づく電子納品　※対象とする　・対象としない
・電子納品対象資料は、工事写真及び完成写真とし、作成は「建築・設備工事電子納品写真要領」による。

提出書類リスト（提出部数については、着工時に担当者と確認のこと）

	提出書類名	提出部数 発注者	提出部数 監理者	摘要
a 着工時及び竣工当初	1. 着工届	1	1	
	2. 現場代理人選任届	1	1	経歴書添付
	3. 監理技術者選任届、主任技術者選任届	各1	各1	経歴書添付
	4. 現場係員届	1	1	経歴書添付
	5. 下請業者選定届（案）		1	メーカーリスト等から専門業者、機器、材料、その他下請業者を選定した場合（案）にて確認を受けること

	提出書類名	発注者	監理者	摘要
a 着工時及び竣工当初	6. 下請業者承諾願（案）	1	1	指定以外の専門業者、機器等を選定した場合（案）にて確認を受けること
	7. 社内組織表（請負者）	1	1	責任体制を明確にしたもの
	8. 安全衛生組織表	1	1	安全衛生対策計画書添付
	9. 共同企業体結成届、共同企業体組織表	各1	各1	
	10. 工事請負契約書（写）		1	出来高支払い方法などを明示する
	11. 工事請負代金内訳書（写）		1	工事請負契約書添付とは別に提出する
	12. 工事損害保険証書（写）	1	1	
	13. 工事運営計画書	1	1	A4版、提出年月日記入、現場代理人捺印
	14. 基本工程表及び仮設計画書	1	1	
	15. 総合図	1	1	CADにて作成（作成予定表提出）
	16. 出来高予定表	1	1	分離発注用・一括発注用、必要に応じ提出
	17.（受領印）覚書	1	1	承諾行為に伴う覚書（施工者対監理者）
	18. 着工前の敷地及び隣地現況写真	1	2	工事監理報告書の第1回に添付
	19. CAD図面データ利用に関する確認書	1	1	施工図等や完成図（竣工図）作成等の使用目的で設計図のCADデータを借用する場合
	20. 設計図紛失届	n	n	設計原図からA3判焼付2つ折り製本を作成する n：必要部数確認
b 工事期間中	1. 工事監理報告書	1	2	
	2. 工事監理確認記録書		1	各工事工程毎の作業確認
	3. 施工計画書（施工要領書）		各1	各工事別毎に作成
	4. 施工図、機器製作図及び計算書		各1	各工事、各機器毎に提出する
	5. 連絡書、打合せ記録、質疑書	1	1	各種定例会議議事録等、書式を統一
	6. 月間工程表、週間工程表	1	1	
	7. 申請・届出書類一覧表	1	1	
	8. 試験成績報告書		1	
	9. 検査記録報告書、自主検査報告書	1	1	製品検査及び施工検査
	10. 製品検査（立会い）願書	1	1	検査予定の7日以上前に提出
	11. 工事休業届	1	1	連続休業日程、緊急連絡先一覧明記
	12. 工事出来高内訳書	1	1	
	13. 下請業者選定届、下請業者承諾願	各1	各1	工事期間中に作成・提出するもの
	14. 竣工自主検査報告書	1	1	請負者竣工自主検査、検査記録書添付
	15. 工事既済部分検査願	1	1	検査記録書添付
	16. 請求書	1	1	工事出来高支払請求書
	17. 増減精算見積書及び同一覧表	1	1	その都度提出し、発注者の了解を得る
	18. 水質試験報告書	1	1	末端カランより採水
	19. 関係官庁との打合せ記録	1	1	
	20. 関係官庁提出の各許可書（写）		1	
	21. 有資格者届	1	1	溶接工技量証明書その他を添付
	22. 竣工検査願	1	1	監理者検査、発注者竣工検査毎に提出
	23. 竣工検査報告書	1	1	監理者検査調書、発注者竣工検査調書
	24. 事故災害対策報告書	1	1	工事に関連して事故が発生した場合
c 竣工時（竣工引渡時）	1. 竣工届	1	1	
	2. 工事概要書	1	1	
	3. 工事完了引渡証明書	1	1	
	4. 印鑑証明、資格証明書	各1	各1	
	5. 引渡授受書		1	発注者、監理者、請負者が捺印、それぞれ保管
	6. 官公庁関係書類授受書・同一覧表及び提出書類綴り	各1	各1	打合せ記録添付 提出書類は1枚目をコピーして添付する。副本・控は別ファイルにて提出
	7. 各種関係書類授受書	1	1	関係書類目録添付
	8. 鍵引渡授受書、鍵一覧表	1	1	鍵の位置図を添付
	9. 仕上表（材質及び材料製造者記載）	1	1	
	10. 協力業者一覧表	1	1	下請・専門業者
	11. 主要機器・材料製造者一覧表	1	1	
	12. 保証書・同一覧表	1	1	
	13. 保守及び緊急連絡先一覧表	1	1	連絡先窓口を記載
	14. 備品・予備品引渡授受書、同一覧表	1	1	備品・予備品一覧表添付
	15. 工事監理報告書	1	1	建築士法第20条の3、当社監理者作成
	16. 念書、同完了報告書	1	1	
	17. 引渡メーター立会い確認書	1	1	
	18. 建物管理のお願い	1	1	当社監理者作成
	19. 監理者竣工検査願書	1	1	
	20. 発注者竣工検査願書	1	1	
d 竣工時（保守指導書）	1. 仕上表（材質及び材料製造者記載）	1		c−9　に同じ
	2. 竣工図	1		
	3. 協力業者一覧表	1		c−10　に同じ
	4. 主要機器・材料製造者一覧表	1		c−11　に同じ
	5. 保守及び緊急連絡先一覧表	1		c−13　に同じ
	6. 取扱い説明書	1		システム説明、機器取扱い説明をまとめる
	7. 機器完成図	1		
	8. 各設備機器試験成績表・測定記録	1		
	9. 地中仮設残存物記録	1		存在した場合
	10. 工事記録写真	1		発注者が要求した場合
	11. 敷地境界立会記録	1		
e 引き渡し時	1. 竣工図CADデータ	2（1）	1	埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による
	2. 竣工写真（アルバム）	2（1）	2	キャビネ判カラープリント貼付、工事概要書を添付する。 撮影カット数（300　カット以上） 航空写真8カット程度
	3. 同上（カラープリント及びネガ）		各1	キャビネ判、同上のうちから60カット程度のプリント及びネガ（6×6判） 全紙パネル6カット
	4. 同上（CD-Rデータ）	2（1）	1	アルバム全カットを入力する。ネガ入力とし、入力サイズは、長辺方向を2,400ピクセル以上とする。ファイル形式はJPEG（低圧縮）とする。 それとは別に、主要なアングル10カット程度を高解像度で入力する。入力サイズは、長辺方向を 4,200 ピクセル以上とする。ファイル形式は JPEG（低圧縮）とする。
	5. 竣工図（A1、2つ折製本）	2		部数は発注者に確認
	6. 竣工図マイクロフィルム		1	専用フィッシャー、ホルダー使用
	7. 竣工図CADデータ		1	CD-R
	8. 竣工図A3判第2原図	4（2）	1	
	9. 竣工図A3判製本		1	部数は発注者に確認
	10. 施工図・製作図（各工事青焼製本）（原図共）	1	1	要望のある部分のみ、原則請負者保管
f	1. 瑕疵担保検査報告書	1	1	竣工後 ①②・5・10）年目検査報告書
	2. 瑕疵担保検査補修完了報告書	1	1	竣工後 ①②・5・10）年目検査完了報告書

※発注者欄内の（）は春日部市に提出する部数で内数とする。

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課						
課長						

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容：特記仕様書１
図面番号：1001
縮尺：N.S.
区分：建築意匠図

3 節　工事現場管理

■1.3.3 電気保安技術者
1)工事現場において電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の職務を行う。
※要　・不要

■1.3.5 施工条件
1)作業時間などは次による。
a. 設計図書又は工事現場近隣の住民との間で交わされた工事に関する協定（以下、近隣協定という）に、作業内容、作業日・時間などについての定めがある場合は、それを遵守する。
b. 休日・祝日又は夜間に工事の施工を行う場合は、予め発注者及び監理者と協議すること。

■1.3.7 製造者及び専門工事業者の選定
1)購負者等は材料製造者及び専門工事業者について、設計図書に指定がある場合、配載されたものの中から選定し、選定届を監理者を経由して監督員に提出する。
2)特別の理由により配載された材料製造者・専門工事業者以外のものを選定する場合は、その能力・経歴などを証する資料を監理者に提出し、監理員の承認を受ける。
3)設計図書に指定がない場合は、適正な品質を確保できる材料製造者・専門工事業者を選定し、監理者及び監督員と協議する。但し、設計図書に条件が示されている場合には、これに適合する製造者を選定し、条件に適合することを証明する資料を監理者に提出し、監督員の承諾を受ける。

■1.3.9 発生材の処理等
・現場説明書による　○構外搬出適切処理　・下記による
1) 引渡を要するもの　※なし　・あり（　）
2) 特別管理産業廃棄物　※なし　・あり（　）
3) 汚染土壌　※なし　・あり（　）
4) 再利用を図る発生材　・　・
5) 再生資源化を図る発生材　・　・
引渡しを要さないものは、全て構外搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資源再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」）「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関連法令等により適切に処理し、監督員に報告する。

■1.3.11 災害時の安全確保
1)災害、公害又は事故の恐れがある場合は、速やかに適切な処置を講じ、直ちにその経緯を監督員に報告する。

■1.3.13 養生
1)汚染・損傷を受けた部分については、速やかに原型に復旧する。

■1.3.14 後片付け
1)工事現場は常に整理整頓し、清潔に保つなど作業環境の改善、作業現場の美化に努める。
2)工事の完成に際しては、工事完成検査時点までに次の損傷復旧などを行う。
a. 工事に伴い損傷を生じた既存の施設・工作物・樹木などは、原状に復旧する。
b. 工事目的の施設又は設備の一部を工事用に使用した場合は、設計図書の定める条件のとおりに復旧する。

■1.3.15 現場代理人・監理技術者等
1)工事購負契約書に定める現場代理人及び監理技術者又は主任技術者は下記の資格を適用する。
2)現場代理人及び監理技術者又は主任技術者は本工事に専任とし、原則として現場に常駐する。非常駐とする場合は監督員の承諾を受ける。

資格の種類	建築	電気	空調	衛生	昇降	外構	備考
A.一級建築士又は一級施工管理技士（各専門分野に適用）	○	・	・	・	・	・	
B.電気主任技術者		○			・		
C.建築設備士（建築設備技術者協会）		・	○	・	・		
D.設備士（空調衛生工学会）			・	○			
E.技術士（各専門分野に適用）	○	○	○	○	・		
F.木造軸組工法による耐火建築物設計マニュアル講習会	○	○	○	○			修了証取得のこと

注）A から E のうち、○印が複数ある場合は、いずれかの資格を適用する。かつ、F は必須とする。

4 節　機器及び材料

■1.4.1 環境への配慮
1)居室の室内空気質は、指定された揮発性有機化合物について関係法令などを遵守するとともに、室内濃度は厚生労働省の指針値をクリアすること。
2)クロルピリホス発生の恐れのある建材は使用しない。
3)木材の防腐・防虫材は、クロルピリホス、フェノブカルブ、ダイアジノンを含有しない 薬剤を使用する。
4)ホルムアルデヒドについては、内装工事全般（木工事・建具工事・塗装工事・内装工事・家具工事及び天井張工事）に使用する建築材料・家具材料・塗料及び接着剤の選定にあたって、JIS又はJASのF☆☆☆☆認定品、又は国土交通大臣のF☆☆☆☆認定品を使用する。
5)アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラデカン、フタル酸ジ-N-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルについては、含有していない材料又は含有量・放散量の極めて少ない材料を使用する。
6)木材に接着剤を使用する場合は、当該木材に滅菌処理を施す。
7) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所用の品質及び性能を有するものとし、次の①～⑤を満たすものとする。
①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒド、及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
②保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか発散が極めて少ないものとする。
③接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑材を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレントルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
④塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
⑤①、③及び④の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等はホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

■1.4.2 材料の品質等
1)本工事に使用する建築材料等は、設計図に規定する品質、性能を有するもの又はこれらと同等のものとする。
ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。
なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」による。
2)各種材料については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含有する建材は使用してはならない。

■1.4.4 材料の検査等
1)下記に指定する機器・材料・製品は、製作・施工に先立ち原則として監督員及び監理者の立会い検査を受ける。検査は現場で行うのを原則とするが、現場での検査が不可能な場合は、現場以外での検査を可とする。

建築工事	電気設備工事	空調設備工事	衛生設備工事	その他
・免震装置	・受変電機器	・冷凍機	・衛生器具	
○ 鉄骨	・動力制御盤	・冷却塔	・製缶類	
○ 杭	・分電盤	・ボイラー	・	
○ コンクリート	・端子盤	・空調機		
○ 鉄筋	・	・FCU		
・ プレキャストコンクリート		・PAC		
○ 石、人造石		・製缶類		
・ タイル		・		
○ カーテンウォール				
○ アルミ製建具				
・ 鋼製建具				
○ ステンレス製建具				
・ 家具				
○ 昇降機				
・ ゴンドラ				
○ 補装				
○ その他　アルミパネル スライディングウォール（外部） LVL・集成材				

2)機器・材料・製品の検査は全て購負者等の検査に合格後、検査配録を提出し、監督員及び 監理者の検査を受ける。
3)検査に必要な資機材・労務などを提供すること。

■1.4.5 材料の検査に伴う試験
1)機器・材料の試験及び施工検査に伴う試験は、次の場合に行う。
a. 設計図書に定められた場合
b. 試験によらなければ設計図書の定める品質又は性能・機能に適合することが証明できない場合
c. 石材、じゅうたん等の天然素材
2)供試体の製作要領は設計図書の定めによる。但し、定めがない場合は、監督員の承諾を受けた方法による。
3)試験を公的試験所又はこれに準ずる試験所で行う場合を除き、試験には原則として監督員及び監理者の立会いを受ける。但し、予め監督員の指示を受けた場合は、この限りではない。尚、立会いに必要な資機材・労務などを提供すること。

■1.4.7 支給材料、貸与品
1)支給材料、貸与品
※なし　・あり（　）

■1.4.8 検査に伴う不適合の是正措置
1)検査・試験などにより不合格となった機器・材料などについては、その処理手順を定め管理する。
2)不適合製品について、再発を防止する為、不適合の原因を除去する是正措置を講ずる。製品に重大な影響を及ぼす恐れのあるもの等の是正措置の方法については、予め監理者を経由して監督員に報告する。

■1.4.9 海外調達品の取扱い
1)海外製の機器・材料・製品などを使用する場合は、予めそれが日本国の関係法令に適合し、設計図書に定められた品質・性能を保持していることを証明する資料を監理者に提出し、監督員の承諾を受ける。
2)それら海外調達品の完成後の不具合は瑕疵として扱い、購負者の責任において対応する。この場合の瑕疵期間は10年とする。
3)設計図書に指定された海外調達品が指定の品質・性能に適合しないと認められる場合、又は前号の瑕疵保証に耐えるものではないと認められる場合は、代替品などの処置に付き監督員の指示に従う。

■1.4.10 特別な材料の工法
標仕に配載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
1）５階、６階の木造は耐火構造とし、床、壁（指定部）、柱、梁については「木造軸組工法による耐火建築物設計マニュアル」（発行：社団法人 日本木造住宅産業協会 TEL 03-5425-6262）に定められた構法を採用する。

■1.4.11 その他
※調査する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。

5 節　施工

■1.5.2 技能士
1)　技能士の適用は次による。

工事種別	技能検定の職種
仮設工事	○とび作業
鉄筋工事	○配筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	○型枠施工　○コンクリート圧送
鉄骨工事	○とび　○鉄工
ブロック・　ALC　パネル工事	・ブロック建築　○ALC パネル施工
防水工事	○アスファルト防水　○塗膜防水　○シート防水 ・シーリング防水　・ FRP　塗膜防水
石工事	○石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	○建築大工
屋根及びとい工事	○建築板金（内外装板金作業）
金属工事	○内装仕上施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	○左官
建具工事	○建具製作　○サッシ施工　○自動ドア施工
カーテンウォール工事	○カーテンウォール施工　○サッシ施工
ガラス工事	○ガラス施工　○フィルム施工
塗装工事	○塗装（建築塗装作業）
内装工事	○プラスチック系床仕上　○カーペット系床仕上 ○ボード仕上げ・表装（壁装作業）・樹脂接着剤注入施工
植栽工事	○造園
配管工事	○建築配管
舗装工事	○冷蔵ペイントハンドマーカー工事作業○加熱ペイントマジンマーカー工事作業
冷凍空調調和工事	○冷凍空気調和機器施工作業

※左官工事の技能士については監督員の指示によるものとする。

■1.5.9 化学物質の濃度測定
1)内装完了後、建物引渡前に室内空気中の化学物質の濃度測定を行う。
2)測定対象物質は以下に指定する物質とする。
※ ホルムアルデヒド　※アセトアルデヒド　※トルエン　※キシレン
※エチルベンゼン　※スチレン　・パラジクロロベンゼン
・ダイアジノン　・クロルピリホス　・フェノブカルブ
・テトラデカン　・フタル酸ジ-n-ブチル　・フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
3)測定対象室は全体で（　30　）室とし、監督員の指示による。
4)測定対象物質の室内濃度測定方法は厚生労働省及び国土交通省指定の測定方法（パッシブ型採取機器）に準拠する。
5)検査方法
①検体の採取方法は吸引方式（アクティブ法）または拡散方式（パシッブ法）による。
②ホルムアルデヒドについては以下のいづれかの方法による。
・ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下ＨＰＬＣ）により行うものとする。
・パッシブ採取機器により採取し、ＨＰＬＣまたはガスクロマトグラフ法（以下ＧＣ）あるいはＡＨＭＴ－吸光光度法（以下ＡＨＭＴ－Ａｂｓ）のうち採取機器に適応した分析法による。
③トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンについては以下のいづれかの方法による。
・固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の３種の方法のいずれか用いて採取し、ガスクロマトグラフ／質量分析法（以下ＧＣ／ＭＳ）により行うものとする。
・パッシブ採取機器により採取しＧＣまたはＧＣ／ＭＳのうち採取機器に適応した分析法による。
6)判定基準
厚生労働省が定める指針値以下とする。（量単位の換算は２５℃）
ア）ホルムアルデヒドは、100μｇ／ｍ（0.08ppm）*以下であること。
イ）トルエンは、260μｇ／ｍ（0.07ppm）*以下であること。
ウ）キシレンは、870μｇ／ｍ（0.20ppm）*以下であること。
エ）エチルベンゼンは、3,800μｇ／ｍ（0.88ppm）*以下であること。
オ）スチレンは、220μｇ／ｍ（0.05ppm）*以下であること。
7)採取及び分析
採取及び分析する者は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者とする。
8)測定結果が上記の厚生労働省の指針値を超えていた場合は、放散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再測定を行う。
9)建物の竣工引渡時には、前記の厚生労働省による指針値以下であることを確認の上、報告書を監理者を経由して監督員に提出する。（部数は監督員と協議による）

■1.5.10 モックアップ・モデルルーム等
1)モックアップ・モデルルームなどの作成、見本施工は次による。これらは、施工に先立つ適切な時期に実施し、監督員の承諾を受ける。
a. 外装モックアップの作成　※しない　○する（○特記仕様追記による　）
b. モデルルームの作成　※しない　・する（・設計図による　・　）
c. 見本施工　※しない　○する（○木造部分メンブレン構成、エントランスギャラリー壁　）

■1.5.12 排出ガス対策型等建設機械
1)本工事において建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成３年１０月８日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
2)排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。
3)上記により難い場合は、監督員と協議するものとする。
4)排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監理者を経由して監督員に提出する。
※　上記建設機械は低騒音・低振動型とする。

条件明示項目
※火災保険等（種類：組立保険等　期間：工期＋１ヶ月　）

2 章　仮設工事（以下、標仕を適用）

1 節　一般事項

■2.1.3 仮設計画書
1)購負者等は工事の着手に先立ち、又は着手後速やかに仮設計画書を作成し、監理員に提出する。

■2.1.4 工事用電力及び上下水道
1)工事用電力
構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
2)工事用上下水道
構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

2 節　縄張り、建方、足場その他

■2.2.1 敷地の状況確認及び縄張り
1)購負者等は工事の着手後、敷地内及び敷地周辺について現地調査を行い、仮設計画書などに反映させる。現地調査は、工事によって影響を受ける可能性のある周辺道路、隣接の建築物・工作物、樹木及び上下水道・ガス・電気・通信など地下埋設物に重点を置き、その現況を正確に調査する。
2)敷地について次の要領により測量を行い、仮設計画書などに反映させる。
a. 隣地並びに道路との境界は、隣地関係者、道路管理者及び管理員の立会いのもとに確認し、配録書を作成する。
b. 敷地の高低を測量し、道路との高さ関係・排水勾配などについて設計図と照合する。

3 節　仮設物

■2.3.1 監督員事務所等
1)監督員事務所の設置　※設ける　・設けない
2)監督員事務所の規模
・ 10 ㎡程度　・ 20 ㎡程度　・ 35 ㎡程度　○ 65 ㎡程度　・ 100 ㎡程度　・　㎡程度
○ 間取り・面積などについては監督員及び監理者との協議による。
3)監督員事務所の内装仕上げは以下の程度とする。

部位	仕上
床	※タイルカーペット　・ビニル床シート
壁	※ビニルクロス張り　・合成樹脂エマルジョンペイント
天井	※岩綿吸音板　・化粧石膏ボード

4)監督員事務所の備品など
a. 監督員事務所には、照明・電力・給排水衛生・冷暖房などの設備を設け、次の備品を置く。（15人分程度）
机・椅子・書類・見本棚・衣類ロッカー・ヘルメット・安全靴・図面架・電話・黒板・製図板
・時計・雨がっぱ・長ぐつ・懐中電灯・安全帯・軍手・消火器・湯沸器・寒暖計・茶器・掃除用具
・仕様書類一式・その他（監督員指示による）
b. 監督員事務所には次のOA環境を備える。
イ．　パソコン（インターネット常時接続可、機種・台数・ソフト等は監督員の指示による）（6台）
ロ．　レーザープリンタ　１台（A3判カラー対応、ファックス・コピー複合）　ハ．デジタルカメラ　1台
c. 監督員事務所の光熱水料、回線使用料、消耗品及び清掃費用は購負者の負担とする。
5)仮囲い　※図示による（○部分的に内部がのぞける工夫をする）
6)交通整備員
○必要に応じて搬入路付近に交通整備員を配置する。
7)工事概要案内板
※設置する（○外観パースを２ヶ所貼る。外観パースパネルは支給）
8)現場のイメージアップ
仮囲いNに絵柄などを入れ、周囲環境へ配慮し、工事中のイメージを和らげる努力をする。
9)手すり先行足場
足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

3 章　土工事　　構造図による

※現状地盤にある砕石、ガラ等の表層土は、産業廃棄物として工事前に処分すること。

4 章　地業工事　　構造図による

5 章　鉄筋工事　　構造図による

6 章　コンクリート工事　　構造図による

1 節　一般事項

■6.1.2 基本要求品質
1)コンクリートのひび割れ防止対策については、構造図（特記仕様書6章2項）による。

7 章　鉄骨工事　　構造図による

9 節　耐火被覆

■7.9.2 耐火被覆材の種別及び性能
1)耐火被覆材の材料・工法、耐火性能及び適用部位は下記の通りとする。

適用部位	材料・工法	耐火性能 3階～ 6階	1階～ 2階	階～ 階
・柱	半湿式ロックウール吹付	○ 1 時間	○ 2 時間	・ 3 時間
・大梁（小梁）	半湿式ロックウール吹付	○ 1 時間	○ 2 時間	・ 3 時間
・丸柱（外部）	耐火塗料＋EP1	○ 1 時間	○ 2 時間	・ 3 時間
・独立角柱（Ｆ☆ワイヤ	ケイカル系耐火成形板被覆	○ 1 時間	○ 2 時間	・ 3 時間
・丸柱（室内）	熱膨張耐火剤（丸柱仕様）	○ 1 時間	○ 2 時間	・ 3 時間

8 章　コンクリートブロック・ALCパネル・押出し成形セメント板工事

2 節　補強コンクリートブロック造

□8.2.2 材料
2)ブロックの種類
・空洞ブロックI6（普通）　※空洞ブロックI6-Ⅲ（C種防水）

3 節　コンクリートブロック帳壁及び塀

□8.3.2 材料
1)ブロックの種類及び厚さ
※ 構仕表8.3.1及び下表による

適用個所		種類	厚さ（mm）
・間仕切壁・地下二重壁・外壁		C 種	・
・塀	高さ 2m以下	C 種	・ 120 ・
	高さ 2mを超える	C 種	・ 150 ・
・衛生配管用裏積みブロック		A 種	・ 100 ・

4 節　ALCパネル

□8.4.2 材料
1)種類・厚さ及び取付け工法種別

種類	単位荷重（N/㎡）	厚さ（mm）	取付け工法種別
・外壁パネル	・ 1180 ・ 1960	※ 100 ・ 125	・A 種・B 種・C 種
・間仕切壁パネル		※ 100 ・ 125 ・ 150	・B 種・C 種・D 種・E 種
・屋根パネル	・ 980	※ 100 ・	※標仕8.4.6による
・床パネル	・ 2350 ・ 3530	・ 100 ・ 150	

2)床パネルの耐火性能　：・1 時間　・2 時間
3)耐火間仕切壁の耐火性能　：・1 時間　・2 時間

5 節　押出し成形セメント板（ECP）

■8.5.2 材料
1)種類・厚さ及び取付け工法種別

種類	表面形状	厚さ（mm）	巾（mm）	工法種別
○外壁パネル	※ F ・ F-R	60	図示	※A種（タテ貼り、ロッキング工法）
	・ D ・ D-R			・B種
	・ T ・ T-R			
・間仕切パネル	※ F ・ F-R			・B種
	・ D ・ D-R			・C種
	・ T ・ T-R			

2)耐火性能・○有り　・1 時間　・2 時間）・無し　※雨側隣地境界側およびスパンドレル部分は耐火１時間とする。
3)外壁パネル上下ジョイント部には、表面シーリング材劣化により浸入した水が下に抜けるようSUS水切り板を取り付ける。

9 章 防水工事

1 節　一般事項

■9.1.3 施工一般
1)屋上の水勾配は、原則としてスラブ勾配とする。
2)防水の下地コンクリートは、後でコンクリートの水分蒸発でフクレの原因とならぬよう、十分乾燥期間をとってから、防水施工する。（特にデッキ型枠下地の屋根については、留意する）
3)塗膜防水の下地コンクリートスラブ上面には、ひび割れ防止措置として、コンクリート打増し10mmの上、ワイヤーメッシュ（6mmΦ×100mmメッシュ）を入れる。
4)風除室内部を防水する場合、内部と外部の境を区分し、内部の滞留水は排水する。
5)外部テラス等のガラススクリーン下端の防水は、サッシ下枠にステンレスフラッシング材を設けて、そこに防水層を立ちよげる。
6)室内の浴室と脱衣室境の出入口サッシ下枠には、浴室から防水層上部の滞留水が脱衣室に入り込まないよう、ステンレスフラッシング材を設けて防水層を立上げ又は塗り上げる。
7)防水工事施工票　※設置（　15　ヶ所）

■9.1.4 防水の瑕疵保証期間
1)防水は専門工事業者による責任施工とし、工事完成引渡時には購負者、施工者、材料メーカーの３者連名とし、保証書を発注者及び監理者に提出する。
2)防水の瑕疵保証期間は下記による。

防水の種別		瑕疵保証期間（建物引き渡し日から）
○アスファルト防水	露出	※ 10 年 ・
	保護層有り	※ 10 年 ・
・改質アスファルトシート防水		※ 10 年 ・
○合成高分子系ルーフィングシート防水		※ 10 年 ・
○塗膜防水		※ 10 年 ・
○セメント系防水		※ 5 年 ・

■9.1.5 シーリングの保証期間
1)シーリング材の保証期間は下記による。

シーリング材の種別		保証期間
SR -2	シリコーン系	7 年
MS -2	変性シリコーン系	5 年
SR -1	シリコーン系	5 年
PS -2	ポリサルファイド系	3 年
ストラクチュアルグレージングガスケット（強度保証共）		10 年
グレージングチャンネルビード	CR	7 年
	PVC	2 年

2)上記保証期間内に漏水・破断などが認められた場合、購負者の責任において調査を行い、故障が認められた場合は無償補修を行う。

■9.1.6 水張り試験等
1)水張り試験　：※行う（試験範囲：４階：中庭１、２、地下ピット　）　・行わない
2)散水試験　：
※ 行う（試験部位：○防水端部　○建具　・トップライト　・　）
・行わない

2 節　アスファルト防水

■9.2.2 材料
1)アスファルトの種類　※３種　・４種（寒冷地域）
2)断熱工法の断熱材厚さ（mm ）　※ 25

■9.2.3 防水層の種類、種別及び工程
1)防水層の種別及び施工個所は下記による。

種別		工法	施工個所
※ＡＩ－２	保護防水	密着断熱	
○Ａ－２	保護防水	密着	３階：屋外階段（３）（４）
・Ｄ－２	露出防水	絶縁	
○Ｂ１－２	保護防水	絶縁断熱	床型枠用デッキプレートを使用したコンクリートスラブ ２階：外部デッキ、屋外機置場、屋外階段（１）、 ３階：屋外劇場 ４階：中庭（１）（２）

※４階中庭の断熱材は、無架橋ポリエチレン型内成形発砲体（ 株）甲斐工業ミラブロック又は同等品）とする。

■9.2.5 保護層等の施工
1)立上り部の保護
・乾式保護材　※押出し成形セメント板（厚さ15mm）

3 節　改質アスファルトシート防水

□9.3.3 防水層の種別及び工程
1)種別と施工個所は以下の通りとする。

種別	施工個所
※ＡＳ－１	
・ＡＳ－２	

4 節　合成高分子系ルーフィングシート防水

■9.4.3 防水層の種別及び工程
1)種別と施工個所は以下の通りとする。

工法	種別	厚さ（ mm ）	施工個所	仕上塗料塗り	使用分類
接着工法	・Ｓ－Ｆ１	※1.2 ・		・シルバー ・カラー	※非歩行 ・軽歩行
	○Ｓ－Ｆ２	※2.0 ・	屋上（折板下）室内		
機械的固定工法	・Ｓ－Ｍ１	※1.5 ・			
	・Ｓ－Ｍ２	※1.5 ・ 2.0			
	○Ｓ－Ｍ３	※1.2 ・	屋上、塔屋、庇		

2)機械的固定方法種別Ｓ－Ｍ２の場合、固定金具とシートは加熱接合とし、シート防水材同士の接続は下記による。
※熱融着　・溶剤溶着

5 節　塗膜防水

■9.5.3 防水層の種別及び工程
1)種別と施工個所は以下の通りとする。

種別	施工個所	備考
○Ｘ－１	蓄熱槽（地下水）	仕上塗料塗り ・シルバー　・カラー
・Ｘ－２		
・Ｙ－１		Ｙ－２工法の保護シート
・Ｙ－２		※適用する　・適用しない

2)脱気装置の種類及び設置数量は以下の通りとする。
・設ける　材質（　）　設置数量（　㎡当たり　1 箇所）

埼玉県産業労働部産業拠点整備課							
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	

春日部市都市整備部鉄道高架整備課							
課長							

特記・

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容　特記仕様書２
縮尺　N.S.
図面番号　1002
区分　建築意匠図

6節　シーリング

■9.6.2 材料

1)シーリング材の種類及び施工個所は図示による。　（図示以外は、標仕表9.6.1による）

施工個所	シーリング材の種類（記号）

7節　その他の防水処理

■9.7.1 水槽内部の仕上げ

1)水槽内部の仕上種別及び仕様は以下の通りとする。

種別 ＼ 仕様 ＼ 厚さ（mm）	防水材 コンクリート打放し（防水なし）	防水材 改質アスファルト防水の上 コンクリートの押え	防水材 塩化ビニル系シート防水	防水材 超速硬化ウレタン系塗膜防水（吹付工法）	防水材 シート防水 エチレン酢酸ビニル樹脂（EVA）系	防食材 ポリマーセメント系防水（塗り工法）	防食材 ケイ酸質系浸透式防水（塗り工法）	防食材 ポリウレア樹脂 ≧3.0	防食材 エポキシ樹脂（ガラスクロス入り） ≧1.3	防食材 エステル系不飽和ポリエステル樹脂（ガラスマット入り）又はビニルエステル樹脂（ガラスマット入り） ≧2.0	防食材 エポキシ樹脂セラミックバルダー入り ≧5.0			備考
厨房排水槽						・	・	※	・	・	・			床、壁、天井面施工
汚水槽						・	・	※	・	・	・			
雑排水槽						・	・	※	・	・	・			
中水槽		・	・	・		※	・							床、壁面施工
消火水槽		・	・	・		※	・							
雨水貯留槽		・	・	・		※	・							
補給水槽		・	・	・		※	・							
エレベーターピット							※							
湯水槽	※													
蓄熱槽 温水50℃程度			・	・	※									床、壁、天井面施工
蓄熱槽 冷水5℃程度			・	・	※									床、壁面施工
地熱利用水槽														

防食材については、日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」に規定する塗布型ライニング工法D₁種に適合することの証明書の写しを監理者を経由して監督員に提出する。

■9.7.2 その他の防水処理

1)外壁などの防水処理

(1)土に接する外壁、耐圧版で、全面に防水層を施工しない場合は、次の止水処理を行う。

a. 水平打継部には、非加硫ブチルゴム系又は水膨張ゴム系の止水板を外部側に設置する（柱部分も含む）。

b. 型枠緊張材には、止水セパレーターを使用する。

c. ひび割れのある箇所は、下記イ又はロの止水処理を行う。

イ. ひび割れの巾が0.2mm未満の場合は、ゴムアスファルト系塗膜防水処理（表9.5.2　Y-1による）を行う。

ロ. ひび割れの巾が0.2mm以上の場合は、ひび割れ部にエポキシ樹脂注入（改修標仕4.3.4）、又は水性マイクロエマルジョン注入を行う。

d. 不良部分については、補修方法を書類として提出し、監督員の承諾を受ける。

(2)防水のない外部床と外壁の打継部は、塗膜防水を入隅から床と外壁にそれぞれ300mm施す。

2)内部水廻りの防水処理

水廻りの配管等があり、防水層を施工しておらず、隣接するEPS等に対して漏水の被害が予想される場合、区画部に100mm程度の立上りを設け、漏水対策として塗膜防水を施工すること。

10章 石工事

2節　材料

■10.2.1 石材

1)石材の種類・表面仕上は以下の通りとする。

施工個所	種類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上の種類
1階多目的ホール	花崗岩	中国産・G684	40mm、30mm	ウォータージェット仕上
1階エントランスギャラリー	花崗岩	中国産・G684	30mm	ウォータージェット仕上
風除室1、2	花崗岩	中国産・G684	30mm	ウォータージェット仕上
トイレ（男）汚垂石	花崗岩	中国産・G654	25mm	本磨き
外構床、立ち上り壁	花崗岩	中国産・G360	図示	ブラスト＋ケミカルエッチング仕上 一部本磨き
外構水路	花崗岩	中国産・G360	図示	こぶ出し仕上、小たたき仕上

石の品質

床用石材　※2等品　・

壁及びその他の石材　※1等品

2)テラゾ張り　種石の種類　：　※　大理石　・

表面仕上　：　※　本磨き　・

形状・寸法　：　※　設計図による

3)石材の物性について

a. 石材の物性値：圧縮強度110N/mm2、曲げ強度9N/mm2以上、吸水率0.37%以下とする。

b. 物性値の確認試験：・行わない（物性値データ提出）※物性確認試験を実施する。

c. 国内使用事例が少ない石材については、試験等により詳細調査を実施し、品質確認並びに自然破壊・錆の発生等の不具合を防ぐこと

3節　外壁湿式工法

4節　内壁空積工法

5節　乾式工法

□10.3.2
□10.4.2
□10.5.2
材料

1)外壁石張り

a. 工法　・　外壁湿式工法（※流し張工法　・　　）　・　乾式工法

b. 石裏面処理　・　行う（・　小口共　）

c. 裏打ち処理　・　行う

d. ドレインパイプ　※　ステンレスSUS304　・

2)内壁石張り

a. 工法　・　内壁空積工法　（※後施工アンカー横筋流し工法　・後施工アンカー工法）

・　乾式工法

・　接着工法

b. 裏打ち処理　・　行う

6節　床及び階段の石張り

■10.6.2 床の石張り

1)床石張りの裏面処理　○行う

2)屋内のワックス掛け　・行う

11章　タイル工事

1節　一般事項

□11.1.3 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

1)伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置は必ず躯体目地と一致させる。　その位置は下記による。

a. 外壁　※標仕表11.1.1による　・設計図による

b. スラブ　※設計図による

2)伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の寸法

※標仕11.1.3（c）による　・設計図による

□11.1.6 タイル目地深さ

1)タイルの目地深さは、タイルの層間変位及び熱収縮によるタイルの剥落を防止するため、タイル厚さの1/3を超えて施工してはならない。

2節　材料

□11.2.1 タイル

1)タイルの種類

施工個所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	きじ 炻器	きじ 陶器	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

2)役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする。

3)タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）

□11.2.3 張付け用材料

1)既成調合モルタル

保水率（%）	単位容積質量（kg/l）	接着強さ（N/mm²） 標準時	接着強さ（N/mm²） 温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm²）
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

2)接着剤のホルムアルデヒド放散量　※　F ☆☆☆☆　・

3節　陶磁器質タイル張り

□11.3.3 施工

1)壁タイル張りの工法

a. 内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・積上げ張り

b. 外装タイル　※密着張り　・マスク張り　・改良圧着張り

躯体面の処理　※行う　・行わない

躯体面の処理を行なう場合の処理方法は下記による。　但し、目荒らしの状態は事前に監理者の承諾を受ける。

※超高圧洗浄工法：吐出圧150N/mm²、ノズル距離5cm以内で洗浄を行う。

・高圧洗浄工法：吐出水圧50N/mm²程度、ノズル距離10cm以内、且つ運行速度3～5分/m²で洗浄を行う。

下地モルタル塗り　※標仕15.2.2～15.2.5による

タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）

4節　陶磁器質タイル型枠先付け

□11.4.2 タイル型枠先付けの種類

1)陶磁器質タイル型枠先付け工法

種別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※タイルシート法	・小ロタイル	※標仕6.9.3(b)(2)の合板型枠B-C又は金属製タイル先付け用パネル
・目地棟法	・二丁掛タイル	
・桟木法	大型タイル	・

2)まぐさ部分のタイルは、水切りタイルを使用する。（水切り目地を設ける）

3)バラペット天端及び窓台等を後張りとする場合は、その施工法につき監理者の承諾を受ける。

4)躯体へのタイル打込み時のコンクリート増し打ち寸法は（※25mm　・30mm）とする。

5節　プレキャストコンクリートのタイル打込み工法

1)プレキャストコンクリートへのタイル打込み工法

施工個所	適用タイル形状寸法（mm）	工法

2)打込み工法については、JASS19「陶磁器タイル張り工事第2節プレキャストコンクリート工法」による。

12章　木工事

2節　材料

■12.2.1 木材

1)木材の種別は下記による。　※標仕12.2.1による　・市販品

2)木材の品質 G　・木材の含水率　※A種　・B種

※標仕12.2.1による　・市販品

3)樹種　※　構仕表12.2.3による　）

○代用樹種を適用しない箇所（1階：多目的ホール壁　ヒノキ（無垢）

他、図面に記載のある造作材　）

■12.2.2 集成材等 G

1)集成材の規格・品質及び芯材の種類は下記による。

品名	規格・品質	芯材の種類	備考
ⓐ集成材	※一般材	○からまつ ○杉	使い分けは構造図による。
○構造用集成材（LVL）	・1種※　2種・　3種	○からまつ ○杉	
○造作用集成材	※1等・　2等	○図示なき場合は タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等・　2等	・	

LVL、集成材については主要構造部でないものをグリーン購入法 G 適用とする。

ホルムアルデヒドの放散量　※　F ☆☆☆☆　・

■12.2.6 接着剤

1)　ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量

※　F ☆☆☆☆　接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。

■12.2.8 防腐処理

1)防腐・防蟻処理を行う箇所（　）

a. 防腐処理　※行う（※図示　・　）

■12.2.9 防蟻処理

b. 防蟻処理　○行う（※図示　・　）

c. 防腐、防蟻処理の種類、品質　表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督員の承諾を受ける。

7節　床板張り

■12.7.1 樹種

■12.7.2 工法

1)フローリング及び縁甲板張り床の種類

	※無し		
下張り用床板	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
		・板張り	
床板	※単層フローリング（標仕19.5.2による）		ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき　・

床下からの吸湿防止対策として床材下部吸湿側に吸湿防止剤を塗布すること

下地合板のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・F☆☆☆

13章 屋根及びとい工事

1節　一般事項

■13.1.2 基本要求品質

1)屋根工事は専門工事業者による責任施工とし、工事完成引渡時には請負者と施工者、材料メーカーの３者連名とし、保証書を発注者及び監理者に提出する。

2)屋根材の瑕疵保証期間

・長尺金属板屋根　※10年　・

○折板屋根　※10年　・

・ステンレス防水・チタン防水　※10年　・

2節　長尺金属板葺

□13.2.2 材料

1)長尺金属板屋根の形式及び材料の種類は下記による。

屋根葺き形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・	※　塗装溶融　55%　アルミニウム－亜鉛合金メッキ鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150）・	※0.4　・

3節　折板葺

■13.3.2 材料

1)折板屋根の形式、形状、材料の規格及び断熱・耐火性能は下記による。（採用場所：屋上、太陽光パネル・太陽光集熱パネル下地等）

形式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　160　）山ピッチ（　500　）板厚　※0.6　○0.8
材料（規格等）	※ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金メッキ鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150）・
軒先面戸板	※　有り　・無し
断熱材	※　有り（種別：　無機質　厚さ：　mm　）　・無し
耐火性能	※　30　分耐火　・無し

2)折板の断熱材に吹付けロックウール等の吹付けは、脱落の危険性があるため行わない。

5節　とい

■13.5.2 材料
■13.5.3 工法

1)とい、ルーフドレイン等の材種は下記による。

		材種	摘要
縦とい 横引き管	屋内	※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管	
縦とい 横引き管	屋外	※配管用鋼管　・ステンレス管 ・硬質塩化ビニル管	
ルーフドレイン		※鋳鉄製　・ステンレス製	・ハット型とする
オーバーフロー管		※ステンレス製　・	

2)防露材　a. 材料　※標仕［表13.5.4］による。　・

b. 防露材のホルムアルデヒド放散量　※　F ☆☆☆☆　・

3)鋼管製といの防露巻き　a. 材料、施工法　※標仕［表13.5.5］による。　・

4)縦といは各階毎に床スラブにといの自重受けを設置する。

5)といの曲がり部分には必ず掃除口を設ける。掃除口はその下に天井等がある場合は、点検口を設け点検可能とする。

6)落ち葉などによりルーフドレインが詰まる恐れのある部分は、ステンレス製カゴ等を設け、詰まり防止策を講じる。

6節　ステンレス防水・チタン防水

□13.6.2 材料
□13.6.3 工法

1)ステンレス防水・チタン防水の材料　※下記による　・設計図による

施工個所	種別	板厚（mm）	成型材の幅（mm）	表面仕上	摘要
	・ステンレス　304 ・ステンレス　316 ・チタン	※　0.4 ・	・　450 ・	※2D仕上 ・自然発色 ・	

2)工法は、ステンレスシート及びチタンシート溶接工法とし、製造者の指定する専門工事業者が施工する。

3)下葺き材　※　軟質発泡ポリエチレンシート　4t　・ゴムアスシート1t

・　軟質発泡ポリエチレンシート　4t　・アスファルトルーフィング940

・　軟質発泡ポリエチレンシート　4t

・　設計図による

4)断熱材

施工個所	断熱材の種別	板厚（mm）	摘要

5)耐火性能　※　30　分耐火　・なし

14章　金属工事

2節　表面処理

■14.2.1 ステンレスの表面仕上

1)ステンレスの表面仕上は下記による。

種類	施工箇所
※HL程度・No.2B程度・鏡面仕上 ○3S（パイプレーション）	下記以外の見え掛かり部分全て　1階：風除室（1）（2）等

■14.2.2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

1)アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別・種類は次による。

種別	表面処理	規格	適用個所	皮膜厚又は塗装の種類（μm）	色調など
・A-1 種	無着色陽極酸化皮膜	JIS H 8601	アルミカーテンウォール等	※AA15 ・AA20	※ シルバー ・
・A-2 種	着色陽極酸化皮膜			※AA15 ・AA20	※ ステンカラー ・ブラウン系 ・ブラック
○B-1 種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H 8602	外部アルミサッシ、外装材等	・A（9+12）※B（9+7）・C（6+7）	※ シルバー（マット処理）
・B-2 種	着色陽極酸化塗装複合皮膜			※P（6+15）	※ ステンカラー ・ブラウン系 ・ブラック
・C-1 種	無着色陽極酸化皮膜	JIS H 8601	内部アルミサッシ、カーテンボックス等内装材	※AA6 ・AA10	・
・C-2 種	着色陽極酸化皮膜			※AA6 ・AA10	・
・D 種	化成皮膜の上に塗装	JIS H 4001	内装材及び屋根材		・

2)臨海工業地帯及び海岸地域など塩害の影響を受け、且つ、工場や交通機関等による汚染物質の影響を受ける地域の場合の表面処理仕様は、陽極酸化皮膜の場合AA20以上、陽極酸化塗装複合皮膜の場合A種、着色塗膜の場合１種（ふっ素樹脂又はアクリルシリコン樹脂系塗料で塗膜厚みが20μm以上のもの）

3)室内環境で極度に湿度の高い風呂場、厨房及び便所等に使用する場合の表面処理仕様は、陽極酸化皮膜の場合AA15以上、陽極酸化塗装複合皮膜の場合B種又はP種、着色皮膜の場合２種（アクリル樹脂塗料で電着塗装、浸せき塗装を用いる塗装で塗膜厚み15μm以上、又はポリウレタン樹脂、アクリル樹脂系塗料でスプレー塗装、静電塗装を用いる塗装で塗膜厚み20μm以上のもの）

■14.2.4 接触腐食防止処理

アルミニウムがコンクリート・モルタル・吹付けロックウールなどのアルカリ性材料に接触する場合、及び異種金属同志の接触腐食防止処理は下記による。ボルト・小ねじ・釘・座金などの取付金物でステンレス・アルミ・鋼などと接触するものは、ステンレス製とする。

条件		接触腐食防止処理
アルミニウム ｜ ｜ アルカリ性材料	アルミニウム側	陽極酸化皮膜（9μ以上）+クリヤー処理（7μ以上）又は合成樹脂パッキング又は塗装（養生用クリヤーなど20μ以上）塗装は耐アルカリ塗料とする
鉄 ｜ ｜ アルミニウム	鉄側	亜鉛めっき又は錆止め塗装2回塗（30μ以上）
	アルミニウム側	陽極酸化皮膜（9μ以上）+クリヤー処理（7μ以上）又は合成樹脂パッキング又は塗装（養生用クリヤーなど20μ以上）
アルミニウム ｜ ｜ ステンレス	アルミニウム側	陽極酸化皮膜（9μ以上）+クリヤー処理（7μ以上）又は合成樹脂パッキング又は塗装（養生用クリヤーなど20μ以上）
	ステンレス側	無処理
ステンレス ｜ ｜ 銅	ステンレス側	無処理
	銅側	無処理
ステンレス ｜ ｜ ステンレス	ステンレス側	無処理 但し、海岸、工業地域は塗装（養生用クリヤーなど20μ以上）又は合成樹脂パッキング
チタン	チタン側	無処理
チタン ｜ ｜ 鉄・アルミニウム	チタン側	無処理 錆止め塗装2回塗（30μ以上）・陽極酸化皮膜（9μ以上）＋ クリヤー塗装（7μ以上）又は合成樹脂パッキング
	鉄・アルミニウム側	

4節　軽量鉄骨天井下地

■14.4.2 材料

1)吊材と野縁は竪固にハンガーで固定し、更に野縁受けと野縁も竪固にクリップで固定し脱落を防止する。特に、ブレース廻りや、天井の周辺は補強ハンガーや補強クリップ受を使用する。

2)屋外天井、天井裏に外気が流入する部位、プール・浴室・脱衣室等の湿気が多い室の、天井下地高鋼食仕様は次による。

室名・部位	仕様	備考
○屋外天井、天井裏に外気が流入する部位	ステンレス（SUS304）	吊ボルト共
・プール・浴室・脱衣室	ステンレス（SUS316）	吊ボルト共
○屋外天井	高耐食鋼板	吊ボルトはステンレス（SUS304）
・		

注）各所固定用ビスは部材同等以上の耐食性を有するものとする。

3)アルミスパンドレル・パネルなどの金属製天井材の締結材は、ステンレス製（※200mm以内）又は同等の耐食性を有するものとする。金属製重量天井の場合は、SUSボルトを用い、吊下式の場合はダブルナット留めなどの緩み止め対策を施す。

■14.4.4 工法

1)下がり壁・折上げ天井など、天井高さに300mm以下の段違いがある場合は、野縁受けと同材又は1-30×30×3mm程度以上の部材で、間隔2.7m程度に補強振れ止め（ブレース）を設けて補強し、一体化する。段差が300mmを超える場合は設計図による。

2)天井のふところが1.5m以上の場合は、縦横間隔1.8m程度で均等に0-38×12×1.2mm以上を用いて水平つなぎ材を設け、吊りボルトの補強を行う。

3)耐震補強

a. 天井下地には耐震ブレースを設ける。耐震ブレースはリップ付チャンネル0-25×19×5×1.0mm以上を用いて、V字型のブレースをバランス良く配置する。N字型のブレースの場合は、ブレース下端近傍の吊ボルトを□-19×19×1.2mmとする。在来鋼製下地天井の場合、野縁方向のブレースは野縁受材にてビスで固定し、野縁受方向のブレースは、増設した野縁受に固定する。システム天井の場合は、吊ボルト下のブレース取付け用のハンガー（地震時の変形を少なくしたもの）に固定する。一対のブレースの負担面積は、天井の荷重や天井の工法に応じて壁との許容クリアランスを満足するように定め、計算書を作成し監理者を経由して監督員に提出する。

b. ブレースの設置角度は30度以上60度以下を原則とする。ブレースは圧縮分力に留意し、圧縮材の検討を行う。

c. システム天井で防煙垂壁やパーティションが取り付く場合、吊ボルトのピッチを狭くし適切なブレースで補強する。

4)上記のほか、日本建築学会「非構造部材の耐震設計施工指針・同解説及び耐震設計施工要領」の9章天井を準用する。

5)屋外の軒天井及びピロティー天井については、強風対策として以下の天井補強を行う。但し、この仕様は天井面の風圧力が4,000N/m²迄で、且つ、天井ふところ寸法が1,500mm以内の場合とし、それ以上となる場合は計算により補強を追加する。

a. 野縁受け、吊りボルト及びインサートの間隔は600mm以下とし、周辺部は端から100mm以内とする。

b. 野縁の間隔は250mm以下とする。

c. 野縁は耐風圧型（野縁、クリップ、ジョイナー等）を使用する。

d. 吹上げによる吊りボルトの座屈防止策として全数角パイプ（□-19×19×1.2）にて補強する。

e. 天井ボードの下地材に対する留付け間隔は100mm程度とする。

■14.4.5 大規模天井等

1)一区画の面積が500m²を超える大規模天井等については14.4.4による他、耐震性能検討書を作成し監督員の承諾を受ける。

天井の設計震度　：　※　1G　・　天井を有する階の階間変形角　：　※　1/100　・

検討に際しては、天井仕上材・下地材のほか天井に支持された間仕切壁の重量の1/2を見込むこと。

2)天井仕上材・下地材と壁面とのクリアランス　：・30mm　※50mm　・100mm　・設計図による。

3)天井高さに300mm以上の段差がある天井同士の接合：※下地材も含めたクリアランスを設ける。　・14.4.4による一体化

4)天井内及び天井面に設置するダクト・照明器具等の設備機器は、天井材と独立させて構造体から支持しブレースを設ける と共に、地震時に天井吊材・仕上材等を破損・脱落させないよう十分なクリアランスを確保する。又、天井面の開口部の周辺には補強材を設ける。

6節　金属成形板張り

■14.6.2 材料

1)材料

形状	製法	材種	寸法（mm）	厚（mm）	表面処理
・スパンドレル形	・押し ・ロール	※アルミ ニウム製			・B-1 種 ・B-2 種（色　）
○パネル形	○プレス ・折り曲げ	○アルミ	○図示 西側目除けパネル	○図示	○FU-BE ・

2)伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工個所は図示）

3)外部の金属板の裏面には結露防止材・雨音防止材5mmを吹付ける。

7節　アルミニウム製笠木

■14.7.2 材料

1)種類　（既製品オーブン笠木）

種類	板厚（mm）	表面処理	固定間隔	備考
○ 250 形	1.6 以上	※ A-1 種もしくはB-1種 ・A-2 種（色　）	※1.2.2[施工計画]による品質計画で定める	○隅角部及び突き当たり部などの役物は製造者の仕様による。
・ 300 形	1.8 以上	・B-2 種（色　）		○押出成形板部の笠木
・ 350 形	2.0 以上	・		
○ 60 形	1.6 以上			

※ACW（アルミカーテンウォール）部の笠木はアルミパネル曲げ加工とする。

埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課							特記 ・ ・ ・ ・
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長							

株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

	資格/番号　記名　捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号　石井 靖人			
担当設計者	一級建築士 第219846号　原田 聡			

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容：特記仕様書３

縮尺：N.S.

図面番号：1003

区分：建築意匠図

8節　手すり及びタラップ

■14.8.2 手すり
■14.8.3 タラップ

1)種類と材料種別、表面処理　図示による。図示に記載のないも物は特記による。

種類	材料の種別	表面処理	備考
・手すり	※　ステンレスSUS304 ・	※ HL　仕上	
	・鉄	外部　※溶融亜鉛めっき　C 種　・ 内部　※電気亜鉛めっき　E 種　・	
・タラップ	※　ステンレスSUS304 ・	※研磨なし　・	
	・鉄	外部　※溶融亜鉛めっき　C 種　・	

15章　左官工事

2節　モルタル塗り

■15.2.2 材料

1)吸水調整材
　製造所　※監督員の承諾する製造所
　・
2)防水材（防水モルタル塗りの混入材）
　製造所　※監督員の承諾する製造所

3節　床コンクリート直均し仕上

■15.3.2

1)下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による。

施工箇所	平坦さ（mm）	備考
フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
フリーアクセスフロア（溝構法）範囲	3mにつき7 以下	

5節　仕上塗材仕上げ

■15.5.2 材料

1)仕上塗材の種類は図示なき場合、下記による。

種類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材E	砂壁状じゅらく
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状・ゆず肌状・さざ波状
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状・さざ波状・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
	・内装薄塗材W	京壁状じゅらく
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材C	スタッコ状
	・内装厚塗材C	・吹放し凸部処理
	・外装厚塗材E	・ひき起し凸部処理
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状・凸部処理・凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	耐候性　※ 3 種　・
	・複層塗材SI	上塗材
	・複層塗材E	溶剤　※水系　・溶剤系
	※複層塗材RE	樹脂　※アクリル系
	・複層塗材RS	・ふっ素系
	・防水形複層塗材CE	外観　※つや有り　・つや無し
	・防水形複層塗材E	・メタリック
	・防水形複層塗材RE	
	・防水形複層塗材RS	防水形の増塗材　※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付け用軽量骨材	砂壁状
	・こて塗用軽量骨材	平坦状

2)建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量　※ F ☆☆☆☆　・
3)防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする。

■15.6.3 せっこうプラスター塗り

1)壁の場合の調合及び塗厚は、表15.6.1 により　○印の加工を行う。
○せっこうラスボード下地

16章　建具工事

1節　一般事項

□16.1.4 見本の製作等

1)見本の製作等
　・特殊な建具の仮組（建具符号：　　）

■16.1.7 ガラリ

1)外部に面するガラリには、ダクト接続の有無に関わらず、ガラリ内部にステンレス製防鳥網を設置する。
2)ガラリ内部にダクト接続がない場合、ガラリ部から吹き込む雨水を受けるための防水パンをサッシ下枠部に設置する。
　防水パンの内部は外側に向かって1/5程度の水勾配をつける。
3)ダクトが接続されるガラリは接続枠付きとし、枠裏面（室内側）に結露防止材を施す。
4)給排気ガラリの面積は、計画風量に基づき開口率30%、ガラリ通過風速3m/secとして算出する。

2節　アルミニウム製建具

■16.2.2 性能及び構造

1)外部建具の性能は下記による。

種別	耐風圧性能	気密性	水密性	遮音性	枠見込み（mm）	施工箇所
○ A 種	○ S -4	※ A -3	※ W -4		※70	※図示　・
○ B 種	○ S -5	・	・	○ T -1	・	※図示　・
・ C 種	・ S -6	・ A -4	・ W -5	・ T-3	・ 100　(90)・120	※図示　・

2)施工者は耐風圧性能について、方立強度計算書を作成し、監理者を経由して監督員に提出する。
3)断熱ドアセットの断熱性能の適用は次による。
　・ 適用する ○H-1　・H-2　・H-3　・H-4 ）　・ 適用しない
4)耐震ドアセットの面内変形追随性（耐震性）の適用は次による。
　・適用する（・D-1　・D-2　※D-3 ）　・ 適用しない
5)気密性能、水密性能、遮音性能、断熱性能及び面内変形追随性能については、JISA4706及び4702に適合することの証明書を監理者を経由して監督員に提出する。
6)製品の寸法許容差
　※JIS A 4702(ドアセット)又はJIS A 4706(サッシ)による
　・製造所標準製作規定寸法許容差による

■16.2.3 材料

1)防虫網（4階中庭 引き違い窓のみ）
　網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
　形式　※外部可動式　・固定式

■16.2.4 形状及び仕上げ

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別・種類は14章「金属工事」の14.2.2による。

3節　鋼製建具

■16.3.2 性能及び構造

1)簡易気密型ドアセットの気密性、水密性の適用
　○適用する　・適用しない
2)外部に面する鋼製建具の耐風圧性能、気密性能及び水密性能の適用は次による。
　○ 適用する（・A種・B種・C種・その他（S-　、A-　、W-　））　・ 適用しない
3)防音ドアセットの遮音性能の適用は次による。
　※ 建具表による　・ 適用しない
4)断熱ドアセットの断熱性能の適用は次による。
　○ 適用する（○H-1　・H-2　・H-3　・H-4 ）　・ 適用しない
5)耐震ドアセットの面内変形追随性（耐震性）の適用は次による。
　・適用する（・D-1　・D-2　※D-3 ）　・ 適用しない
6)特定防火設備の戸　○適用あり（図示による）
7)製品の寸法許容差
※JIS A 4702(ドアセット)又はJIS A 4706(サッシ)による
　・製造所標準製作規定寸法許容差による

4節　鋼製軽量建具

■16.4.2 性能及び構造

1)簡易気密型ドアセットの気密性の適用
　○適用する（※A－3）　・適用しない

5節　ステンレス製建具

■16.5.2 性能及び構造

1)簡易気密型ドアセットの気密性、水密性の適用
　・適用する　○適用しない
　耐風圧性能はS-5とする

■16.5.4 形状及び仕上げ

1)表面仕上げ　※ HL　程度　・鏡面仕上げ　○3S（バイブレーション）
2)特定防火設備の戸　・適用あり

■16.5.5 工法

1)曲げ加工　※普通曲げ　○角出し曲げ（補強あり）
2)製品の寸法許容差
※JIS A 4702(ドアセット)又はJIS A 4706(サッシ)による
　・製造所標準製作規定寸法許容差による

6節　木製建具

□16.6.2 材料

1)かまち戸の樹種　かまち（　　）、鏡板（　　）
2)ふすまの上張り
　※新鳥の子又はビニル紙程度（押入れ等の裏面は除く）　・鳥の子
3)建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量：　※F☆☆☆☆　・

7節　建具用金物

■16.7.2 材質、形状及び寸法

1)建具用金物の種類及び材質は標仕表16.7.1及び建具表による。
2)使用する建具用金物類については、事前に監理者に見本を提出し、監督員の承諾を受ける。
3)耐震ドアセットを適用する場合、JISA4702の等級に応じ地震時の変形に追随可能な耐震金物（丁番、ヒンジ等）を使用する。

■16.7.4 鍵

1)マスターキー　※製作する　・製作しない

8節　自動ドア開閉装置

■16.8.2 性能

1)スライディング自動ドア開閉装置のセンサー検出範囲は、両方向通行の場合は次によることとし、標仕表16.8.1の数値は適用しない。
　a. 幅方向は自動ドアの有効幅に左右おのおの500mmを加えた寸法以上とする。
　b. 奥行き方向は戸中心より1000mm以上とする。
　c. 戸際において斜めからの飛び込みを防止できるよう、センサー範囲を設定する。
2)巻き込まれ防止、衝突防止対策は次による。
　防止対策を　※設ける　・設けない
　対策の範囲　○全てのドア　※設計図による
3)防止策の種別
　・ 天井までのガラスサッシ設置方式
　・ 手摺ガード方式
　○ 戸尻感知センサー方式
　・ 設計図による

■16.8.3 機構

1)自動ドアの開閉方法及びセンサーの種類は下記による。

開閉方法	センサーの種類		
※スライディングドア	・マットスイッチ	・電子マットスイッチ	○タッチスイッチ
・スイングドア	※光線スイッチ	・音波スイッチ	・熱線スイッチ　・光電スイッチ

2)凍結防止措置　：　・行う　○行わない

9節　自閉式上吊引戸装置

■16.9.3 性能

1)自閉式上吊引戸装置の品質規格は下記による。
　※ 標仕表16.9.1による　・製造所標準仕様による

10節　重量シャッター

■16.10.2 形状及び機構

1)シャッターの種類は下記による。

シャッターの種類	性能
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　　）N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　　）N/㎡
○屋内用防火シャッター	
○屋内用防煙シャッター	

2)開閉機能　※上部電動式（手動併用）・上部手動式
3)安全装置は避難時停止装置とする。
4)危害防止機構
　※ 障害物感知装置（自動閉鎖型）　・シャッターの二段降下方式
感知器からの信号を受けて自動的に閉鎖する防火または防煙シャッターには、「防火シャッター閉鎖作動時の危害防止ガイドライン」（社）日本シャッター工業会　平成10年10月）における危害防止機構として、当該シャッター最下部の座板に設置する感知板が人に接触すると同時に閉鎖動作を停止させ、その後、人がいなくなった時に再び降下を開始し、完全に閉鎖させるよう自動閉鎖装置へ信号を送る障害物感知装置を設ける。
ただし、吹き抜けに面する等、シャッター降下中のくぐり抜け行動が想定されないものは除く。
危害防止機構の不設置箇所　※図示　・
5)一般重量シャッターのシャッターケース
　障害物感知装置（自動閉鎖型）
※設ける　・設けない

11節　軽量シャッター

□16.11.2 形状及び機構

1)開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）
2)スラット
　材質　：※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・鋼板　・ステンレスグリルシャッター
　形状　：※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　・グリルシャッター
3)ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）
4)耐風圧性能　（　　）N/㎡

12節　オーバーヘッドドア

□16.12.2 形状及び機構

1)オーバーヘッドドアの種別は下記による。

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板（SUS304）
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	
		・バーチカル形	

2)耐風圧性能（　　）N/㎡

13節　ガラス

■16.13.2 材料

1)板ガラスの種類は建具表による。
2)ガラス留め材の種別は下記による。

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

　防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
3)複層ガラスは建設地の気圧条件を十分考慮した製作を行う。気圧差によりガラスが変形した場合は無償で交換する。
4)強化ガラスを使用する場合は、全て下記による。
　a. 小口の保護　※行う　・行わない
　b. 全てヒートソーク処理を行う。
　c. 海外製品を使用する場合は、購負者はヒートソーク処理に立会い、その検査報告書を監理者に提出し、監督員の承諾を受ける。
　d. 完成後、原因不明又は異物混入などにより自然破壊した場合は、無償で交換する。この場合の保証期間は10年とする。
5)倍強度ガラスはJIS R 3222に規定する外観、反り及び表面圧縮応力度（20MN/㎡以上、且つ60MN/㎡以下）に適合することの証明書を監理者を経由して監督員に提出する。海外製品の場合、購負者はこの試験に立会い、報告書を監理者に提出し監督員の承諾を受ける。又、完成後、原因不明又は異物混入などにより自然破壊した場合は、無償で交換する。
　この場合の保証期間は10年とする。

□16.13.5 ガラスブロック積み

1)ガラスブロックの表面形状、寸法、厚さ及び色等は下記による。

表面形状	寸法（mm）	厚さ	色調	防火性能
・正方形	・	・	※クリア	※なし
・長方形			・乳白	・特定防火戸設備

■16.13.3 ガラス溝の寸法、形状等

1)板ガラスを嵌め込む溝の大きさ
　標仕16.13.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、（社）日本建築学会JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監理者を経由して監督員に提出する。

■16.13.6 ガラス用フィルム

1)ガラス用フィルムの種類は下記による。

名称	種類	張り面	性能値
※飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り　・両面張り	飛散防止率D1
・			

　JIS A 5759に規定する性能試験に合格したことの証明書を監理者を経由して監督員に提出する。

17章　カーテンウォール工事

1節　一般事項

■17.1.1 適用範囲

1)設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。

■17.1.3 性能

1)耐風圧性能
　※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号及び1458号に定められた風圧力に対し、安全であること。
　・ 正圧（　　）N/m²、負圧（　　）N/m²に対し、安全であること。
主要部材の目標性能値

支点間距離（h）	たわみ量	状態
※ 4m以下	※± (1/150) ×hかつ絶対量 20mm以下	※各部の破損、残留変形並びに有害な変形が起こらないこと
○ 4mを超える	※± (1/200) ×hかつ絶対量	

2)耐震性能　設計用震度　水平方向（KH）：※1.0　・　垂直方向（KV）：※0.5　・
　層間変形角と目標性能

構造種別	設計用層間変形角	目標性能	備考
○ S 造	※±1/300	部材になんら損傷が発生しない	層間変位の最小値12mm
	※±1/150	部材に破損、有害な変形、ひずみの残留などがなどが発生しない。（シーリング材の補修程度）	層間変位の最小値25mm
	※±1/100	部材の脱落、ガラスの破損が発生しない	
RC・SRC造	※±1/200	部材の脱落、ガラスの破損及び有害なひずみが起こらない。（シーリング材の補修程度）	

3) 水密性能　○W-5
　JIS A 1517に規定する降雨条件下で、下記の風圧力（上・下限±50%振動圧）において、室内側に漏水が起こらないこと。

可動部	※650Pa　○300Pa　・	はめ殺し部	※正圧最大風圧力の1/2を平均圧力とする

4) 気密性能

部　位	内外圧力差（Pa）	通気量（m³/m h）	備考
可動部	10において	0.5 以下	A-4
	100において	5.0 以下	
はめ殺し部	10において	0.1 以下	A-4
	100において	1.0 以下	

5) 耐火性能
　建築基準法施行令第107条及び112条10項による他、国土交通省技術的助言「カーテンウォールの構造方法について」（平成20年国住指第619号）によることととし、耐火被覆材については認定証の写しを監理者を経由して監督員に提出する。
　火煙防止層及び層間塞ぎは法令に基づき、剥離・落下の起こらない耐火措置を施す。
　PCカーテンウォールのパネル接合目地には、耐火認定品の目地材を充填する。
6) 耐温度差性能
　カーテンウォールの各部材は、下記の年間温度差に対し、性能・構造・美観上有害な欠陥が発生しないこと。

部材の種別	暗色の金属材	明色の金属材	その他の金属材	備考
部材の年間温度差	※80℃　○70℃	※70℃　○55℃	※60℃　・	

7) 遮音性能
　可動部分を含めた総合透過損失がガラスの遮音性能を下回らないものとする。
　可動部分のない基準階標準パネル部分の平均透過損失（オクターブバンド平均）：　※30db以上　○30db同等
8) 断熱性能　基準階標準パネル部分の平均熱貫流抵抗値（R）：　※0.3 m²・K/W以上　○H-1
9) 耐久性能
　一般地域において通常の保守管理されたカーテンウォール部材（外部仕上、シーリング材、可動部エアタイト部材等）は、完成引渡し後10年間は必要な性能を保持し、有害な損傷がなく、大がかりな補修を要しないものとする。
10) 発音防止性能
　カーテンウォールは予想される風圧力・躯体の変形・外気温の変化などによる発音・金属摩擦音の発生を最小にする。
　カーテンウォール部材が内装下地材、内装材に近接する場合は、外装部材変形による影響を受けないよう緩切りを行い、熱伸縮・層間変位・風圧力などによる異音の発生を防止する。完成後の異音発生については、購負者が責任を負う。

2節　メタルカーテンウォール

■17.2.2 材料

1)カーテンウォール材料の種類

種類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

2)カーテンウォール方式　○ 方立方式　・ バックマリオン方式　（・単純２辺支持構法　・ SSG構法）
　・ スパンドレル方式　・ パネル方式　・ 小型パネル組合せ方式（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
3)シーリング材及びガラス取付け材料（下表以外は標仕表9.6.1による）

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス	SR-1	シリコーン系	9030G
	石、タイル	MS-2	変性シリコーン系	9030
ガラス	ガラス	SR-1	シリコーン系	9030G

4)構造用ガスケット　※適用しない　・適用する（施工箇所：図示　・　）
5)断熱材　※適用しない　・適用する（種類：　厚さ：　mm、施工箇所：※図示）

■17.2.3 形状及び仕上げ

1)製品の寸法許容差　※ 標仕表17.2.1による　・製造所標準製作規定寸法許容差による
2)アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別・種類は14章「金属工事」の14.2.2による。
3)製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督員の承諾を受ける。

3節　PC カーテンウォール

□17.3.2 材料

1)コンクリートの種類及び品質は下記による。
　※ 標仕17.3.2による
　・ 下表による。但し、下表以外は標仕17.3.2による

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）
※ 軽量コンクリート1種 ・	※ 30N/mm2 ・	※ 18cm以下 ・ 8cm以下

2)鉄筋　※ SD295A　・
3)取付け金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質

金物種類及び部位	内部	外部
PC版打込み金物	※ E 種　・	※ A 種　・
PC版打込み取付けボルト	※ E 種	※ステンレスボルト
2次ファスナー	※ E 種　・	※ A 種　・
取付けボルト	※ E 種　・	※ A 種　・
レベル調整ボルト	※ E 種　・	※ A 種　・
	・	・

　上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による。
　ファスナーが室内に露出することがないこと。
4)シーリング材

施工箇所	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地	MS-2	変性シリコーン系	9030

5)断熱材
　※適用しない　・適用する（種類：　厚さ：　mm　、施工箇所：※図示　）
6) 製品の寸法許容差
　※標仕表17.3.1による
　・製造所標準製作規定寸法許容差による

□17.3.3 形状及び仕上げ

1)表面仕上げ　（　　）

■17.3.7 耐火被覆の施工

1)耐火材料　※メタルカーテンウォール部（スパンドレル部）について準用すること。

施工部位	種別	規格等
○ファスナー部（スパンドレル部）	半湿式ロックウール吹付	
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
○層間塞ぎ	半湿式ロックウール t 50 吹付+St PL t 1.6下地	

18章　塗装工事

1節　一般事項

■18.1.3 材料

1)屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする。
2)建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
　※ F ☆☆☆☆　・
3)塗装業者　※日本塗装工業会の会員　・監督員の承諾する業者

■18.1.8 鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ及び表面仕上げ塗装の種別・適用

1)鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ及び表面仕上げ塗装の種別・適用部位は図示なき場合、下記による。

下　地	部　位	素地ごしらえ又は下塗り	仕上げ塗装の種別
鉄鋼面	・天井のない鉄骨露出部 ・	※錆止め塗装	・ ・
亜鉛めっき鋼面	・室内プール上屋鉄骨 ・外部鉄骨階段 ・	※スイープブラスト処理又はリン酸塩処理の上亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料	・2液性ポリウレタンエナメル塗り ・
	・海岸近くの塩害を受ける場所 ・ ・	※スイープブラスト処理又はリン酸塩処理の上亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料	・常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り ・
	○外部鉄骨階段(1)～(3) ・	※亜鉛めっき鋼面をリン酸塩処理したものを仕上げ面とする ・	

2節　素地ごしらえ

■18.2.7 せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえ

1)せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別

	素地ごしらえの種別
せっこうボード面継目処理工法の場合	※ A 種（パテしごき・研磨あり）　・ B 種
その他の場合	・ A 種　※ B 種

埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課			
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長			

特記　・

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容：特記仕様書４
図面番号：1004
縮尺：N.S.
区分：建築意匠図

19 章　内装工事

1 節　一般事項

■19.1.3 接着剤

1)内装工事に用いる接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※Ｆ☆☆☆　　・
2)接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

2 節　ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル

■19.2.2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル [G]

1)ビニル床シートの種類、記号、色柄、厚さ等は図示なき場合、下記による。

種類	JISの記号	色柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※ NC、NF　・	※無地　・マーブル柄	図示
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	図示
・防滑性のあるもの		・柄物	図示
・耐薬品性のあるもの		・柄物	図示

工法　　※熱溶接工法　　・突付け（施工箇所：　　）

2)ビニル床タイルの種類、厚さ等は下記による。

種類	JISの記号	厚さ（mm）	備考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※ 2	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	CTS	・	
⊙ホモジニアスビニル床タイル	HT	・	

3)帯電防止床タイル張り

種類	厚さ（mm）	性能
・コンポジションビニル床タイル	※ 2.0　・	体積抵抗値（JISK6911 による）1.0×10^{9} Ω以下、又は、漏洩抵抗値（JISA1454 による）1.0×10^{10} Ω未満
・ホモジニアスビニル床タイル	※ 4.0　又は　4.5	
・	・	
・	・	

4)視覚障害者用床タイルの種類、形状は下記による
ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする

屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※　300　・　）
・ レジンコンクリート製　⊙ステンレス製
屋　外　※レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（※　300　・　）

5)ビニル幅木の高さは下記による。

幅木高さ（mm）	※ 60　・ 75

3 節　カーペット敷き

■19.3.3 材料
■19.3.4 工法

1)織じゅうたんの種別、パイル形状及び色柄等は下記による。

種別	パイル形状	色柄等	備考
・Ａ 種	・カットパイル	※無地	
・Ｂ 種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・Ｃ 種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性：※人体帯電圧　　3kv 以下　　・

2)タフテッドカーペットのパイル形状、パイル長及び工法は下記による。

パイル形状	パイル長（mm）	工法	備考
・カットパイル	※ 5～7　・	※全面接着工法	
・ループパイル	※ 4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※ 4　・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性：※人体帯電圧　　3kv 以下　　・

3)タイルカーペットの種別、寸法及び工法は下記による。
a. 種別、寸法　※ループパイル　500×500　総厚さ6.5mm　⊙カットパイル ※場所は図示による
b. タイルカーペット及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆　　・
c. コンクリート又はモルタル面にタイルカーペットを直張りする場合は、下地を十分乾燥させ（表面含水率8%以下）施工する。
d. 表面含水率が8%を超える場合は、異臭発生防止のため可塑剤を含まないタイルカーペットを使用するか、又は下地の上に防湿シート又はビニル床タイルを捨張りし、下地からのアルカリ水を遮断してからタイルカーペットを施工する。

4 節　合成樹脂塗床

■19.4.2 材料
■19.4.3 工法

1)合成樹脂塗床の種別及び仕上げの種類は下記による。

種別	仕上げの種類
⊙ 防塵用水性アクリル樹脂塗床材	コーティング（ローラー刷毛塗）
	※標準色　・
	塗布量　主剤2回塗、総塗布量　0.25kg/㎡以上とする
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
⊙エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ
	・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑）
	・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑）
	・防滑仕上げ

2)ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※Ｆ☆☆☆　　・

5 節　フローリング張り

■19.5.2 材料
■19.5.3 工法一般
■19.5.7 仕上げ

1) フローリングの種別、樹種、工法及び仕上げ塗装等は下記による。

種別	樹種	工法	仕上げ塗装等	備考
※天然木フローリング [G]	※なら ・ひのき ⊙アカシア	※釘どめ工法（C種） ・ ※釘どめ工法（C種）	※塗装品 ・ ※塗装品	重歩行用 越井木材工業インテリアアカシア同等品
⊙再生木フローリング	⊙木くず+プラスチック	⊙直貼り工法	⊙溝付	エコマーク認定品
⊙再生木フローリング	⊙木くず+プラスチック	⊙鋼製軸組床工法	⊙溝付	エコマーク認定品

2) ホルムアルデヒドの放散量　　※Ｆ☆☆☆　　・
3) ポリスチレンフォーム床下地材を使用する場合の厚さ（ mm ）：※ 80　・95　[G]（ノンフロン、不燃）

※アカシア適用箇所は成人保健指導室談話室、乳幼児健診・指導室、成人検診室購買室とする。

6 節　畳敷き

□19.6.2 材料

1)畳の種別及び下地の種類は下記による。

下地の種類	畳の種別
構仕表12.5.1による床組	※Ｂ 種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※Ｃ 種　・

2)畳表及び畳床は　VOC　含有量が少ないものとする。
3)ポリスチレンフォーム床下地材を使用する場合の厚さ（　　mm ）：※40　・ 65　・ 80

7 節　せっこうボード、その他ボード及び合板張り

■19.7.2 材料

1)せっこうボード、その他のボード類の種類及び厚さ等は下記による。

種類	JISの記号	厚さ（ mm ）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　・25　・
⊙普通木毛セメント板	NW	・15　・20　⊙25　・
⊙ケイ酸カルシウム板 [G]	0.8FK	タイプ 2（無石綿）⊙6　・8　・　）
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ ※9（不燃）　⊙12　・　） ・凹凸タイプ（※ 12（不燃）　・15　19　・　）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	DR DR （凹凸） DR （軒天） DR （軒天凹凸）	※フラットタイプ　9（不燃） ・凹凸タイプ（※　12　・15）（不燃）
⊙せっこうボード	GB-R	※12.5（不燃）　・9.5（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
⊙強化せっこうボード	GB-F	12.5（不燃）15.0（不燃）⊙21（不燃）
⊙普通硬質せっこうボード	GB-R-H	9.5　（不燃）
⊙せっこうラスボード	GB-L	9.5　（※せっこうプラスター8mm以上塗りで不燃）
⊙化粧せっこうボード	GB-D	12.5（不燃）幅　440mm　程度 模様（※荏目　・板目）専用下地材付
・難燃合板		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
⊙メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による厚さ　1.2
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボード（素地）	HB	・無研磨板（・スタンダード　・テンパード） ・研磨板（・スタンダード　・テンパード）
・インシュレーションボード	IB	A 級（・天井仕上　・内装仕上　・　） ・9　・12　・15　・18　・

2)合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※Ｆ☆☆☆　　・
3)軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する　　・適用しない

■19.7.4 吸音材

1)ロックウール吸音材、ロックウール化粧吸音板、吸音用穴明きせっこうボード及び吸音用インシュレーションファイバーボードは、JIS A 6301吸音材料の規格品とし、種類及厚さ等は下記による。

種類	JISの記号	厚さ（ mm ）、規格等
・ロックウール吸音ボード　1 号	RW-B	※25　・50
※グラスウール吸音ボード　32K	GW-B	※25　・50

8 節　壁紙張り

■19.8.2 材料

1)壁紙の種類及び防火性能は下記による。

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質	防火性能	備考
図示	・	・	・	⊙	・	⊙不燃・準不燃・難燃	ケナフ紙
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

2)ホルムアルデヒドの放散量
※Ｆ☆☆☆　　・

■19.8.3 施工

1)壁紙を張る場合の下地の素地ごしらえは構仕表18.2.4及び表18.2.7によることとし、その種別は下記による。

素地面	素地ごしらえの種別
・モルタル、プラスター面	※Ｂ 種　・Ａ 種（施工箇所：　　）
⊙せっこうボード面	※Ｂ 種　・Ａ 種（施工箇所：　　）

9 節　断熱・防露

■19.9.1 適用範囲

1)RC造の建物で断熱材を使用した場合、断熱材がRC躯体で切れる部分（熱橋部分）に対する断熱補強を十分に行う。
（内断熱、外断熱共）
2)現場発泡のウレタンフォーム類は内装不燃が要求される室、吹き抜けとなっている室又は排煙チャンバーとしている天井内に露出して使用してはならない。使用する場合は、防火コートを施す。
3)接地部分の土間スラブ下には、必ずポリエチレンフィルムの上に断熱材を施工する。

■19.9.2 断熱材打込み工法
■19.9.3 断熱材現場発泡工法

1)断熱材の種類、種別及び厚さは図示による他、下記による。

種類		施工箇所	厚さ（ mm ）	品質等
⊙ 押出法ポリスチレンフォーム保温板	※ 2類b	※一般部	※ 25 ・	特定フロンを使用しないもの
	※ 3類b（スキン層付）	⊙接地部分（屋上） ・一　般部	※ 25 ・	特定フロンを使用しないもの
⊙現場発泡断熱材		※断熱材補修部分 ⊙一般部（壁、床） ・	ー ※ 15 ・	特定フロンを使用しないもの 難燃性※ 3 級・ 2 級
		製造所　　評価名簿による		
⊙断熱材兼用形枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲） ⊙ピット上部スラブ	※≦ 40 ・	断熱抵抗=厚さ/熱伝導率=0.676以上（㎡・k/w）
		製造所　　建設技術評価「建築物の断熱材兼用形枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

2)ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量
※Ｆ☆☆☆　　・

□19.9.4 浴室天井材

1)浴室天井材の材質、仕上げ、性能等は下記による。

材質	表面仕上げ	性能	幅（ mm ）	備考
※アルミニウム製	※焼付塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※ 200 ・	取り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※ 300 ・	

2)浴室天井材・接着剤のホルムアルデヒドの放散量　　※Ｆ☆☆☆　　・

20 章　ユニット及びその他の工事

2 節　ユニット工事等

■20.2.2 フリーアクセスフロア

1)フリーアクセスフロアの構法、高さ、耐震強度及び表面仕上げ材等については、下記による。

施工箇所	構法	仕上り高（mm）	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
6階事務室等	⊙パネル構法 ・溝構法	（一部400） 300	⊙ 1.0G ・ 0.6G	⊙ 3,000N/ ㎡ ・ 5,000N/ ㎡	・帯電防止床タイル ⊙タイルカーペット	GRC系パネル
5階事務室等	⊙パネル構法 ・溝構法	150	⊙ 1.0G ・ 0.6G	⊙ 3,000N/ ㎡ ・ 5,000N /㎡	・帯電防止床タイル ⊙タイルカーペット	GRC系パネル
1～4階事務室等	⊙パネル構法 ・溝構法	100	⊙ 1.0G ・ 0.6G	⊙ 3,000N/ ㎡ ・ 5,000N/ ㎡	・帯電防止床タイル ⊙タイルカーペット	GRC系パネル

※ 5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
2)表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。
3)スロープ及びポーダー　　※製造所の標準仕様　　・図示
4)コンセント等の取付け対応　　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示による。
5)配線用取り出しパネル
配線取り出し開口：パネル１枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上　（ゴム等によりコーティングされ、踏んでも音がしないもの）
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　　※ 20 ～ 30%　　・
6)空調用吹出しパネル　　※無し　　・有り（※固定式　　・可変式　　：施工箇所は図示）
7)製造所　　評価名簿による。

■20.2.3 可動間仕切

1)可動間仕切の構造形式による種類、構成材の種類及び遮音性は下記による。

構造形式	パネル部の総厚さ（ mm ）	表面材種厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ⊙スタッドパネル式 ・パネル式	⊙ 80	※鋼板 （※ 0.6・0.8） ⊙ 0.5	※メラミン樹脂 又はアクリル樹 脂焼き付け	・あり （　　） ⊙なし	・あり ⊙なし

品質　JISA6512によるもの又は評価名簿によるもの

■20.2.4 移動間仕切

1) 移動間仕切の操作方法による種類、パネル表面材の材質及び仕上げ、遮音性は図示なき場合、下記による。

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法	場所
⊙一般タイプ	⊙ 65	※鋼板（0.6） ・	⊙焼付塗装 ・壁紙張り	⊙手動式・電動式 ・部分電動式	
⊙遮音タイプ（ 36db　以上）	・ 80 ⊙ 122	※鋼板 ⊙繊維混入せっこうボード t9ぴ	・焼付塗装 ⊙壁紙張り（不燃フィルム）	・手動式・電動式 ⊙部分電動式	多目的ホール
⊙外部タイプ	⊙ 206	・ガラス（複層）			多目的ホール

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による。
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
間仕切の移動中に上階へ衝撃音が伝播しないよう防音対策を講じる。
製造所は評価名簿による。

■20.2.5 トイレブース

1)表面仕上げ材　　図示による
※高圧メラミン樹脂系化粧板（標準色アルミ製コーナーエッジ付き）　（木目調及び単色）
・ ポリエステル樹脂系化粧板
⊙ 化粧シート貼り
・
2) ブースの足形状　　※幅木型　　・足金物型
3) ホルムアルデヒドの放散量　　※Ｆ☆☆☆　　・
4) 製造所　　評価名簿による。

■20.2.6 階段滑り止め

1) 材種　　※ステンレス　SUS304　・アルミ製
※有り　・無し
2) 形状　　ビニルタイヤ入り
3) フラットエンド
4) 幅　　※設計図による　⊙約35mm
5) 取付け工法　　※接着工法　・埋込み工法

■20.2.7 床目地棒

1) 材種　　※ステレスSUS304　・真ちゅう製
※原則として床仕上げの異なる部分の境界には、目地棒を設ける。

■20.2.8 黒板及びホワイトボード

1)黒板及びホワイトボードの種類、寸法、色等は下記による。

種類		寸法（mm）	色調	備考
・黒板	※焼付		※緑　・黒 ※緑　・黒	
⊙ホワイトボード	※ほうろう	W4000×H900	※白	枠：30×100タモ集成材仏成人保健指導室談話室に適用

■20.2.9 鏡

1)種類、形状
※ 設計図による
・寸法（mm）　：　w　× h　厚さ（mm）：

■20.2.10 表示

1)衝突防止表示
※設計図による　⊙両面　　・片面）
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口は表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製 造 所　監督員の承諾する製造所
2)室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は設計図による。

■20.2.11 煙突ライニング

1)工法及び最高使用温度等は下記による。
⊙ 煙突用成形ライニング材
最高使用温度　※ 650 ℃　・ 400 ℃　・
・ キャスタブル耐火材
工法　※こて押さえ
最高使用温度　※ 400 ℃
製造所　　評価名簿による。

■20.2.12 ブラインド

1) ブラインドの形式、材質、寸法及び操作方法は下記による。
※ 設計図による
・ 下記による

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※ 25
・縦型	・ 1 本操作コード ・ 2 本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・ 80 ・ 100

■20.2.13 ロールスクリーン

1) ロールスクリーンの形式、材質、寸法及び操作方法は下記による。
※ 設計図による
・ 下記による

施工箇所	装置 電動	装置 手引	備考
1 階　多目的ホール	⊙	・	遮光 1 級
	・	・	
	・	・	

防炎性能　　※有り

■20.2.14 カーテン及びカーテンレール

1)カーテンの形式及び開閉操作方式は下記による。
※ 設計図による
・ 下記による

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考
2階多目的ホールギャラリー	・	⊙	・	・	⊙	2 倍ひだ	遮光 1 級	
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

2)カーテンレールの材質、形式は下記による。
材質　　※アルミニウム製　　・ステンレス製
形式　　・片引き　　⊙引分け（※縦幕用は300mm以上の召し合せの重掛けとする）

■20.2.15 ブラインドボックス及びカーテンボックス

1) ブラインドボックス及びカーテンボックスの材質、仕様は下記による。
※ 設計図による
・ 市販品（アルミニウム製押出し型材）
Ｗ × Ｄ（ mm ）　・90 × 150　※ 120 × 80　・120 × 150　・150 × 80　・
色彩　　※ Ｂ -1　・ Ｂ -2（※ブラウン系　・ブラック　・スチンカラー）

■20.2.16 階段手すり

1) 階段手すりの仕様は下記による。
※ 設計図による
・

□20.2.17 耐震スリット

1) 耐震スリットの仕様は下記による。
※ 設計図による
・ 下記による

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外共）
目地寸法（mm）	※ 20 × 10　・	※ 20 × 10　・

□20.2.18 止水板

1) 止水板の仕様は下記による
※ 設計図による
⊙ 下記による（水槽スラブと基礎梁の打継部に適用）
形　状　・据置式　⊙壁張り式　・差込式
寸　法　幅200程度（芯プレート入り）
製造所　　評価名簿による

■20.2.19 天井点検口

1)天井点検口の仕様は下記による
※ 設計図による
⊙材　質　アルミニウム製（・額縁タイプ　　※目地タイプ）
製造所　　評価名簿による。

■20.2.20 床点検口

1)床点検口の仕様は下記による
※ 設計図による
・材　質　アルミニウム製（受け枠※アルミニウム製　　⊙ステンレス製）
製造所　　評価名簿による。

■20.2.21 鋼製書架及び物品棚

1) 鋼製書架の仕様は下記による。
※ 設計図による
・ 下記による

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※ 1 種　・ 2 種　・ 3 種

■20.2.22 かぎ箱

1) かぎ箱の仕様は下記による
⊙材質、規格　　市販品　⊙ 30 組用 2セット（県市用）・ 60 組用 ・ 120 組用 ・監督員の指示による ）

□20.2.23 くつふきマット

1) くつふきマットの仕様は下記による
※ 設計図による
・ 市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠）
・ ビニル製（ステンレス製受枠）
・ 硬質アルミニウム製（受枠共）
・ ステンレス製（受枠共）

■20.2.24 流し台ユニット

1)流し台ユニットの仕様は下記による。
※ 設計図による
・下記による

種類	寸法（ mm ）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※ 1200　・ 1500　・ 1800	トラップ付き	※ 優良住宅部品（セクショナルキッチンⅠ型） ・
・コンロ台	※ 600　・ 700	バックガード ※有り	
・つり戸棚	※ 1200　・ 900　・ 600		
・水切り棚	※ 1200　・ 900	ステンレス製 ※ 1 段式	※市販品

■20.2.25 屋内掲示板

1) 屋内掲示板の仕様は下記による
※ 設計図による
・ 市販品
枠の材質　　※アルミニウム製　　・
表面の材質　　※塩ビ発泡シート張り　　・

■20.2.26 洗面カウンター

1)洗面カウンターの仕様は下記による
※ 設計図による
・ 材種及び寸法については下記による
材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　・人工大理石
奥行き（mm）　・450　・600

■20.2.27 防煙垂れ壁

1) 防煙垂れ壁の仕様は下記による。
※ 設計図による
・ 固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※ 6.8 ・	※ 500 ・	アルミ製枠付き

⊙ 可動式

種類	材質	高さ（mm）	備考
⊙垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※ 500 ・ 800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ⊙可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込み型）

■20.2.28 旗竿

1)旗竿の仕様は下記による
※ 設計図による
・ 材種及び寸法等について下記による
材　質　※アルミニウム合金製
形　式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ（　m ）　・ 6　・ 8　・ 10　・ 12
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
製造所

埼玉県産業労働部産業拠点整備課	課長	副課長	主幹	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課	課長

特記 ・

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号　記名　捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号 石井 靖人			
担当設計者	一級建築士 第219846号 原田 聡			

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容	図面番号
特記仕様書５	1005
縮尺 N.S.	区分 建築意匠図

■20.2.29 旗竿受金物
1)旗竿受金物の仕様は下記による
※ 設計図による
・ 材種について下記による
材　種　　ステンレス製SUS304

■20.2.30 フェンス
1)フェンスの仕様は下記による
※ 設計図による
・ 材種及び寸法について下記による
材　種　・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・樹脂塗装メッシュフェンス
高さ（　m　）　・1.8　・2.0　・

■20.2.31 屋外掲示板
1)屋外掲示板の仕様は下記による
※ 設計図による
・ 材種及び寸法について下記による
材　種　・ステンレス製　・
寸　法（m）　・W　× H
照明器具　※有り　・無し
施　錠　※有り　・無し
製造所

■20.2.32 車止め支柱
1)車止め支柱の仕様は下記による
※ 設計図による
・ 材種及び寸法について下記による
材　種　※ステンレス製　・
形　式　※上下式鎖内蔵型　・
寸　法（m）　※ 114.3 Φ× 2.5t × 700h　・
※スプリング付　・スプリング無し
製造所

■20.2.33 収納家具
1) 収納家具の仕様は下記による
※ 設計図による
・
2)ホルムアルデヒドの放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・

■20.2.34 エキスパンションジョイント金物
1)エキスパンションジョイント金物の仕様は下記による
※ 設計図による
○ 材種及び寸法について下記による　参考図は設計図による。
材　種　○アルミニウム製　・ステンレス製
ク リアランス　・50　・100　○150（EV3、4）　○200（EV1、2）
耐火性能　○有り（１時間耐火）　・無し
防水型　※適用する　○適用しない
制動保証　※ 10 年　・
製造所

■20.2.35 建築物緑化 G
1)屋上緑化システムの仕様は下記による
◎設計図による
・ 管理方法による区分　省管理型
質量の上限値　（　）kg/㎡
かん水装置　・設ける（工事区分は図示）
透水層、保水層及び排水層等
保水層及び排水層の毎直方向の排水性能：240L/㎡・h以上
耐荷重性能
省管理型：3×10^4 N/㎡以上の載荷重で異常のないこと
○ 耐根層の材料
合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根性剤とする（耐根性能の実績を有すること）
植込み用土　製造所の仕様による
植栽の種類　製造所の指定するものとする
・管理方法による区分　管理型

■20.2.36 コーナーガード
1)コーナーガードの仕様は下記による
◎設計図による
・ 材種について下記による
材　種　・ステンレス製　・木製（塗装仕上げ）　・鋼板製（塗装仕上げ）
・合成ゴム製（市販品）　・

□20.2.37 防潮板
1) 防潮板の仕様は下記による
※ 設計図による
・ 形式、材種について下記による
形　式　・着込式　・据置式　・壁収納式　・床収納式
材　質　・ステンレス製　・
操作方法　・手動式　・電動式　・空気圧式

□20.2.38 ゴンドラ設備
1)耐衝撃性能
・ ガイドローラーを使用した場合（※0.5G）、その他の場合（※1.0G）の加速度をゴンドラが受けたとき、ゴンドラ装置に変形・脱落がなく、ガイドローラーは昇降可能であること。
・ 昇降式自動ゴンドラの場合、面内方向の水平力は片側のアームに集中するもとする
・ 風速16m/secの風圧を受けたとき、ゴンドラ及びゴンドラ装置一式に残留変形がないこと。
・ ガイドレールの精度
※ レール間隔　± 3mm以下　・
※ レールの接続部のずれ　± 1.5mm以下　・
※ レールの傾き　1/2000以下　・
2) 塗装
・ 外板の塗装種類は下記による。
※フッ素樹脂塗装　・合成樹脂エマルジョン塗装
・ ゴンドラレールの仕上げは下記による。
※溶融亜鉛メッキ　・
3) 緩衝材
・ ゴンドラケージの緩衝材は、ネオプレンゴム（40mm×48mm）、硬度Hs40とし、ケージの上端、下端、底面及びコーナー部に縦に取付ける。
・ ケージダウンリミッターバーはケージ幅より両端共50mm程度短くし、バーの先端部には緩衝材を取付ける。

21 章　排水工事

2 節　材　　料

■21.2.1 排水管
1)排水管の材種、形状等は下記による

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※1種・2種）	B 形（ゴム接合）
・硬質塩化ビニル管	※ VP　・ VU	
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管	・ REP-VU	

■21.2.2 側溝、排水溝等
1)鋳鉄製マンホール蓋の種類及び荷重は下記による

種類	適用荷重
・水封形　○密閉形（テーパー・パッキン式）	・ T-2 用
・簡易気密形（パッキン式）　・中蓋付密閉形	○T-6 用
	・ T-14 用
	T 20 用

製造所は評価名簿による。
2) グレーチング蓋の材質、形式、適用荷重等は下記による

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
○鋼製	※受枠付き	○溝蓋用	・歩行用	※細目	※凹凸形
・ステンレス製	・	・桝蓋用	・ T-2 用	※普通目	※平形
	ボルト固定	・かさ上げ用	○T-6 用		
	※ 無し	・ U 字溝用	・ T-14 用	・細目	・凹凸形
	・図示		○T-20 用		

製造所は評価名簿による。

■21.2.3 その他の材料
1)排水工事に用いる埋戻し土は標仕表3.2.1により、その種別は下記による
※ B 種　・
2)浸透管及び浸透桝
製造所

3 節　施　　工

■21.3.1 適用範囲
1)車道部の排水管の敷設工法は下記による
※ 設計図による
・砂基礎（地業厚さ20cm以上材料山砂の類）

22 章　舗装工事

2 節　路　　床

■22.2.2 路床の構成及び仕上り
1)遮断層及び凍上抑制層の材料は下記による
・ 遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・
厚さは設計図による
・ 凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン切込み砂利　・砂
厚さは設計図による
2)路床安定処理は下記による（ＣＢＲ試験を実施し、5以上確保していない場合は、監督員と相談の上、下記の仕様による
※ 添加材料による安定処理　地盤改良を施す。）
種類　○普通ポルトランドセメント　・フライアッシャセメントB種
・生石灰（　）　・消石灰（　）
添加量　100 kg/m^3　（目標CBR　※ 5 以上　・　）

■22.2.3 材料
1)盛土に用いる材料は標仕表3.2.1により、その種別は下記による
・ A 種　※ B 種　・ C 種　・ D 種

■22.2.5 試験
1)路床土の支持力比試験はJIS A 1211により、その適用は下記による
※行う（※乱した土　・乱さない土）
2)路床締固の度の試験はJIS A 1214により、その適用は下記による
※行う
3)砂の粒度試験　※行う

3 節　路　　盤

■22.3.3 路盤材料
1)路盤材料は標仕表22.3.3により、その種別、品質等は下記による
※ 再生クラッシャラン（RC-40）
・ クラッシャラン（C-40）又はクラッシャランスラグ（CS-40）
透水性アスファルト舗装に用いる場合は、透水性の高いもの

■22.3.5 試験
1)路盤締固の度の試験はJIS A 1214及びJIS A 1210により、その適用は下記による
※行う

4 節　アスファルト舗装

■22.4.2 舗装の構成及び仕上り
1)アスファルト舗装の構成及び厚さは下記による

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し　・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し　・有り	・

2)カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　・着色骨材（　樹脂被覆）

■22.4.3 材料
1)アスファルトの種別は下記による
※再生アスファルト G　・ストレートアスファルト

□22.4.4 配合その他
1)加熱アスファルト混合物の種類は下記による

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F）
	・細粒度アスファルト混合物（13）	・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

□22.4.5 工法
1)シールコートの適用は下記による
※行わない　・行う（施工範囲：　）

□22.4.6 試験
1)アスファルト混合物の抽出試験の適用は下記による
※行わない　・行う

5 節　コンクリート舗装

□22.5.3 材料
1)コンクリート舗装の仕様は下記による
早強セメント　※使用しない　・使用する
注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
溶接金網　※有り　・無し
厚さ試験　※行わない　・行う

6 節　透水性アスファルト舗装

■22.6.6 試験
1)透水性アスファルト混合物の抽出試験
※行わない　・行う

7 節　排水性アスファルト舗装

□22.7.3 材料
1)排水性アスファルトは標仕表22.7.2により、種類は下記による
・改質アスファルトⅠ型　・改質アスファルトⅡ型
2)タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤は標仕表22.7.3により、種類は下記による

適用時期	種類
下記以外	PKR-T1
冬期	PKR-T2

□22.7.6 試験
1)アスファルト混合物の抽出試験
※行わない　・行う

8 節　ブロック系舗装

■22.8.2 舗装の構成及び仕上り
・コンクリート平板舗装

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※普通平板（N）　・カラー平板（C）	※ 300　角	※ 60	※砂
・洗出平板（W）　・擬石平板（S）	・		・モルタル

○インターロッキングブロック舗装

種類	厚さ（mm）	色彩及び表面加工等
※標準ブロック	車道部　※ 80　・	※標準品
・透水性ブロック（擬石）	歩道部　※ 60　・	・
・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック	※ 80　・ 100	

インターロッキングブロックの品質・性能は下記による（JIS A 5371）

項目		品質・性能		
材料	セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする		
	骨材	清浄、強硬、耐久性で適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない		
	混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない		
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、且つインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない		
外観		使用上有害なきず、ひび割れ、欠け、変形等がない		
寸法許容差（mm）		長さ	幅	厚さ
	普通タイプ	± 3	± 3	± 3
	透水性タイプ	± 3	± 3	+5 ～ − 1
	植生用タイプ	± 3	± 3	± 3
曲げ強度（N/mm^2）	普通タイプ	5.0 以上		
	透水性タイプ	3.0 以上		
	植生用タイプ	4.0 以上		
透水係数（cm/sec）	透水性タイプ	1 × 10^{-2} 以上		
圧縮強度（N/mm^2）	普通タイプ	32.0以上		
	透水性タイプ	17.0以上		

・舗石舗装

種類	厚さ（mm）	施工方法	基層
※小舗石（花崗岩）	※ 80 ～ 100　・	※うろこ張り	※コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

■22.8.5 路面標示用塗料
1)路面標示用塗料はJISK5665（路面標示用塗料）により、適用は下記による

種類	施工	適用	色	幅（mm）	布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率
・ 1 種 G	常温	液状	※白	※ 150	※ 1.0	塗料総質量に対して5%以下
・ 2 種 G	加熱		・	・	・	
○ 3 種 1 号	溶融	粉体状				

23 章　植栽工事

2 節　植栽基盤

□23.2.2 植栽基盤一般
1)植栽基盤整備工法の適用は下記による
芝及び地被類

適用	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
※行う　・行わない	※ 20　・	※ B 種　・	※緑栽範囲　・図示

樹木

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
・ 12 以上	※ 100　・	※ A 種	・葉張りの範囲
・ 7 超～ 12 未満	※ 80　・	・ B 種	但し、低木は植栽範囲
・ 3 超～ 7 以下	※ 60　・	・ C 種	・設計図による
・ 3 以下	※ 50　・	・ D 種	

D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。但し、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

■23.2.3 材料 G
1)植込み用土の適用は下記による。
※ 現場発生土の良質土（土壌硬度、透水性、障害性、肥沃度、物理性の土壌調査を行う）
○客土（※畑土　・黒土）
2)土壌改良材の適用は下記による
※ 適用する
・バークたい肥 G
有機物の含有量（乾物）：70%以上　幼植物試験の結果：生育阻害その他の以上を認めない
炭素窒素比（C/N比）：35以下
陽イオン交換容量（乾物）：70meq/100g以上　窒素全量（現物）：0.5%以上
pH：5.5～7.5　りん酸全量（現物）：0.2%以下
水分：55～65%　加里全量（現物）：0.1%以上

・発酵下水汚泥コンポスト G
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

ひ素	：0.005%以下	炭素窒素比（C/N比）	：20以下
カドミウム	：0.0005%以下	pH	：8.5以下
水銀	：0.0002%以下	水分	：50%以下
ニッケル	：0.03%以下	窒素全量（現物）	：0.8%以上
クロム	：0.05%以下	りん酸全量（現物）	：1.0%以上
鉛	：0.01%以下	アルカリ分（現物）	：15%以下
有機物の含有量（乾物）	：35%以上	（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない）	

・
施工箇所　※植栽範囲　・設計図による

3 節　植　　樹

■23.3.2 材料
1)支柱材の種類は下記による
※杉の熕丸太（間伐材）　・真竹
2)幹巻き用材料の種類は下記による
※幹巻き用テープ　・わら及びこも

■23.3.4 新植樹木の枯補償
1)新植樹木の枯補償の期間は、完成引渡しの日から下記の期間とする

高木・低木	※ 1 年	・ 2 年
地被類	・ 1 年	・ 2 年

4 節　芝張り、吹付けは種及び地被類

■23.4.2 材料
1)芝張りの種類は下記による
○こうらい芝　・野芝
工法　・目地張り　・べた張り
客土　※行わない　・行う（※畑土　・黒土）

25 章　建設リサイクル法・廃棄物処理法・資源有効利用促進法等

■ 1 解体工事の通知書の提出等
※建設リサイクル法第11条の規定による通知書を作成し、監督員に提出すること。
※上記通知書の各事項（変更がある場合は、変更後の内容）について、下請業者に周知徹底すること。
※請負者は、建設リサイクル法第9条の規定に従い、分別解体等すること。

■ 2 分別解体
・特定建設資材廃棄物以外（・分別解体を行う　・分別処理する）
分別処理する建設廃棄物の種類
・廃プラスチック　・石膏ボード　・サッシ　・アスベスト　・金属くず
・建設汚泥　・紙くず　・建設発生木材（伐木材、除根材など）
・建設混合廃棄物　・　・

■ 3 再資源化等
・請負者は、対象工事以外についても、特定建設資材の分別解体等をすること
※「建設リサイクル法」、「彩の国建設リサイクル実施指針」、「建設副産物の手引き」等を遵守し、建設廃棄物の再資源化等を推進すること。

■ 4 再資源化等完了の報告と記録
※廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、監督員に書面で報告するとともに、再資源化等の実施状況に関して記録を作成し、保存すること

■ 5 廃棄物の処理
※「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」を遵守し、マニフェストシステムにより適正に処理すること。
※過積載等の違法運行の防止を図るとともに、道路交通法遵守を下請業者に徹底すること。

■ 6 その他の提出書類
・請負者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の工事について、本工事に係る「再生資源利用【促進】計画書」を作成し、施工計画書に含める１部提出する。
また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、「再生資源利用【促進】実施書」を作成し、各１部提出するとともに、これらの記録を保存する。
○ 再資源利用計画書（実施書）の作成対象工事
① 1,000m^{3}以上の土砂を搬入する工事
② 500ｔ以上の砕石を搬入する工事
③ 200ｔ以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
④ 最終請負金額100万円以上の工事
○ 再資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事
① 1,000m^{3}以上の建設発生土を搬出する工事
② アスコン塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200ｔ以上、搬出する工事
③ 最終請負金額100万円以上の工事

26 章　契約後ＶＥ方式

■埼玉県契約後ＶＥ方式特記仕様書
※ 適用する
（適用）
第１条　この特記仕様書は、埼玉県建築工事特別共通仕様書に定めるもののほか、工事目的物の機能・品質等を低下させることなくコスト縮減となる施工方法等の提案（以下「ＶＥ提案」という。）を契約締結後に請負者から受ける方式（以下「契約後ＶＥ」という。）を実施するに当たり、必要な事項を定めるものとする。
なお、この特記仕様書は、ＶＥ提案を請負者に義務付けるものではない。
（ＶＥ提案の範囲）
第２条　契約後ＶＥによるＶＥ提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち、工事材料、施工方法等の変更により、請負代金額の低減を伴うものとし、工事目的物の機能・品質等の低下を伴わない範囲とする。
なお、以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含めないものとする。
(1) 工期の延長又は公害対策、安全対策、建設副産物対策等の施工条件の緩和を伴う提案
(2) 契約約款第１８条第１項第１号から第５号までのいずれかに該当する事実に基づく提案
(3) 入札時に競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更を伴う提案
(4) 大幅な構造計画の変更を伴い、構造計画のやり直し等により相当の変更作業期間を要し、工事工程上支障となる提案
(5) 意匠の変更を伴うなど、変更の内容が設計意図を逸脱する提案
(6) 既存の機器及び設備システムの大幅な変更を伴う提案
（ＶＥ提案の提出）
第３条　ＶＥ提案は、その内容を明示した「契約後ＶＥ提案書（様式１～４）」及び必要な資料を提出することによって行うものとする。
２　ＶＥ提案を受け付ける期間は、発注者と協議の上、契約締結後から工程等に支障のない時期までとする。
３　ＶＥ提案を受け付ける回数は、原則として１回とするが、工事の実状に照らし、適宜対応することができるものとする。
（関連工事との調整）
第４条　請負者は、発注者が発注済みの他の関連工事に変更を及ぼす内容を含むＶＥ提案を行う場合は、関連工事の請負者と相互に協議の上、契約後ＶＥ提案書を提出するものとする。
（ＶＥ提案の審査）
第５条　発注者は、第２条で規定するＶＥ提案となっているか、施工の確実性及び安全性、設計図書と比較した経済性、機能及び品質等について審査を行い、採否を決定するものとする。
（ＶＥ提案の採否の通知）
第６条　ＶＥ提案の採否については、原則として、契約後ＶＥ提案書の受領後１４日以内に契約後ＶＥ提案採否通知書（様式６）により通知するものとする。ただし、発注者は、請負者の同意を得た上でこの期間を延長することができる。
（ＶＥ提案が適正と認められた場合の設計変更等）
第７条　ＶＥ提案が適正と認められた場合において、発注者は設計図書及び請負代金額の変更を行わなければならない。
２　前項の変更を行う場合において、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の１０分の５に相当する金額（以下「ＶＥ管理費」という。）を削減しないものとする。
また、請負者がＶＥ提案のために実施する構造計算や土質試験等の費用（以下「ＶＥ　提案費」という。）は、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の１０分の４を超えない範囲で計上できるものとする。
３　ＶＥ提案が適正と認められた後、契約約款第１８条の条件変更が生じた場合のＶＥ管理費及びＶＥ提案費については、原則として変更しないものとする。
（契約後ＶＥ縮減額証明書の発行）
第８条　発注者は、契約後ＶＥによる縮減額を証明するため、請負代金額の支払請求後に「契約後ＶＥ縮減額証明書（様式７）」を発行するものとする。
（ＶＥ提案内容の取扱い）
第９条　発注者は、その後に発注する工事で当該ＶＥ提案内容を採用することが効果的であると認める場合は、その活用を図るものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利　を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。
（責任の所在）
第10条　発注者がＶＥ提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ　提案を行った請負者の責任が否定されるものではない。
（その他関連事項）
第11条　ＶＥ提案に関連する事項は次のとおりである。ただし、これらの事項に係る規準等が改定された場合には、この限りではない。
(1) ＶＥ提案が採用された請負者は、工事成績評定において加点される。
(2) ＶＥ提案が採用された建設業法に規定する主たる営業所が県内にある請負者は、埼玉県の各部局が行う優秀建設工事　施工者表彰の対象となる。
(3) ＶＥ提案実績のある請負者は、埼玉県が実施する総合評価方式の入札において「埼玉県総合評価方式ガイドライン」に基づき、技術評点が加点される。
(4) ＶＥ提案が適正と認められ請負代金額が減額となった請負者は、建設業法における経営事項審査の契約後ＶＥに係る完成工事高について、契約後ＶＥによる縮減変更前の契約額で評価する特例を利用することができる。

特記仕様追記

■周辺建築物等調査
※専門業者による周辺建築物の事前、事後調査を行う。調査に当たっては当該関係者の立会いを求めるとともに、調査した内容については当該関係者の承諾を受けること。
※損傷個所の測定、写真撮影、スケッチ、間取図面等の作成を行い資料を２部提出すること。
調査対象　建築工事前　１４件（近隣商業施設西側外壁面を含む）
建築工事後　１４件（近隣商業施設西側外壁面を含む）

■一般注意事項
※工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明会を開催すること。また、「工事のお知らせ」等を配布し、近隣に対し周知すること。
※工事中、近隣（付近住民、通行人、工作物、道路、植栽類等）に損害を与えた場合は、請負者の責任において損害の補償又は、現状復旧すること。
※工事に際し、付近住民への騒音・振動等の工事公害を起こさないよう十分注意をし、必要な処置を行うこと。
※現場及び周辺に対する安全対策を徹底すること。

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課　長	副課長	主　幹	主　査	主　査	主　査	主　査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課						
課　長						

特記 ・

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号　記名　捺印	製　図	検　図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号 石井 靖人			
担当設計者	一級建築士 第219846号 原田 聡			

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

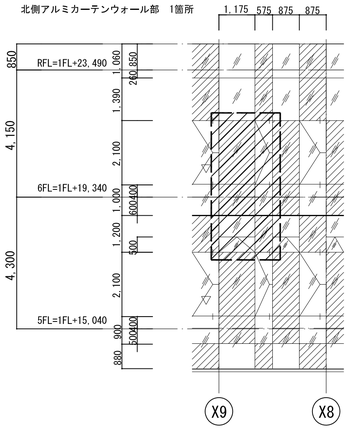
図面内容	図面番号
特記仕様書６	1006
縮尺 N. S.	区分 建築意匠図

■モックアップ

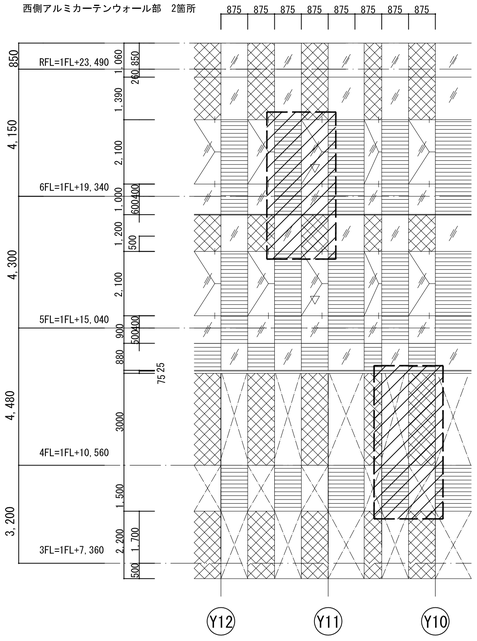
※建物外周アルミカーテンウォール部、3箇所。下図で示す範囲。屋外に設ける。
※裏面側には室内を想定した1.5m程度の空間を設け、遮光可能な作りとする。
※１タイプでアルミサッシ、ガラス、アルミパネル、ＬＶＬ、ＦＢ、層間塞ぎ、スパンドレル部分、
　ブラインドボックス及び、メンブレンとの取り合い、シール材等の比較ができるようにする。
※決定外装については、本股の外装が施工されるまで、場内に設置する。

モックアップ製作範囲

北側アルミカーテンウォール部　1箇所



西側アルミカーテンウォール部　2箇所



■同等品リスト

※建具関係の同等品は建具特記による。

	同等品	備考
タイルカーペットA	欠番	
タイルカーペットB	東リ　GA100	
タイルカーペットC	東リ　GY-9200V	
ビニル床シートA	東リ　フロアリウムプレーン	
ビニル床シートB	東リ　フロアリウムソイルド	
ビニル床シートC	東リ　フロアリウムリッチ	
置き敷きビニル床タイル	東リ　ルースレイタイルLL300	
塗床A	ABC商会　ケミクリートE 防滑工法	
塗床B	ABC商会　プロテクリートE	
防塵塗装A	ABC商会　シリケートハードナーJP	
防塵塗装B	ABC商会　カラートップA	化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材
ニードルパンチカーペット	東リ　O.I.C	
再生木フローリング　t25（外部用）	ハンディテクノ　ハンディウッド	
外部デッキ下地	日新工業　PFシステムBシリーズ	外部デッキ（２Ｆ）、（３Ｆ）に適用
OAフロアー	ニチアス　シグマフロアーM300A	
ビニル床タイルA	東リ　マチコV	
ビニル床タイルB　（表面硬化、耐タバコ）	東リ　シガハード	
塗床C	ABC商会　フェロコン	
EP-2塗装		
EP-G塗装	エスケー化研　セラミフレッシュIN	
VE塗装		
常温フッ素樹脂塗装	エスケー化研　セラタイトF	
ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	東リ　防汚ケナフウォールWEN5249	
ビニルクロス貼りB（防汚ケナフ壁紙）	東リ　防汚ケナフウォールWEN 5219	
不燃化粧フィルム貼りA	住友3M　ダイノックシート　PSシリーズ	
不燃化粧フィルム貼りB	住友3M　ダイノックシート　FWシリーズ	
土塗壁調多意匠装飾仕上塗材（コテ仕上げ）	エスケー化研　ベルアートIN	
木製リブ	ヒノキ　無垢材	
漆喰（黒）　磨き鏡面仕上	左官職人（特定技能者）による施工	
建具(図示）+飛散防止フィルム貼	住友3M　スコッチティント　マットクリスタル	
ガラスシェード貼（ガラス開口部分）	住友3M　ファサラガラスシェード　グラデーション	
サンドブラストフィルム（視線制御フィルム）	中山ケミカル　フォグラスC-45	
化粧単板	・樹種は特記に拠る。	
けいカル施釉板	大日本インキ　DICフネンソリッドカラー	
LVL　油性クリアー塗装仕上げ	日本オスモ　オスモカラーウッドワックス	
屋根（１）　折版屋根	三晃金属　三晃式折版Ｆ－２００Ⅱ型	
屋根（２）　ポリエチレン複合シート防水	三晃金属　ハイタフルーフィングシステム	
煙突ライニング材	フジモリ産業　ハイスタック	
手動ヨコ型ブラインド	ニチベイ　ユニコンモア25　C-059S	
手動ロールスクリーン	ニチベイ　メッシュストライプ　N-5415	
電動遮光ロールスクリーン	ニチベイ　N5389、N5395	
電動カーテンレール	トーソー　中型（アルミ）+パワフル	
常時解放型二枚折戸	テクノ・ミナケン　スリムファイア	
トイレブース	コマニー　CB-ACR	
ローパーティション	コマニー　POR	
スチールパーティションAタイプ	コマニー　SW80	
スチールパーティションBタイプ	コマニー　MUP・EUP	
流し台・吊戸棚（既製品）	サンウエーブ　Tio+ W435	
洗濯機パン	テクノテック イージーパン TPD750、PNT-SWM	
ベビーチェア	コンビウィズ　ベビーキープ・スリムFL	
ベビーベッド	コンビウィズ　ベビーシートMP-FL	
便所内手すり	UNION　HB-2900シリーズ	L型：HB-2911-01、小便器：HB-2918-01、身障害者用大便器：HB-2900-01
保護ポール	UNION　EX-513-60	
消火器ボックス	UNION　UFB-1F-2720	
ピクチャーレール	タキヤ　コレダーラインM４	
	タキヤ　コレダーラインC１	
コーナーガード（1F倉庫A）	ナカエ業　NPC-9090V　（直角90°タイプ）	本体：軟質塩化ビニル、取付下地アルミニウム
コーナーガード（1F駐車スペース）		
階段手摺（階段1、2）	ナカエ業　ナカハンドレール　W=49	軟質塩化ビニル樹脂押出成形品
階段すべり止め（室内）	ナカエ業　ハイステップアート	
文章棚	コクヨ　ノンボルトシェルビングE	
誘導ブロック	UNION　UY300 302	
	UNION　UY300CH 302CH	
天井点検口	ナカエ業　ハイハッチMM（指定色焼付塗装）	目地タイプ 指定色
点検用ハッチ（ロッカー室・RC床）	第一機材　フロアーハッチ600　HMP-8S	オールステンレス 密閉型(防水型・防臭型)・鍵付き
点検用ハッチ（床シート）	第一機材　フロアーハッチ600　HMP-7S	オールステンレス 密閉型(防水型・防臭型)・鍵付き
フェンス	東洋エクステリア　ハイグリッドフェンスI1型	
フラッグポール	サンポール　ハンドル型（テーパーポール手動式）埋込式　FHH-120	
接着剤（ビニルタイル用）	東リ　エポグレーST、エポグレーP	化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材
接着剤(壁紙用)	東リ　ピュアボンド	化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材
シーリング材（ガラス用）	倩越化学工業　シーラント45	化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材
発泡硬質ウレタンフォーム	アキレス　アキレスエアロンFR-N	ノンフロン（ODP=0）、グリーン調達に適合
点検用ハッチ（床シート）	第一機材　フロアーハッチ600　HMP-7S	

埼玉県産業労働部産業拠点整備課							
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	
春日部市都市整備部鉄道高架整備課							
課長							
特記							

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

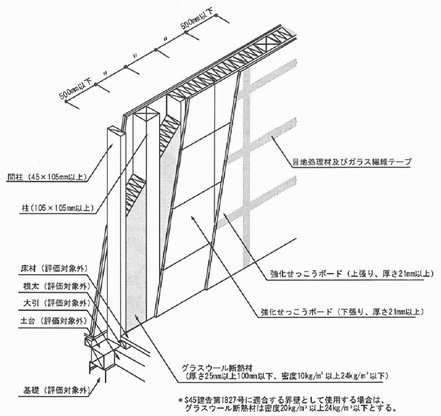
図面内容：特記仕様書７（追記）
縮尺：N.S.
図面番号：1007
区分：建築意匠図

本建物は５階６階の木造部分にも１時間耐火性能が求められる。本計画では（社）日本木造住宅産業協会（以下、木住協と呼ぶ）が取得した建築基準法第二条第７号並びに同法施行令第１０７条の規定に基づく耐火構造の国土交通大臣認定を用いている。
工事着手に先立ち、請負人等は木住協が開催する木造軸組工法による耐火建築物設計マニュアル講習会を受講すること。また、大臣認定を使用するにあたり、請負人は木住協の会員であることを条件とする。

■間仕切り壁の１時間耐火構造

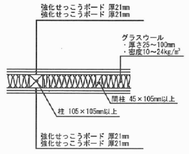
認定区分		間仕切壁（耐力壁）の1時間耐火構造
認定書番号	FP060BP-0032	グラスール断熱材充てん/両面強化せっこうボード直張/木製軸組造間仕切壁

■補強用壁材を使用しない場合【認定番号：FP060BP-0032】



構造納まり図

■補強用壁材を使用しない場合
（認定番号：FP060BP-0032）



耐火性能を確保するための施工の要点

（１）下地の組立て
柱及び間柱を土台、梁等に取付ける。このときの柱と間柱との間隔及び間柱相互の間隔は500mm以下とする。
必要に応じて、筋かいを柱、土台等に取付ける。
→柱・間柱等は、断面寸法が大きいほど、部材自身の温度が上昇しにくいため耐火性能は向上する
→柱・間柱等に用いる木材の比重は0.3以上とする。比重が大きいほど部材表面温度上昇は緩慢になる

（２）補強用壁材の取付け
必要に応じて、構造用合板、構造用パネル等の補強用壁材を両面に配置し、φ2.75mm以上×L50mm以上の鉄丸くぎ(N50)等で柱及び間柱に取付ける。鉄丸くぎ等の留め付け間隔は、周辺部及び中間部とも300mm以下とする。ただし、補強用壁材を用いて、建築基準法施行令第36条第3項表一(一)項から(七)項までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有する軸組の外壁とする場合には、補強用壁材の種類、厚さ、留め付け方法等は、昭和56年建設省告示第1100号に準じるものとする。この際、耐火と構造の整合を同時に満たす必要がある。
→構造用合板等は厚さ9mm以上とする（厚さが増すほど耐火性能は向上する）
→くぎ等での留め付け間隔が小さくなっても耐火上は影響はない

（３）断熱材の取付け
グラスウール断熱材（厚さ25mm以上100mm以下、密度10kg/m³以上24kg/m³以下、高性能品を含む）を柱と間柱の間及び間柱と間柱の間に充てんする（S45建告第1827号に基づく界壁として使用する場合は、密度20kg/・以上とする）。
→断熱材は厚さや密度が小さいほど、壁体内部に熱がたまらないため、耐火性能は向上する
→断熱材として、ロックウールや可燃系断熱材は不可

（４）強化せっこうボードの取付け
下張り強化せっこうボードをφ2.34mm以上×L38.1mm(CN40)以上のせっこうボード用くぎ等で柱及び間柱に取付ける。せっこうボード用くぎ等の留め付け間隔は、周辺部が150mm以下、中間部が200mm以下とする。
上張り強化せっこうボードは、その目地が下張り強化せっこうボードの目地と重ならないように配置し、
厚御カルシウム系接着剤(300g/m²以上)を併用して、幅40mm以上、長さ32mm以上のステープルで200mm以下の間隔で下張りせっこうボードに留め付ける。上張り強化せっこうボードの目地部は、せっこう系等目地処理材(200g/m以上)及びガラス繊維テープ(厚さ0.2mm以上、幅50mm以上)にて平滑に仕上げる。
→目地が防火上弱点となるため、上張り強化せっこうボードと下張り強化せっこうボードの目地は必ずずらす
→上張り強化せっこうボードの取付けは、専用接着剤とステープルの併用とし、くぎ・ねじ留めは不可

適用条件		壁高・壁幅については、構造計算等により、構造安全性が確かめられた寸法とする	
部位		仕様・材料	留付け方法
壁体	柱	次のいずれかとする ・針葉樹の構造用製材 ・構造用集成材 ・構造用単板積層材 ・H12建告1452号第六に規定する無等級材または第七に規定する木材 断面寸法：105×105mm以上	柱と間柱の間隔：500mm以下
	間柱	次のいずれかとする ・針葉樹の構造用製材、造作用製材、下地用製材 ・構造用集成材、集成材 ・構造用単板積層材 ・枠組壁工法構造用製材、構造用たて継ぎ材 ・H12建告1452号第六に規定する無等級材または第七に規定する木材 断面寸法：45×105mm以上	
	筋かい	必要に応じて設ける。 設ける場合は、次のいずれかとする ・針葉樹の構造用製材、造作用製材、下地用製材 ・構造用集成材、集成材 ・構造用単板積層材 ・枠組壁工法構造用製材、構造用たて継ぎ材 ・H12建告1452号第六に規定する無等級材または第七に規定する木材 断面寸法：45×90mm以上	
	断熱材	グラスウール 密度：10kg/m³以上24kg/m³以下 厚さ：25mm厚以上100mm厚以下 ＊共同住宅、長屋の界壁として使用する場合は密度20kg/m³以上とする	
屋内側	補強用壁材	・なし【認定番号FP060BP-0032】 ・木質ボード系【認定番号FP060BP-0034】 ・構造用合板（JAS1級または2級） ・構造用パネル（JAS1～4級） ・繊維板（JIS A 5905） ・パーティクルボード（JIS A 5908） ・セメント板【認定番号FP060BP-0035】 ・木質系セメント板（JIS A 5404） ・パルプセメント板（JIS A 5414） 【比重0.8以上】 ・繊維強化セメント板（JIS A 5430） ・火山性ガラス質複層板（JIS A 5440） 【認定番号FP060BP-0036】	次のいずれかにより、間隔300mm以下で留め付ける。 ・Nくぎ（N50以上） ・木ねじ（φ3.1×L25mm以上） ・タッピンねじ（φ3.0×L40mm以上） ただし、壁倍率計算において建築基準法施行令第46条第4項表1の(1)から(7)までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有する耐力壁として張る場合には、以上に加えて以下による。 ・国土交通大臣が定めた軸組とする場合は、S56建告第1100号に示された留め付け方法とする ・国土交通大臣の認定を受けた軸組とする場合は、当該認定に定められた留め付け方法とする

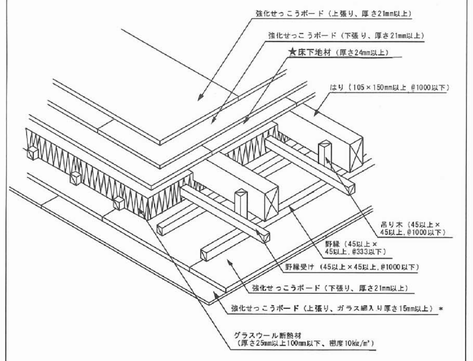
部位		仕様・材料	留付け方法
屋内側	壁下張材	・強化せっこうボード　厚21mm以上	次のいずれかにより、間隔は面材外周部150mm以下、中間部200mm以下で留め付ける。 ・GNくぎ（GN50以上） ・SNくぎ（SN50以上） ・木ねじ（φ3.1×L50mm以上） ・タッピンねじ（φ3.0×L50mm以上）
	壁上張材	・強化せっこうボード　厚21mm以上	炭酸カルシウム系接着剤(300g/m²)及びステープル(幅4×長さ32mm以上、間隔200mm以下) により留め付ける
	内壁上張材の目地処理	目地処理材（せっこう系または炭酸カルシウム系、200g/m以上）及びガラス繊維テープ（厚0.2×幅50mm以上）により、平滑に仕上げる	

■床の１時間耐火構造

認定区分		床の1時間耐火構造
認定書番号	FP060FL-0046	グラスウール断熱材充てん/強化せっこうボード・強化せっこうボード・木質系ボード上張/強化せっこうボード直下張/木製軸組造床
	FP060FL-0047	グラスウール断熱材充てん/強化せっこうボード・強化せっこうボード・セメント板上張/強化せっこうボード直下張/木製軸組造床

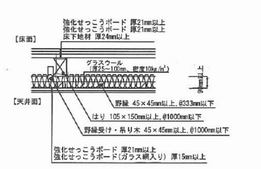
★床下地材の分類（計7種類）

①木質系ボード：構造用合板、構造用パネル、繊維板、（4種類）	パーティクルボード
②セメント板（3種類）	：木質系セメント板、パルプセメント板、繊維強化セメント板



＊床下面の上張りに用いる強化せっこうボードは、"ガラス網入り"品に限る。
なお、製品詳細は巻末資料6の(社)石膏ボード工業会に問い合わせのこと。

構造納まり図



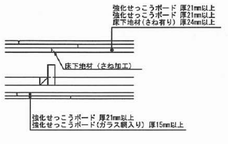
＊はり下端と天井面強化せっこうボード裏面（野縁下端）までの距離を90mm以上とする

耐火性能を確保するための施工の要点

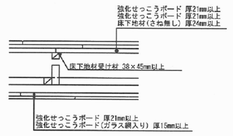
（１）床組の組立て
はり(L1,000mm以下の間隔で配置し、大入れ蟻掛け、大入れ落とし込み等の接合方法ではり・桁等に取付ける。
吊り木を1,000mm以下の間隔に配置し、はりにφ3.75×L90mm以上の鉄丸くぎ等(1本以上/1箇所)で取付ける。
野縁受けを1,000mm以下の間隔で配置し、吊り木にφ3.75×L90mm以上の鉄丸くぎ等(1本以上/1箇所)で取付ける。
野縁を333mm以下(野縁受けと直交する方向)の間隔で配置し、野縁受けにφ3.75×L50mm以上の鉄丸くぎ等(1本以上/1箇所)で取り付ける。
→はり・野縁等は、断面寸法が大きいほど、部材自身の温度が上昇しにくいため耐火性能は向上する
→はり・野縁等に用いる木材の比重は0.3以上とする。比重が大きいほど部材表面温度上昇は緩慢になる

（２）断熱材の敷き込み
野縁及び野縁受けの上に、グラスウール断熱材(厚さ25mm以上100mm以下、密度10kg/m³以下)を敷き込む。
→断熱材は厚さや密度が小さいほど、床部位内部に熱がたまらないため、耐火性能は向上する
→断熱材として、ロックウールや可燃系断熱材は不可

（３）床上被覆材の取付け
①床下地材
a.床下地材の目地部をさね目地とする場合
床下地材の目地で直下にはりが存在しない場合には、目地の直下に床下地材受け材を配置し、
φ3.05×L65mm 以上の鉄丸くぎ等(1本以上/片側(斜め打ち))ではりに取付ける。床下地材は、
φ3.33×L63.5mm 以上の鉄丸くぎ等を用いてはり及び受け材に取付ける。
鉄丸くぎ等の留め付け間隔は300mm 以下（はり及び受け材方向）とする。



b.床下地材の目地部を突付け目地とする場合
床下地材の目地で直下にはりが存在しない場合には、目地の直下に床下地材受け材を配置し、
φ3.05×L65mm 以上の鉄丸くぎ等(1本以上/片側(斜め打ち))ではりに取付ける。床下地材は、
φ3.33×L63.5mm 以上の鉄丸くぎ等を用いてはり及び受け材に取付ける。
鉄丸くぎ等の留め付け間隔は300mm 以下（はり及び受け材方向）とする。
②下張り強化せっこうボード
下張り強化せっこうボードをφ2.34×L38.1mm以上のせっこうボード用くぎ等で構造用合板等に取付ける。せっこうボード用くぎ等の留め付け間隔は600mm以下とする。
③上張り強化せっこうボード
上張り強化せっこうボードは、その目地が下張り強化せっこうボードの目地と重ならないように配置し、
φ2.75×L63.5mm以上のせっこうボード用くぎ等で構造用合板等に取付ける。せっこうボード用くぎ等の留め付け間隔は300mm以下とする。
→床下地材の目地裏には、はりまたは床下地材受け材を配置する
→床下地材は厚さ24mm以上とする（厚さが増すほど耐火性能は向上する）
→くぎ等での留め付け間隔が小さくなっても耐火上は影響はない



（４）天井被覆材の取付け
①下張り強化せっこうボード
下張り強化せっこうボードをφ2.45×L50.8mm以上のせっこうボード用くぎ等で野縁に取付ける。
せっこうボード用くぎ等の留め付け間隔は300mm以下とする。
②上張り強化せっこうボード
上張り強化せっこうボードは、その目地が下張り強化せっこうボードの目地と重ならないように配置し、
φ3.8×L75mm以上のネおじ等で野縁に取付ける。ネおじ等の留め付け間隔は、周辺部が150mm以下、中間部が200mm以下とする。
上張り強化せっこうボードの目地部は、せっこう系等目地処理材(200g/m以上)及びガラス繊維テープ(厚さ0.2×幅50mm以上)にて平滑に仕上げる。
→目地が防火上弱点となるため、上張り強化せっこうボードと下張り強化せっこうボードの目地は必ずずらす

【吊り木を吊り木受け材に取り付ける場合の注意事項】
遮音性能確保のために、吊り木を吊り木受け材に取り付ける場合は、天井被覆材の重量と吊り木受け材のスパンを考慮して、吊り木受け材がたわまないよう、部材の断面寸法を決定する。これは、吊り木受け材がたわむと天井被覆材の耐火性能に影響を与える可能性があるためである。ちなみに、性能評価試験では、スパン4m、中央部たわみ量約25mm（載荷前のたわみ量を0mとした場合）の状態の元に、吊り木を取り付けた状態で、1時間の耐火性能を確保している。

適用条件		床の各辺の長さについては、構造計算等により、構造安全性が確かめられた寸法とする	
部位		仕様・材料	留付け方法
床上側	床上被覆材（上張り）	・強化せっこうボード　厚21mm以上	次のいずれかにより、間隔300mm以下で留め付ける。 ・GNくぎ（GN65以上） ・SNくぎ（SN65以上） ・木ねじ（φ3.1×L50mm以上） ・タッピンねじ（φ3.0×L50mm以上）
	床上被覆材（下張り）	・強化せっこうボード　厚21mm以上	次のいずれかにより、間隔600mm以下で留め付ける。 ・GNくぎ（GN40以上） ・SNくぎ（SN40以上） ・木ねじ（φ2.4×L32mm以上） ・タッピンねじ（φ3.0×L30mm以上）
	床下地材	次のいずれかとする。 厚さ、比重に特記なき場合は、それぞれ24mm以上、0.5以上とする ①木質系ボード【認定番号FP060FL-0046】 ・構造用合板（JAS1級または2級） ・構造用パネル（JAS1～4級） ・繊維板（JIS A 5905） ・パーティクルボード（JIS A 5908） ②セメント板【認定番号FP060FL-0047】 ・木質系セメント板（JIS A 5404） ・パルプセメント板（JIS A 5414） 【比重0.8以上】 ・繊維強化セメント板（JIS A 5430）	次のいずれかにより、間隔300mm以下（梁と直交する方向は1000mm以下）で留め付ける。 ・CNくぎ（CN65以上） ・木ねじ（φ3.5×L45mm以上） ・タッピンねじ（φ3.5×L45mm以上）
	断熱材	グラスウールとする。 密度：10kg/m³ 厚さ：25mm以上100mm厚以下	
床組	はり	次のいずれかとする ・針葉樹の構造用製材（JAS） ・構造用集成材（JAS） ・構造用単板積層材（JAS） ・H12建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材または第七号に規定する木材 断面寸法：105×150mm以上 取付け間隔：1000mm以下	はり同士の接合は、次のいずれかによる ・はりを住口または鎖ぎ手加工する ・金物による
	吊り木 野縁受け 野縁	次のいずれかとする ・針葉樹の構造用製材、造作用製材、下地用製材（JAS） ・構造用集成材、集成材（JAS） ・構造用単板積層材（JAS） ・枠組壁工法構造用製材、構造用たて継ぎ材（JAS） ・H12建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材または第七号に規定する木材 断面寸法：45×45mm以上 取付け間隔： 吊り木　：1000mm以下 野縁受け：1000mm以下 野縁　：333mm以下	次のいずれかにより、1箇所あたり1本以上で留め付ける。 ・Nくぎ（N90以上） ・木ねじ（φ3.8×L63mm以上） ・タッピンねじ（φ3.8×L65mm以上）

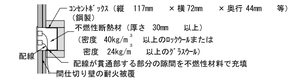
部位		仕様・材料	留付け方法
床組	構造用合板等受け材	床上被覆材の構造用合板等の端部がさね加工されていない目地部に設ける。 設ける場合は、次のいずれかとする ・針葉樹の構造用製材、造作用製材、下地用製材 ・構造用集成材、集成材 ・構造用単板積層材 ・枠組壁工法構造用製材、構造用たて継ぎ材 ・H12建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材または第七号に規定する木材 断面寸法：38×45mm以上	次のいずれかにより、1箇所あたり1本以上で留め付ける。 ・Nくぎ（N65以上） ・木ねじ（φ3.1×L50mm以上） ・タッピンねじ（φ3.0×L50mm以上）
	火打ちはり	必要に応じて設ける。 設ける場合は、次のいずれかとする ・針葉樹の構造用製材、造作用製材、下地用製材 ・構造用集成材、集成材 ・構造用単板積層材 ・枠組壁工法構造用製材、構造用たて継ぎ材 ・H12建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材または第七号に規定する木材 断面寸法：90×90mm以上	火打ちはりとはりの接合は、次のいずれかによる ・火打ちはり端部及びはりを住口加工する ・金物（くぎ・ねじ含む）による
	断熱材	グラスウールとする。 密度：10kg/m³ 厚さ：25mm以上100mm厚以下	
天井側	天井被覆材（下張材）	・強化せっこうボード　厚21mm以上	次のいずれかにより、間隔300mm以下（野縁と平行方向）で留め付ける。 ・GNくぎ（GN50以上） ・SNくぎ（SN50以上） ・木ねじ（φ2.7×L38mm以上） ・タッピンねじ（φ3.0×L35mm以上）
	天井被覆材（上張材）	・強化せっこうボード（ガラス網入り）厚15mm以上	次のいずれかにより、間隔は面材外周部150mm以下、中間部200mm以下で留め付ける（野縁と直交方向は野縁間隔と同じ間隔で留め付ける）。 ・木ねじ（φ3.8×L57mm以上） ・タッピンねじ（φ3.8×L60mm以上）
	天井上張材の目地処理	目地処理材（せっこう系または炭酸カルシウム系、200g/m以上）及びガラス繊維テープ（厚0.2×幅50mm以上）により、平滑に仕上げる	

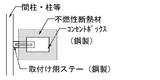
※社団法人　日本木造住宅産業協会発行　木造軸組工法による耐火建築物設計マニュアル（第２版）
および、木造軸組工法による耐火建築物の設計・施工の手引き　より抜粋

埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課							特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	資格/番号 記名 捺印	製図	検図	納品検査	東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）建築工事	図面内容 特記仕様書８（木造耐火）	図面番号 1008
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長									代表設計者 一級建築士 第239114号 石井 靖人					縮尺 N.S.	区分 建築意匠図
																担当設計者 一級建築士 第219846号 原田 聡						

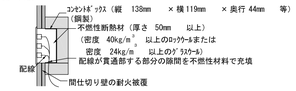
スイッチ、コンセントなど

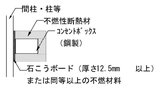
開口面積 100 cm²未満



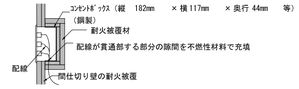


開口面積 200 cm²未満

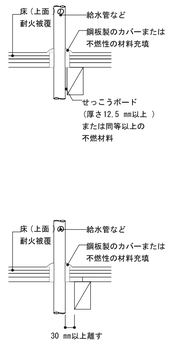




開口面積 200 cm²以上

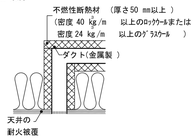


配管

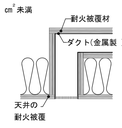


ダクト配管

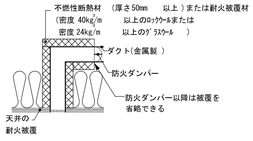
開口面積 100 cm²未満



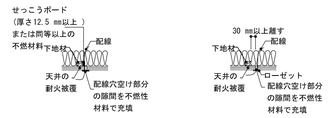
開口面積 200 cm²未満



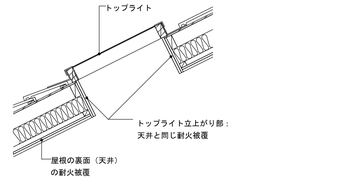
ダクトに防火ダンパーを取り付けた場合



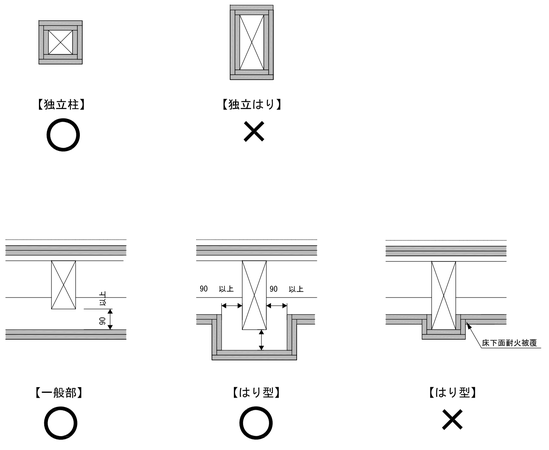
シーリング配線



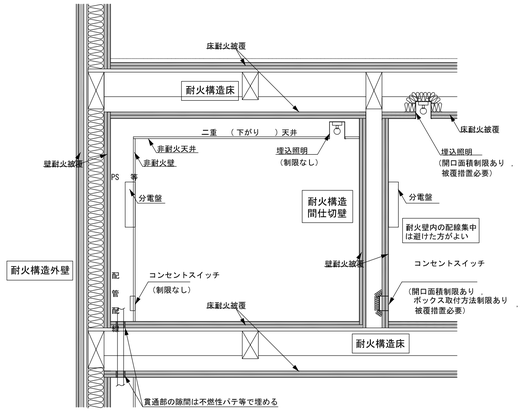
トップライト廻り

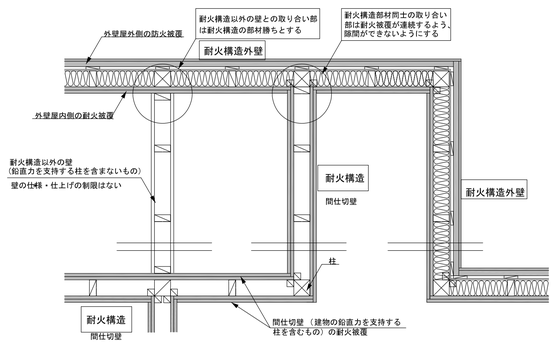


柱・梁の考え方

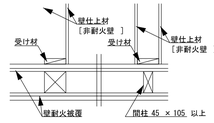


メンブレン構成の考え方

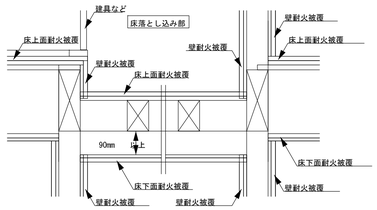




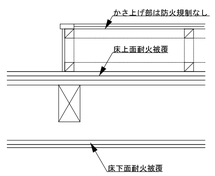
壁Ｔ字部



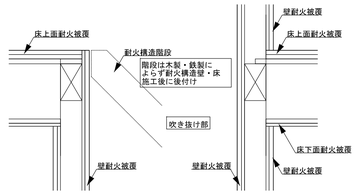
床落とし込み部



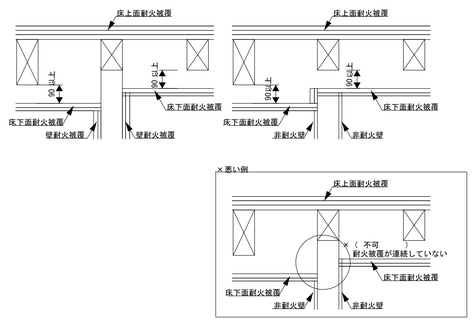
床かさ上げ部



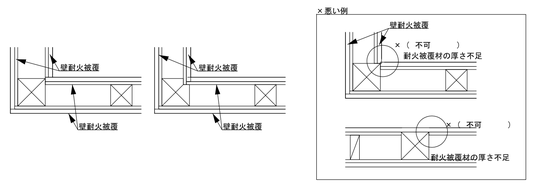
吹き抜け部の耐火被覆の考え方（ＥＶシャフトなど）



天井段差部の耐火被覆の考え方



部分的に柱寸法が異なる場合などの耐火被覆の考え方



各部位の強化せっこうボードの留め付け方法

強化せっこうボードの留め方は、各部位毎に大臣認定で詳細に決められている。原則として、くぎ・ビス（最小長さ、最小径が決まっている）で留め付けるが、壁のうち、重ね張りする強化せっこうボードの間にアルミニウムはく張りガラス繊維クロスを使用しない場合のみ、上張り強化せっこうボードは、炭酸カルシウム系接着剤（各せっこうボードメーカーから販売されている）とステープル（幅4×長さ32以上、#200以下）で留め付ける。ステープルは接着剤が乾燥硬化するまでのボードのズレ防止用である。なお、この際、炭酸カルシウム系接着剤のかわりに、酢酸ビニル系の接着剤（いわゆる白ボンド）は使用できない。

		強化せっこうボード間にアルミニウムはく張ガラス繊維クロス使用	留め付け方法／最小厚さ	
			下張り 強化せっこうボード	上張り 強化せっこうボード
外壁	屋内側	なしの場合	くぎ・ビス／21	接着剤 + ステープル／21
		ありの場合	くぎ・ビス／15	くぎ・ビス／21
間仕切壁	断熱材なしの場合	なし	くぎ・ビス／15	接着剤 + ステープル／21
	断熱材ありの場合	なしの場合	くぎ・ビス／21	接着剤 + ステープル／21
		ありの場合	くぎ・ビス／15	くぎ・ビス／21
床	上面	なし	くぎ・ビス／21	くぎ・ビス／21
	下面	なし	くぎ・ビス／21	くぎ・ビス／15（ガラス網入）
屋根	下面	なし	くぎ・ビス／12.5	くぎ・ビス／15
階段	上面	なし	くぎ・ビス／15	くぎ・ビス／12.5
	下面	なし	くぎ・ビス／12.5	くぎ・ビス／15

くぎ、ビス、ステープル、接着剤（白ボンド不可、炭酸カルシウム系を使用）の詳細は、大臣認定内容を確認のこと

※社団法人　日本木造住宅産業協会発行　木造軸組工法による耐火建築物設計マニュアル（第２版）
および、木造軸組工法による耐火建築物の設計・施工の手引き　より抜粋

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課					
課長					

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容：特記仕様書９（木造耐火）
縮尺：N.S.
図面番号：1009
区分：建築意匠図

工事区分表

設計図によるほか、次表の○印を工事区分（見積区分）とする。

工事項目	本工事 建築	電気設備	空調設備	給排水設備	外構		別途工事 太陽光発電	その他	備考
１．共通項目									
1 工事上の各種申請届出諸費用	○	○	○	○	○		○		
2 本設電力の引込工事（負担金を含む）		○							
3 本設電力、上下水道の引込後引渡し迄の使用料金	○	○	○	○			○		
4 本設電力、上下水道の引込後引渡し迄の基本料金		○		○					
5 本設通信引込工事（負担金を含む）		○							
6 既存上下水道・ガス管の撤去・同手続き				○					
7 工事施工に伴う近隣電波障害調査・対策工事	○								
8 上記以外の近隣電波障害調査・対策工事	○	○							
9 周辺建築物等調査	○								
１０ 仮囲い・共通足場	○								
１１ 現場以外の検査・試験立会いに要する費用	○	○	○	○	○		○		
２．機械基礎									
1 コンクリート基礎又は鉄骨基礎（仕上を含む）	○								原則建築工事
2 上記以外の設備配管支持架台等		○	○	○			○		
3 同上アンカーボルト・箱入・埋込み	○	○	○	○			○		
３．躯体貫通・補強									
1 地中梁の連通管・通気管・人通孔の貫通スリーブ及び躯体補強	○								
2 Ｓ造・ＳＲＣ造の貫通鋼管スリーブ及び補強	○								
3 ＲＣ造の梁貫通配管スリーブ	○	○	○	○			○		
4 同上補強（１００㎜φを超えるもの）	○								
5 床・壁の貫通スリーブ・箱入	○	○	○	○			○		
6 同上補強	○								
7 各種貫通穴明け箇所の穴埋め・補修	○	○	○	○			○		
４．躯体以外の開口・補強									
1 工場製作間仕切り壁：開口・取付枠・補強	○								
2 現場製作間仕切り壁：開口・取付枠・補強	○								
3 間仕切り壁開口部の穴埋め・補修	○	○	○	○			○		原則建築工事
4 天井付各種器具の開口・取付枠	○								
5 同上天井開口の墨出し	○	○	○	○			○		
6 壁・床：開口部各種器具取付枠	○	○	○	○			○		補強は建築工事
7 ブロック・煉瓦の設備機器取付用：開口・取付枠・補強	○								
8 ＰＣパネル・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板：開口・取付枠・補強	○								
9 同上開口部の穴埋め・補修	○								
５．点検口・ガラリ									
1 外壁取付ガラリ	○								ダクト接続用フランジ付き
2 同上接続用アングル・防鳥ネット・防虫ネット	○								
3 内壁取付ガラリ（レターンガラリを含む）	○		○						
4 ドアガラリ・レターンスリット	○								
5 各種設備の点検口（天井・壁・床）	○								
６．ピット・マンホール・水槽類など									
1 電気室・自家発電機室・機械室・配管ピット・蓋	○								
2 湧水槽・汚水槽・雑排水槽・消火水槽・ＲＣ造各種水槽	○								防水・仕上げ工事共
3 同上用マンホール・格子蓋・タラップなど	○								
4 各槽類の液面電極棒・フロートスイッチ類の供給取付		○	○	○					自家発用は電気工事
5 同上電気配管・配線・接続		○	○	○					
6 同上オーバーフロー・通気管取付け	○			○					
7 埋設オイルタンク・トレンチの躯体・防水・砂詰め	○								
8 同上用本体・注油口・他付属品一式		○	○						
9 屋内・屋外マンホールの取付枠・鋳鉄蓋・化粧蓋	○	○	○	○					化粧蓋は建築工事
１０ 屋内・屋外トレンチの躯体・排水溝・蓋・仕上げ	○								
１１ 同上設備配管類の架台		○	○	○					
７．浴室・湯沸室・便所等									
1 流し台・洗面化粧台・陶製流し（排水トラップ含む）・吊戸棚・水切り棚・換気フード	○								
2 同上一次側電気配管配線、給排水接続及び洗濯機パン設置		○		○					
3 換気フードとのダクト接続（防火ダンパーを含む）及び排気ダクト			○						
4 電気湯沸器（配管接続共）				○					
5 同上一次側電気配管・配線・接続		○							
6 浴槽・ユニットバス・ユニットトイレ・ユニットシャワー	○								
7 同上一次側電気配管、配線、給排水接続、ダクト接続		○	○	○					
8 大型化粧鏡（壁付の場合）	○								
9 化粧鏡（既製品４５０×６００以下）				○					
１０ 化粧鏡（上記以外のもの）	○								
１１ 洗面カウンター	○								
１２ 手摺（補強板取付を含む）	○								

工事項目	本工事 建築	電気設備	空調設備	給排水設備	外構		別途工事 太陽光発電	その他	備考
８．厨房設備									
1 厨房機器類の製作・搬入据付	○			○					
2 同上給排水管・ガス管及び接続				○					
3 同上1次側電気配管・配線・コンセント供給取付		○							
4 換気用フード及び排気用フード・ダクトの接続			○						
９．設備関連工事など									
1 中央集中監視制御装置及び総合監視盤	○	○	○	○			○		（昇降機関係は建築が行う）
2 機械警備用センサー・同配線・接続		○						●	警備会社工事は別途
3 同上用配管		○							
4 機械警備監視盤		○						●	警備会社工事は別途
5 扉・枠のセンサー取付用裏BOX・配管	○								
6 床置型ファンコイルユニット・ラジエーター本体			○						
7 同上用化粧カバー・吹出口・スイッチ蓋	○		○						
8 防油堤工事	○								
9 空調自動制御盤の供給取付			○						
１０ 同上自動制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○							
１１ 空調自動制御盤から各空調機までの配管・配線・接続			○						
１２ 同上盤から電気工事設置の動力制御盤までの制御用配管・配線・接続			○						
１０．防災消火設備など									
1 消火栓ボックス（ホース・ノズルとも）				○					
2 同上起動用押ボタン・表示灯・発信機・ベル・電話		○		○					
3 消火ポンプ制御盤（起動リレーとも）				○					
4 同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○							
5 同上制御盤以降2次側電気配管・配線・接続				○					
6 スプリンクラー・アラーム弁				○					
7 同上制御盤（ポンプユニットを含む）				○					
8 同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○							
9 制御盤以降2次側電気配管・配線・接続				○					
１０ 防火・防煙ダンパーの起動リレー・リミットスイッチ			○						
１１ 同上電気配管・配線・接続		○							
１２ 消火器ボックス	○								
１３ 救助袋・収納箱（避難器具設備類）	○								
１４ 消火器本体								●	発注者負担
１１．排煙設備									
1 自然排煙口及び手動開放装置	○								電動式の場合、制御盤共
2 同上遠隔操作装置及び制御盤供給取付	○								
3 同上遠隔操作装置及び制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○							
4 自然排煙口から手動開放装置までの電気配管・配線・接続	○								
5 同上遠隔操作装置から受信機までの電気配管・配線・接続		○							
6 附室 機械排煙 給気口（ダンパー共）・同開放装置			○						
7 附室 機械排煙 給気ダンパー・排煙口連動装置			○						
8 附室 機械排煙 受信機までの配管・配線・接続		○							
9 附室 自然排煙 排煙窓手動開放装置・リミットスイッチ	○								
10 附室 自然排煙 同上より受信機までの配管配線・接続		○							
１２．防火戸など									
1 防火戸・防火シャッター・防火防煙シャッター・防火シートシャッター・可動式防煙垂れ壁・建具・付属金物・自動閉鎖（開放）装置・作動確認スイッチ・操作スイッチ・連動制御盤	○								
2 感知器及び上記機器と受信機までの配管・配線・接続		○							
3 防火・防煙シャッター・垂れ壁・常開防火戸のレリーズ	○	○							防火扉のレリーズは電気工事
4 同上電気配管・配線・接続		○							
5 防火区画・排煙区画の貫通部処理	○	○	○	○					
１３．扉、自動扉、シャッター（防火シャター・防火防煙シャター・防火シートシャッター含む）									
1 駆動装置・感知装置・制御盤・電源スイッチ	○								
2 同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○							
3 同上制御盤以降2次側配管・配線・接続	○								
4 シャッター・制御盤及び操作ボタン	○								
5 同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○							
6 同上制御盤以降2次側電気配管・配線・接続	○								
7 建具への電気錠、スイッチストライク、通電蝶番の供給取付及び建具内配管配線	○								
8 同上電気錠制御盤、認証装置（カードリーダ等）供給取付及び電気配管・配線・接続		○							

工事項目	本工事 建築	電気設備	空調設備	給排水設備	外構		別途工事 太陽光発電	その他	備考
１４．昇降機設備									
1 機械室の床開口・補強・マシンビーム受梁	○								
2 機械室の床配線ピット・蓋	○								
3 昇降路内ピット防水・集水桝・点検用タラップ	○								
4 各階出入口穴あけ・同補強	○								
5 ホール押しボタン・インジケーター・鋼索などのコンクリート・穴あけ	○								
6 Ｓ造部分の敷居受・レールブラケット及びバックアップ取付用プレート	○								
7 出入口三方枠廻り埋戻し及び補修 インジケーター取付用下地鉄骨設置	○								
8 出入口扉・三方枠取付	○								
9 軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の損傷部材一式	○								
１０ 機械室トロリービーム・天井フック取付け	○								
１１ 昇降機監視盤・巻き上げ機等昇降装置及び制御盤供給据付	○								
１２ 昇降機機械室内配管・配線・接続	○								
１３ 制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○							
１４ 制御盤以降2次側電気配管・配線・接続	○								
１５ 昇降路外昇降機監視盤までの配管		○							
１６ 昇降路外昇降機監視盤までの配線・接続	○								
１７ 機械室換気設備及び冷房設備			○						
１８ 昇降路内乗り場廻りの耐火処理	○								
１９ 昇降路内仮設足場	○								
１５．遮音・吸音・断熱工事									
1 躯体関係の遮音（防音）・防振工事	○								
2 空調ダクトの遮音（防音）・防振工事			○						
3 設備機器類の遮音（防音）・防振工事		○	○	○					
4 各種設備貫通部の遮音（防音）・防振工事		○	○	○					
5 躯体関係の吸音工事	○								
6 躯体関係の断熱工事	○								
7 各種設備貫通部の断熱補修	○	○	○	○					
１６．排水設備									
1 ルーフドレン	○								原則として打込みとする
2 竪種配管及び第一会所桝接続までの配管工事	○								
3 外構雨水排水工事（第一会所桝以降）	○			○					
4 同上敷地外雨水排水本管への接続	○			○					
5 ＲＣ造オイルグリーストラップ一式	○								
6 グリーストラップ（既製品）				○					
7 屋内・屋外汚水・雑排水工事				○					
8 敷地内汚水・雑排水工事（汚水・雑排水桝を含む）				○					
9 同上敷地外本管への接続				○					
１７．太陽光発電パネル									
1 太陽光発電パネル搬入・設置工事							○		
2 発電量表示装置搬入・設置工事							○		
3 電気配線工事（太陽電池～パワーコンディショナー～低圧動力盤）							○		
4 接地工事		○							
5 低圧動力盤		○							
6 低圧動力盤（表示装置用電源工事）		○							
7 躯体の貫通（穴明）・配管設置	○	○							建築依頼工事
１８．太陽光集熱パネル									
1 太陽光集熱パネル搬入・設置工事				○					
2 同上制御盤搬入・設置工事			○						
3 同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○							
4 同上制御盤以降2次側配管・配線・接続			○						
5 電気配管配線工事			○						
6 動力盤設置工事			○						
7 躯体の貫通（穴明）・配管設置	○			○					
１９．水路設置工事									
1 防水工事	○								
2 ポンプ搬入・設置工事				○					
3 給排水配管の水路接続工事			○						
4 ポンプ制御盤搬入・設置工事				○					
5 同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○							
6 同上制御盤以降2次側配管・配線・接続				○					

工事項目	本工事 建築	電気設備	空調設備	給排水設備	外構		別途工事 太陽光発電	その他	備考
２０．木造天井部分各種機器取付用金物									
1 設備吊ボルト固定用野縁（メンブレン内）設置	○								
2 設備吊ボルト固定アングル設置	○	○	○	○					
3 設備吊ボルト設置		○	○	○					
２１．駐車場									
1 駐車場管理システム機器搬入・設置工事		○							
2 同上地業・基礎	○								
3 同上電気配管・配線・接続		○							
２２．その他									
1 避雷設備・同接地工事		○							
2 屋内サイン、屋外サイン、外部看板等	○								
3 ブラインド、カーテン、暗幕、ロールスクリーン	○								
4 ブラインドボックス・カーテンボックス	○								
5 煙突本体・点検口・掃除口・排水孔・煙道接続口	○								
6 煙突に接続する煙道工事		○	○						

埼玉県産業労働部産業拠点整備課	課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査
春日部市都市整備部鉄道高架整備課	課長						

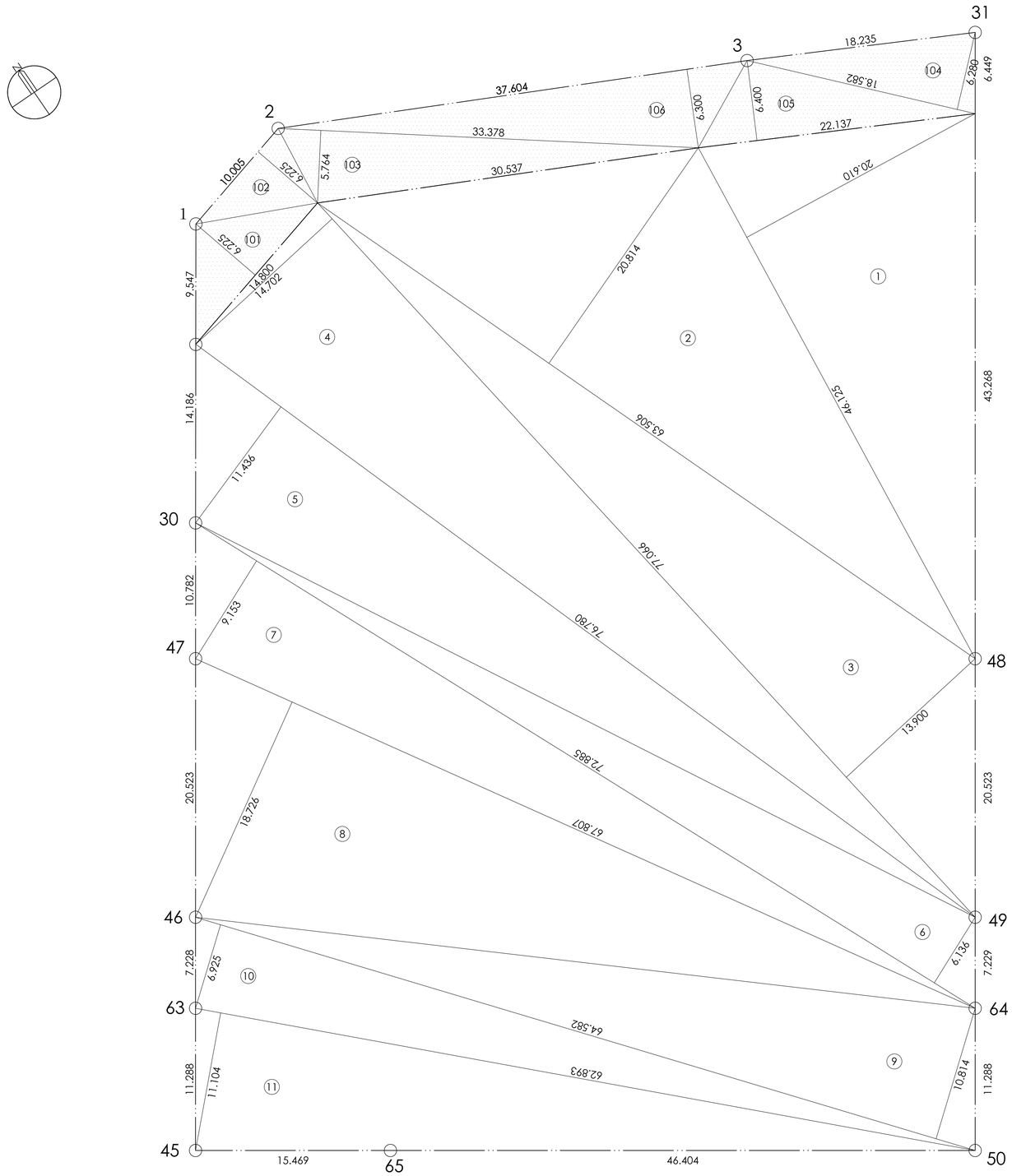
特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号 記名 捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号 石井 靖人			
担当設計者	一級建築士 第219846号 原田 聡			

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容：工事区分表
縮尺：N.S.
図面番号：1010
区分：建築意匠図



敷地１

No.	底辺	高さ	面積
1	46.125	20.610	950.63625
2	63.506	20.814	1321.81388
3	77.066	13.900	1071.21740
4	77.066	14.702	1133.02433
5	76.780	11.436	878.05608
6	72.885	6.136	447.22236
7	72.885	9.153	667.11640
8	67.807	18.726	1269.75388
9	64.582	10.814	698.38974
10	64.582	6.925	447.23035
11	62.893	11.104	698.36387
		合計	9582.82454
		1/2	4791.41227
		面積	4791.4

敷地２

No.	底辺	高さ	面積
101	14.800	6.225	92.13000
102	10.005	6.225	62.28112
103	33.378	5.764	192.39079
104	18.582	6.280	116.69496
105	22.137	6.400	141.67680
106	37.604	6.300	236.90520
		合計	842.07887
		1/2	421.03943
		面積	421.0

敷地１+敷地２合計　5,212.4㎡

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課						
課長						

特記

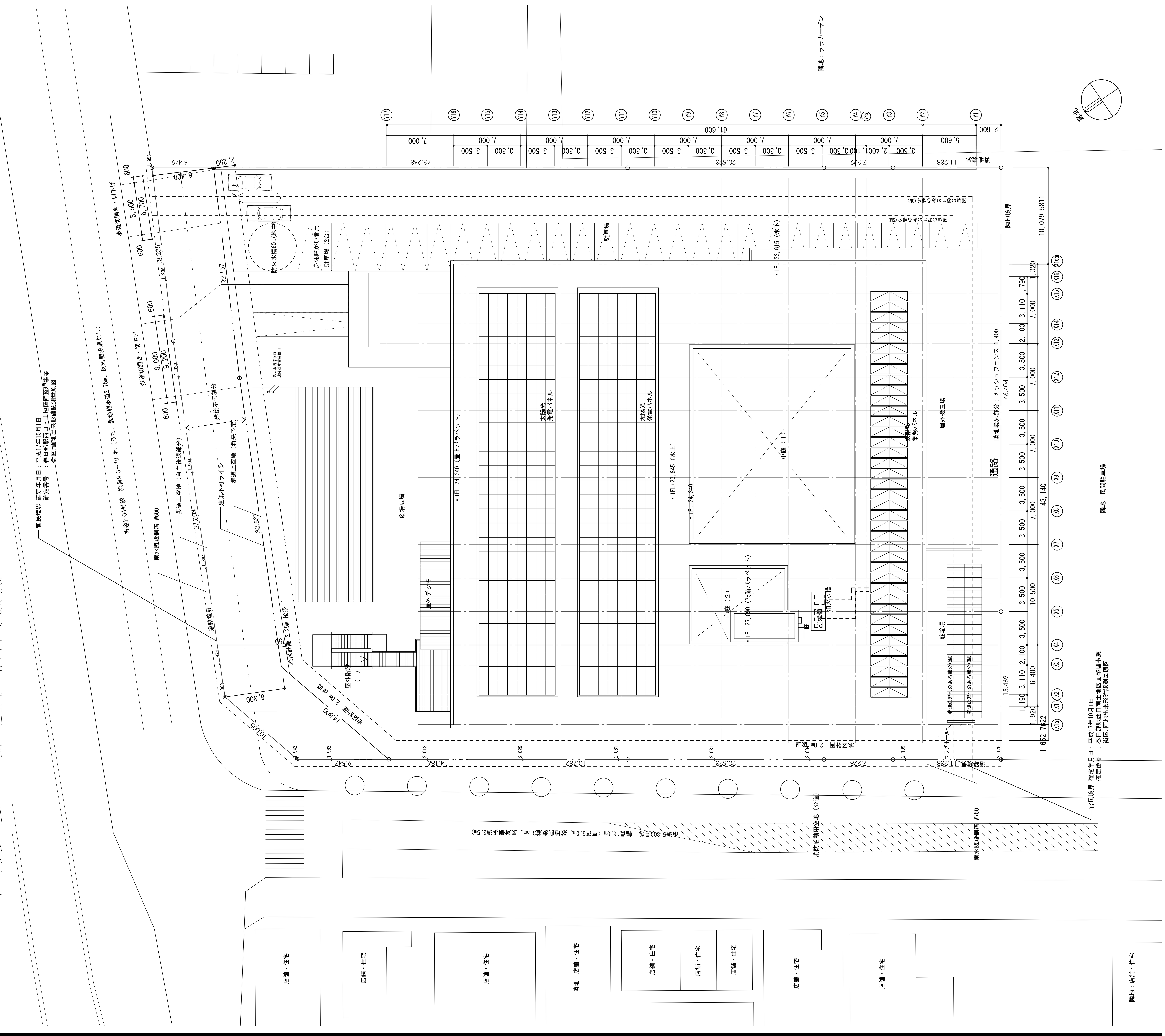
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

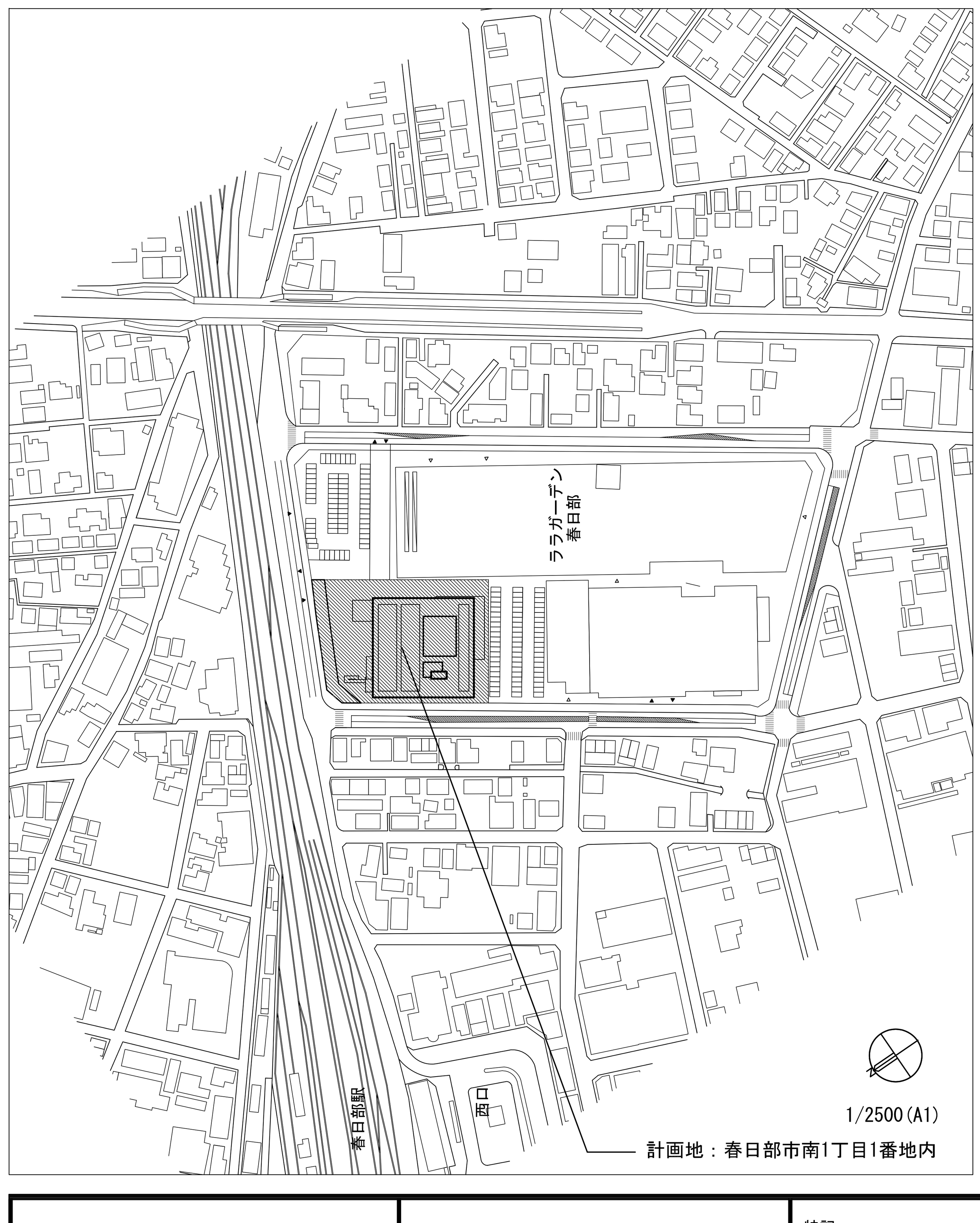
	資格/番号	記名	捺印
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人	
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡	

製図	検図	納品検査

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容：敷地求積図
縮尺：1/200(A1)　1/400(A3)
図面番号：1011
区分：建築意匠図





埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記
課長 副課長 主幹 主査 主査 主査	課長	

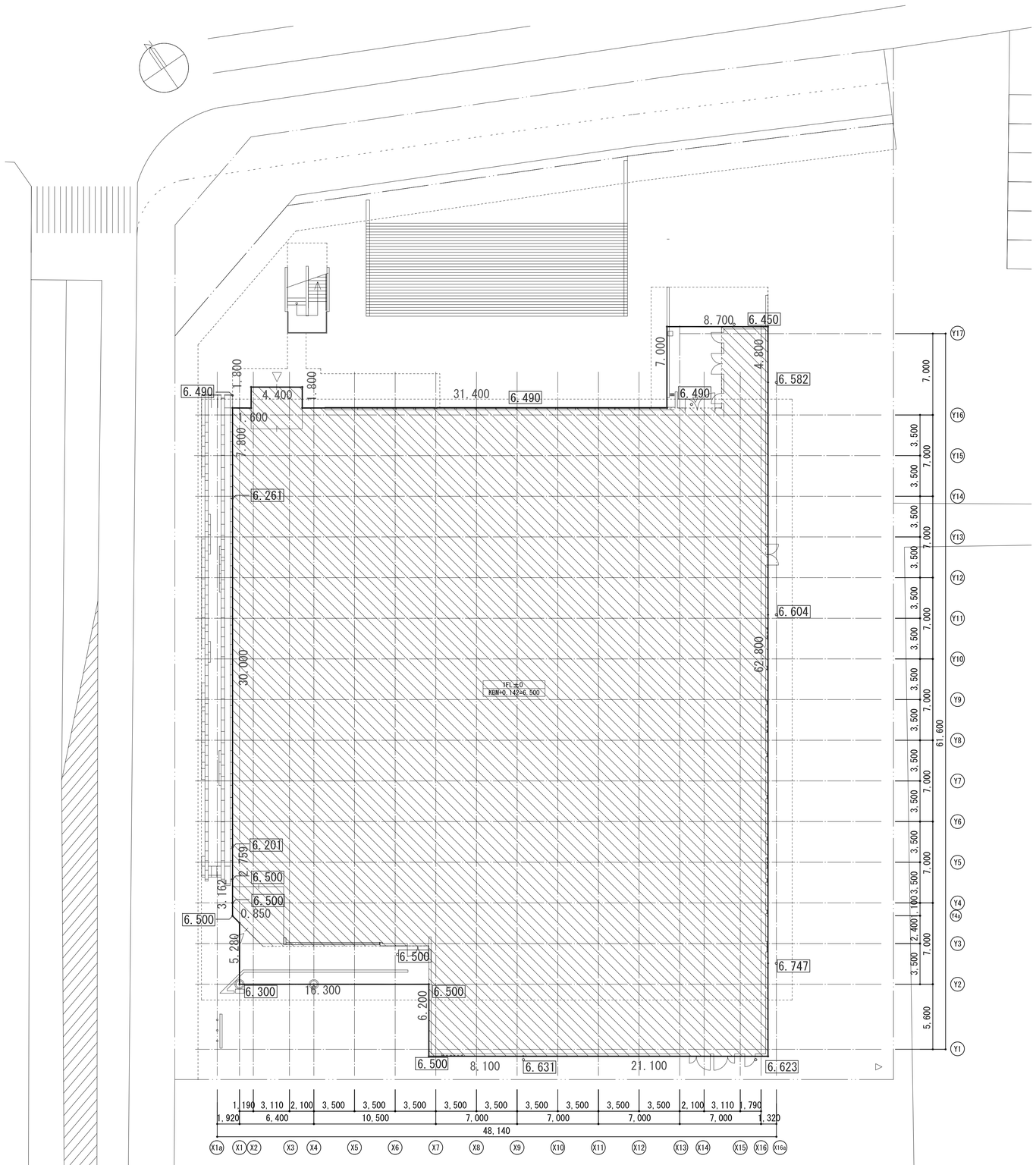
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	配置図・敷地案内図
縮尺	1/200(A1) 1/400(A3)

図面番号	1012
区分	建築意匠図



6.500　計画レベル

21.100　壁面長さ

地盤面算定式

{6.490*(1.6+1.8+4.4+1.8+31.4)+(6.490+6.450)/2*7.0+6.450*8.7+(6.450+6.582)/2*4.8
+(6.582+6.604)/2*20.0+(6.604+6.747)/2*30.0+(6.747+6.623)/2*8.0+(6.623+6.631)/2*21.1
+(6.631+6.500)/2*8.1+6.500*6.2+(6.500+6.300)/2*16.3+(6.300+6.500)/2*5.28+6.500*0.85
+6.500*3.162+(6.500+6.201)/2*2.759+(6.201+6.261)/2*30.0+(6.261+6.490)/2*7.800}
/(1.6+1.8+4.4+1.8+31.4+7.0+8.7+4.8+20.0+30.0+8.0+21.1+8.1+6.2+16.3+5.28+0.85+3.162+2.759+30.0+7.8)
=6.4964

平均地盤面　TP+6.496m

春日部市街区多角点　KBM+0.138m

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課						
課長						

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号　記名　捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号　石井 靖人			
担当設計者	一級建築士 第219846号　原田 聡			

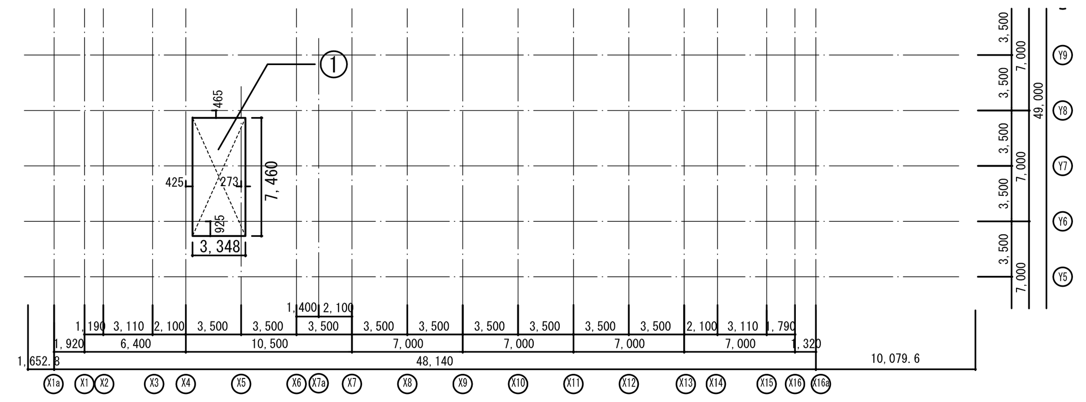
東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容　平均地盤面算定図

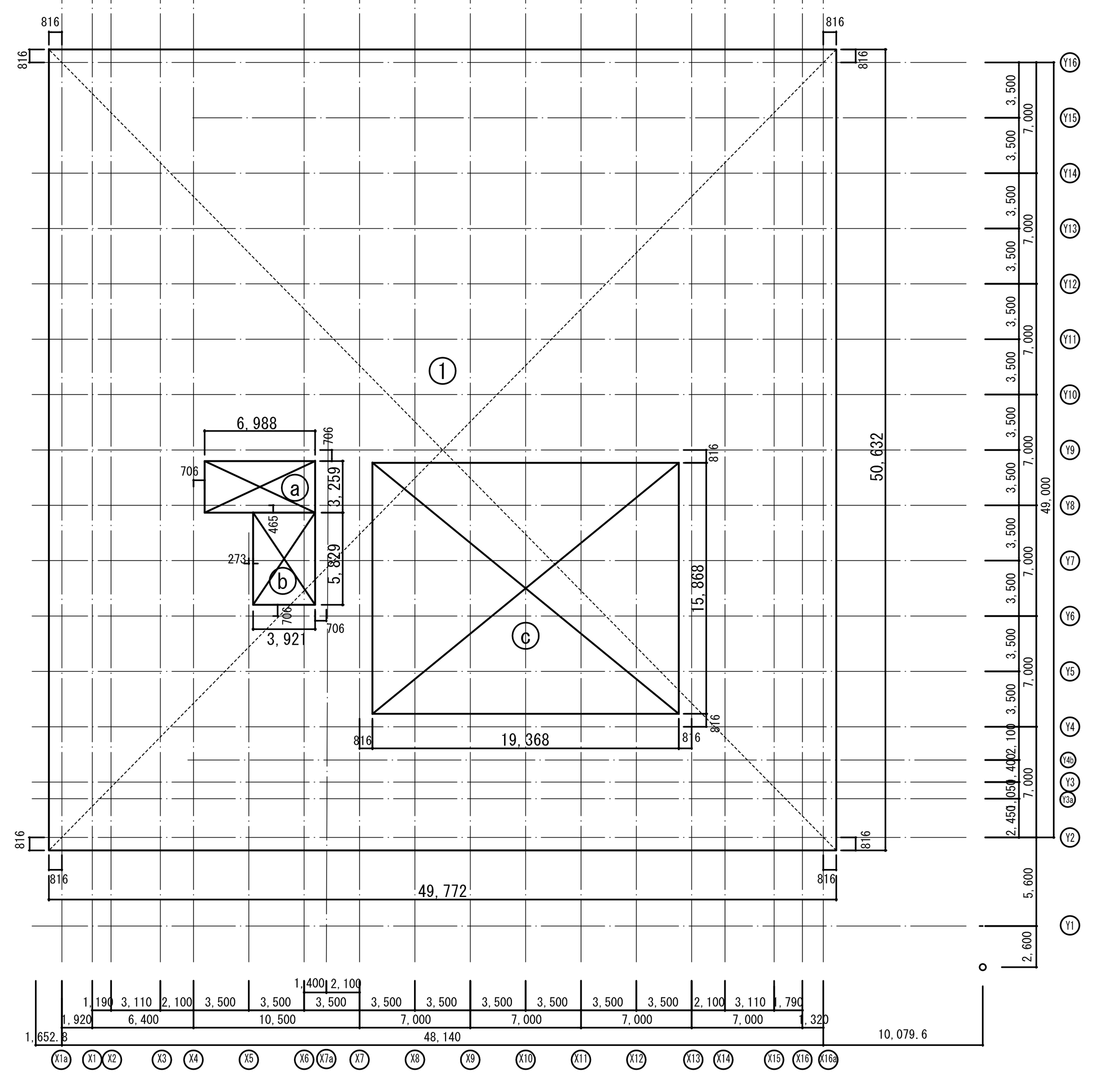
縮尺　1/200(A1)　1/400(A3)

図面番号　1013

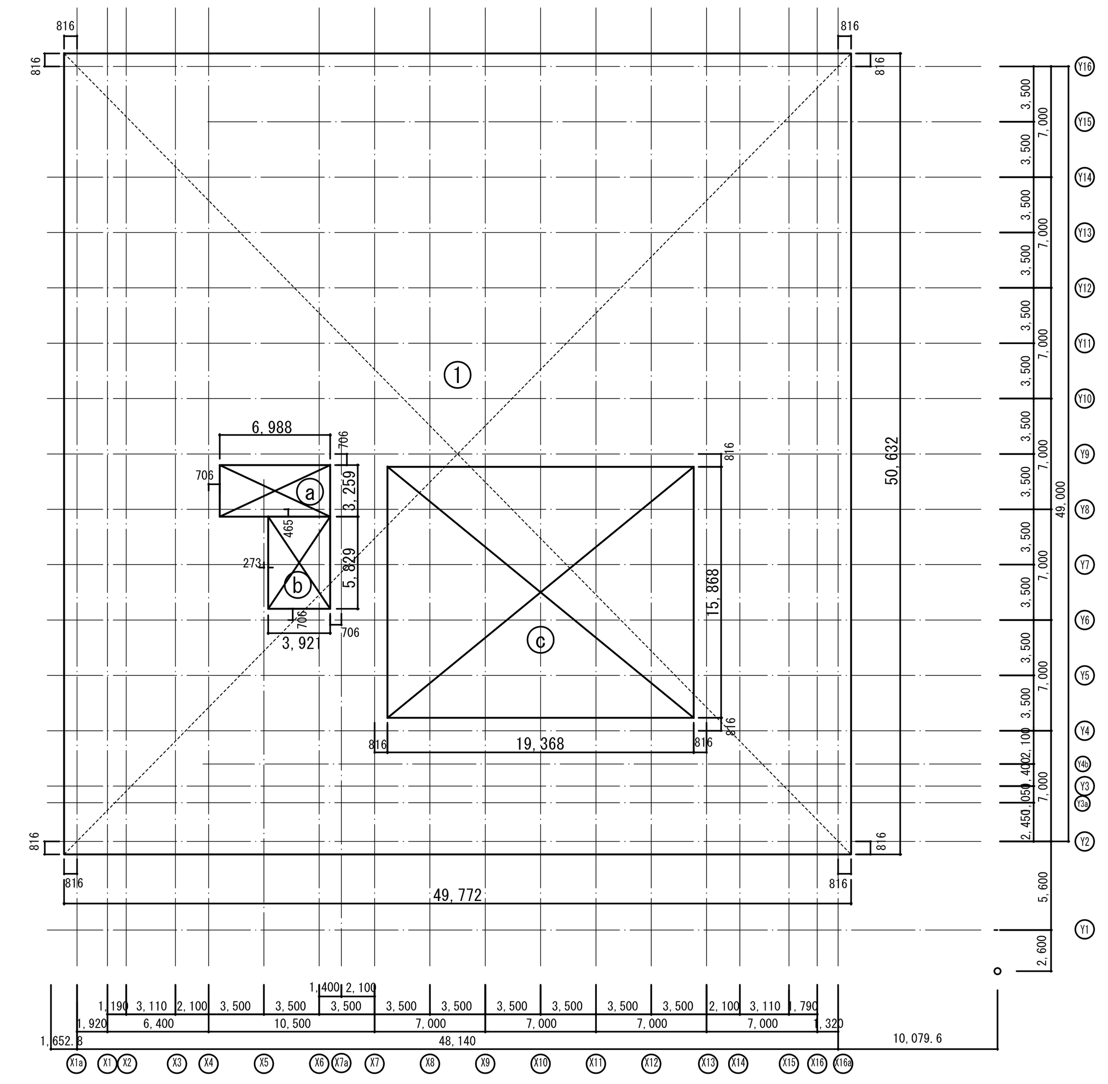
区分　建築意匠図



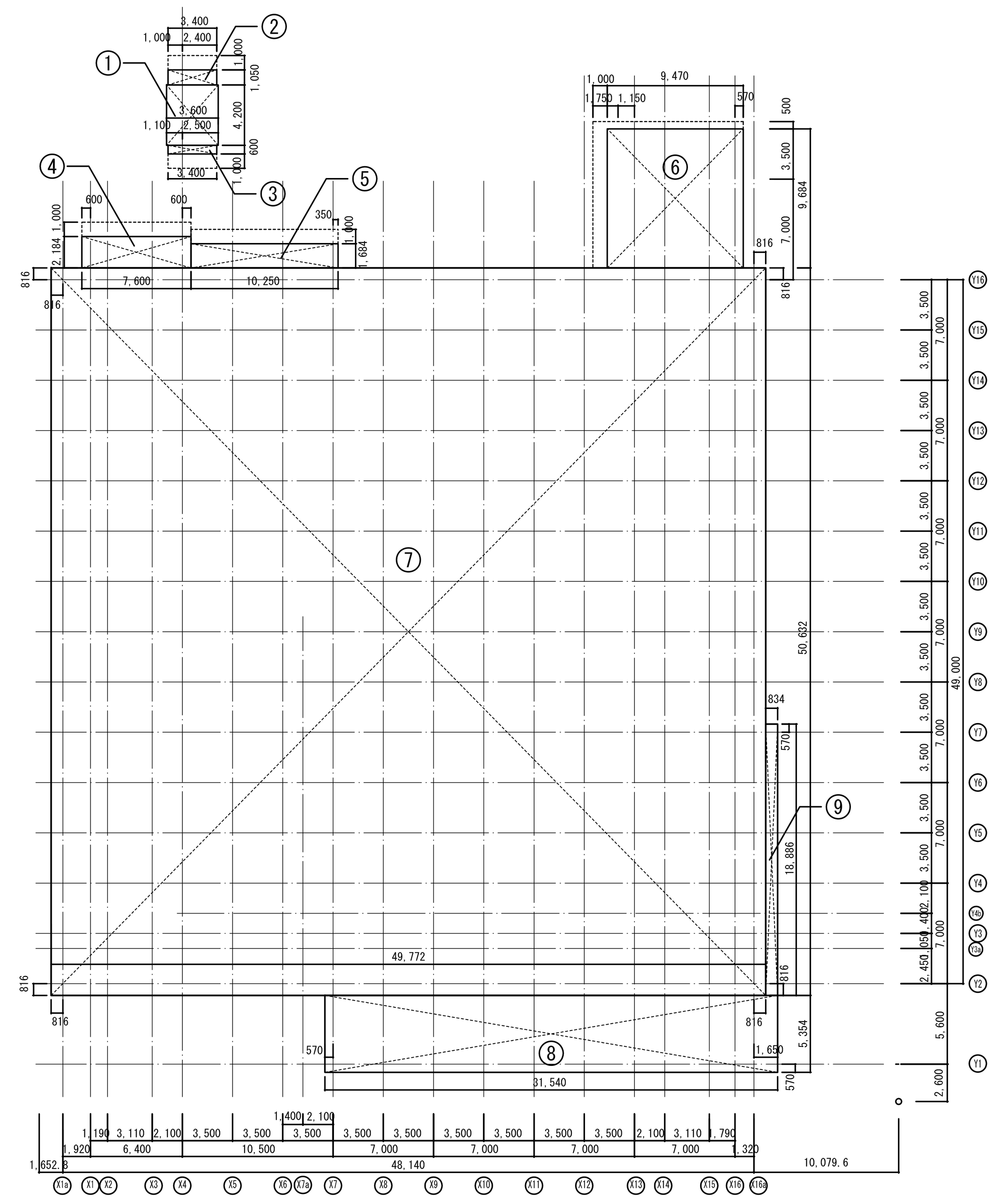
ＰＨ階床面積算定図



５階床面積算定図



６階床面積算定図



建築面積算定図

1F		
符号	計算式（X×Y）	面積（㎡）
1	4.3000 × 1.7500	7.525
2	7.0740 × 46.1000	326.111
3	9.9300 × 45.9950	456.730
4	29.1400 × 55.6650	1622.078
5	8.6200 × 10.0050	86.243
6	17.0040 × 4.3160	73.389
7	3.6000 × 4.0000	14.400
		0.000
−a	5.6500 × 1.6000	−9.040
−b	1.7000 × 5.2000	−8.840
1F床面積合計		2568.596
		2568.59

2F		
符号	計算式（X×Y）	面積（㎡）
1	4.8240 × 19.8500	95.756
2	2.6010 × 13.9510	36.286
3	12.3540 × 8.0000	98.832
4	12.6040 × 12.9000	162.591
5	17.1480 × 8.0700	138.384
6	14.7660 × 6.5010	95.993
7	7.2000 × 6.1460	44.251
8	7.0000 × 12.9960	90.972
9	1.5660 × 18.8860	29.575
10	14.9400 × 0.2460	3.675
11	7.1855 × 36.5350	262.522
12	3.4640 × 0.8550	2.961
13	1.8000 × 9.0000	16.200
14	6.7990 × 1.7000	11.558
15	4.7500 × 7.5660	35.938
16	1.7500 × 5.4650	9.563
		0.000
−a	1.8500 × 4.8000	−8.880
2F床面積合計		1126.177
		1126.17

3F		
符号	計算式（X×Y）	面積（㎡）
1	10.6190 × 7.5660	80.343
2	12.4690 × 15.7500	196.386
3	1.9500 × 0.9000	1.755
4	10.5190 × 18.9945	199.803
5	0.6890 × 1.8840	1.298
6	0.9360 × 0.0400	0.037
7	21.7655 × 43.3300	943.099
8	0.9395 × 0.0400	0.037
9	7.1855 × 8.3700	60.142
10	5.1500 × 2.3750	12.231
11	1.8500 × 8.6500	16.002
−a	5.5450 × 3.7500	−20.793
−b	16.0000 × 40.1700	−642.720
3F床面積合計		847.620
		847.62

4F		
符号	計算式（X×Y）	面積（㎡）
1	47.4640 × 50.2700	2386.015
		0.000
−a	9.2240 × 16.6500	−153.579
−b	7.2800 × 2.3000	−16.744
−c	14.8740 × 8.4150	−125.164
−d	7.5290 × 9.9850	−75.177
−e	3.3180 × 4.1000	−13.603
−f	4.1170 × 10.1250	−41.684
−g	19.8900 × 0.0400	−0.795
−h	1.3200 × 1.9000	−2.508
−i	1.3200 × 0.7000	−0.924
−j	19.6200 × 16.4525	−322.798
4F床面積合計		1633.039
		1633.03

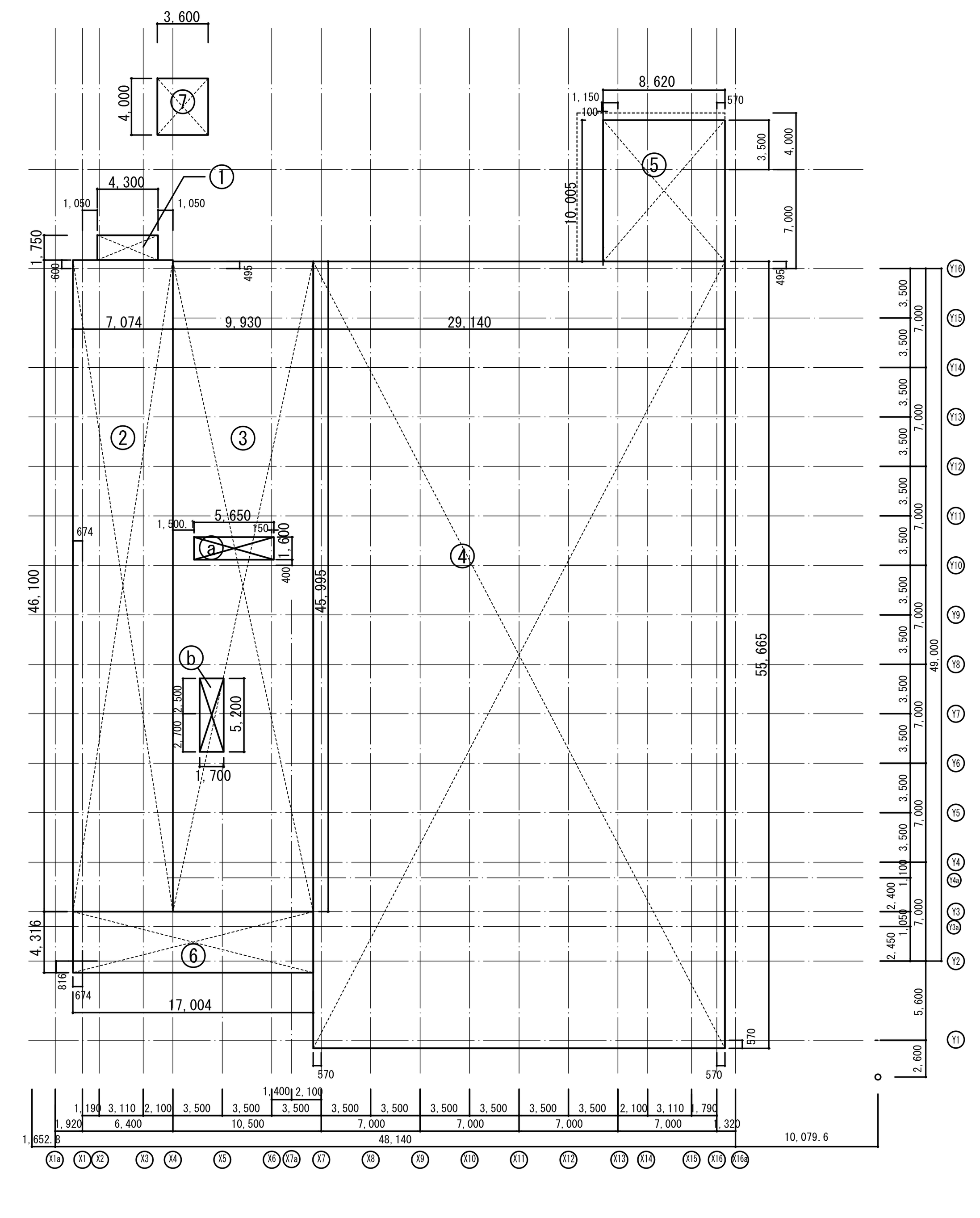
5F		
符号	計算式（X×Y）	面積（㎡）
1	49.7720 × 50.6320	2520.055
		0.000
−a	6.9880 × 3.2590	−22.773
−b	3.9210 × 5.8290	−22.855
−c	19.3680 × 15.8680	−307.331
5F床面積合計		2167.096
		2167.09

6F		
符号	計算式（X×Y）	面積（㎡）
1	49.7720 × 50.6320	2520.055
		0.000
−a	6.9880 × 3.2590	−22.773
−b	3.9210 × 5.8290	−22.855
−c	19.3680 × 15.8680	−307.331
6F床面積合計		2167.096
		2167.09

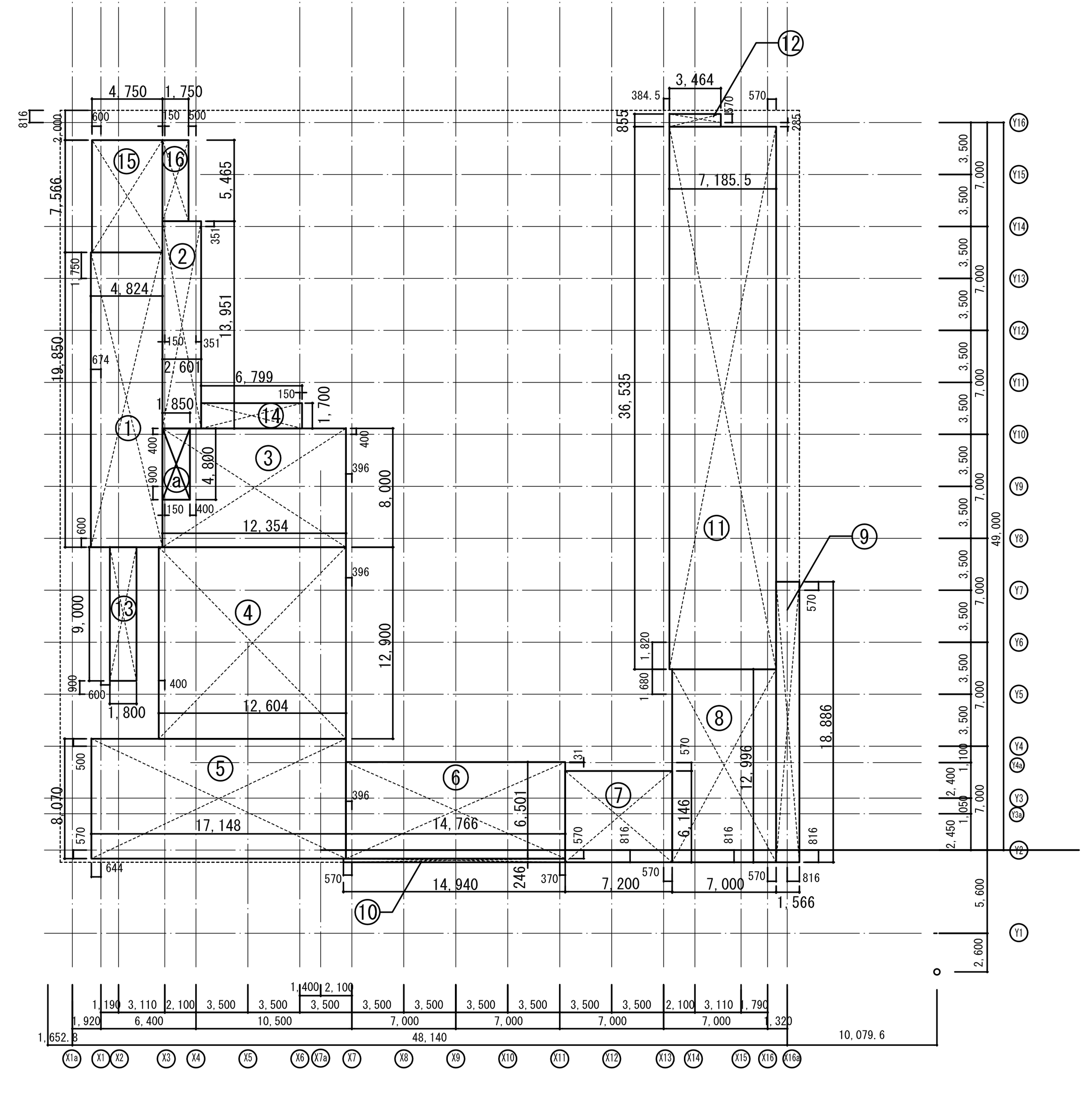
PHF		
符号	計算式（X×Y）	面積（㎡）
1	3.3480 × 7.4600	24.976
PHF床面積合計		24.976
		24.97

PHF	24.97
6F	2167.09
5F	2167.09
4F	1633.03
3F	847.62
2F	1126.17
1F	2568.59
合計床面積（延床面積）	10534.56
	10534.56 ㎡

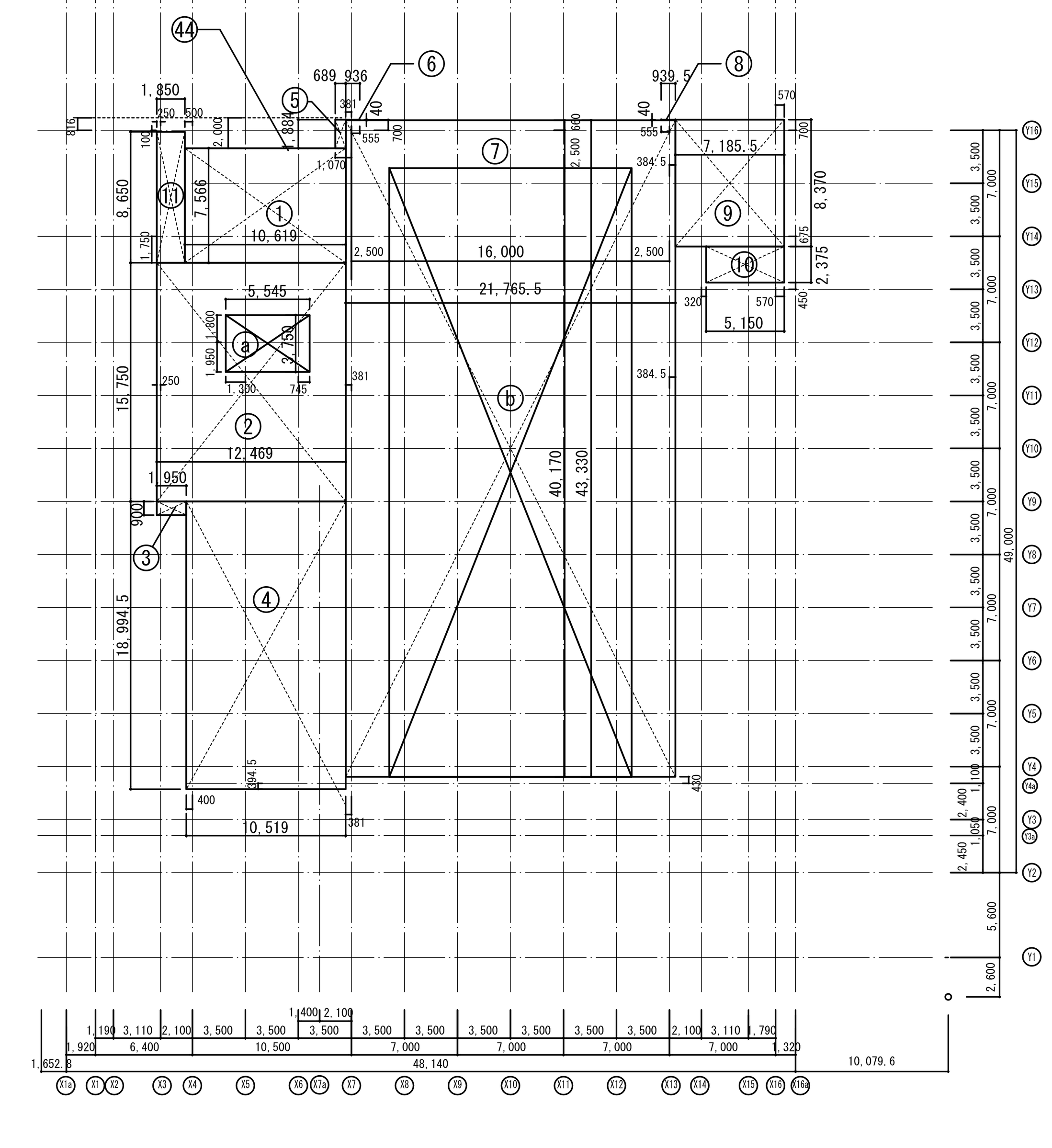
建築面積		
符号	計算式（X×Y）	面積（㎡）
1	3.6000 × 4.2000	15.120
2	3.4000 × 1.0500	3.570
3	3.4000 × 0.6000	2.040
4	7.6000 × 2.1840	16.598
5	10.2500 × 1.6840	17.261
6	9.4700 × 9.6840	91.707
7	49.7720 × 50.6320	2520.055
8	31.5400 × 5.3540	168.865
9	0.8340 × 18.8860	15.750
建築面積合計		2850.966
		2850.96 ㎡



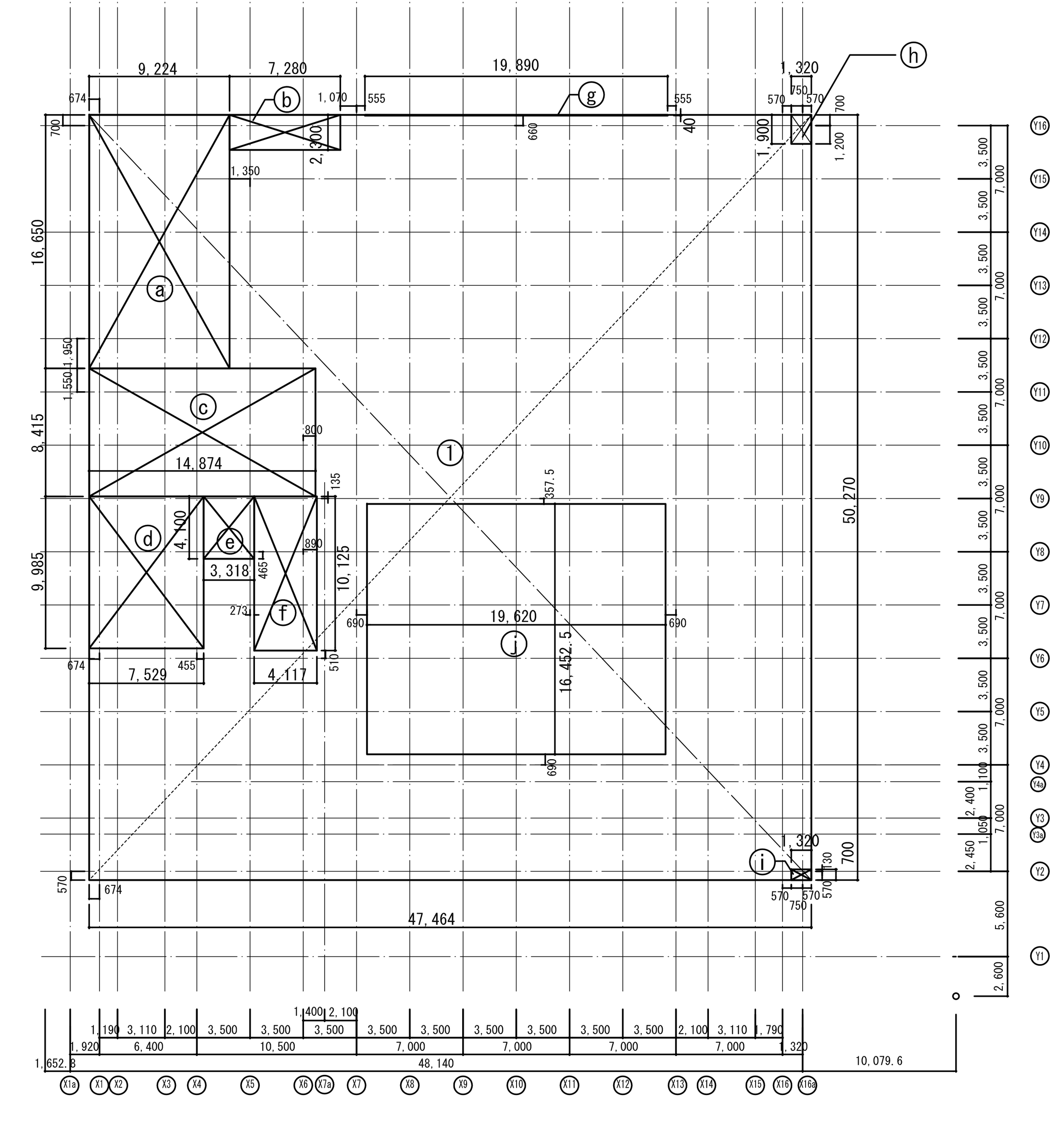
１階床面積算定図



２階床面積算定図

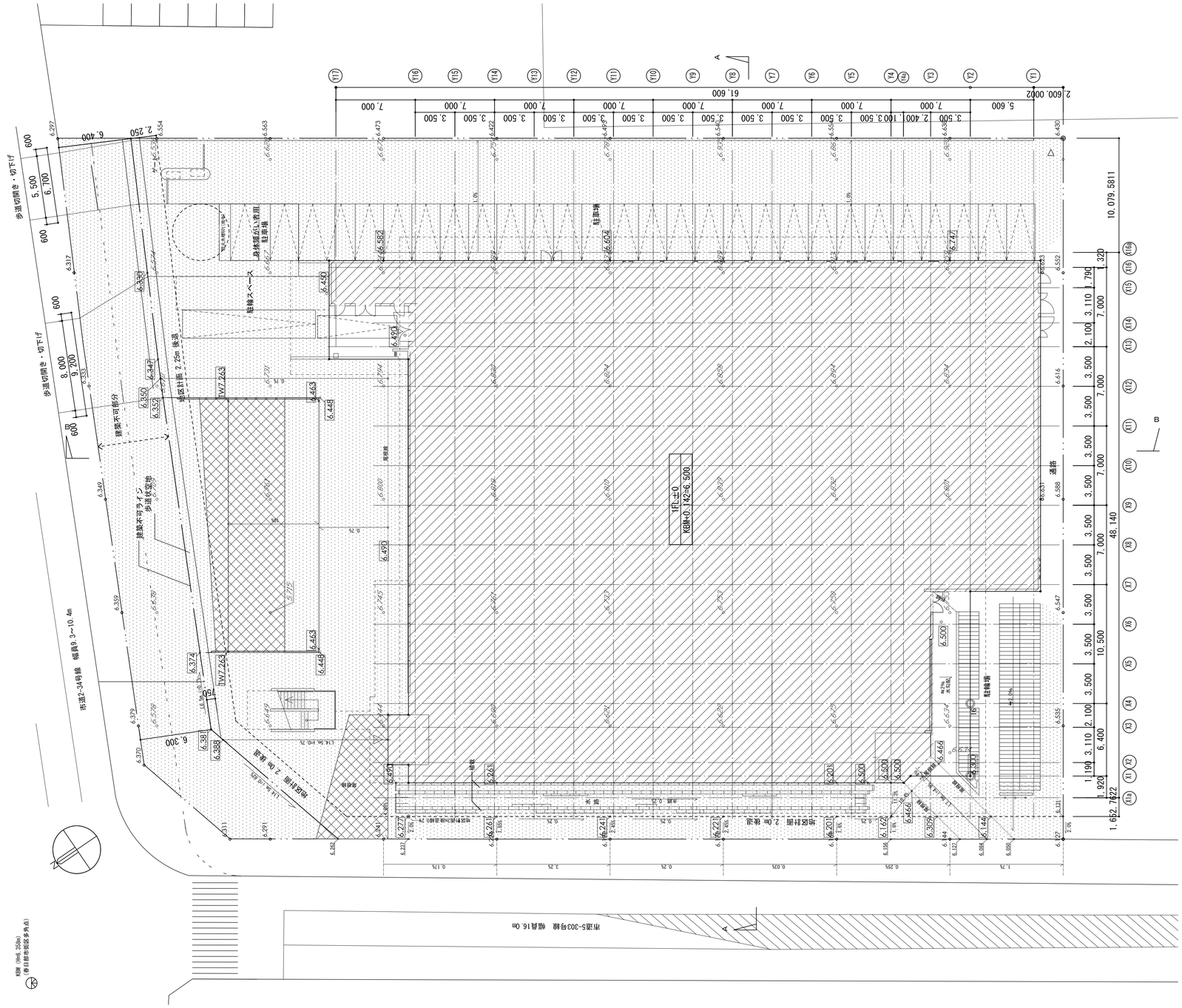


３階床面積算定図



４階床面積算定図

埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	資格/番号 記名 捺印	製図	検図	納品検査	東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称） 建築工事	図面内容 建築面積・各階床面積算定図	図面番号 1014
課長 副課長 主幹 主査 主査 主査	課長			代表設計者 一級建築士 第239114号 石井 靖人						
				担当設計者 一級建築士 第219846号 原田 聡					縮尺 1/400(A1) 1/800(A3)	区分 建築意匠図



凡例

- 6.430 地盤レベル 変更なし
- 6.430 地盤レベル 現況
- 6.430 地盤レベル 計画
- 切土範囲 2,300.5㎡
- 盛土範囲 206.5㎡

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課						
課長						

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
造成計画平面図	1015
縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	区分 建築意匠図

--------------- 仮囲い：成形鋼板 H3,000

ゲート：折りたたみ式鋼製複合板パネルゲートとする。各ゲートの脇にくぐり戸を設置する。

※監督員事務所およびガードマンボックスは適切な位置に配置すること。
※交通誘導員は期間中３人程度とする。
ただし、工事内容や工事車輌の交通状況によっては適宜増員を行い、近隣住民及び近隣施設利用者の安全を確保する。

埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	資格/番号 記名	捺印	製図	検図	納品検査	東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）建築工事	図面内容 仮設計画図	図面番号 1016
課長 副課長 主幹 主査 主査 主査	課長			代表設計者 一級建築士 第239114号 石井 靖人						縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	区分 建築意匠図
				担当設計者 一級建築士 第219846号 原田 聡							

仕上共通事項　（凡例項目に○印を付した項目を採用する）

○印を適用する。

部位	事項
屋上	○ 押えコンクリートは、普通コンクリート厚80mm以上とし、ワイヤーメッシュ(6Φ×100網目)を入れる
	○ 押えコンクリートの伸縮目地は@3,000mm以内とし、機械基礎等の防水立上り端部にも必ず設ける。
	・ 屋上及びバルコニーの水勾配は、躯体側でとる。
	○ 屋上、テラス、庇屋根等の防水エリアは、排水ルートを必ず2系統以上確保する。
軒天	○ 屋外の軒天井及びピロティー天井については、特記仕様書14.4.4に規定する天井補強を行う。
	・ 沿岸地域(海岸より1km以内)の軒天井は、軽鉄下地、ビス、タッカー類も全てステンレス製を使用する(対塩害対策)。
	・ 沿岸地域では海水で表面劣化する為、外部用岩綿吸音板は使用しない。
外壁	・ 外壁のコンクリート面が化粧仕上げ、又は吹付け塗装仕上等の場合は打増し２０ｍｍを行う。
	・ タイル張り外壁の亀裂誘発目地は、必ず躯体目地位置と一致させる。
	・ 層間ムーブメントによるタイル剥落防止のため、タイル厚の1/3を超える深目地は行わない。
	・ ALC板、押出し成型セメント板にタイル張りは、温度変化による反りに追随できないため原則として行わない。
	○ 乾式外壁(ALC、成型板等)目地からの侵入水対策として、最下部に水切り、各層に水抜きパイプを設置する。
	○ 化粧コンクリート打放し：増打外部t20(特記なき限り）。コーン跡、樹脂モルタル充填、直仕上。型枠はウレタン塗装2回塗。
	○ フォームタイ、セパレーターの割付を図示又は現場指示に基づき行う。打設時の人員配置、バイブレーター計画を指示により行う。
床	○ 仕上げはFLからの仕上高さを示す。特記なき限り、±0とする。
	○ 躯体高はFLからの躯体高さを示す。特記なき限り-10とする。
	○ PS、EPS、DS内の床仕上は特記なき限り防塵塗装仕上とする。
	○ コンクリートにタイルカーペットを直張りする場合は、下地を十分乾燥（表面含水率8%以下）させてから施工する。
	・ 下地が十分乾燥できない場合、異臭発生防止対策として可塑剤を含まないエコタイプタイルカーペット
	を使用するか、下地に防湿シートを施工する。
	○ 高遮音構造、防振構造を採用した場合は、施工計画書を提出する。
	○ 機械室の床スラブは200mm厚とし、下階に居室等静けさを要求する室がくる場合は浮き床構造とする。
	機械室の上階に居室が配置される場合の天井スラブ厚は200mm以上とする。
	仕上表の躯体高は、構造の躯体レベルを示す。
	躯体調整代はセルフレベリング材で調整する。
	ビニールシートは、特記なき限り、溶接工法とする。
壁	大面積ボード壁及び異種下地部分については、必ず亀裂誘発目地を設置する。
	機械室に隣接して居室が配置される場合、剛性が高い材料を使用し、LGS下地は千鳥、内部GW充填とする。（壁揺れの対策）
	男女の便所およびシャワー室が隣接する場合、遮音壁（ボード両面2枚貼、内部GW充填）を採用する。
	外壁に接するグラスウールのアンカービンは内部結露防止のため、樹脂製のものを使用する。
	塗装仕上の場合、穴明きコーナービードを使用する。
	電気室出入口及びEPS間仕切下部は止水対策として、躯体立上り（H=100程度）を設ける。
	LGS壁のボード貼はジョイントレス工法とし、二枚貼りの場合はジョイントは重ならない様に施工する。
	ジョイントは寒冷紗貼りの上パテしごきとし、平滑に仕上げる。GL工法もこれによる。
	GBは、特記なき限り、不燃仕様とする。
	乾式遮音間仕切が、他壁及び躯体等と取合う部分には遮音用シールを施す。
天井	浴室の天井材はロックウール系の防湿加工した製品は使用しない（湿気を吸って脱落）。
	プール、浴室、脱衣室等が多い室は、天井下地を高腐食仕様（SUS+クリヤー）とする。
	500㎡を超える大規模空間の天井は、特記仕様14.4.5に規定する耐震天井とする。
その他	品質グレード欄に記載された建築材料名等については、同等品以上のものを採用する。
	外部及び水廻りに用いるGBは、耐水仕様とする。

内部仕上リスト　（記載事項を使用する）

床 記号	床 仕上	床 品質グレード	壁 記号	壁 仕上	壁 品質グレード
F-1	タイルカーペットA	・欠番	W-1	EP-2塗装仕上げ	
F-2	タイルカーペットB	東リ GA100 程度	W-2	EP-G塗装仕上げ	エスケー化研　セラミフレッシュIN 程度
F-3	タイルカーペットC	東リ GX-9200V 程度	W-3	VE塗装仕上げ	
F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	東リ フロアリウムプレーン 程度	W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	東リ　防汚ケナフウォールWEN5249 程度
F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	東リ フロアリウムソイルド 程度	W-5	ビニルクロス貼りＢ（防汚ケナフ壁紙）	東リ　防汚ケナフウォールWEN 5219 程度
F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	東リ フロアリウムリッチ 程度	W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	住友3M　ダイノックシート　PSシリーズ程度
F-7	置き敷きビニル床タイル	東リ ルースレイタイルLL300 程度	W-7	不燃化粧フィルム貼りＢ	住友3M　ダイノックシート　FWシリーズ程度
F-8	塗床A	ABC商会 ケミクリートE 防滑工法　程度	W-8	土塗壁調多意匠装飾仕上塗材（コテ仕上げ）	エスケー化研　ベルアートIN　程度
F-9	塗床B	ABC商会 プロテクリートE　A種程度	W-9	木製リブ100×25,50,100,200（配置は図示）OS-CL	ヒノキ 無垢材
F-10	防塵塗装A	ABC商会 シリケートハードナーJP　程度	W-10	漆喰(黒)t10磨き鏡面仕上 +ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼付 +GB-L t 9.5	左官職人（特定技能者）による施工
F-11	防塵塗装B	ABC商会 カラートップU　程度	W-11	建具(図示) +飛散防止フィルム貼	住友3M　スコッチティント　マットクリスタル程度
F-12	天然木ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t 15　+耐水合板 t 15＋均しﾓﾙﾀﾙt10		W-12	ガラスシェード貼（ガラス開口部分）	住友3M　ファサラガラスシェード　グラデーション程度
F-13	外国産花崗岩 t 40 ｼﾞｪｯﾄﾊﾞｰﾅｰ仕上　空練ﾓﾙﾀﾙt40		W-13	化粧単板貼　OS-CL	・樹種は特記に拠る。
F-14	外国産花崗岩 t 30 ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ仕上 空練りﾓﾙﾀﾙ t 35		W-14	けいカル施釉板 t ＝6 ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ 工法	大日本インキ　DICフネンソリッドカラー程度
F-15	ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ　t 5+ ﾓﾙﾀﾙt40 +ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ3.2φ	東リ　O.I.C　程度	W-15	スライディングウォール　+不燃化粧フィルムＡ	
F-16	再生木フローリング　t 25（外部用）＋鋼製根太組H=70	リフォージェル㈱プラスッド程度	W-16	スライディングウォール　Stパネル　A-BE	
F-17	OAフロアー　H=300　+　防塵塗装A	ニチアス　シグマフロアーM300A　程度	W-17	防水ﾓﾙﾀﾙ t=30 +塗膜防水	
F-18	OAフロアー　H=100　+　防塵塗装A	ニチアス　シグマフロアーM300A　程度	W-18	GW32K　t 50　ガラスクロスピン止め	
F-19	ビニル床タイルA	東リ　マチコV　程度	W-19	木製孔明き吸音版　OS-CL仕上げ	
F-20	ビニル床タイルB　（表面硬化、耐タバコ）	東リ　シガハード　程度	W-20	穴あき吸音版　EP-2塗装仕上げ	
F-21	塗床C	ABC商会 フェロコン　程度	W-21	GW32K　t 25　ガラスクロスピン止め	
F-22	OAフロアー　H=150　+　防塵塗装A	ニチアス　シグマフロアーM300A　程度	W-22	仕上げなし（素地のまま）	
F-23	シート防水B		W-23	LVL　t 80×2　油性クリアー塗装仕上げ	日本オスモ　オスモカラーウッドワックス程度

間仕切壁下地仕様

※使用区分は平面詳細図参照。

記号	仕様	認定番号	記号	仕様（遮音壁、耐火壁、吸音壁等）	遮音・耐火認定番号
L-1	GB-R-Ht9.5　+GB-Rt12.5　+LGS下地（両面貼）天井まで		LW-1	GB-Ft12.5　+GB-R-Ht9.5　+LGS下地（両面貼）、音響絶縁パッド千鳥配置	TLD-45（FP060NP-0199）
L-2	GB-R-Ht9.5　+GB-Rt12.5　+LGS下地（両面貼）スラブまで	1時間耐火（FP060NP-0199）	LW-2	GB-Ft12.5　+GB-R-Ht9.5　+GWt50/24kg　+LGS下地（両面貼）、スペーサーGB-Rt12.5千鳥配置	TLD-51（FP060NP-0200）
L-3	GB-Ft21+21　+LGS下地（片面貼）スラブまで	1時間耐火（FP060NP-0197）	LW-3	GB-Ft21　+GB-R-Ht9.5　+GWt50/24kg　+LGS下地（両面貼）、スペーサーGB-Rt12.5千鳥配置	TLD-56（FP060NP-0198）
L-4	GB-R-Ht9.5　+GB-Rt12.5　+LGS下地（片面貼）スラブまで		LW-4	GB-Ft21　+GB-R-Ht9.5　+GWt50/24kg　+LGS下地（両面貼）、LGSスタッドダブル配置	TLD-61（FP060NP-0198）
L-5	けイカル板 t 6　増貼		L-21	耐火塗料(屋外用)	
L-6	GB-R-Ht9.5　増貼		L-22	GB-R-Ht12.5　+GB-St12.5　+LGS下地（片面）	
L-7	GB-St12.5　増貼		L-14	―	
L-8	GB-Rt12.5　+LGS下地（両面貼）天井まで		L-15	GB-R-Ht9.5　+GB-Rt12.5　GW32K t50 +LGS下地（片面貼）スラブまで	
L-9	GB-Rt9.5　+GB-Ft21　+LGS下地（片面貼）スラブまで		L-16	GB-R-H t 9.5　+GB-Ft21+21＋木柱210角　直貼り　（木柱用耐火被覆）	１時間耐火（FP060CN-0336）
L-10	GB-R-Ht9.5　+GB-Rt12.5　+GW32kt50　+LGS下地（両面貼）	1時間耐火（FP060NP-0200）	L-17	GB-R t 12.5(溝切加工)　+熱膨耐火シート材 t 3.82　+GB-Ft15	２時間耐火（FP120CN-0218）、１時間耐火（FP060CN-0194）
L-11	GB-R-Ht9.5　+GB-Ft21　+ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50　+LGS千鳥下地（両面貼）	1時間耐火（FP060NP-0198）、SOI-0112	L-18	木リブOS-CL（形状図示）　+けいカル板 t 6 +GB-Rt12.5 +LGS +St100□×t1.6 @875	
L-12	GB-Ft21+21　+ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50　+LGS千鳥下地（両面貼）	1時間耐火（FP060NP-0007）	L-19	木リブOS-CL（形状図示）　+ｶﾞﾗｽｸﾛｽ+ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑt0.02　+GW32Kt50　+ST100□×t1.6 @875	
L-13	GB-Rt9.5　+GB-Ft21　+GW32KT50　+LGS下地（片面貼）スラブまで		L-20	けいカル成形板 t 20（１時間耐火）、t 35(2時間耐火) 直貼工法	２時間耐火（FP120CN-9452）、１時間耐火（FP060CN-9445）

断熱仕様

部位	仕様
屋根、屋上	Fu　t 25 , 15
軒天井	Fu　t 15
外壁	Fu　t 25
土間スラブ下	PF板　t 50
ピット天井	PF板　t 30

床下地仕様

記号	仕様
U1	押えｺﾝｸﾘｰﾄ t 75+発泡防振材 t 50 +ｱｽﾌｧﾙﾄ防水
U2	アスファルト防水　+押さえコンクリートt 75
U3	OAフロアー　H＝100　+防塵塗装A
U4	OAフロアー　H＝300
U5	OAフロアー　H＝400　+　防塵塗装A
U6	コンクリート金コテ押え
U7	根太フロアー　H=300
U8	均しモルタル t 10
U9	嵩上げコンクリート
U10	GW96Kt50　+押えｺﾝｸﾘｰﾄ t 75　(浮き床)
U11	OAフロアー　H=150　+防塵塗装A
U12	下地モルタル　t 75 +ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ
U13	根太フロアー　H=150

幅木・腰

記号	仕上
B-1	床材立ち上げ　H=100
B-2	ビニル床幅木H=60
B-3	ビニル床幅木H=100
B-4	木製幅木H=60　OS-CL
B-5	木製幅木H=100　OS-CL
B-6	花崗岩T25　本磨き　H=100
B-7	上框:木製堅木W=100,H=100　OS-CL
B-8	ささら：St　SOP
B-9	床材立ち上げ　H=300
B-10	ｽﾃﾝﾚｽ幅木 t2.0 H=100ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰｼｮ仕上
U14	塩ビ系シート防水(溶接工法)　+立上り　h＝275
U15	防振ゴム付系鋼製2重床(体育館用)　H=275
U16	GW96Kt50　(浮き床)

天井

記号	仕上
C-1	GW32Kｶﾞﾗｽｸﾛｽ ﾋﾟﾝ押え t25 +空気層 t 200
C-2	GB-R t9.5　+DR t9.0
C-3	GB-R　t12.5+9.5　+EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)
C-4	GB-R　t 9.5+ケイカル板 t 6　+VE
C-5	アルミパネルT2.5　A-BE
C-6	GW32k　t =50　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え
C-7	直天井　+EP-2塗装
C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）
C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内　DR t 12.5)
C-10	直天井 仕上なし
C-11	GB-R　t 9.5+EP
C-12	有孔けいカル板 t 6　EP+GW32KT25
C-13	強化ガラス t 12+飛散防止フィルム

下地材凡例

記号	名称
C	コンクリート打放し補修
CK	コンクリートタンピングの上、金コテ押え
M	モルタル金コテ押え
MS	防水モルタル金コテ押え
m	モルタル塗り下地
ms	防水モルタル塗下地
Fu	硬質ウレタンフォーム吹付け
GL	GL工法
UL	UL工法（軽量鉄骨下地壁）
SL	セルフレベリング
LC	軽量鉄骨天井下地
GWG	グラスウールクロス包み
GWB	化粧グラスウール板
GW	グラスウール
PF	ポリスチレンフォーム

仕上凡例

記号	名称	記号	名称
SOP	合成樹脂調合ペイント	EP-1	合成樹脂エマルションペイント（内外部用）
ALP	アルミニウムペイント	EP-2	合成樹脂エマルションペイント（内部用）
VE	塩化ビニル樹脂エナメル	EP-M	多彩模様塗（マルチ）
AE	アクリル樹脂エナメル	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント（グロス）
AE-BE	アクリル樹脂エナメル焼付	GP-T	合成樹脂エマルション模様塗（テクスチャ）
AC	アクリル樹脂ワニス	LE	ラッカーエナメル
2-ASE	2液形アクリルシリコン樹脂エナメル	CL	クリアラッカー
ASC	アクリルシリコン樹脂ワニス	OS	オリルスティン
2-FUE	2液形常温乾燥形フッ素樹脂エナメル	FE	フタル酸樹脂エナメル
FU-BE	フッ素樹脂エナメル焼付	FC	フタル酸樹脂ワニス
FU-HBE	フッ素樹脂エナメル焼付（高温型）	2-XE	2液形エポキシ樹脂エナメル
2-FUC	2液形常温乾燥形フッ素樹脂ワニス	H-XE	厚膜エポキシ樹脂エナメル
2-UE	2液形ポリウレタンエナメル焼付	XE-BE	エポキシ樹脂エナメル焼付
UE-BE	ポリウレタンエナメル焼付	2T-EX	2液形タールエポキシ樹脂エナメル
UC	ウレタン樹脂ワニス	NADE	非水分散形アクリル樹脂エナメル

仕上材（ボード）凡例

記号	名称	記号	名称
HW	硬質木毛セメント板	GB-S	シージング石膏ボード
NW	普通木毛セメント板	GB-F	強化石膏ボード
HF	硬質木片セメント板	GB-L	石膏ラスボード
NF	普通木片セメント板	GB-D	化粧石膏ボード
FK	ケイ酸カルシウム板（内装用）	GB-NC	不燃積層石膏ボード
FK-P	ケイ酸カルシウム板（穴明き）	GB-R-H	普通硬質石膏ボード
0.2TK	耐火被覆用ケイ酸カルシウム板（隠蔽部）		
0.5TK	耐火被覆用ケイ酸カルシウム板（化粧部）		
HB	ハードボード		
MDF	MDF版		
IB	インシュレーションボード		
RW-B	ロックウール吸音ボード		
DR	ロックウール化粧吸音板		
GB-P	吸音用穴明き石膏ボード		
GB-R	石膏ボード		

認定番号リスト

材料	認定番号	材料	認定番号
・ 石膏ボード t 9.5	QM-9828	・ 耐火塗料（柱耐火1時間）	FP060BM-0012
・ 石膏ボード t 12.5、t 15	NM-8619	・ 耐火塗料（梁耐火1時間）	FP60DN-0047
・ 化粧石膏ボード t 9.5	QM-0524		
・ 岩綿吸音板	NM-8599		
・ グラスウールグラスクロス含み	NM-8605		
・ 化粧グラスウール板	NM-8610		
・ ケイカル板　無石綿　t 8.0	NM-8578		
・ 塗料EP、SOP、AE、MP、FE	不燃基材NM-8585		
・ 木繊板	OM-9038		
・ 硬質木片セメント板（屋根耐火30分）	FP030RF-9081		
・ 無機質繊維混入石膏ボード t 12、t 8	NM-9028		
・ 硬質石膏ボード t 9.5、t 12.5	NM-9645		
・ 強化石膏ボード t 12.5、t 21	NM-8615		
・ 塗装下地用ガラスクロス防火1級不燃	壁層材料第0006号		
・ シージング石膏ボード t 12.5(不燃)	NM-9639		

排煙種別

記号	種別
自然	自然排煙
機械	機械排煙
ロ	告示1436号第4号ロ
①	告示1436号第4号ハ（一）
②	告示1436号第4号ハ（二）
③	告示1436号第4号ハ（三）
④	告示1436号第4号ハ（四）
ニ	告示1436号第4号ニ

外部仕上表　（記載事項を採用する）

部位	符号	仕上	品質グレード
外構：劇場広場、敷地北側		床：花崗岩ジェットバーナー仕上げ　495×495×t 45、モルタル t 30、コンクリート t 150、再生クラッシャーラン t 150	
		傾斜部：花崗岩 t 30面取り　+モルタル t 30+白華防止混和剤+コンクリート t 150+均しコンクリート50+再生クラーシャーラン t 100	
		立ち上がり：RC壁 t 200+　中国産花崗岩　t 120　（乾式工法）　　+客土（畑土 t 200）	
外構（駐車場）、敷地東側		床：透水性アスファルト混合物 t 50　+クラッシャーラン t 150　+フィルター層 t 150	
		クラッシャーラン t 150+150＋L型側溝、トラフィックペイント、　車止め（PC既製品）、	
外構（駐輪場）、敷地南側		床：アスファルト舗装（密粒度アスファルト化合物 t 50+タックコート＋粗粒度アスファルト混合物 t 50）	
		クラッシャーラン t 100＋L型側溝、トラフィックペイント、　サイクルラック、	
外構敷地西側		床：コンクリート平板ブロック300×300×60　研磨仕上げ　+サンドクッション t 30　再生クラッシャーラン t 100	
水路		縁石：中国産花崗岩 t 145、水路側側面割り肌こぶ出し、天板、ジェットバーナー仕上げ	
		底板：中国産花崗岩 t 45　ノミ切り仕上げ+　モルタル t 50　+白華防止剤　+ポリウレタン樹脂系塗布防水+コンクリート t 150	
		均しコンクリート t 50　+再生クラッシャーラン t 100	
外部デッキ（2F）		床：再生木ウッドデッキ t 25　＋鋼製組床h275　＋アスファルト防水層	
		手摺：強化ガラスt12.0　+外部用飛散防止ﾌｨﾙﾑ	
外部デッキ（3F）、屋外階段（3）（5）		床：再生木ウッドデッキ t 25　＋鋼製組床　＋押えコンクリート t 75　＋アスファルト防水層	
		手摺：強化ガラスt12.0　+外部用飛散防止ﾌｨﾙﾑ	
中庭（1）（4F）		床：再生木ウッドデッキ t 25　＋鋼製組床　＋押えコンクリート t 75　+外部床用防振材 t 25＋25　＋アスファルト防水層	
		植栽立上り：フトンカゴ（亜鉛アルミ合金メッキ鉄線6φ、50×50mm、切り込み石詰め込み、一部ベンチ付き（座面：イペ材　t ＝30、w＝350）	
中庭（2）（4F）		床：再生木ウッドデッキ t 25　＋鋼製組床　＋押えコンクリート t 75　＋アスファルト防水層	
屋外階段（1）		床：再生木ウッドデッキ t 25　＋貼り付け下地材 t 25　＋鋼製デッキプレート　溶融亜鉛メッキ（リン酸処理）	
		壁：アルミパネル t 2.5　FU―BE　鉄骨下地	
		踊り場手摺：強化ガラスt12.0　+外部用飛散防止ﾌｨﾙﾑ　、階段部手摺：ステンレス製、FB	
南西角自転車置場前		壁：化粧コンクリート打ち放し、フッ素クリアー塗装仕上げ	
植栽		図示に拠る。	

部位	符号	仕上	品質グレード
屋上（最上階）		床：構造用合板t24、デッキプレートt1.0 h=75、硬質ｲｿｼｱﾇﾚｰﾄﾎﾞｰﾄﾞt25、硬質木毛セメント板t25、	
		防水：ポリエチレン複合シート防水 t ＝0.6	
		※立上り部も同じ。	
		屋根：折半屋根t0.8カラー亜鉛鉄板葺き@500 h200 、折半屋根下部床：塩ビ系シート防水 t 2.0	三晃金属 折半200Ⅱ型同等品
		太陽光パネル（別途工事）、太陽集熱パネル（機械設備工事）、パネル用胴縁	
		笠木：W＝550+200　2段笠木、アルミパネル t 2.5　ｱﾙﾏｲﾄ仕上げ（B-1種）	
設備機械置場（2Ｆ）		床：押えコンクリート t 200（メッシュ筋6φ、100×100）金こて押さえ　+絶縁用クロス	
		断熱材：PF板 t 50　+　アスファルト防水（B-1種）	
		立上：押出し中空セメント板 t 15、上部、下部アルミ既成取り付用ホルダー、アスファルト防水押さえ金物	
		目地：既成伸縮目地（＠＝3500、タテヨコ）	
		押えコンクリート端部と立上りコンクリート間：発泡ポリエチレン t 10	
		機械基礎、配管取り出し口（ハト小屋）：コンクリート打放し（躯体）　+塗膜防水（上部）	
軒天井	N-1	軒天井：アルミパネル　t 2.5加工　FU-BE　（裏面：結露防止材吹付けT10）　一部パンチングパネル　（耐震振れ留め付）	
	N-2	けいカル板　t 6　+　VE　（目透かし工法）（耐震振れ留め付）	
外壁-1	OW-1	押出し成形セメント版　t 60　縦張り(W=900ベース)　+　フッ素樹脂塗装　（現場塗装）	
		断熱材：発泡ウレタン吹付け　t 15	
	OW-2	アルミパネル　t 2.5加工　FU-BE　（裏面：結露防止材吹付けT10）	
	OW-3		
開口部	ACW-1	アルミカーテンウォール：アルマイト仕上（B-1種）　+　Low-E複層ガラス（FL6+A12+Low-E6）　一部複層熱線吸収ガラス（FL6+A12+HFL6）	
		一部縦滑り出し窓、排煙窓（オペレータ付）	
	ACW-2	アルミカーテンウォール：アルマイト仕上（B-1種）　+　Low-Eガラス（FL6+A12+Low-E6）＋アルミパネル t 2.5　FU-BE	
		一部縦滑り出し窓、排煙窓（オペレータ付）　一部複層熱線吸収ガラス（FL6+A12+HFL6）	
	ACW-3	アルミカーテンウォール：アルマイト仕上（B-1種）　+　Low-Eガラス（FL6+A12+Low-E6）　嵌め殺し窓	
	ASW	アルミスライディングウォール（外部用）：　1次電解着色　+　Low-Eガラス（FL6+A12+Low-E6）　嵌め殺し窓	
	AW	アルミ製窓：　アルミ押出型材　アルマイト仕上（B-1種）　+　Low-Eガラス（FL6+A12+Low-E6）　（嵌め殺し、突き出し、滑り出し窓）	
	AP	アルミ日避けパネル：アルミパネル t 4　加工　FU-BE（表裏塗装）一部ハンマートーン仕上げ　取り付け金物：ST　FB t 16　FU仕上げ	
	AG	アルミ製ガラリ：　アルミ押出型材　アルマイト仕上（B-1種）　+　防鳥網(SUS製　10×10メッシュ)	

発注者	発注者	特記	設計者	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査	工事名	図面内容	図面番号
埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	・	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	代表設計者 一級建築士 第239114号	石井 靖人					東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称) 建築工事	仕上共通事項・外部仕上表	1101
課長 / 副課長 / 主幹 / 主査 / 主査 / 主査	課長	・		担当設計者 一級建築士 第219846号	原田 聡						縮尺 N.S.	区分 建築意匠図

内部仕上表

部門	階	室名	床 仕上 記号	床 仕上 下地	仕上高 躯体高	巾木・腰 仕上 記号	巾木・腰 仕上	巾木・腰 仕上 高さ	壁 仕上 記号	壁 仕上 下地	天井 仕上 記号	天井 仕上	天井 仕上 下地	廻縁	天井高	柱型	額縁 窓台	備考(建築工事に含まれるもの)
	1階	風除室１	F-14	外国産花崗岩ｔ30 ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ仕上 空練りﾓﾙﾀﾙｔ35	±0	B-10	ｽﾃﾝﾚｽ幅木 t2.0 H=100ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰｼｮ仕上		W-10	漆喰(黒)t10鏡面仕上 +ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼付 +GB-Lｔ9.5	C-4	GB-R ｔ9.5+ケイカル板ｔ6 +VE	LGS	―	3000			追突防止マーク(SUS)
					-65				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
		風除室２	F-14	外国産花崗岩ｔ30 ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ仕上 空練りﾓﾙﾀﾙｔ35	±0	B-10	ｽﾃﾝﾚｽ幅木 t2.0 H=100ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰｼｮ仕上				C-4	GB-R ｔ9.5+ケイカル板ｔ6 +VE	LGS	―	3000			追突防止マーク(SUS)
					-65													
		エントランスギャラリー	F-14	外国産花崗岩ｔ30 ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ仕上 空練りﾓﾙﾀﾙｔ35	±0	B-6	花崗岩T25 本磨き H=100		W-10	漆喰(黒)t10鏡面仕上 +ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼付 +GB-Lｔ9.5	C-5	アルミパネルT2.5 A-BE	LGS	塩ビ既成品	2950	W-1	アルミ	床(短冊張り：図示)、ラジエター用幅木（排水付）
					-65				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	3000			片側折上げ天井+照明ボックス
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Hｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）					W-1			
		多目的ホール（1）（2）（3）	F-13	外国産花崗岩ｔ40 ｼﾞｪｯﾄﾊﾞｰﾅｰ仕上 空練ﾓﾙﾀﾙt40	±0	B-5	木製幅木H=100 OS-CL		W-15	スライディングウォール +不燃化粧フィルムA		(最上部吸音天井面)	LGS	塩ビ既成品	9800	W-6	アルミ	リターンスリット(幅木面)
					-100					(吸音壁)	C-1	GB-Rt12.5下地 +GW32Kｶﾞﾗｽｸﾛｽ ﾋﾟﾝ押え t25						
									W-9	木製リブ100×25.50.100.200（配置は図示）OS-CL		+空気層ｔ200	LGS	塩ビ既成品	8500			トラスバトン、スライディングウォール、同レール
									L-19	木リブOS-CL（形状図示）+ｶﾞﾗｽｸﾛｽ+ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑt0.02+GW32Kｔ50+ST100□		（中段吸音天井部）				W-6		
										(反射壁)	C-12	有孔けいカル板ｔ6 EP+GW32KT25						床用コンセント（電気設備工事）
									W-9	木製リブ100×25.50.100.200（配置は図示）OS-CL								
									L-18	木リブOS-CL（形状図示）+けいカル板ｔ6+GB-Rt12.5+LGS+St100□								
										(遮音壁：周囲外側壁＝ 柱間の壁)		（ギャラリー下部）						
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	6000			
									L-20	けいカル成形板ｔ20（１時間耐火）、ｔ35(2時間耐火) 直貼工法								
		ホワイエ	F-14	外国産花崗岩ｔ30 ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ仕上 空練りﾓﾙﾀﾙｔ35	±0	B-6	花崗岩T25 本磨き H=100		W-10	漆喰(黒)t10鏡面仕上 +ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼付 +GB-Lｔ9.5	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	6000	L-17	アルミ	リターン用ガラリ
					-65				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）						W-6		
									W-7	不燃化粧フィルム貼りB								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		控室A.B.C	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2700	L-4	アルミ	窓台、姿見（600×1200 t5）壁埋込面合わせ
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-4	St t1.6	
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）							SOP	
									L-4	GB-R-Hｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		パントリー(兼湯沸し室)	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-4	GB-R ｔ9.5+ケイカル板ｔ6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2700	L-4	アルミ	IHヒｰﾀｰ,ｺﾝﾛ台,2槽ｼﾝｸ付き調理台
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-4	St t1.6	
									L-4	GB-R-Hｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで							SOP	
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		倉庫A	F-21	塗床C	±0	B-1	床材立ち上げ H=100		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-10	直天井 仕上なし	―	―	直天井	L-4		柱型部：コーナーガードL＝2,000(既成品)
		（ロールバックチェア収納）	U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-2		
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		交流事務室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	3200	L-4	アルミ	
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-4	St t1.6	
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）							SOP	
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
									L-4	GB-R-Hｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		EVホール１	F-14	外国産花崗岩ｔ30 ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ仕上 空練りﾓﾙﾀﾙｔ35	±0	B-6	花崗岩T25 本磨き H=100		W-7	不燃化粧フィルム貼りB	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	3000	―		
					-65				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		ポンプ室	F-11	防塵塗装B	±0	B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t25 ガラスクロスピン止め	C-6	GW32k t=50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え	―	―	直天	L-20		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）						VE		
		外構倉庫	F-11	防塵塗装B	±0	B-1	床材立ち上げ H=100		W-3	VE塗装仕上げ	C-10	直天井 仕上なし	―	―	直天	半湿式耐火被覆		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-4	GB-R-Hｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-7	GB-St12.5 増貼								
		倉庫(傘立て用)	F-11	防塵塗装B	±0	B-1	床材立ち上げ H=100		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-11	GB-R ｔ9.5+EP	―	―	1500	―		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
		喫煙室	F-20	ビニル床タイルB （表面硬化、耐タバコ）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-3	VE塗装仕上げ	C-4	GB-R ｔ9.5+ケイカル板ｔ6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2700	L-4		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで		ALC版t100(床用:耐火1時間)				W-3		
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Hｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		ビル管理室(中央監視室)	F-7	置き敷きビニル床タイル	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-6	GW32k t=50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え	LGS	塩ビ既成品	2600	―		※階避難検証法上、メッシュ天井でなければならない。
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで		メッシュ天井			(メッシュ面)			カウンター、防火ダンパー
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-4	GB-R-Hｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
		清掃員控室	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2700	―		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-4	GB-R-Hｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		消火ポンプ室	F-11	防塵塗装B	±0	B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t25 ガラスクロスピン止め	C-10	直天井 仕上なし	―	―	直天	L-20		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）						W-3		
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		ポンプ逓過機室	F-11	防塵塗装B	±0	B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t25 ガラスクロスピン止め	C-6	GW32k t=50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え	―	―	直天	―		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Hｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		EVホール２	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りA	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800		アルミ	
			U6	コンクリート金コテ押え					L-4	GB-R-Hｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで							St t1.6	
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで							SOP	
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
		WC１(男)、WC１(女)、WC(HC)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-7	不燃化粧フィルム貼りB	C-11	GB-R ｔ9.5+EP	LGS	塩ビ既成品	2600			洗面台カウンター、ライニング、リターンスリット
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								手摺、鏡、汚垂石、トイレブース、スライディングウォール
		WC２(男)、WC２(女)、	F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りA	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400		アルミ	洗面台カウンター、ライニング
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで							St t1.6	手摺、鏡、汚垂石、トイレブース
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）							SOP	
		WC(HC)	F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りA	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400			洗面台、手摺、鏡、ライニング
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課					
課長					

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219046号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
内部仕上表１	1102
縮尺 N.S.	区分 建築意匠図

内部仕上表

部門	階	室名	床 仕上 記号	床 仕上 下地	仕上高 躯体高	巾木・腰 仕上 記号	巾木・腰 仕上	高さ	壁 仕上 記号	壁 仕上 下地	天井 仕上 記号	天井 仕上	下地	廻縁	天井高	柱型	額縁 窓台	備考(建築工事に含まれるもの)
	1階	ゴミ庫	F-9	塗床B	±0	B-1	床材立ち上げ H=100		W-3	VE塗装仕上げ	C-4	GB-R t9.5+ケイカル板t6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2800	半湿式耐火被覆		地流し
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-7	GB-St12.5 増貼								
		駐車スペース(半屋外)	F-10	防塵塗装A	-20	B-1	床材立ち上げ H=100			透湿性防水型塗り材E		けいカル板t6 目透かし貼り +VE	LGS		5000	耐火塗料		トラフィックペイント
			U6	コンクリート金コテ押え	-30					押出し成形板t60 下地								
		階段3（1F～2F）	F-12	天然木ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15 +耐水合板t15＋均しﾓﾙﾀﾙt10	±0	B-8	ささら：St SOP		W-10	漆喰(黒)t10鏡面仕上 +ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼付 +GB-Lt9.5	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS					手摺
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		廊下-1_（多目的ホール前）_	F-14	外国産花崗岩t30 ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ仕上 空練りﾓﾙﾀﾙt35	±0	B-6	花崗岩T25 本磨き H=100		W-7	不燃化粧フィルム貼りB	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	3000	—		
			U6	コンクリート金コテ押え	-65				L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
						B-6	花崗岩T25 本磨き H=100		L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		廊下-2_（風除室2脇）	F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りA	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	—		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		廊下-3,4,5_(控室前)	F-21	塗床C	±0	B-3	ビニル床幅木H=100		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	—		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
	2階	外部デッキ出入り口	F-16	再生木フローリング t25（外部用）＋鋼製根太組H=70	±0	B-10	ｽﾃﾝﾚｽ幅木 t2.0 H=100ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰｼｮ仕上		W-11	建具(図示）+飛散防止フィルム貼	C-5	アルミパネルT2.5 A-BE	LGS	塩ビ既成品	2400	耐火塗料		
					-300				L-9	GB-Rt9.5 +GB-Ft21 +LGS下地（片面貼）スラブまで								
										の上、アルミパネル t2.5 FU-BE								
		交流スペース	F-12	天然木ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15 +耐水合板t15＋均しﾓﾙﾀﾙt10	±0	B-4	木製幅木H=60 OS-CL		W-10	漆喰(黒)t10鏡面仕上 +ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼付 +GB-Lt9.5	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	9400	L-17		日射遮蔽用アルミパネルスクリーン(外部)
					-40				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-1		
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									W-6	不燃化粧フィルム貼りA								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
									L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		廊下_(交流スペース～電気室)	F-12	天然木ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15 +耐水合板t15＋均しﾓﾙﾀﾙt10	±0	B-4	木製幅木H=60 OS-CL		W-10	漆喰(黒)t10鏡面仕上 +ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼付 +GB-Lt9.5	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	5600	—		
					-40				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで					～9400			
									W-1	EP-2塗装仕上げ								
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
		EVホール１	F-12	天然木ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15 +耐水合板t15＋均しﾓﾙﾀﾙt10	±0	B-4	木製幅木H=60 OS-CL		W-7	不燃化粧フィルム貼りB	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2600	—		
					-40				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
		授乳室	F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	W-1		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		電気室	F-9	塗床B	300	B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t25 ガラスクロスピン止め	C-6	GW32k t=50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え	—	—	直天	半湿式耐火被覆		配線ピット、蓋
			U6	コンクリート金コテ押え	-50				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-21		基礎
			U9	嵩上げコンクリート					L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
			U16	GW96K t50 （浮き床）					L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		自家発電機室	F-9	塗床B	300	B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t25 ガラスクロスピン止め	C-6	GW32k t=50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え	—	—	直天	半湿式耐火被覆		機械基礎
			U6	コンクリート金コテ押え	-50				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-21		防油堤
			U9	嵩上げコンクリート					L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
			U16	GW96K t50 （浮き床）					L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		機械設備室	F-9	塗床B	150	B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t25 ガラスクロスピン止め	C-6	GW32k t=50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え	—	—	直天	半湿式耐火被覆		機械基礎
			U6	コンクリート金コテ押え	-50				L-9	GB-Rt9.5 +GB-Ft21 +LGS下地（片面貼）スラブまで						W-21		
			U16	GW96K t50 （浮き床）					L-12	GB-Ft21+21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
			U9	嵩上げコンクリート					L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		屋外機置場（外部）	F-9	塗床B	170～0					吸音パネル		吸音パネル		—	—	耐火塗料		機械基礎、吸音パネル
			U6	コンクリート金コテ押え	-50					下地：押出成形セメント版t60						EP-1		
		ＥＶホール2	F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りA	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2600	L-4		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで						W-6		
									L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-12	GB-Ft21+21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		WC(男)、WC(女)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りA	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2300	—		洗面台カウンター、ライニング
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）					2000			手摺、鏡、汚垂石、トイレブース、リターンスリット
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
									L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
		AC（1）	F-9	塗床B	150	B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t25 ガラスクロスピン止め	C-6	GW32k t=50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え	—	—	直天井	半湿式耐火被覆		
			U6	コンクリート金コテ押え	-50				L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
			U9	嵩上げコンクリート														
			U16	GW96K t50 （浮き床）														
		AC（2）	F-9	塗床B	±0	B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t25 ガラスクロスピン止め	C-6				直天井	半湿式耐火被覆		
			U6	コンクリート金コテ押え	-40				L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		階段5（2F～3F）	F-12	天然木ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15 +耐水合板t15＋均しﾓﾙﾀﾙt10	±0	B-8	ささら：St SOP		W-1	EP-2塗装仕上げ								
									L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								手摺
	3階	環境ギャラリー	F-12	天然木ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15 +耐水合板t15＋均しﾓﾙﾀﾙt10	±0	B-5	木製幅木H=100 OS-CL		W-10	漆喰(黒)t10鏡面仕上 +ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼付 +GB-Lt9.5	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	6100	L-17		手摺
			U6	コンクリート金コテ押え	-40				W-6	不燃化粧フィルム貼りA						W-1		
									L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-7	GB-St12.5 増貼								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		廊下（1）	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りA	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2400	—		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		廊下（2）	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りA	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2200			
			U6	コンクリート金コテ押え	-40				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								

埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	資格/番号 記名 捺印	製図	検図	納品検査	東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称) 建築工事	図面内容 内部仕上表２	図面番号 1103
課長 副課長 主幹 主査 主査 主査 主査	課長			代表設計者 一級建築士 第239114号 石井 靖人					縮尺 N.S.	区分 建築意匠図
				担当設計者 一級建築士 第219846号 原田 聡						

内部仕上表

部門	階	室名	床 仕上 記号	床 仕上 下地	仕上高 躯体高	巾木・腰 仕上 記号	巾木・腰 仕上	巾木・腰 仕上 高さ	壁 仕上 記号	壁 仕上 下地	天井 仕上 記号	天井 仕上	天井 仕上 下地	廻縁	天井高	柱型	額縁 窓台	備考(建築工事に含まれるもの)
	3階	ＥＶホール１	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-7	不燃化粧フィルム貼りＢ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾞﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2400	―		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		運営事務室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	L-17		
			U6	コンクリート金コテ押え	-40				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		調光盤室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-21	GW32K ｔ25 ガラスクロスピン止め	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	―	2400			
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		ギャラリー、 固定ブリッジ （多目的ホール内部）	F-15	ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ ｔ5+ ﾓﾙﾀﾙt40 +ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ3.2ゅ	-620	B-2	ビニル床幅木H=60		W-18	GW32K ｔ50 ガラスクロスピン止め		（最上部吸音天井面）	LGS		3000			手摺
				金コテ押さえ	-625				W-1	EP-2塗装仕上げ	C-1	GW32Kｶﾞﾗｽｸﾛｽ ﾋﾟﾝ押ｴ t25 +空気層ｔ200						移動間仕切り壁用レール+垂壁(遮音)
									L-9	GB-Rt9.5 +GB-Ft21 +LGS下地（片面貼）スラブまで								ギャラリー内鉄骨階段3箇所
																		暗幕用電動ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(北側/ﾐ)
		ＥＶホール2（音響設備室）	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400			階段（ギャラリーへ）
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-12	GB-Ft21+21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		アラーム弁室	F-11	防塵塗装B	±0	B-1	床材立ち上げ H=100		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-10	直天井 仕上なし	―	―	直天			
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
		MDF室	F-9	塗床B	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-10	直天井 仕上なし	―	―	直天	―		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
		AC	F-11	防塵塗装B	±0	B-9	床材立ち上げ H=300		W-21	GW32K ｔ25 ガラスクロスピン止め	C-6	GW32k ｔ=50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え	―	―	直天	半湿式耐火被覆		
			U6	コンクリート金コテ押え	-300				L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）		Fu t15				W-21		
		WC(HD)男、女	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS		2200			リターンスリット
			U6	コンクリート金コテ押え	-40				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								手摺、ライニング、鏡
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
		階段7（3F～4F）	F-12	天然木ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ ｔ15 +耐水合板ｔ15＋均しﾓﾙﾀﾙt10	±0	B-8	ささら：St SOP											手摺
	4階	廊下1、3	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾞﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	3000	L-20		
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-1		
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
				※レベルの範囲は構造図に拠る。														
		廊下2	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾞﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2800			
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		ＥＶホール１	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-7	不燃化粧フィルム貼りＢ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾞﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	3000			
			U6	コンクリート金コテ押え	-10				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		交流・ミーティングスペース	F-2	タイルカーペットB	±0	B-4	木製幅木H=60 OS-CL		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	3000	L-20		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-280				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-1		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U10	GW96Kt50 +押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ75 （浮き床）					L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		キッズルーム	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800			靴脱ぎ範囲用SUS見切り
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		センター事務室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2800	L-20		
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0				W-1		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		休憩室（センター事務所内）	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	―		
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		サーバー室 （センター事務所内）	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	―		
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
			U6	コンクリート金コテ押え														
		給湯（センター事務所内）	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-3	VE塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	―		
			U6	コンクリート金コテ押え	-100				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		倉庫（1）	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800			
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
									L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		倉庫（2）	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-4		
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-1		
									L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		会議室４、５	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	3000	―		スライディングウォール
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-230				L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U10	GW96Kt50 +押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ75 （浮き床）					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課					
課長					

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

代表設計者	資格/番号 記名 捺印	製図	検図	納品検査
	一級建築士 第239114号 石井 靖人			
担当設計者	一級建築士 第219846号 原田 聡			

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
内部仕上表３	1104
縮尺 N.S.	区分 建築意匠図

内部仕上表

部門	階	室名	床 仕上 記号	床 仕上 下地	仕上高 躯体高	巾木・腰 仕上 記号	巾木・腰 仕上	巾木・腰 仕上 高さ	壁 仕上 記号	壁 仕上 下地	天井 仕上 記号	天井 仕上	天井 仕上 下地	廻縁	天井高	柱型	額縁 窓台	備考(建築工事に含まれるもの)
	4階	会議室6	F-12	天然木ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t 15 +耐水合板ｔ15＋均しﾓﾙﾀﾙt10	50	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	3000	―		
			U7	根太フロアー H=300	-230				L-4	GB-R-H t 9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U10	GW96Kt50 +押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ75 （浮き床）					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		相談室１、２	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	―		
			U6	コンクリート金コテ押え	-100				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		市民活動共同事務所	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-17		
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-1		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-4	GB-R-H t 9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		貸事務所１－５	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-20		
			U7	根太フロアー H=300	-230				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-1		
			U10	GW96Kt50 +押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ75 （浮き床）					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		作業室・印刷室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-4		
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-1		
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-H t 9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		喫煙室	F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-4	GB-R t 9.5+ケイカル板ｔ6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2800	―		
			U4	OAフロアー H＝300	-100				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-4	GB-R-H t 9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		ゴミ庫	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-4	GB-R t 9.5+ケイカル板ｔ6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2800	L-4		
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで						W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-4	GB-R-H t 9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		ＥＶホール2	F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-4		
			U3	OAフロアー H＝100 +防塵塗装A	-100				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで						W-6		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
									L-4	GB-R-H t 9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		WC(男)、WC(女)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	―		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		授乳室(WC女内)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	―		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-4	GB-R-H t 9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		WC(HC)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	―		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
				シート防水B（押えコンクリートなし）立上りｈ＝275					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		AC・AHU室	F-9	塗床B	±0	B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t 25 ガラスクロスピン止め	C-6	GW32k t =50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え	―	―	直天井	半湿式耐火被覆		
			U6	コンクリート金コテ押え	-100				L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）						W-21		
		中庭1(外部)	F-16	再生木フローリング t 25（外部用）＋鋼製根太組H=70	300						C-10	直天井 仕上なし						
		：環境ギャラリー側	U1	押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ75+発泡防振材ｔ50 +ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	±0													
			U6	コンクリート金コテ押え														
		中庭2(外部)	F-16	再生木フローリング t 25（外部用）＋鋼製根太組H=70	-15						C-10	直天井 仕上なし						
		：交流スペース側	U1	押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ75+発泡防振材ｔ50 +ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	-300													
			U6	コンクリート金コテ押え														
	5階	廊下(1)(2)(3)(4)	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		化粧木柱(CL)
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-2		
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-H t 9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-16	GB-R-H t 9.5 +GB-Ft21+21＋木柱210角 直貼り （木柱用耐火被覆）								
		ＥＶホール１	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-7	不燃化粧フィルム貼りＢ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾟﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで						W-2		
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
			U6	コンクリート金コテ押え														
		事務室Ｆ	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		パーティション
		（パスポートセンター）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで					(下部天井面)	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2600			
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		書庫	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-10	直天井 仕上なし	―	―	直天	L-16		
		（パスポートセンター）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-2		
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		印刷室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-3	VE塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2600	―		
		（パスポートセンター）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで					(下部天井面)			
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		受付スペース	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-7	不燃化粧フィルム貼りＢ	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2726	L-16		造り付けカウンター、パーティション
		（パスポートセンター）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				W-11	建具(図示）+飛散防止フィルム貼	C-7	直天井 +EP-2塗装			(下部天井面)	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2600			
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
		旅券作成室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2726	L-16		
		（パスポートセンター）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで	C-7	直天井 +EP-2塗装			(下部天井面)	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え							C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2600			

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課						
課長						

特記 ・

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人	
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡	

製図 検図 納品検査

東都地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
内部仕上表４	1105
縮尺 N.S.	区分 建築意匠図

内部仕上表

部門	階	室名	床 仕上 記号	床 仕上 下地	仕上高 躯体高	巾木・腰 仕上 記号	巾木・腰 仕上	巾木・腰 仕上 高さ	壁 仕上 記号	壁 仕上 下地	天井 仕上 記号	天井 仕上	天井 仕上 下地	廻縁	天井高	柱型	額縁 窓台	備考(建築工事に含まれるもの)
	5階	会議室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
		（パスポートセンター）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）						W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		男子更衣室、女子更衣室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
		（パスポートセンター）							L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-2		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		倉庫B	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	―	塩ビ既成品	2600	L-16		書類棚
		（パスポートセンター）	U13	根太フロアー H=150	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-2		
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		創業支援A－１～6	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-2		
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-12	GB-Ft21+21 +ｶｯｶｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		創業支援ルームB	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		ローパーティション H1800 4ブース
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで					2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		創業支援ルームC	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		ローパーティション H1500 8ブース
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで					2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		入居者共用室A、B	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで					2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		相談室A、B	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		受付共用室C	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
		（アドバイザー室）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで					2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		商工団体等A	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）					2600	W-2		
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え							C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0						
		商工団体等B	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2726	L-16		パーティション
		（執務スペース）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)			2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0						
									W-11	建具(図示）+飛散防止フィルム貼								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		商工団体等B	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
		（会議室）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで					2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0						
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		商工団体等B	F-3	タイルカーペットC	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
		（応接室・打合せコーナー）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）						W-2		
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		商工団体等B	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
		（休憩室）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで					2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え														
		商工団体等B	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2600	―		
		（女子更衣室）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
			U6	コンクリート金コテ押え														
		商工団体等B	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
		（書庫）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え														
		給湯	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-3	VE塗装仕上げ	C-4	GB-R t9.5+ケイカル板ｔ6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2400	―		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え														
		商工団体等B	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
		（会議室用倉庫）	U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え														
		商工団体等C	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2726	L-16		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）					2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え														
		商工団体等D	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2726	L-16		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）					2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え														
		商工団体等E（売店）	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2726	L-16		カウンター、ローパーティション
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0			2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		共用会議室	F-3	タイルカーペットC	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-5	ビニルクロス貼りB（防汚ケナフ壁紙）	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0			2600	W-2		
			U6	コンクリート金コテ押え														

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課					
課長					

特記 ・

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
内部仕上表５	1106
縮尺 N.S.	区分 建築意匠図

内部仕上表

部門	階	室名	床 仕上 記号	床 仕上 下地	仕上高 躯体高	巾木・腰 仕上 記号	巾木・腰 仕上	巾木・腰 仕上 高さ	壁 仕上 記号	壁 仕上 下地	天井 仕上 記号	天井 仕上	天井 仕上 下地	廻縁	天井高	柱型	額縁 窓台	備考(建築工事に含まれるもの)
	5階	ＥＶホール2	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾞﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2400	—		
			U11	OAフロアー H＝150 +防塵塗装A	-150				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
		ゴミ庫	F-19	ビニル床タイルA	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-3	VE塗装仕上げ	C-4	GB-R t9.5+ケイカル板ｔ6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2400	L-16		
			U13	根太フロアー H=150	-150				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで						W-3		
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-12	GB-Ft21+21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		喫煙室	F-20	ビニル床タイルB （表面硬化、耐タバコ）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-3	VE塗装仕上げ	C-4	GB-R t9.5+ケイカル板ｔ6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
			U13	根太フロアー H=150	-150				L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで						W-3		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		WC１(男)、WC１(女)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	L-16		
			U13	根太フロアー H=150	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-6		
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
									L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
		WC２(男)、WC２(女)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	L-16		
			U13	根太フロアー H=150	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-6		
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		WC(HC)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	—		
			U13	根太フロアー H=150	-150				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		AHU室（1） （2）	F-8	塗床A	-150	B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t25 ガラスクロスビン止め	C-6	GW32k t=50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みビン押え	—	—	直天	L-16		
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで						W-21		
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
			U6	コンクリート金コテ押え	-160													
	6階	廊下１～7	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾞﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-2		
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		ＥＶホール１	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-7	不燃化粧フィルム貼りＢ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾞﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで						W-2		
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
		ＥＶホール２	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りＡ	C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾞﾃしごき)	LGS	塩ビ既成品	2600	—		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-6	GB-R-Ht9.5 増貼								
		コミュニティーサロン	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2968	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0			2600	W-4		
											C-3	GB-R t12.5+9.5 +EP-2(寒冷紗ﾊﾞﾃしごき)						
											C-7	直天井 +EP-2塗装						
		診察室(診察1～6)	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		移動間仕切壁（スライドドア）
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-4		ライニング
			U14	塩ビ系シート防水（溶接工法）＋立上りH=275														
		接種室歯科検診指導室	F-7	置き敷きビニル床タイル	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		作業台、シンク、大人用洗面台、子供用洗面台（一式造り付け）
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-2		造り付け棚
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-7	GB-St12.5 増貼								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
			U-14	塩ビ系シート防水＋立上りH=200					L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		予防接種準備室	F-7	置き敷きビニル床タイル	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		ライニング、洗濯機パン
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-2		
			U14	塩ビ系シート防水（溶接工法）＋立上りH=275					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		薬品管理室	F-7	置き敷きビニル床タイル	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)(ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5)	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-2		
									L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		成人保健指導室跳影室		無垢フローリング材t25、制振シートt6.5、	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		造り付け棚、スライディングウォール
				パーティクルボードt25、	-300				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）					2600	W-4		ホワイトボード
				防振ゴム付系鋼製床下地 H=250					L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		乳幼児健診・指導室		無垢フローリング材t25、制振シートt6.5、	20	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2768	L-16		スライディングウォール
				パーティクルボードt25、	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで	C-7	直天井 +EP-2塗装			2600	W-4		
				防振ゴム付系鋼製床下地 H=270					L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
		乳幼児健診・指導準備室 1,2	F-7	置き敷きビニル床タイル	20	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りＡ（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		造り付け棚
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-4		
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-4	GB-R-Ht9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								

埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課						特記
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長						

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
内部仕上表６	1107
縮尺 N.S.	区分 建築意匠図

内部仕上表

部門	階	室名	床 仕上 記号	床 仕上 下地	仕上高 躯体高	巾木・腰 仕上 記号	巾木・腰 仕上	巾木・腰 仕上 高さ	壁 仕上 記号	壁 仕上 下地	天井 仕上 記号	天井 仕上	天井 仕上 下地	廻縁	天井高	柱型	額縁 窓台	備考(建築工事に含まれるもの)
	6階	成人検診室講習室		無垢フローリング材t25、制振シートt6.5、	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		スライディングウォール
				パーティクルボードt25、	-300				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで					2600	W-4		造り付け棚、扉付き鏡
				防振ゴム付系鋼製床下地 H=250					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		講習会準備室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)（ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5）	LGS	塩ビ既成品	2600	—		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		栄養指導室	F-7	置き敷きビニル床タイル	20	B-2	ビニル床幅木H=60		W-3	VE塗装仕上げ	C-4	GB-R t 9.5+ケイカル板 t 6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-3		
			U-14	塩ビ系シート防水（溶接工法）＋立上りH＝275					L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		調理準備室	F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	20	B-2	ビニル床幅木H=60		W-3	VE塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)（ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5）	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		ライニング、洗濯機パン
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-3		
			U-14	塩ビ系シート防水（溶接工法）＋立上りH＝275														
		前室（栄養指導室）	F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	20	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)（ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5）	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		下駄箱
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-2		
									L-7	GB-St12.5 増貼								
		医師会事務室	F-3	タイルカーペットC	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-5	ビニルクロス貼りB（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで					2600	W-5		
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		歯科医師会事務室	F-3	タイルカーペットC	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-5	ビニルクロス貼りB（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで					2600	W-5		
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		薬剤師会事務室	F-3	タイルカーペットC	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-5	ビニルクロス貼りB（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2800	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）					2600	W-5		
		事務室２	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2968	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0			2600	W-2		
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）	C-7	直天井 +EP-2塗装						
		相談室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2600	—		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		女性用更衣室	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)（ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5）	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで						W-4		
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		カルテ保管庫	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)（ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5）	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-2		
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		会議室１～３	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-5	ビニルクロス貼りB（防汚ケナフ壁紙）	C-8	天井輻射パネル（1）（吊り下げ型）	LGS	塩ビ既成品	2968	L-16		スライディングウォール
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0			2600	W-2		
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）	C-7	直天井 +EP-2塗装						
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		倉庫1（南側）	F-2	タイルカーペットB	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-10	直天井 仕上なし	—	—	直天	L-16		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)（ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5）	LGS	塩ビ既成品	2600	W-2		
		倉庫2（北側）	F-5	ビニル床シートB （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-10	直天井 仕上なし	—	—	直天	L-16		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)（ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5）	LGS	塩ビ既成品	2600	W-2		
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		倉庫3（喫煙室）	F-20	ビニル床タイルB （表面硬化、耐タバコ）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-4	GB-R t 9.5+ケイカル板 t 6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-2		
									L-4	GB-R-H t 9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		給湯室	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-4	GB-R t 9.5+ケイカル板 t 6 +VE	LGS	塩ビ既成品	2400	—		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
				シート防水B（押えコンクリートなし）立上りh＝275					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		授乳（WC-2女）	F-7	置き敷きビニル床タイル	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-4	ビニルクロス貼りA（防汚ケナフ壁紙）	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)（ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5）	LGS	塩ビ既成品	2400	—		
			U4	OAフロアー H＝300	-300				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		ゴミ庫	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-3	VE塗装仕上げ	C-9	天井輻射ﾊﾟﾈﾙ(2)（ｼｽﾃﾑ天井内 DR t 12.5）	LGS	塩ビ既成品	2600	L-16		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-3		
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		WC１(男)、WC１(女)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りA	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	—		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
			U-14	塩ビ系シート防水（溶接工法）＋立上りH＝275					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		WC２(男)、WC２(女)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-6	不燃化粧フィルム貼りA	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	—		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
			U-14	塩ビ系シート防水（溶接工法）＋立上りH＝275					L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
									L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								

埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課					
課長					

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
内部仕上表７	1108
縮尺 N.S.	区分 建築意匠図

内部仕上表

部門	階	室名	床 仕上 記号	床 仕上 下地	仕上高 躯体高	巾木・腰 仕上 記号	巾木・腰 仕上	高さ	壁 仕上 記号	壁 仕上 下地	天井 仕上 記号	天井 仕上	天井 仕上 下地	廻縁	天井高	柱型	額縁 窓台	備考(建築工事に含まれるもの)
	6階	WC(HC)	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-2	GB-R t9.5 +DR t9.0	LGS	塩ビ既成品	2400	—		
			U7	根太フロアー H=300	-300				L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
			U-14	塩ビ系シート防水（溶接工法）＋立上りH=275					L-10	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +GW32kt50 +LGS下地（両面貼）								
		ファンルーム（排煙用）	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	-300	B-2	ビニル床幅木H=60		W-21	GW32K t25 ガラスクロスビン止め	C-6	GW32k t=50 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みピン押え	—	—	直天井	L-16		機械基礎
					-300				L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで			LGS	塩ビ既成品	2600	W-21		
									L-15	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 GW32K t50+LGS下地（片面貼）スラブまで								
		DS1	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	-300	B-2	ビニル床幅木H=60		L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで	C-10	直天井 仕上なし	—	—	直天井	L-16		
					-300				L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで	C-11	GB-R t9.5+EP	LGS	塩ビ既成品	2600	W-1		
									L-11	GB-R-Ht9.5 +GB-Ft21 +ﾛｯｸｳｰﾙ24kt50 +LGS千鳥下地（両面貼）								
		電気機械室	F-4	ビニル床シートA （溶接工法）	±0	B-2	ビニル床幅木H=60		W-1	EP-2塗装仕上げ	C-10	直天井 仕上なし	—	—	直天井	L-16		
					-300				L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで						W-1		
									L-4	GB-R-Ｈｔ9.5+GB-Rt12.5+LGS下地（片面貼）スラブまで								
	共通	階段1	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）		B-8	ささら：St SOP		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-7	直天井 +EP-2塗装						手摺
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
		階段２	F-6	ビニル床シートC （溶接工法）		B-8	ささら：St SOP		W-2	EP-G塗装仕上げ	C-7	直天井 +EP-2塗装						手摺
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
		EV		モルタル防水		B-1	床材立ち上げ H=100		W-22	仕上げなし（素地のまま）	C-10	直天井 仕上なし						エレベーターカゴ内カードリーダーは電気工事より支給
									L-3	GB-Ft21+21+LGS下地（片面貼）スラブまで								取り付けは本工事
									L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								手摺、埼玉県福祉の街づくり条例対応
																		木造階部分エキスパンションジョイント（耐火）
		SK		WCと同仕様		B-1	床材立ち上げ H=100			WCと同仕様		WCと同仕様						
		AC	F-9	塗床B		B-1	床材立ち上げ H=100		W-21	GW32K t25 ガラスクロスビン止め	C-10	直天井 仕上なし						
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
		AHU	F-9	塗床B		B-1	床材立ち上げ H=100		W-22	仕上げなし（素地のまま）	C-10	直天井 仕上なし						機械基礎
									L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
		DS	F-9	塗床B		B-1	床材立ち上げ H=100		W-22	仕上げなし（素地のまま）	C-10	直天井 仕上なし						
									L-2	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）スラブまで								
									L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
		PS、EPS	F-11	防塵塗装B		B-1	床材立ち上げ H=100		W-22	仕上げなし（素地のまま）	C-10	直天井 仕上なし						
									L-1	GB-R-Ht9.5 +GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
									L-8	GB-Rt12.5 +LGS下地（両面貼）天井まで								
		エレベーターピット、消防用水槽	U5	モルタル防水					W-17	防水ﾓﾙﾀﾙ t=30 +塗膜防水								
		地熱利用水槽、消防用水槽、井水槽、中水槽		防水ﾓﾙﾀﾙt30+ 塗膜防水					W-17	防水ﾓﾙﾀﾙ t=30 +塗膜防水		PF板 t35 打ち込み						

※ LVLの部屋内側は、W-23の仕上げとする（各共通）

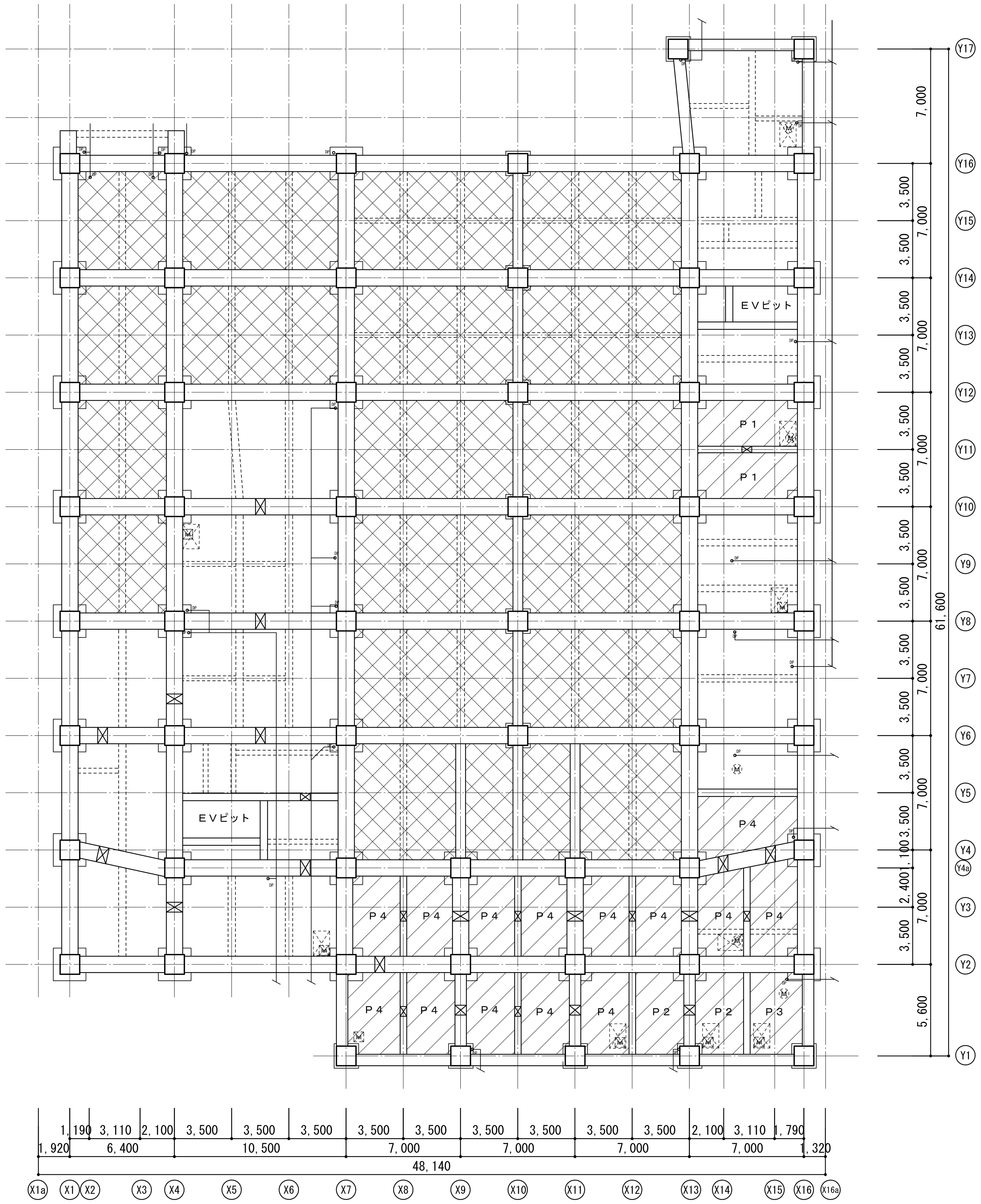
埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS,ENGINEERS & CONSULTANTS.	代表設計者	資格/番号 記名 捺印 一級建築士 第239114号 石井 靖人	製図	検図	納品検査	東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称) 建築工事
課長 副課長 主幹 主査 主査 主査 主査	課長			担当設計者	一級建築士 第219846号 原田 聡				

図面内容	図面番号
内部仕上表８	1109
縮尺 N.S.	区分 建築意匠図

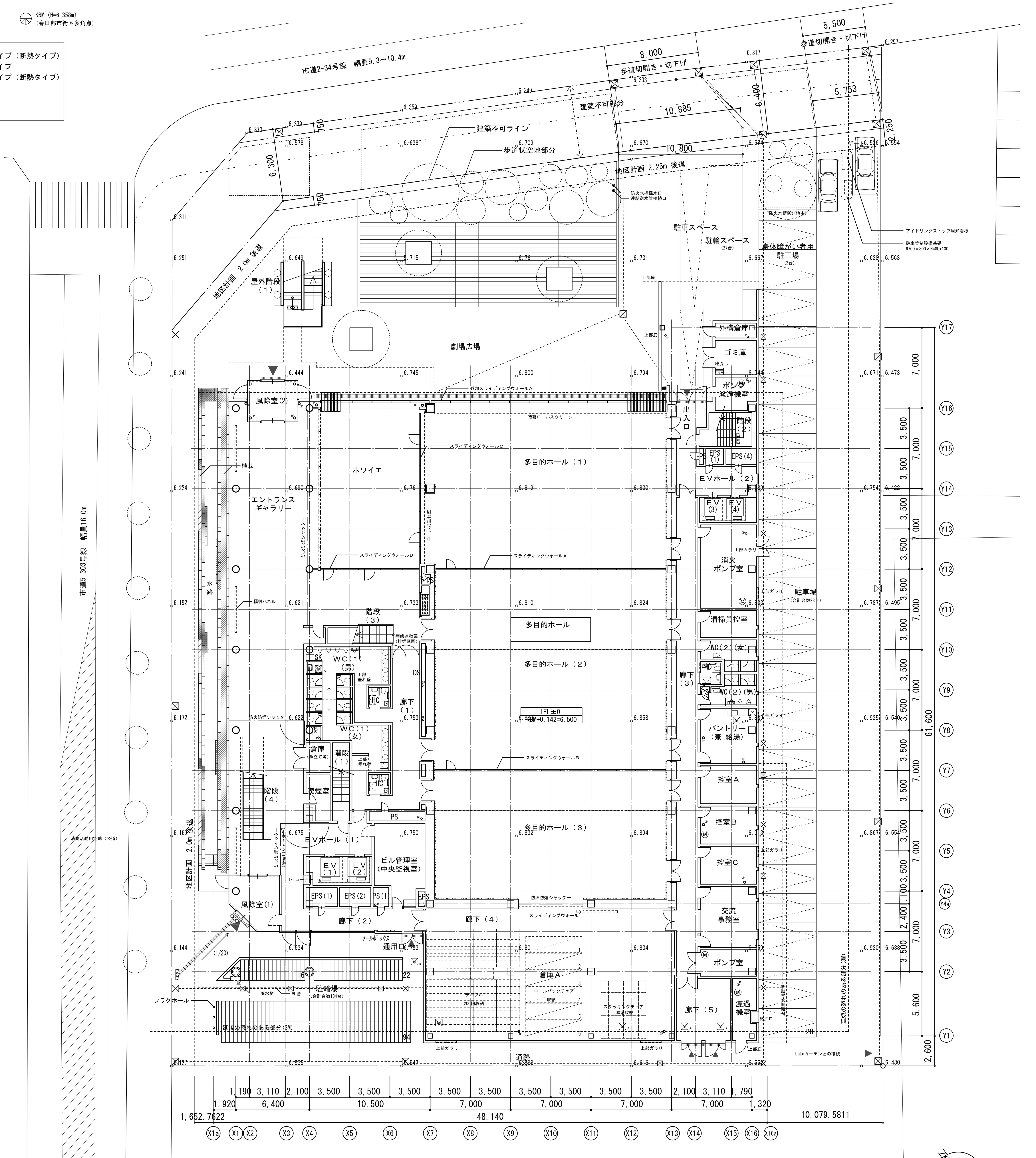
埋め戻し	釜場　指定ないものは600×600×500H
水槽	上部床下点検口またはマンホール タラップ
ピット （指定ないものは配管ピット）	人通孔　600φ 通水孔　200φ 通気管　100φ×2 連通管　150φ半割×2 SUSフック
P１：消防用水槽 P２：井水槽 P３：中水槽 P４：地熱利用水槽	通水管　250φ半割×2
ピット深さは構造図による	通気管　200φ×2

KBM（H=6.358m）
（春日部市街区多角点）

床下点検口Aタイプ（断熱タイプ）
床下点検口Bタイプ
床下点検口Cタイプ（断熱タイプ）
：点状ブロック
：線状ブロック



ピット平面図



１階平面図

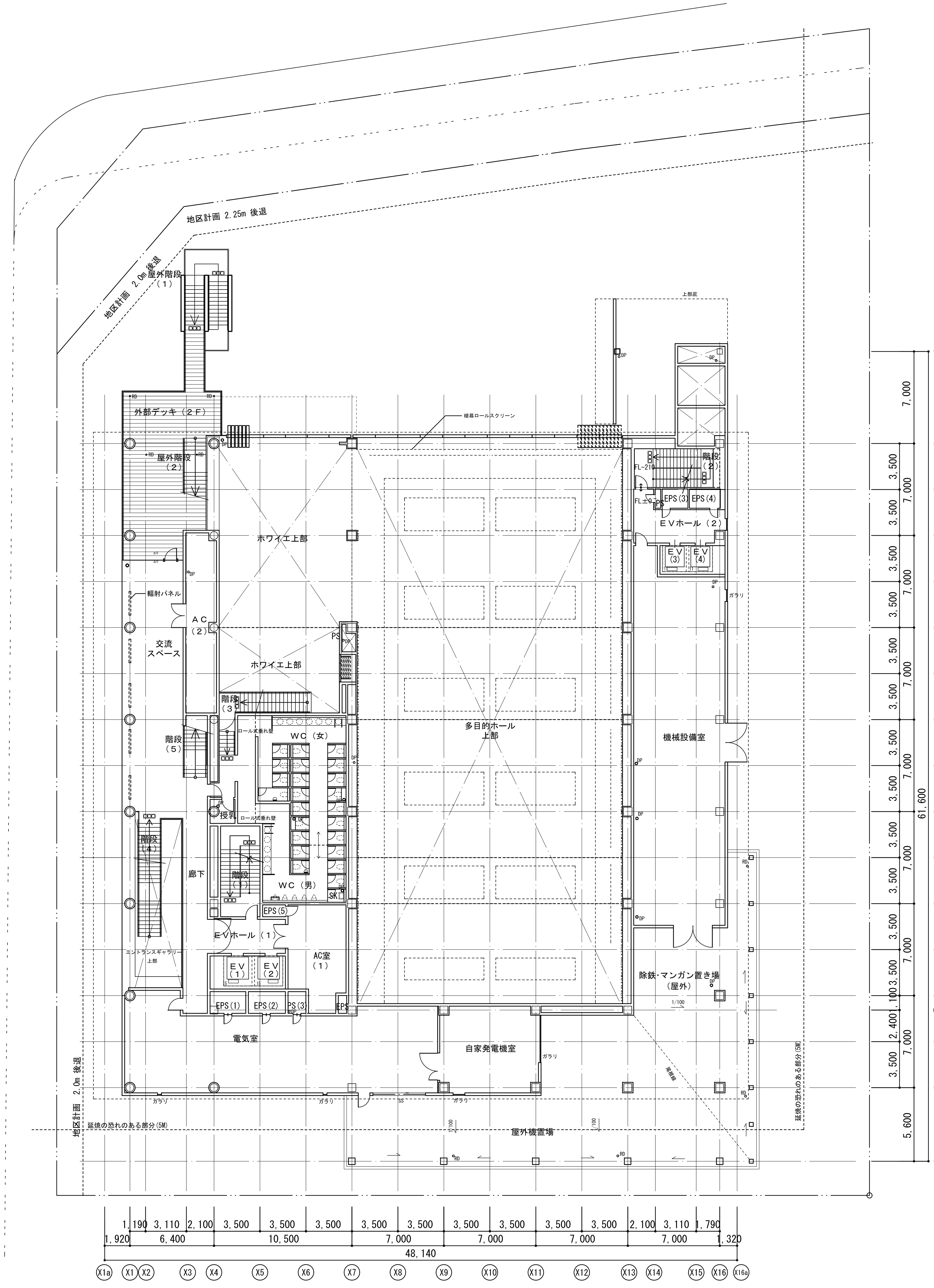
埼玉県産業労働部産業拠点整備課						春日部市都市整備部鉄道高架整備課						特記
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	課長						

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

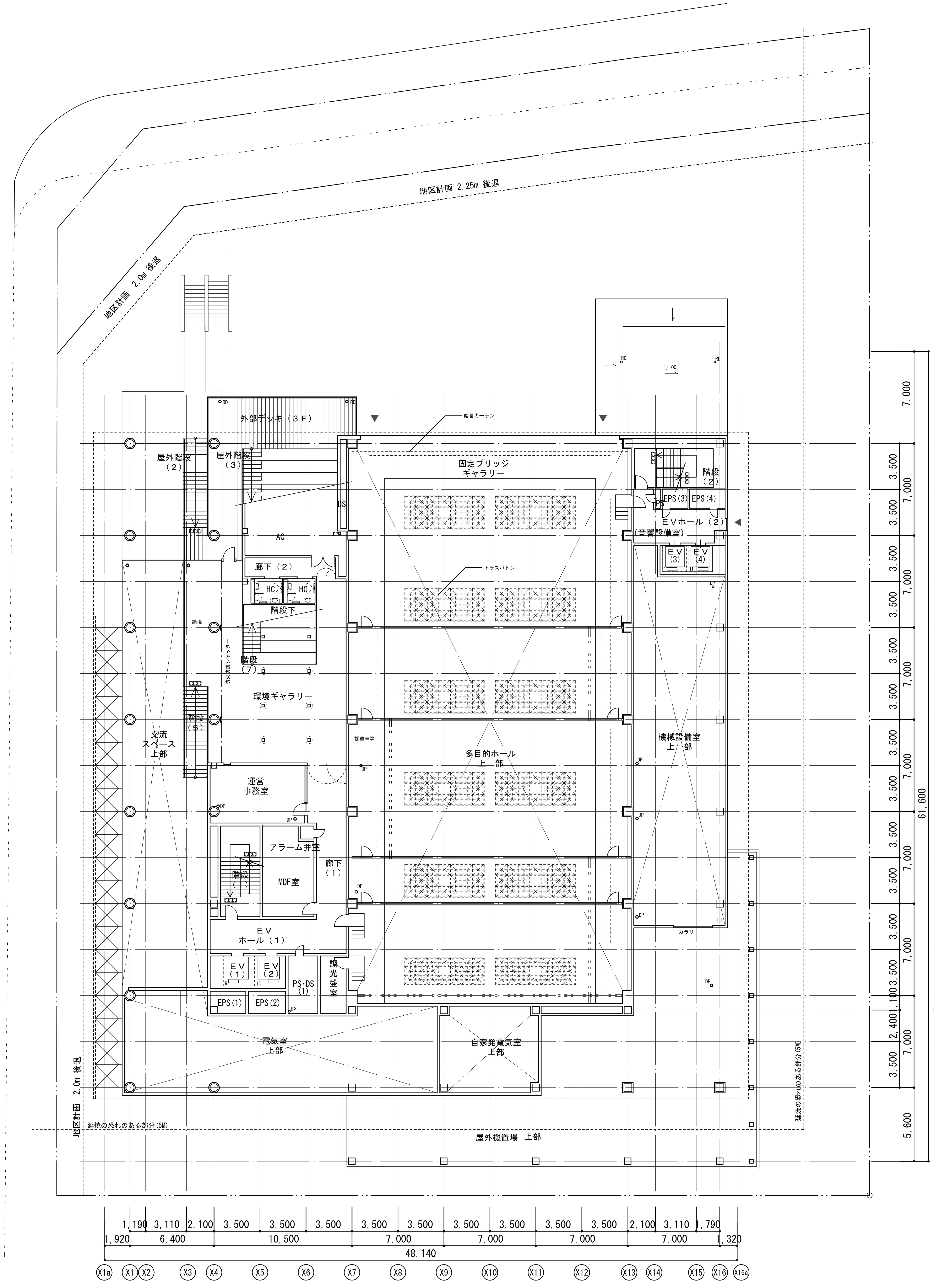
	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容	図面番号
ピット平面図・１階平面図	1110
縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	区分 建築意匠図

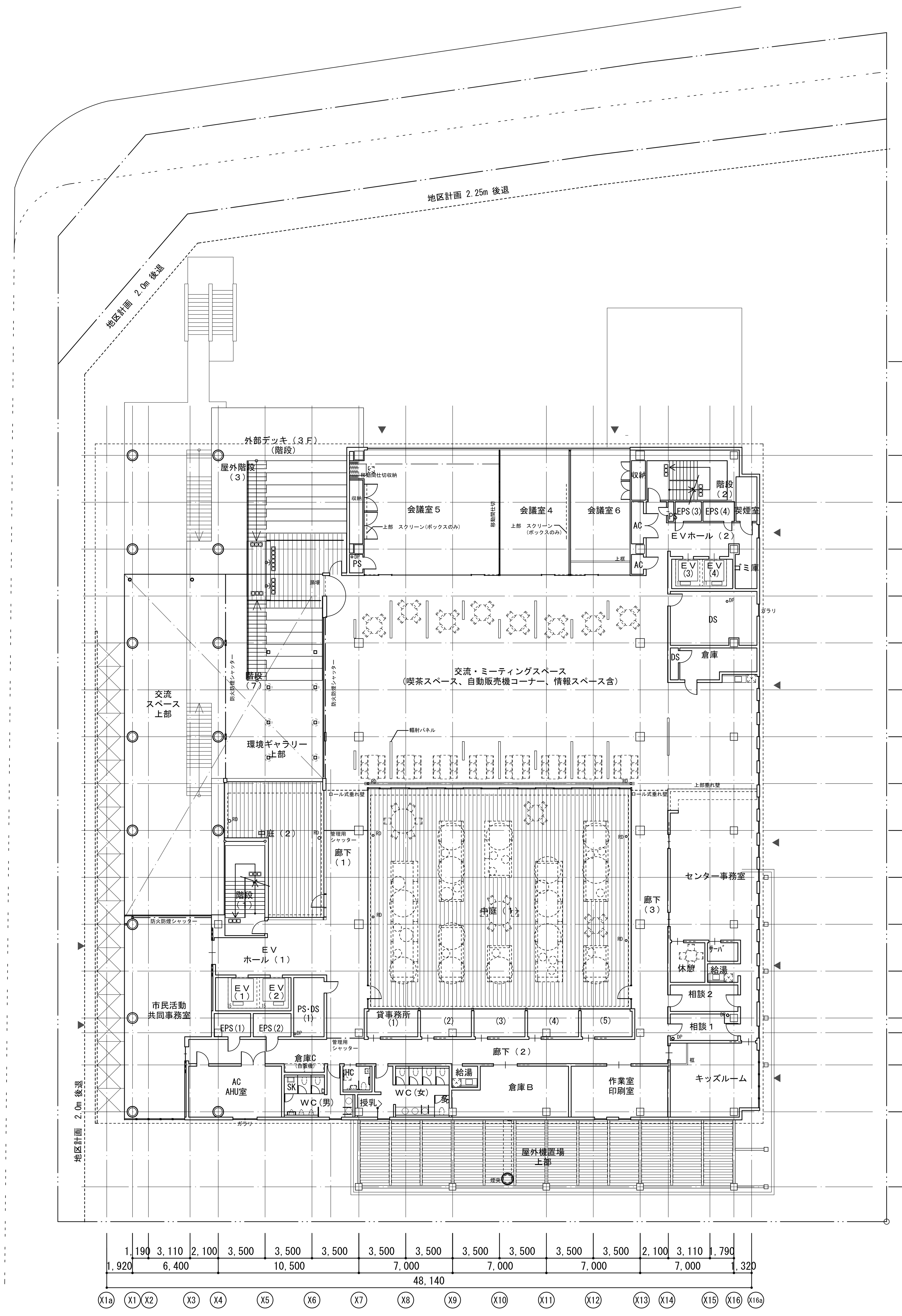


２階平面図

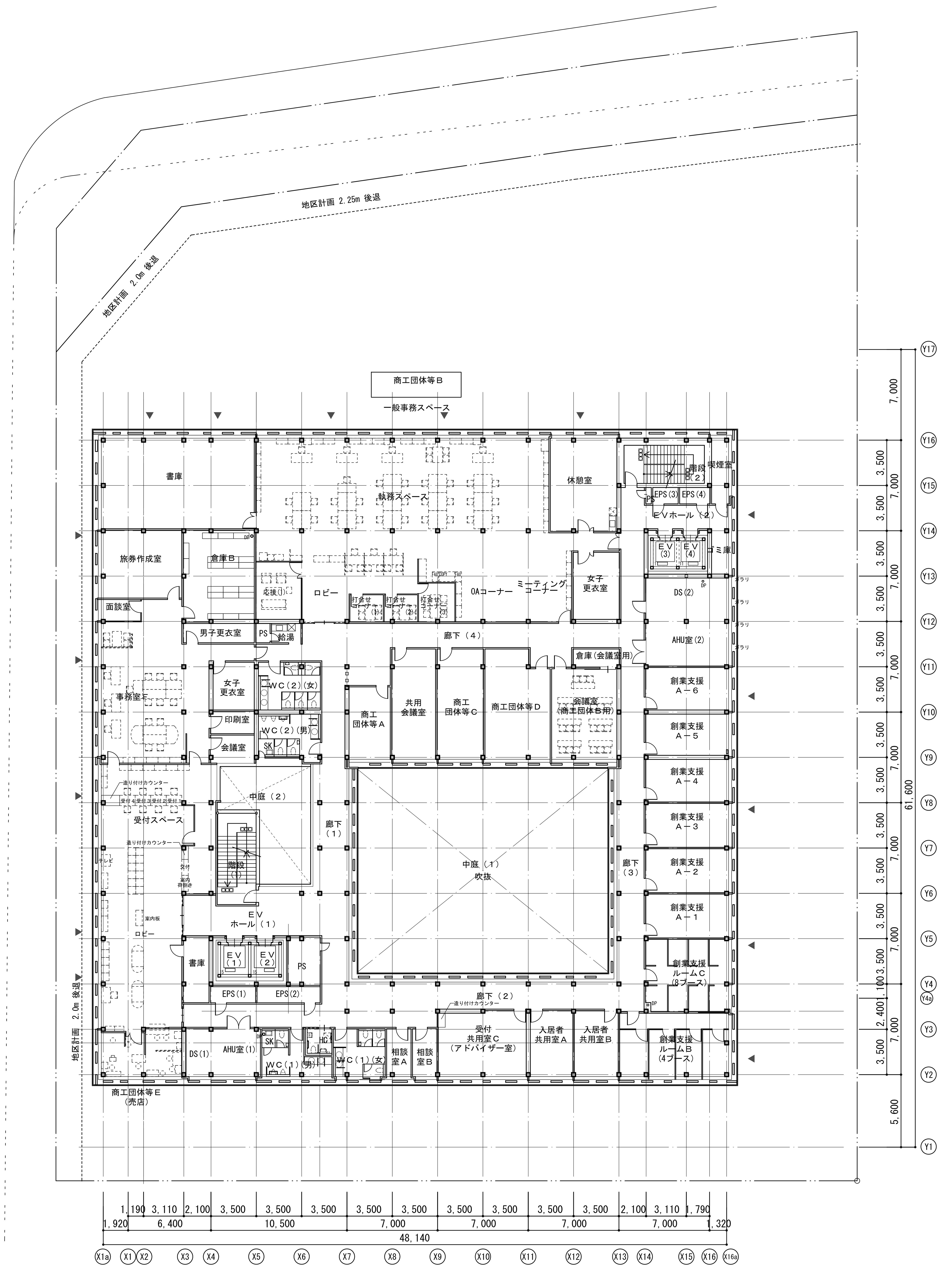


３階平面図

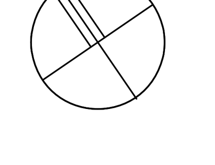
埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	代表設計者 一級建築士 第239114号 石井 靖人 / 担当設計者 一級建築士 第219846号 原田 聡	東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称） 建築工事
課長 副課長 主幹 主査 主査 主査	課長			資格/番号 記名 捺印 製図 検図 納品検査	図面内容 ２階平面図・３階平面図 / 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3) / 図面番号 1111 / 区分 建築意匠図



４階平面図



５階平面図



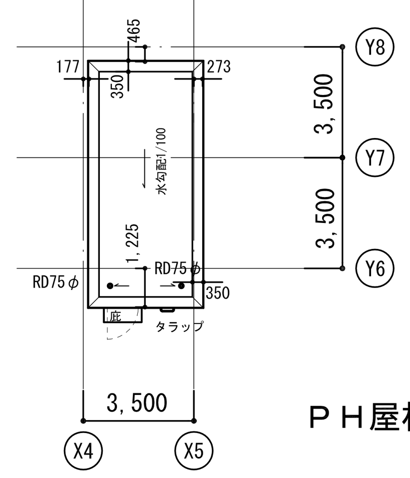
埼玉県産業労働部産業拠点整備課						春日部市都市整備部鉄道高架整備課						特記
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	課長						・ ・ ・ ・ ・

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

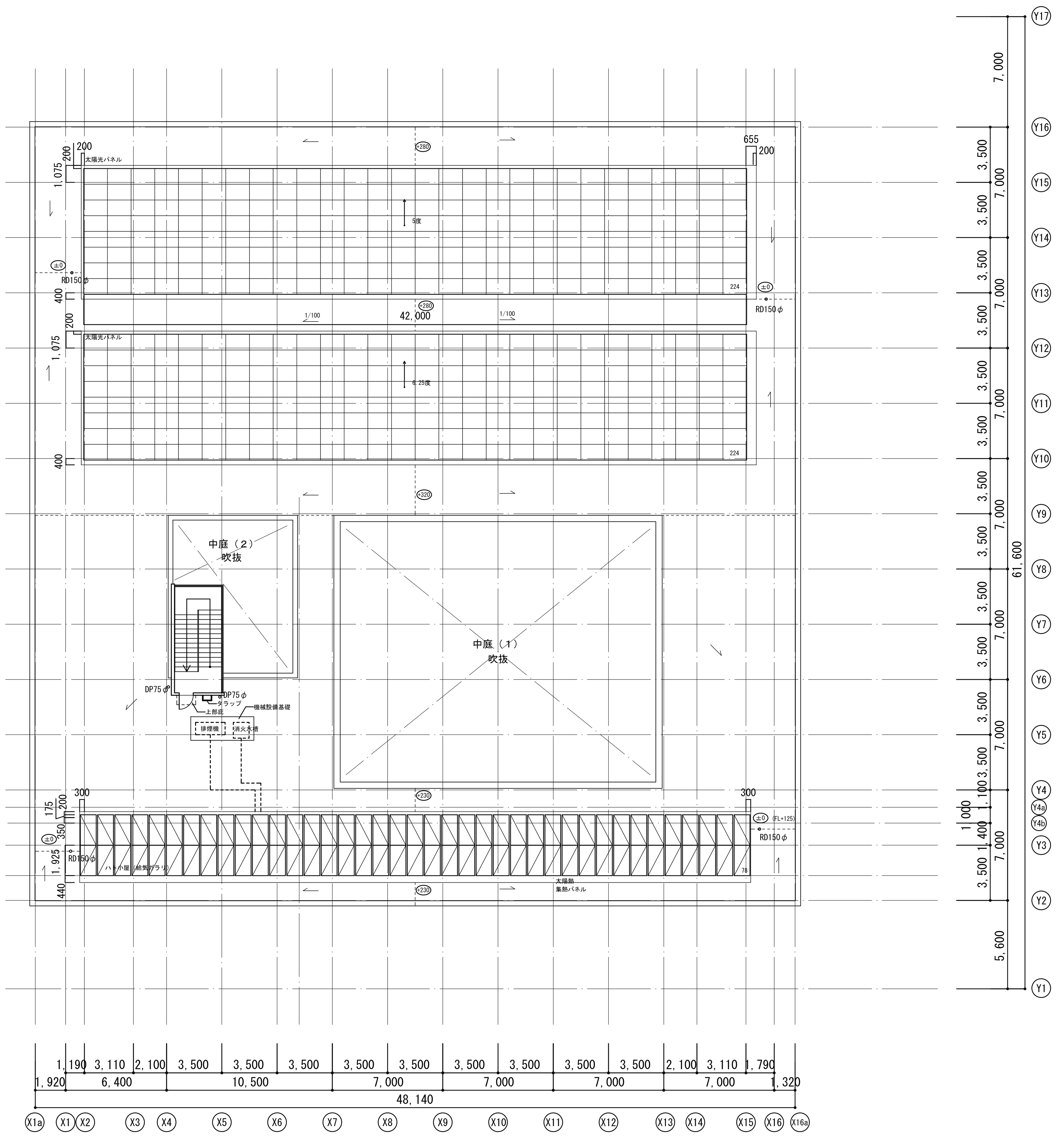
	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
４階平面図・５階平面図	1112
縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	区分 建築意匠図



６階平面図



ＰＨ階平面図

埼玉県産業労働部産業拠点整備課 課長 / 副課長 / 主幹 / 主査 / 主査 / 主査	春日部市都市整備部鉄道高架整備課 課長	特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

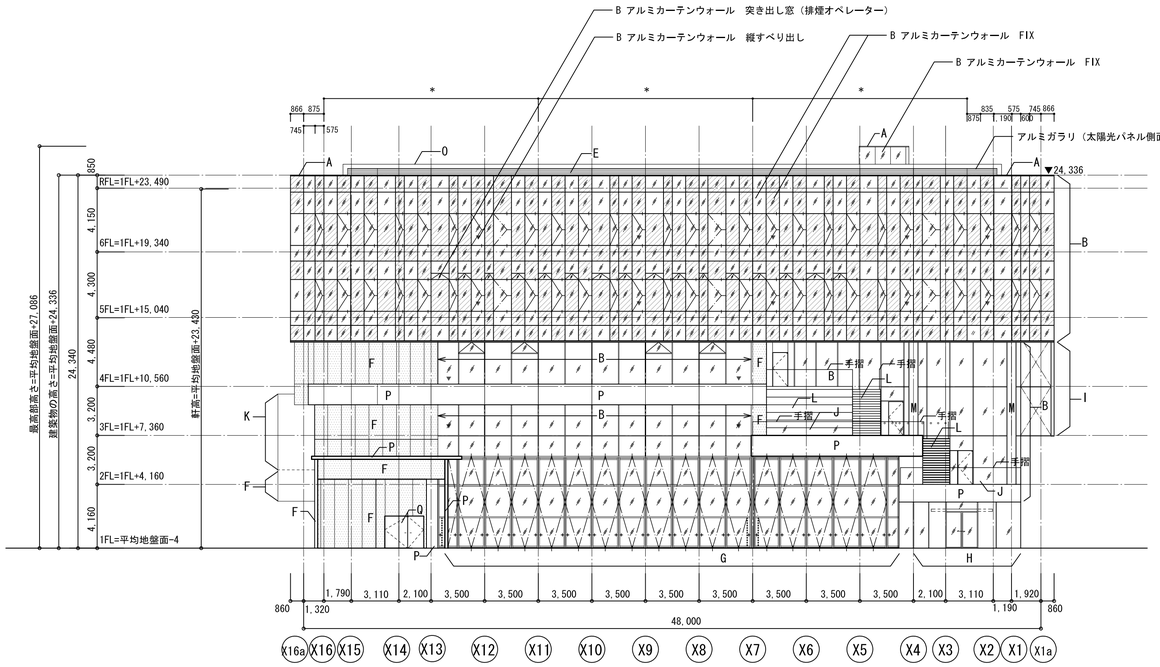
	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称) 建築工事	図面内容: ６階平面図・ＰＨ階平面図 縮尺: 1/200(A1) 1/400(A3)	図面番号: 1113 区分: 建築意匠図

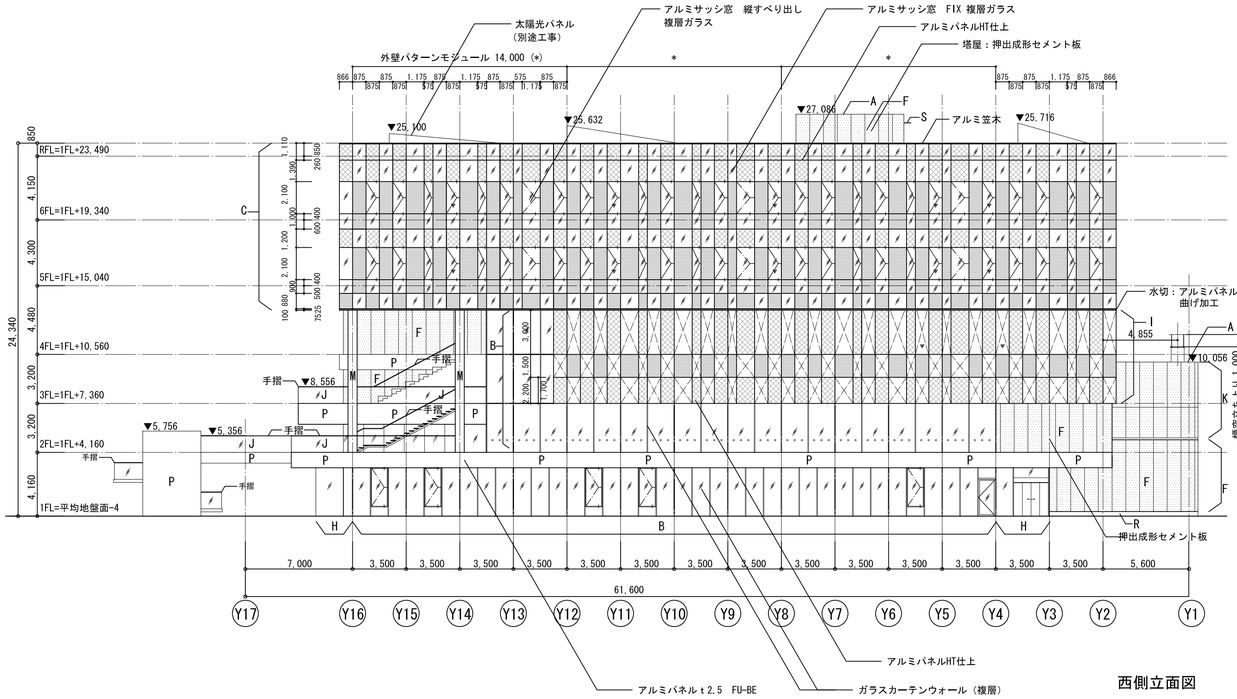
※図中の各部分高さは地盤面（1FL-4）からの高さを示す。

【仕上凡例】

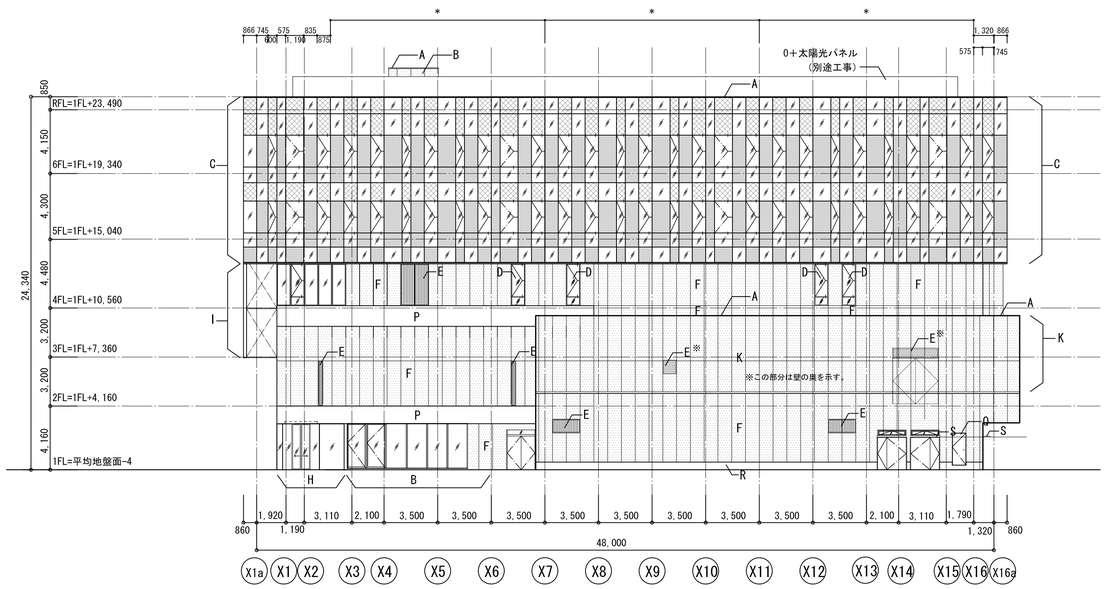
A アルミ笠木	G 外部用スライディングウォール	M 耐火塗料＋フッ素樹脂塗装	▼ 非常用進入口に替わる開口部
B アルミカーテンウォール	H ステンレス扉	O 折板屋根	ガラス
C アルミカーテンウォール（＋アルミパネル）	I 日除けパネル（アルミパネル）	P アルミパネル（FU-BE）	ガラス（ＬＶＬ透かし）
D アルミサッシュ	J ガラス手摺（強化ガラス）	Q スチール扉	アルミパネル
E アルミガラリ	K 押出成形板＋外部用吸音パネル	R コンクリート化粧打放し+複層塗材E	アルミパネル　HT仕上
F 押出成形セメント板	L 再生木ウッドデッキ	S アルミ製庇	※手摺はすべて　H=1,100以上とする



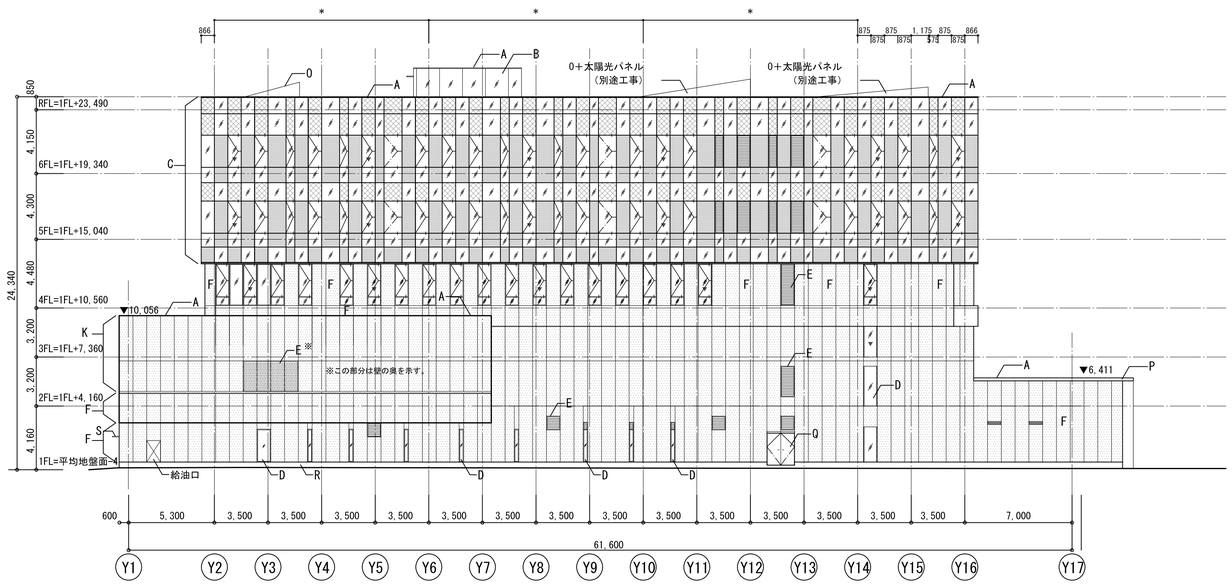
北側立面図



西側立面図



南側立面図



東側立面図

埼玉県産業労働部産業拠点整備課	課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	課長		

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS,ENGINEERS & CONSULTANTS.

代表設計者　資格/番号　一級建築士 第239114号　記名　石井 靖人　捺印
担当設計者　資格/番号　一級建築士 第219846号　記名　原田 聡

製図　検図　納品検査

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

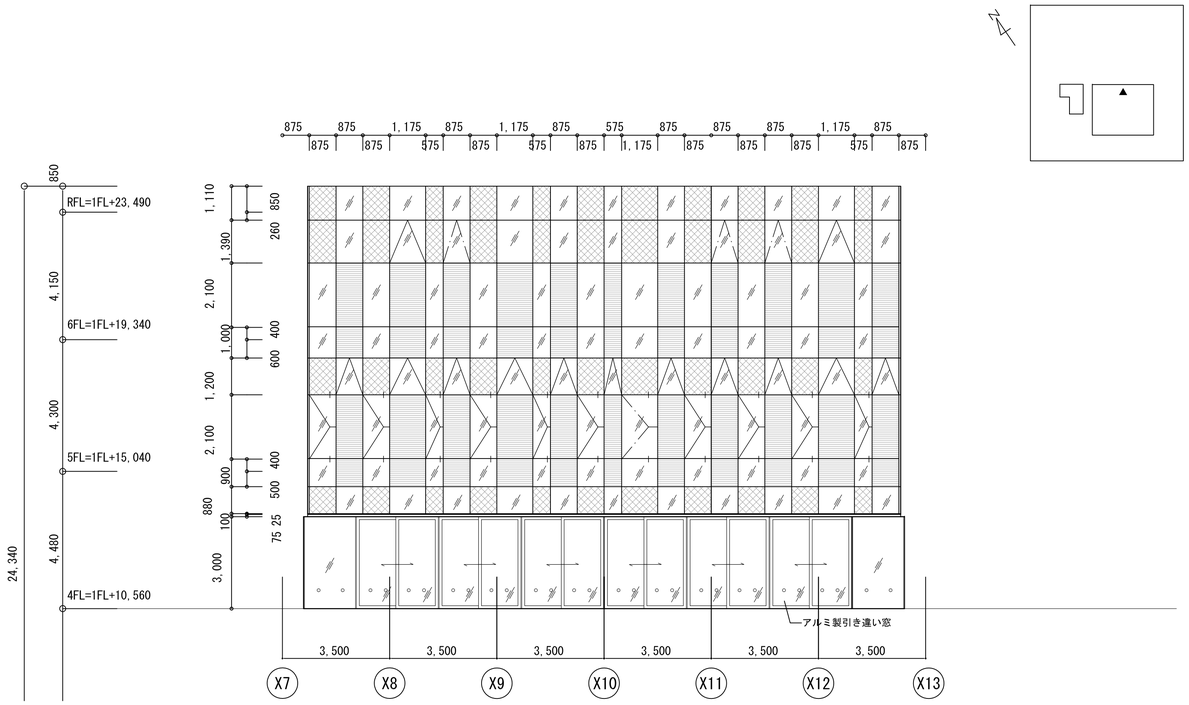
図面内容　立面図

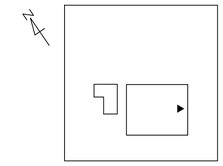
縮尺　1/200（A1）　1/200（A3）

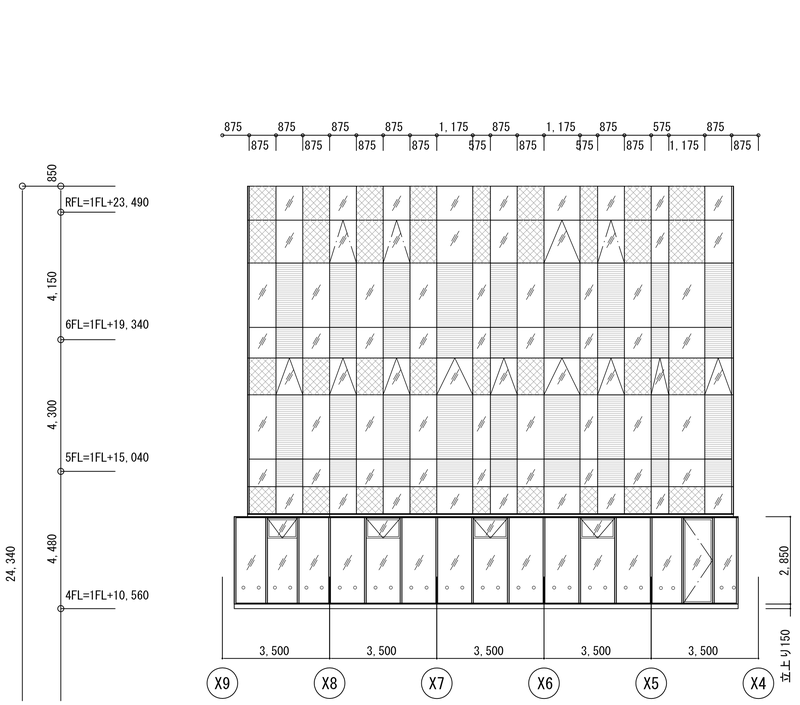
図面番号　1114

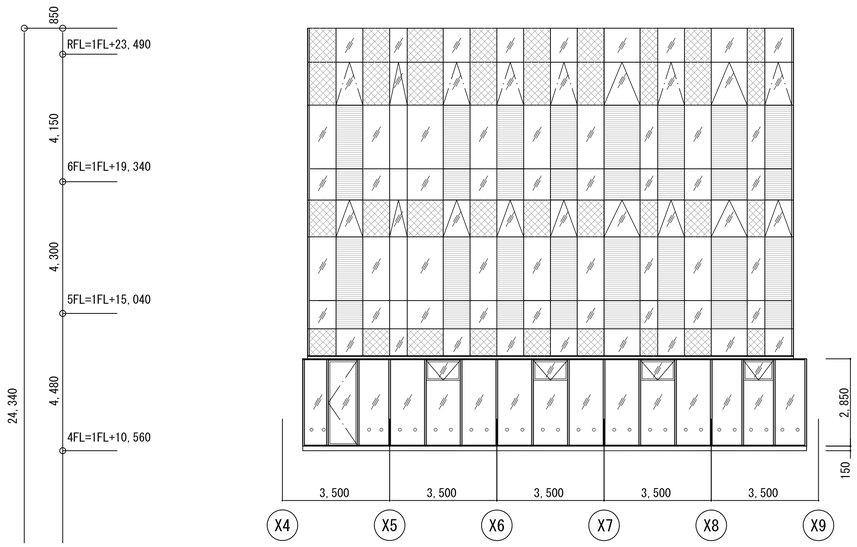
区分　建築意匠図

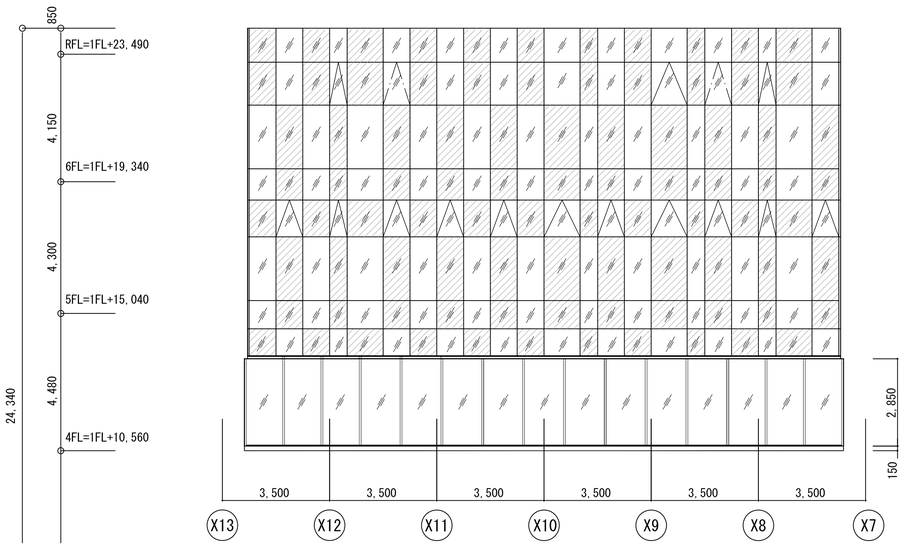
ガラス
ガラス（ＬＶＬ透かし）
アルミパネル
アルミパネル　HT仕上











埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長						

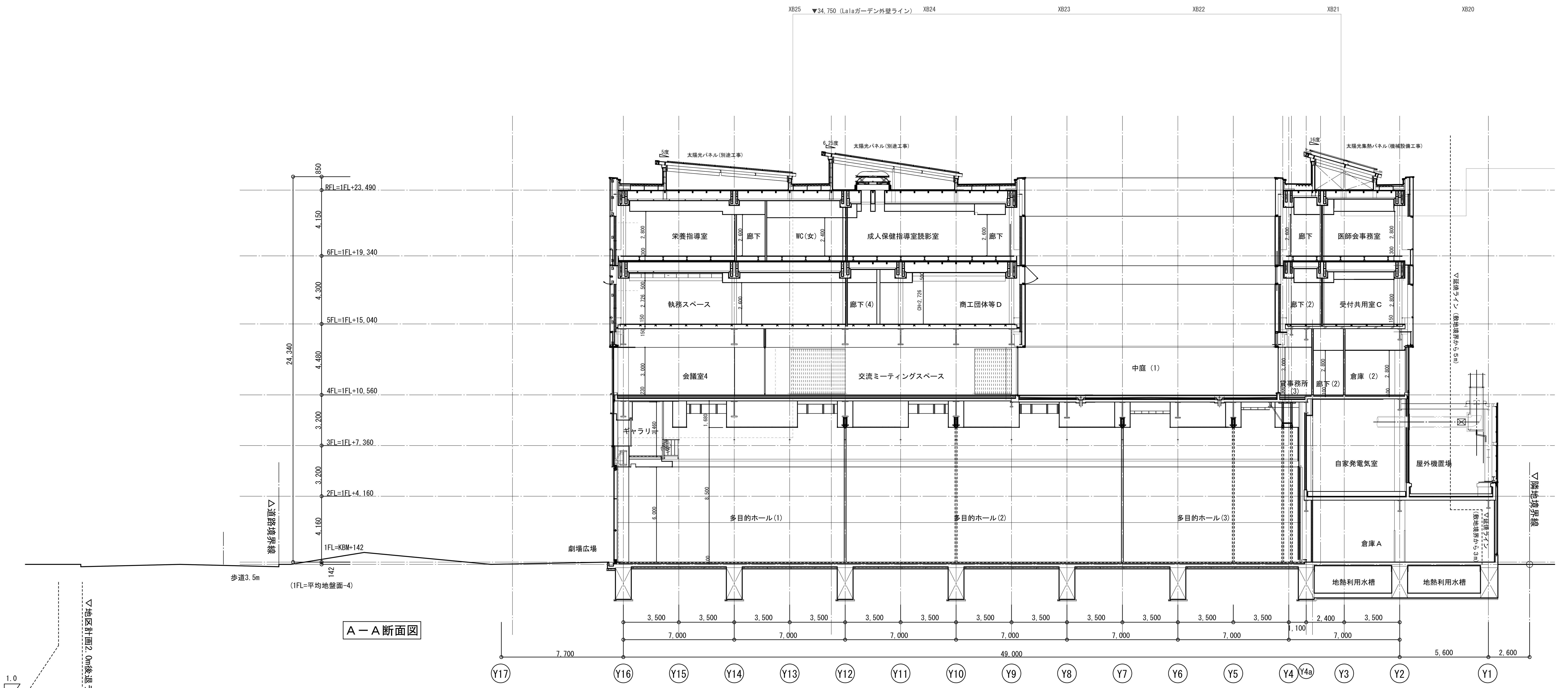
特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

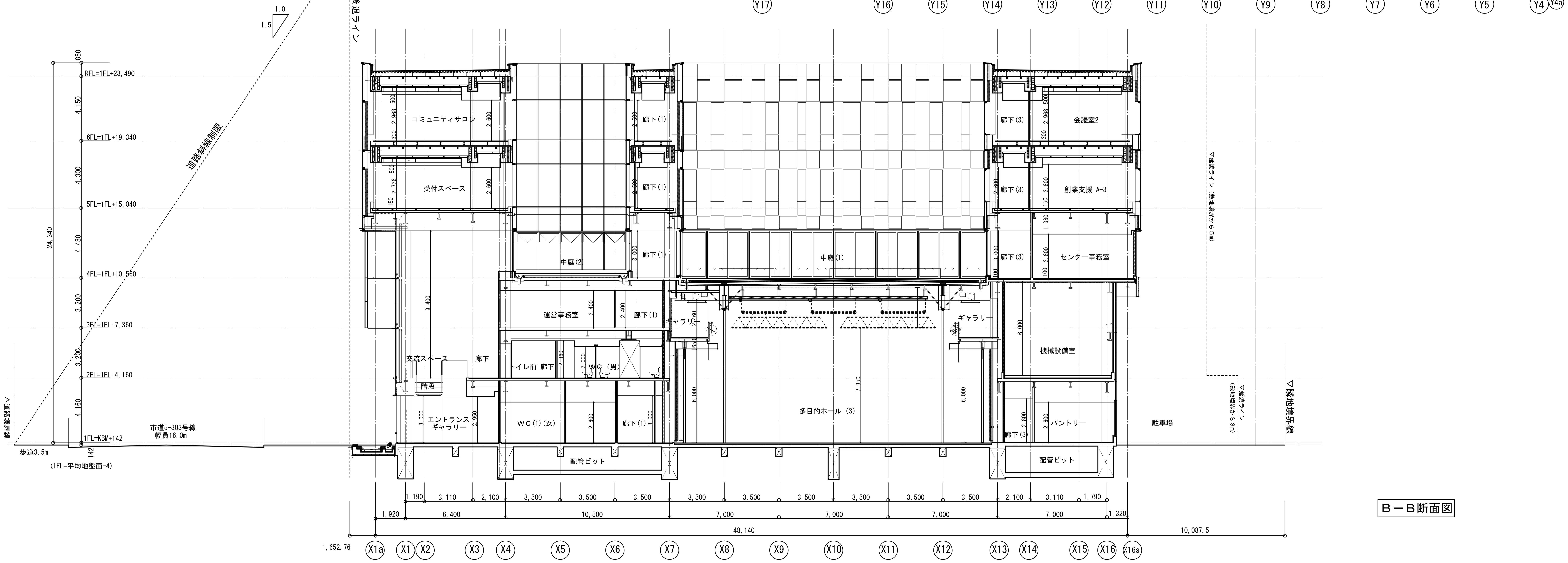
代表設計者	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

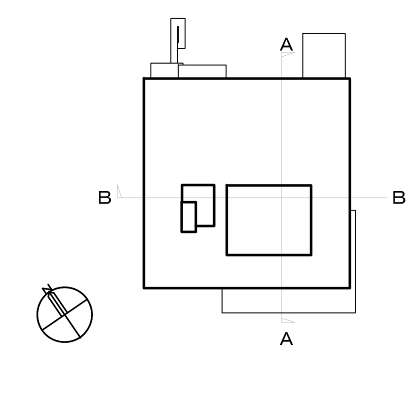
図面内容	図面番号
中庭周り立面図	1115
縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	区分 建築意匠図



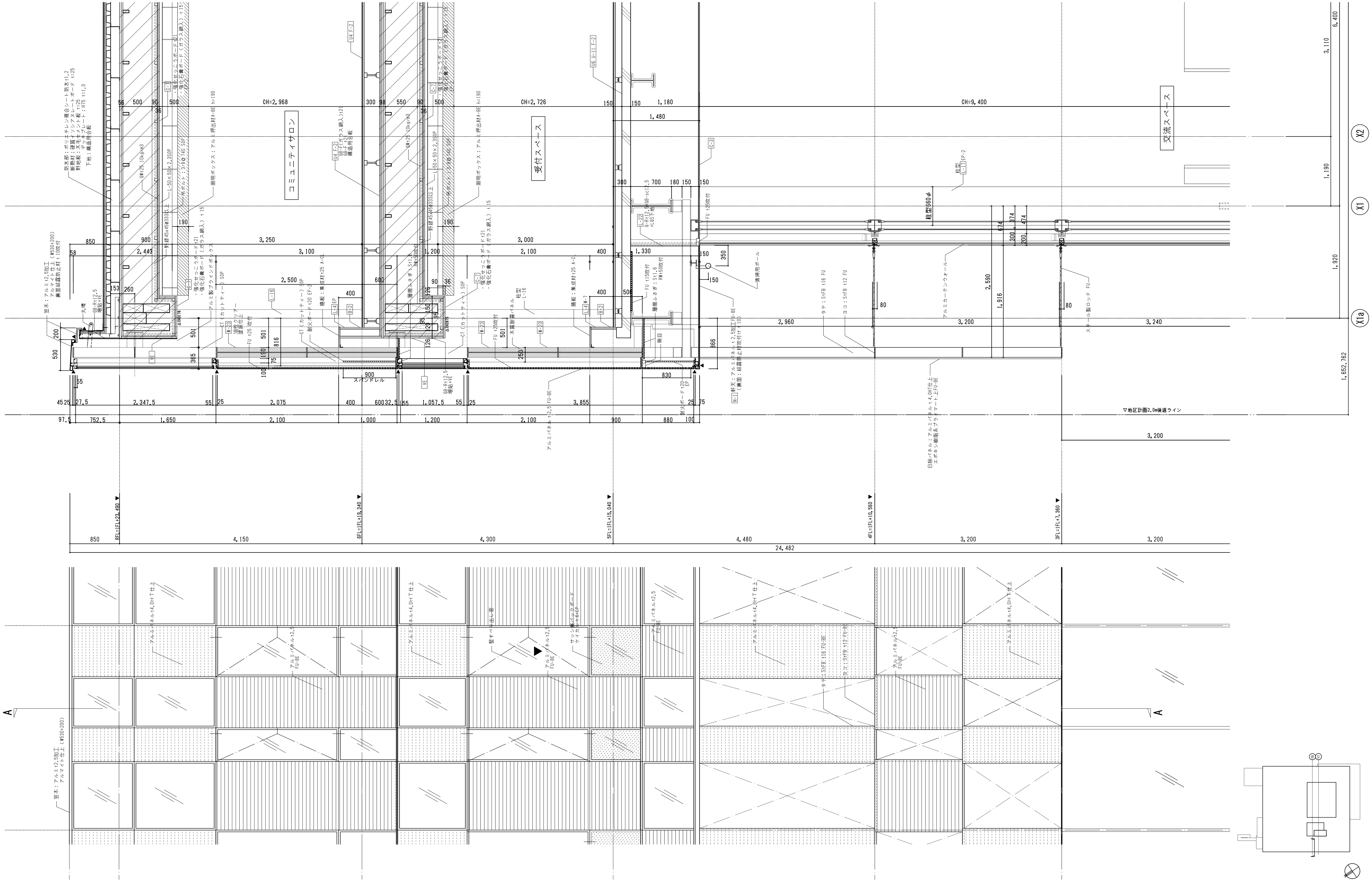
A－A断面図



B－B断面図



埼玉県産業労働部産業拠点整備課	課長 / 副課長 / 主幹 / 主査 / 主査 / 主査
春日部市都市整備部鉄道高架整備課	課長
特記	
株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	
代表設計者	一級建築士 第239114号 石井 靖人
担当設計者	一級建築士 第219846号 原田 聡
工事名	東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称) 建築工事
図面内容	断面図
図面番号	1116
縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
区分	建築意匠図



埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	

春日部市都市整備部鉄道高架整備課	
課長	

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

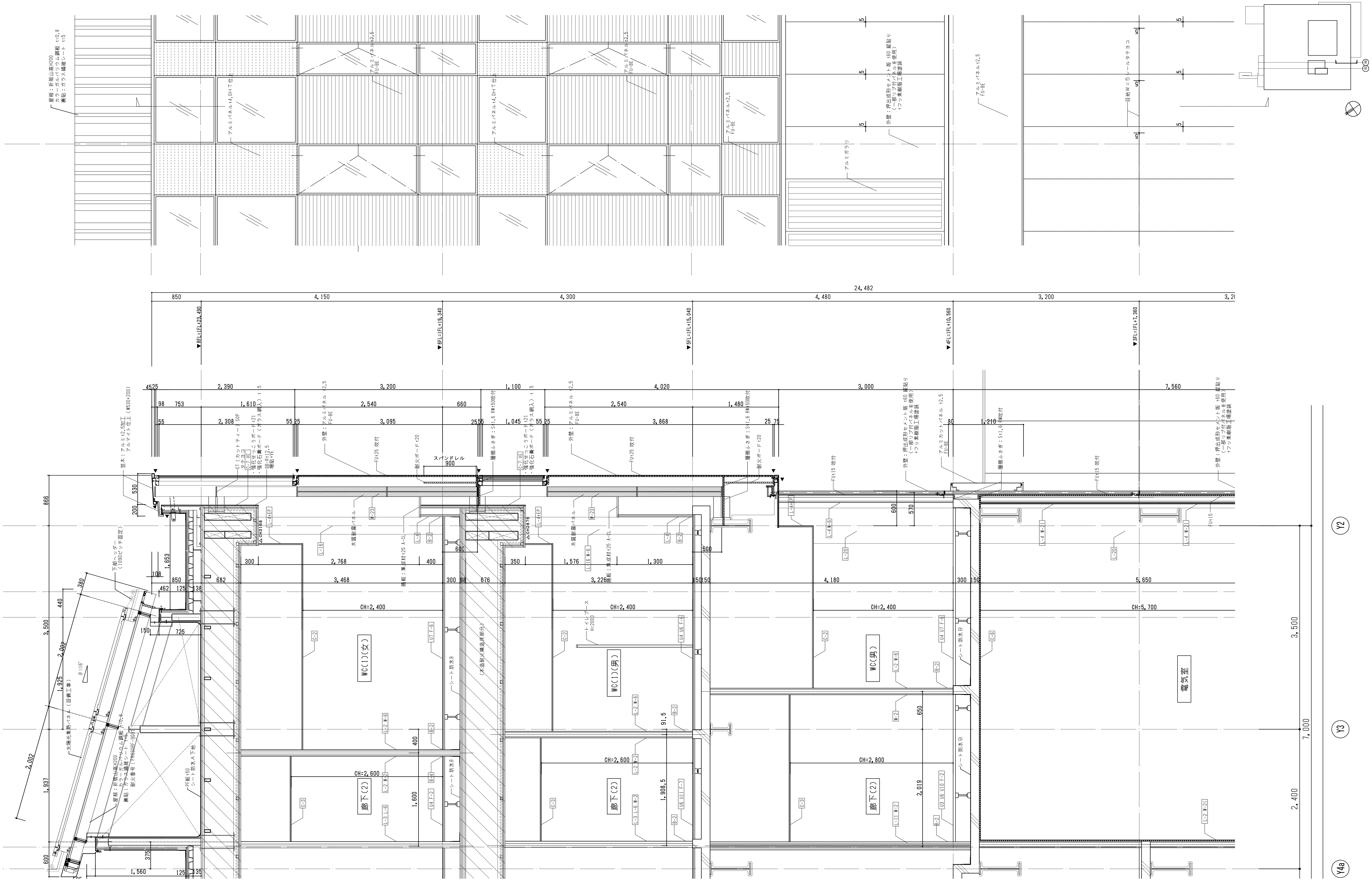
図面内容	矩計図１
縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)
図面番号	1201
区分	建築意匠図

埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記	
課長 / 副課長 / 主幹 / 主査 / 主査 / 主査	課長		

株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容	矩計図２	図面番号	1202
縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)	区分	建築意匠図



埼玉県産業労働部産業拠点整備課						春日部市都市整備部鉄道高架整備課						特記
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	課長						・ ・ ・ ・ ・

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
矩計図３	1203
縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	区分 建築意匠図

埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記
課長 / 副課長 / 主幹 / 主査 / 主査 / 主査	課長	

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	矩計図４
縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)
図面番号	1204
区分	建築意匠図

埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記
課長 / 副課長 / 主幹 / 主査 / 主査 / 主査	課長	

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

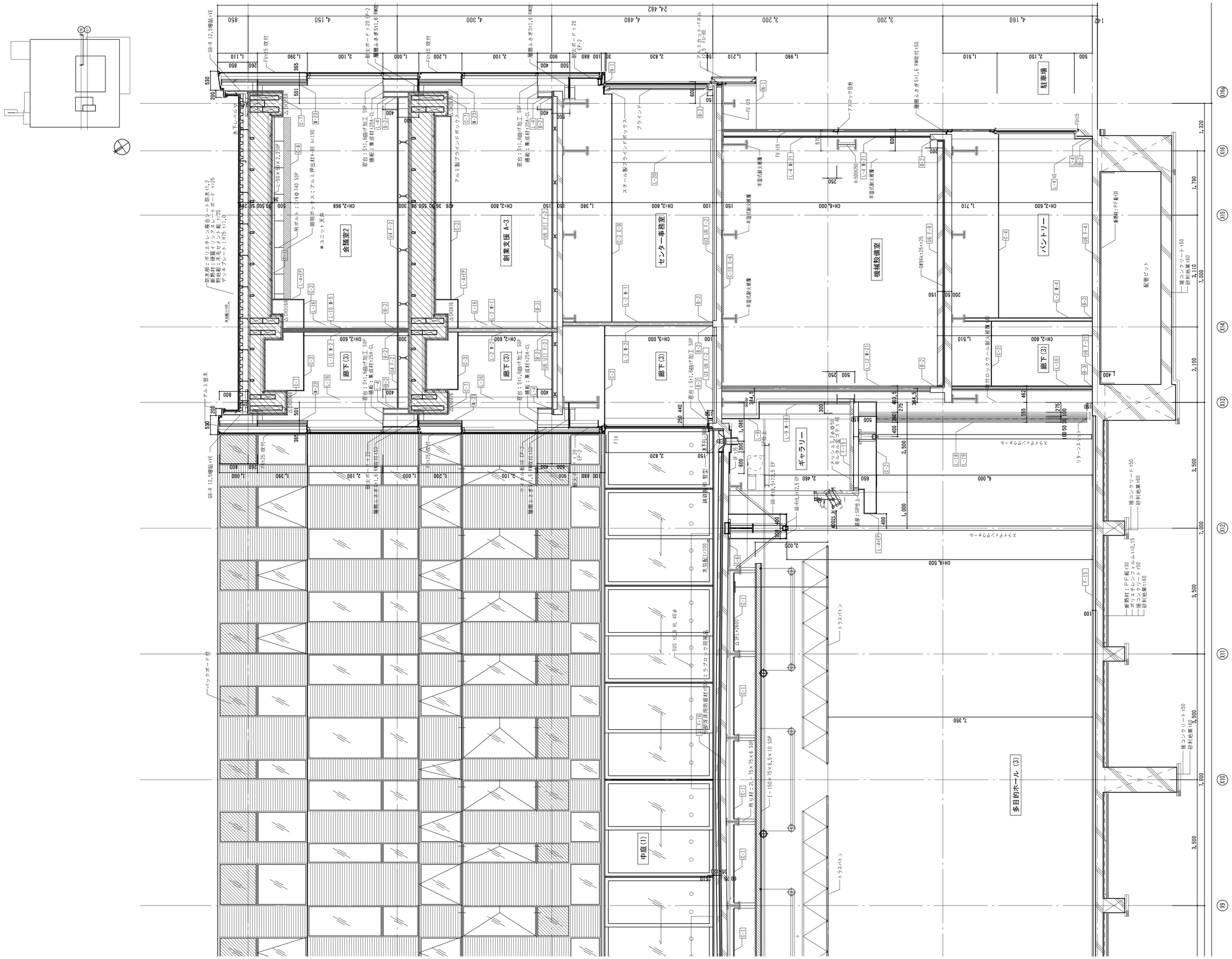
東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容: 断面詳細図 1

縮尺: 1/50(A1) 1/100(A3)

図面番号: 1205

区分: 建築意匠図



埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長						

特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

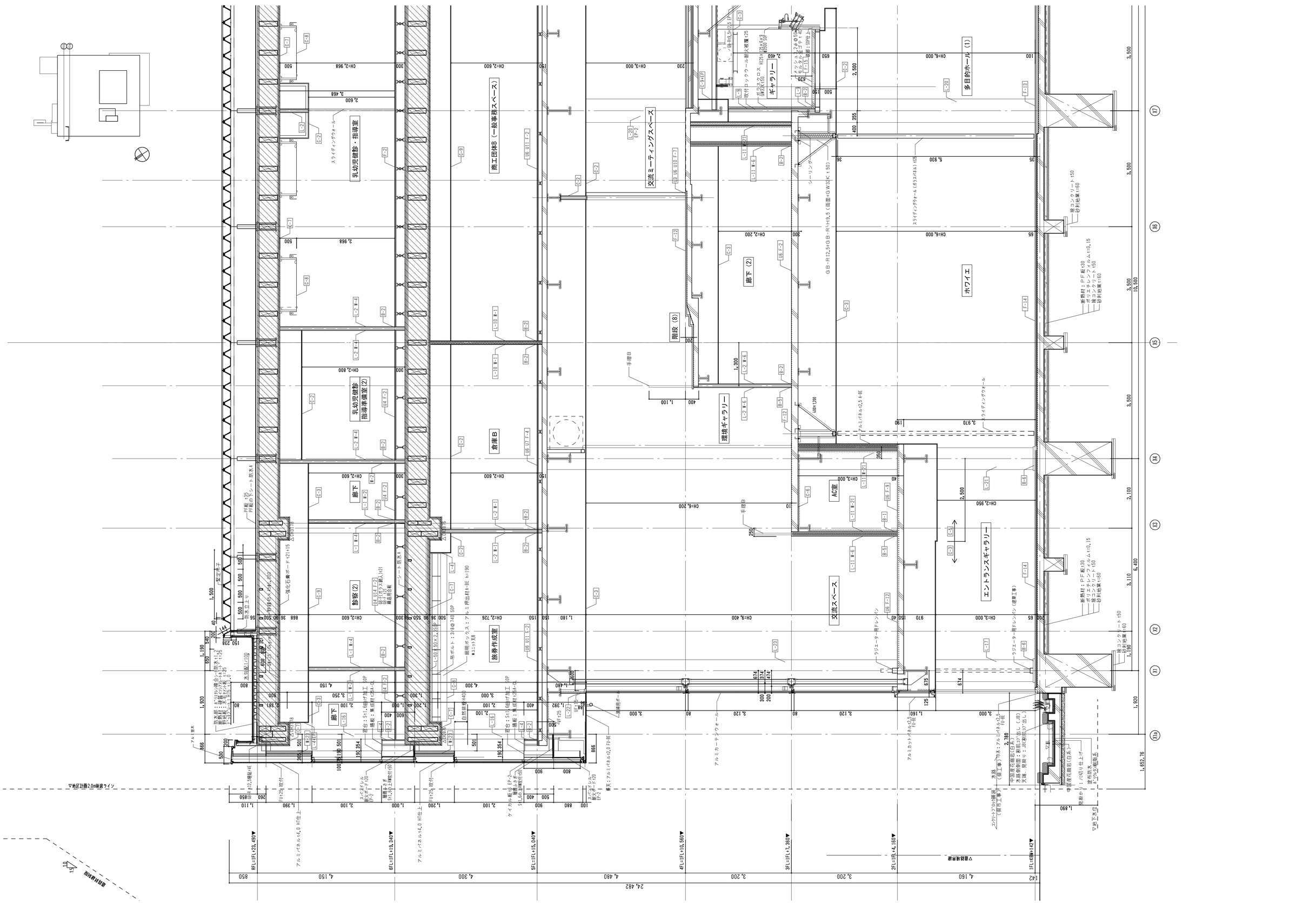
資格/番号	記名	捺印
代表設計者	一級建築士 第239114号 石井 靖人	
担当設計者	一級建築士 第219846号 原田 聡	

製図	検図	納品検査

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容: 断面詳細図2
縮尺: 1/50(A1) 1/100(A3)

図面番号: 1206
区分: 建築意匠図



埼玉県産業労働部産業拠点整備課						
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課						
課長						

特記

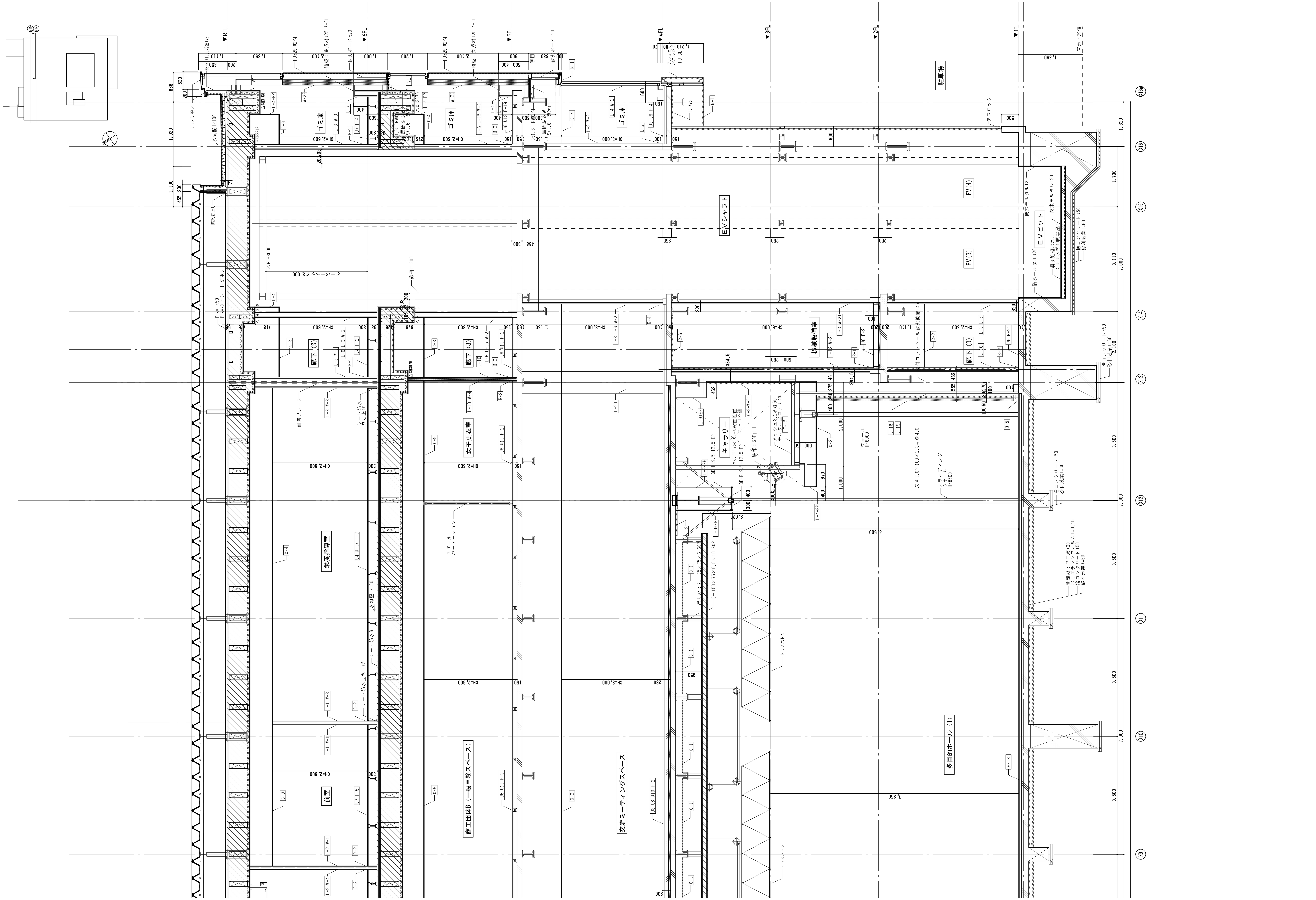
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人	
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡	

製図	検図	納品検査

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
断面詳細図3	1207
縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	区分 建築意匠図



埼玉県産業労働部産業拠点整備課					
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査

春日部市都市整備部鉄道高架整備課	
課長	

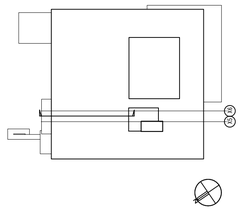
特記

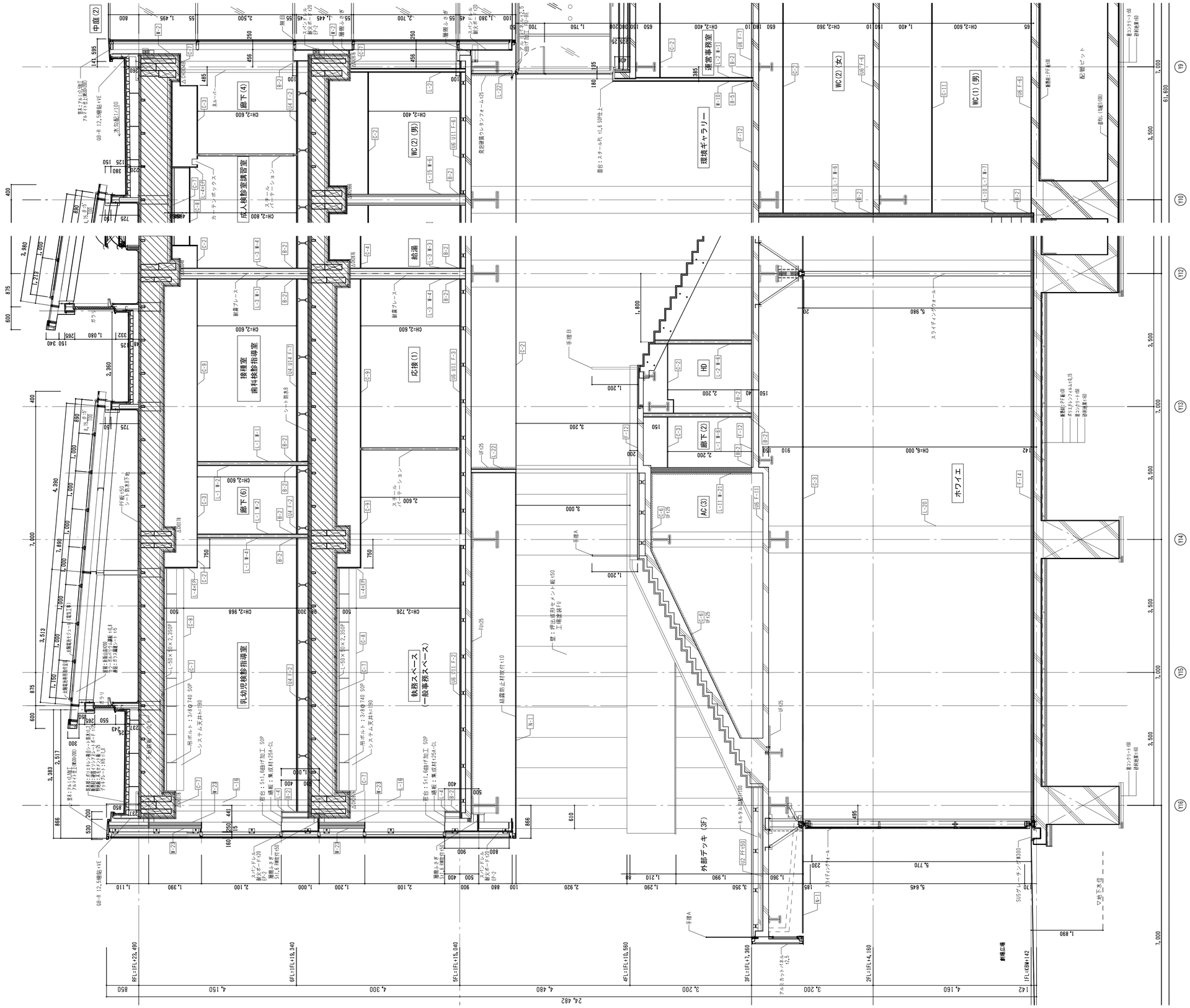
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

図面内容	断面詳細図4	図面番号	1208
縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)	区分	建築意匠図

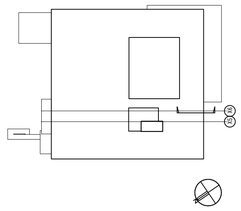


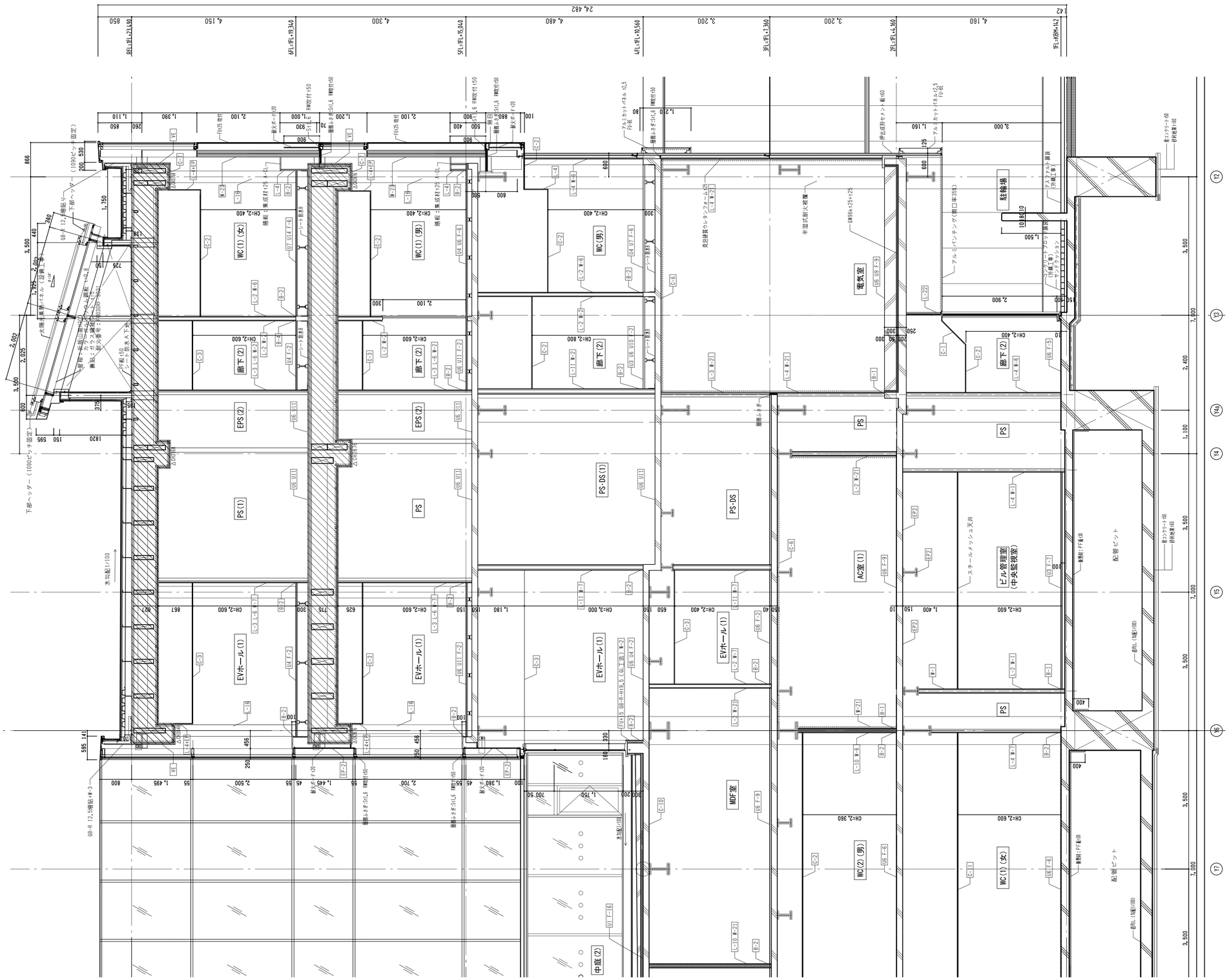


埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課							特記
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長							

株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
	代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人			
	担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡			

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称) 建築工事	図面内容	断面詳細図５	図面番号	1209
	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)	区分	建築意匠図





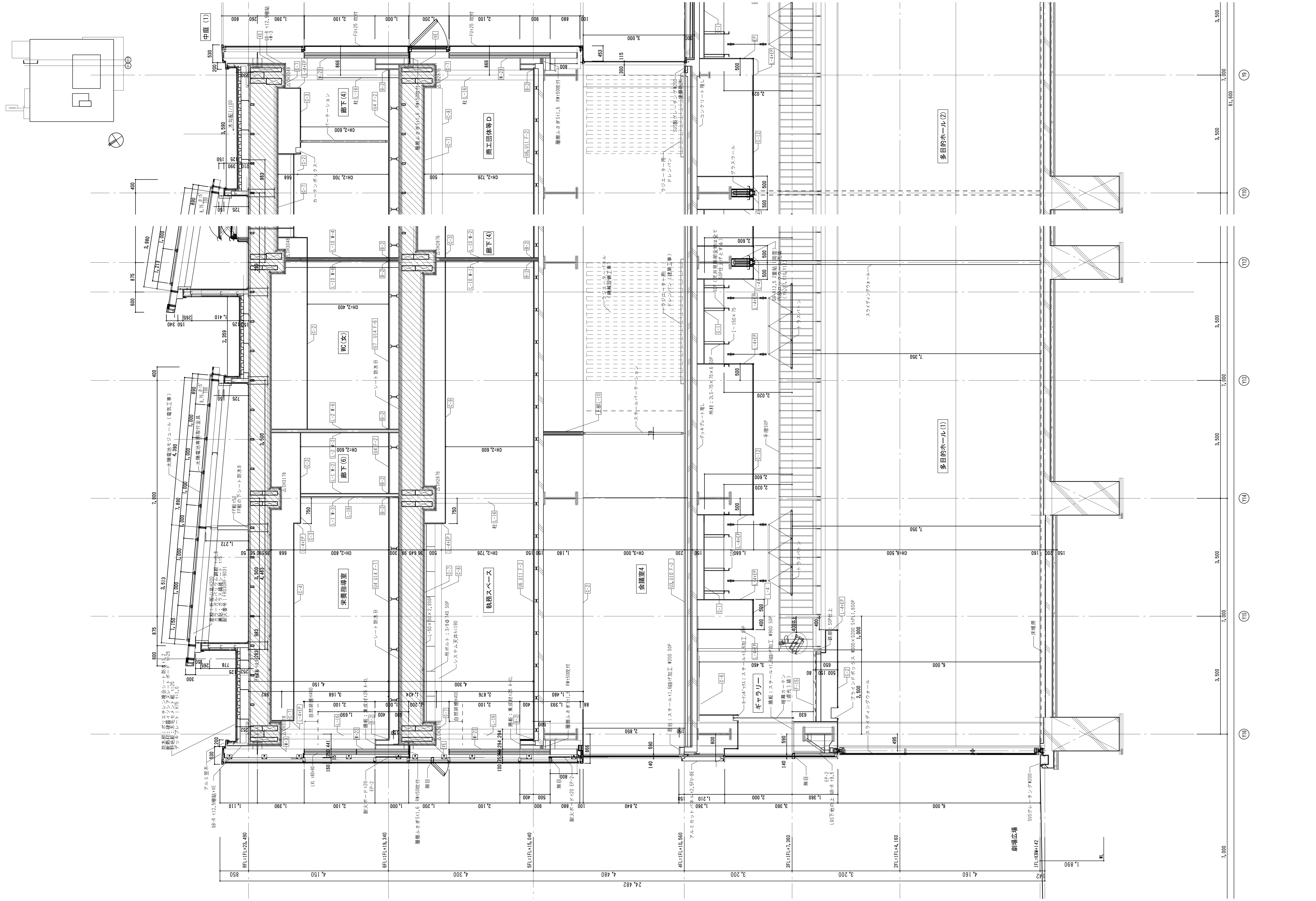
埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課							特記
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長							

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

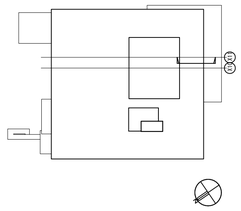
東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

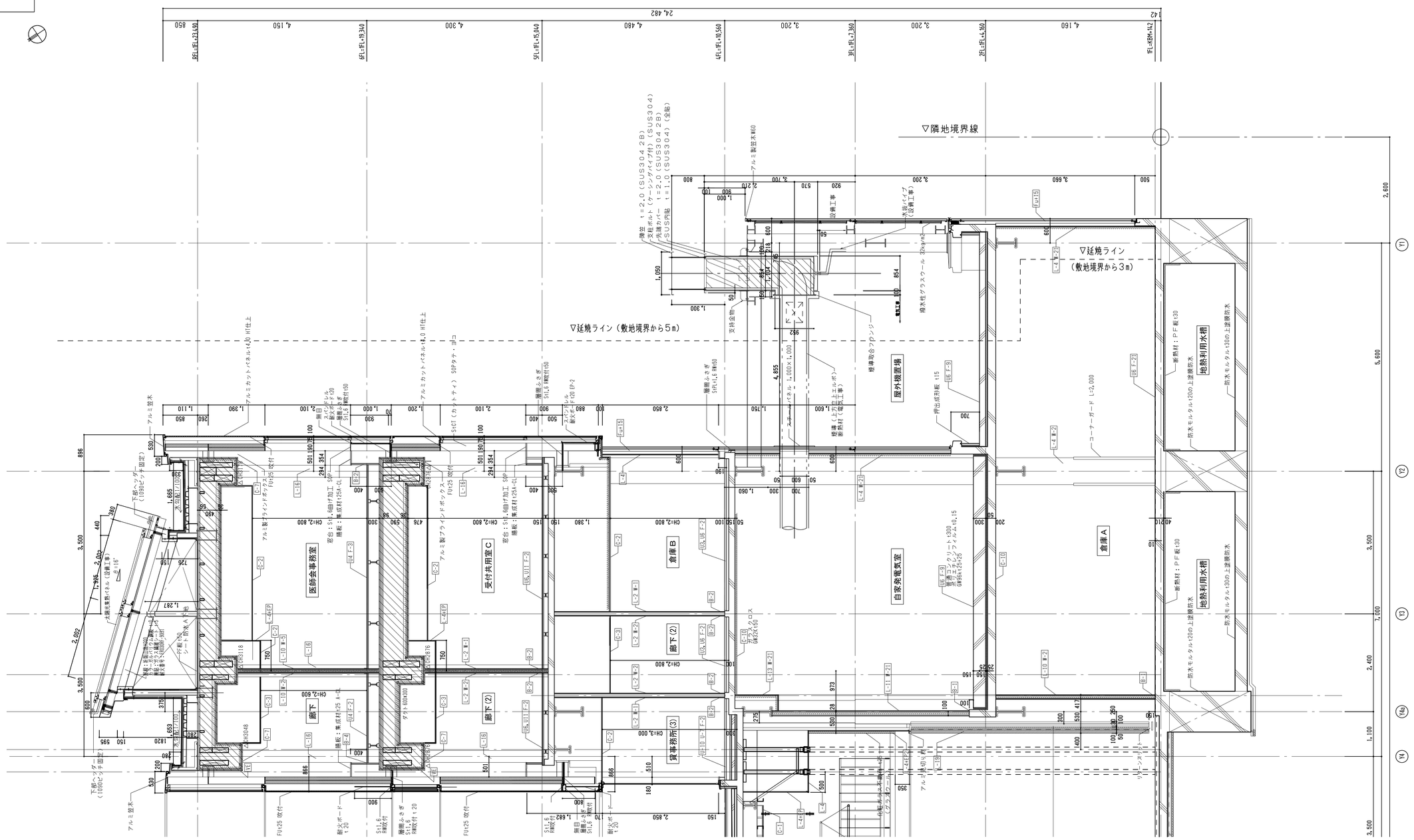
図面内容：断面詳細図６
縮尺：1/50（A1） 1/100（A3）
図面番号：1210
区分：建築意匠図



埼玉県産業労働部産業拠点整備課 課長 副課長 主幹 主査 主査 主査	春日部市都市整備部鉄道高架整備課 課長	特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	資格/番号 記名 捺印 代表設計者 一級建築士 第239114号 石井 靖人 担当設計者 一級建築士 第219846号 原田 聡	製図 検図 納品検査	東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称) 建築工事

図面内容	断面詳細図７
図面番号	1211
縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
区分	建築意匠図





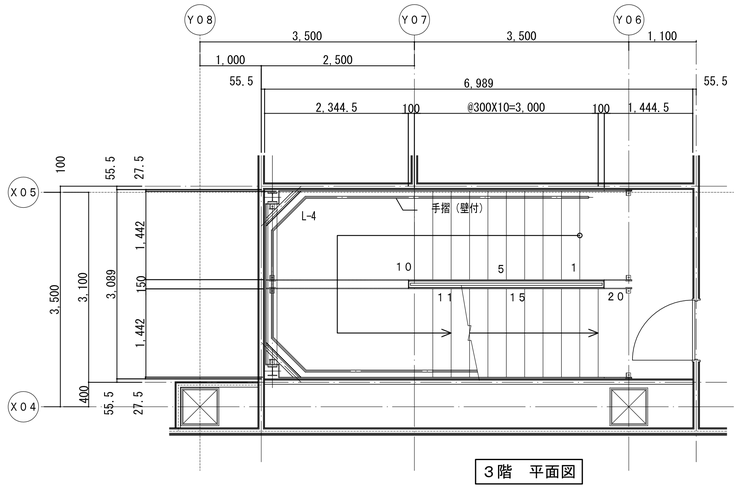
埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課							特記	
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長								

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

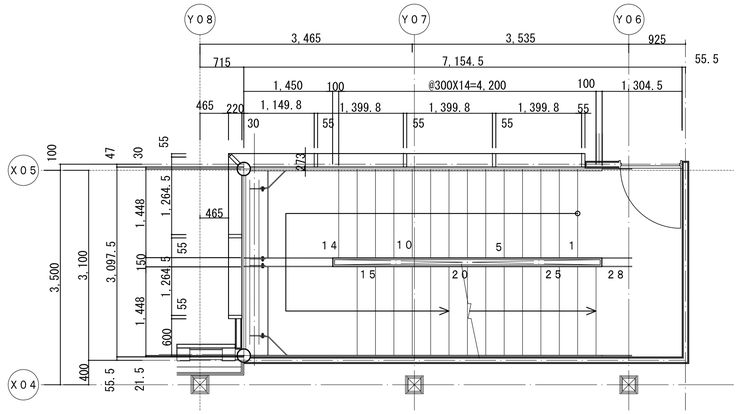
資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者 一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者 一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）
建築工事

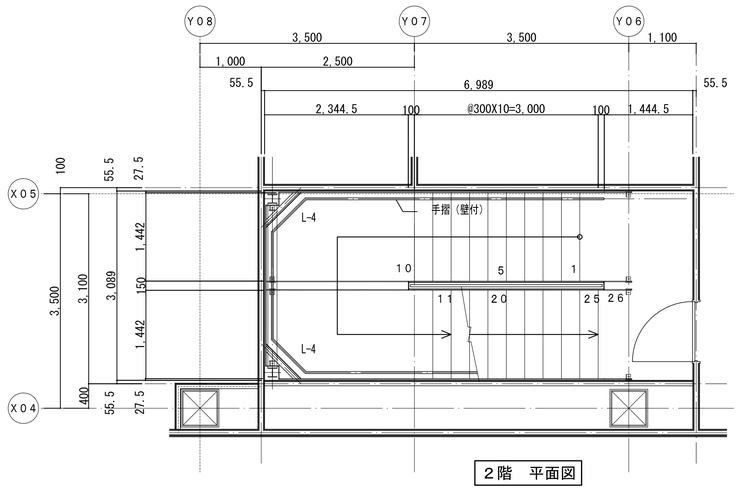
図面内容	図面番号
断面詳細図８	1212
縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	区分 建築意匠図



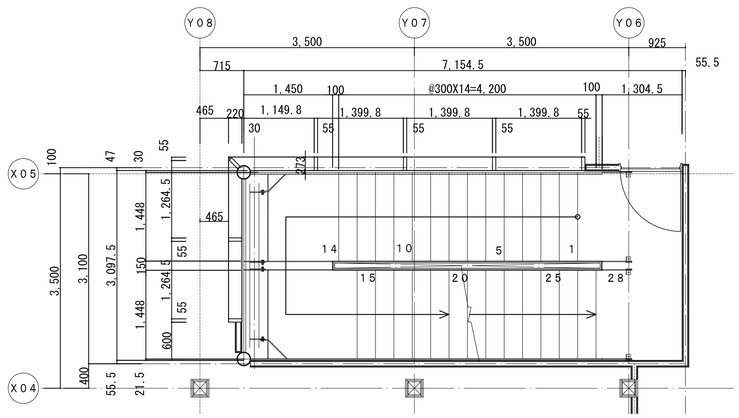
3階　平面図



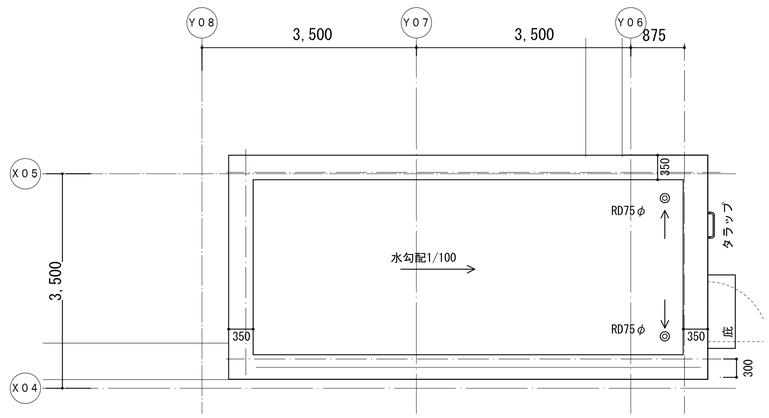
6階　平面図



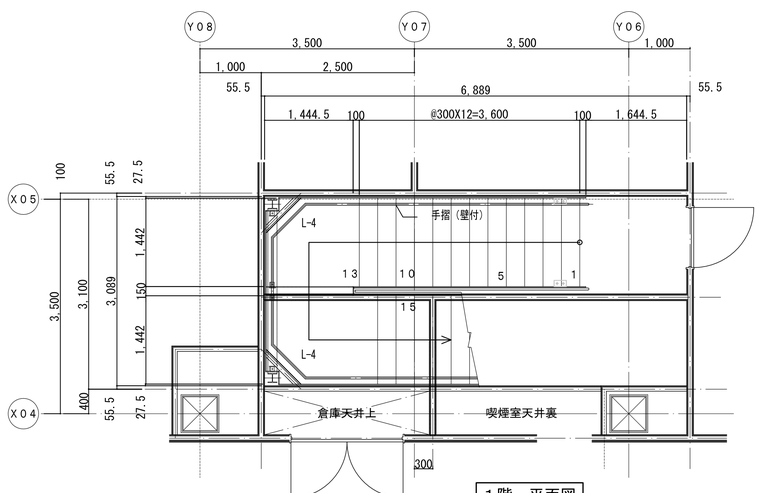
2階　平面図



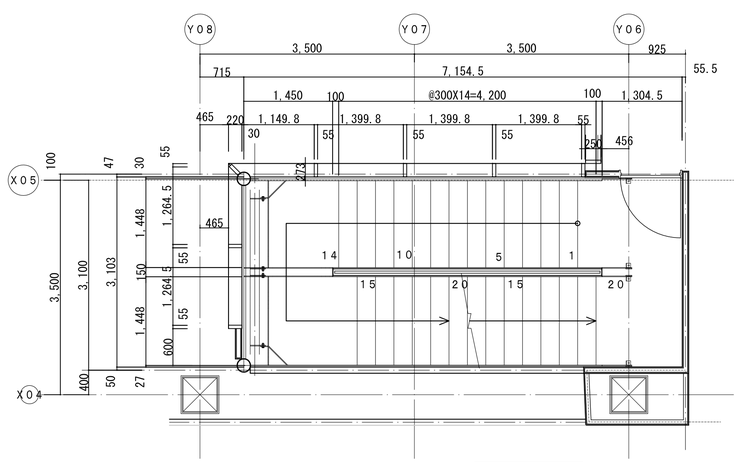
5階　平面図



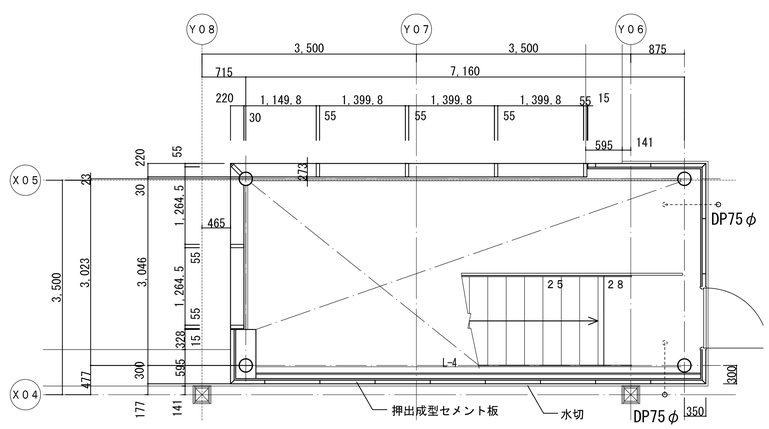
屋根伏せ図



1階　平面図



4階　平面図



R階　平面図

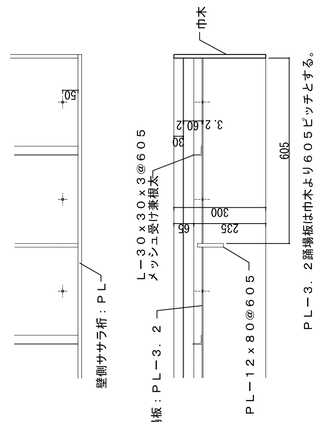
埼玉県産業労働部産業拠点整備課	課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	課長			
特記											

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

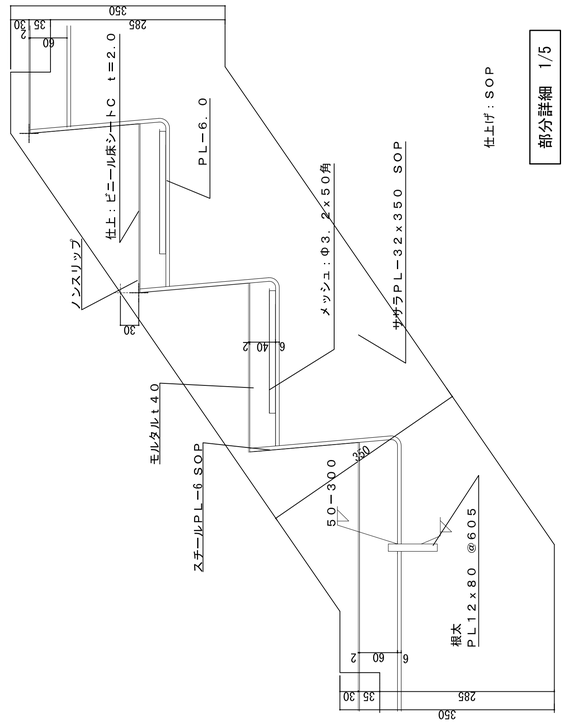
	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
階段（1）詳細図1	1213
縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	区分 建築意匠図

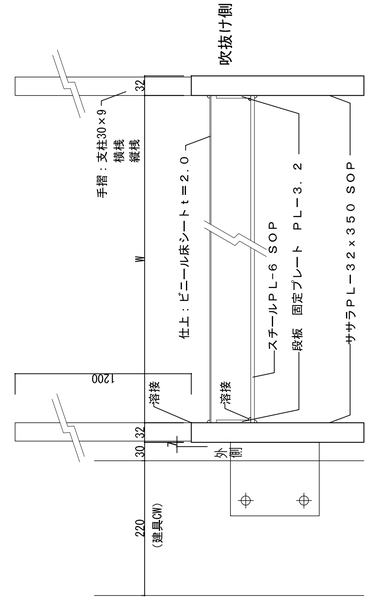


踊場部詳細　1/5

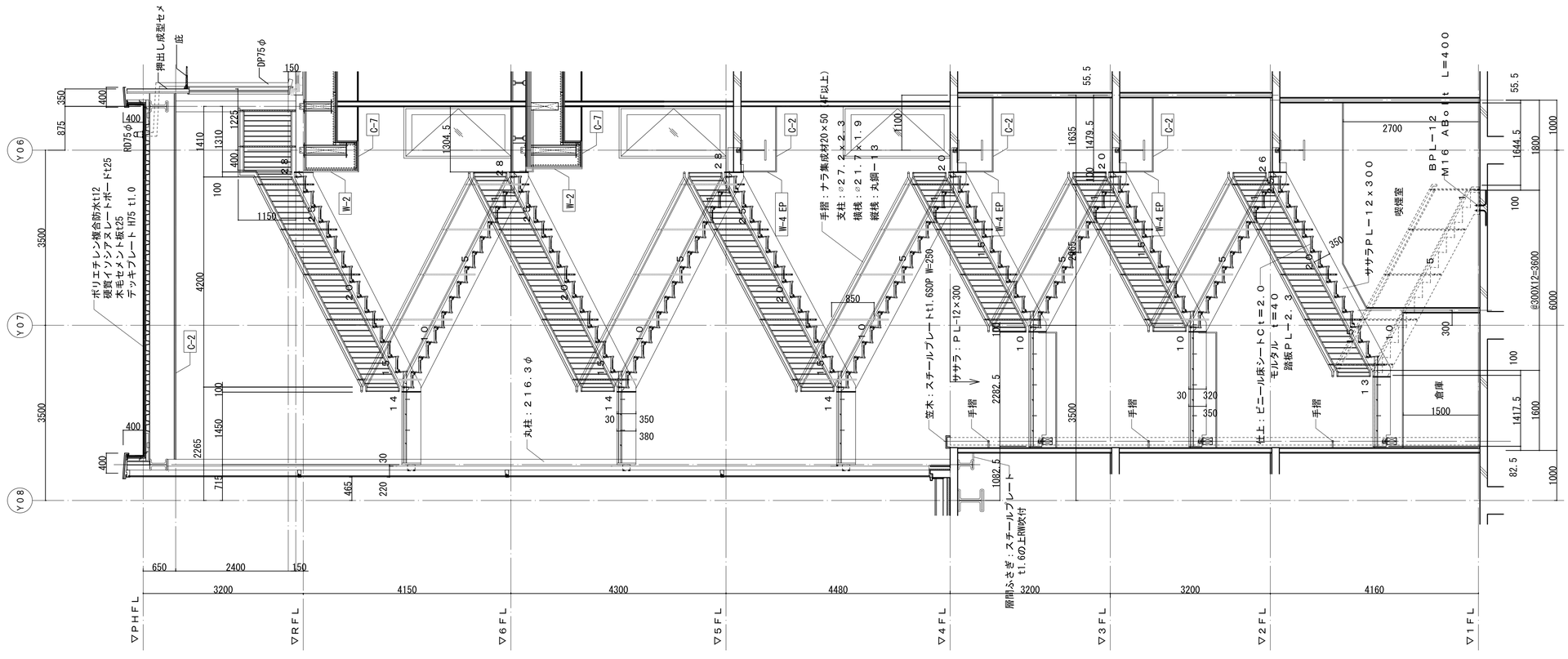


仕上げ：ＳＯＰ

部分詳細　1/5



部分詳細　1/5



埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課					
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長					

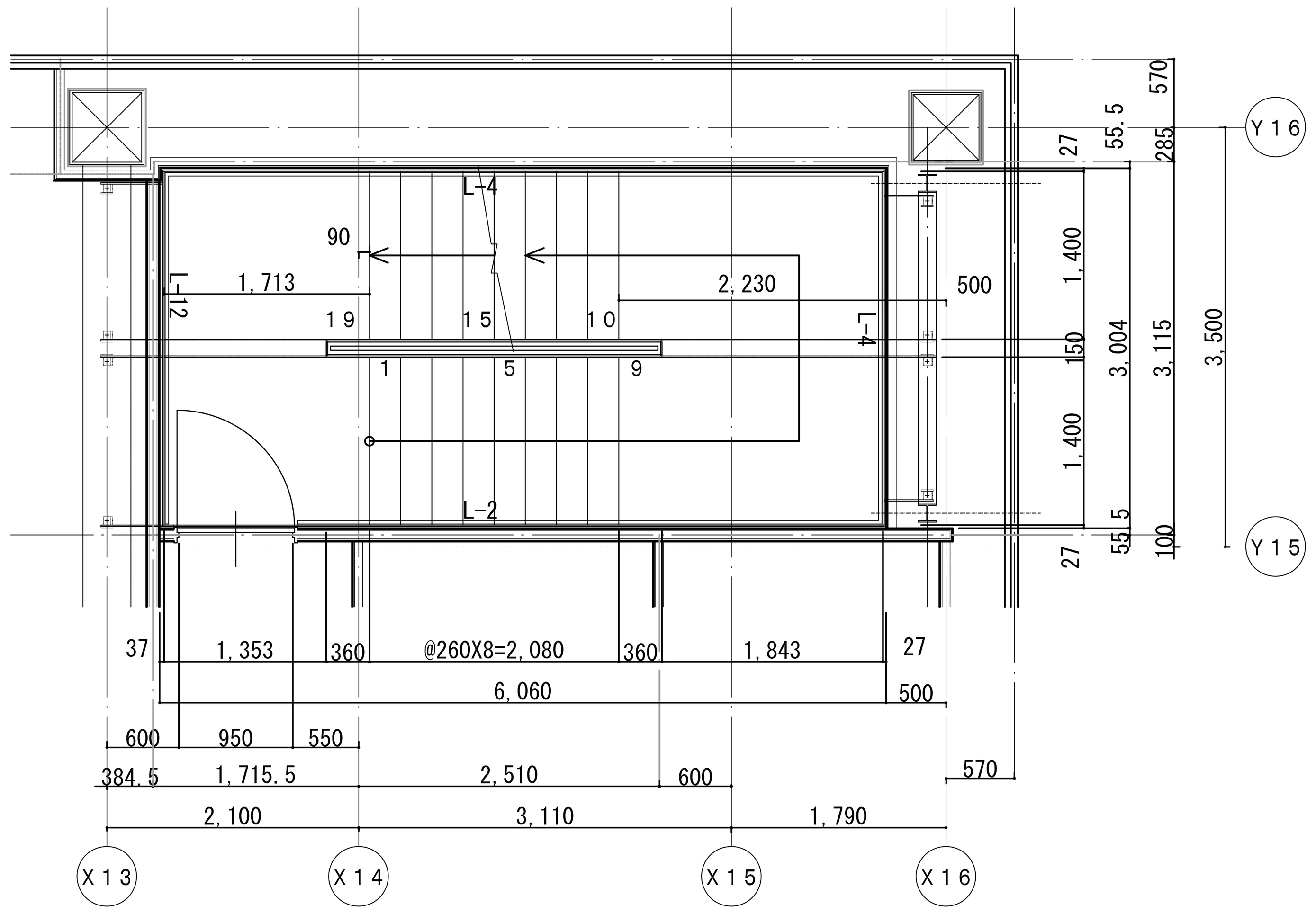
特記

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

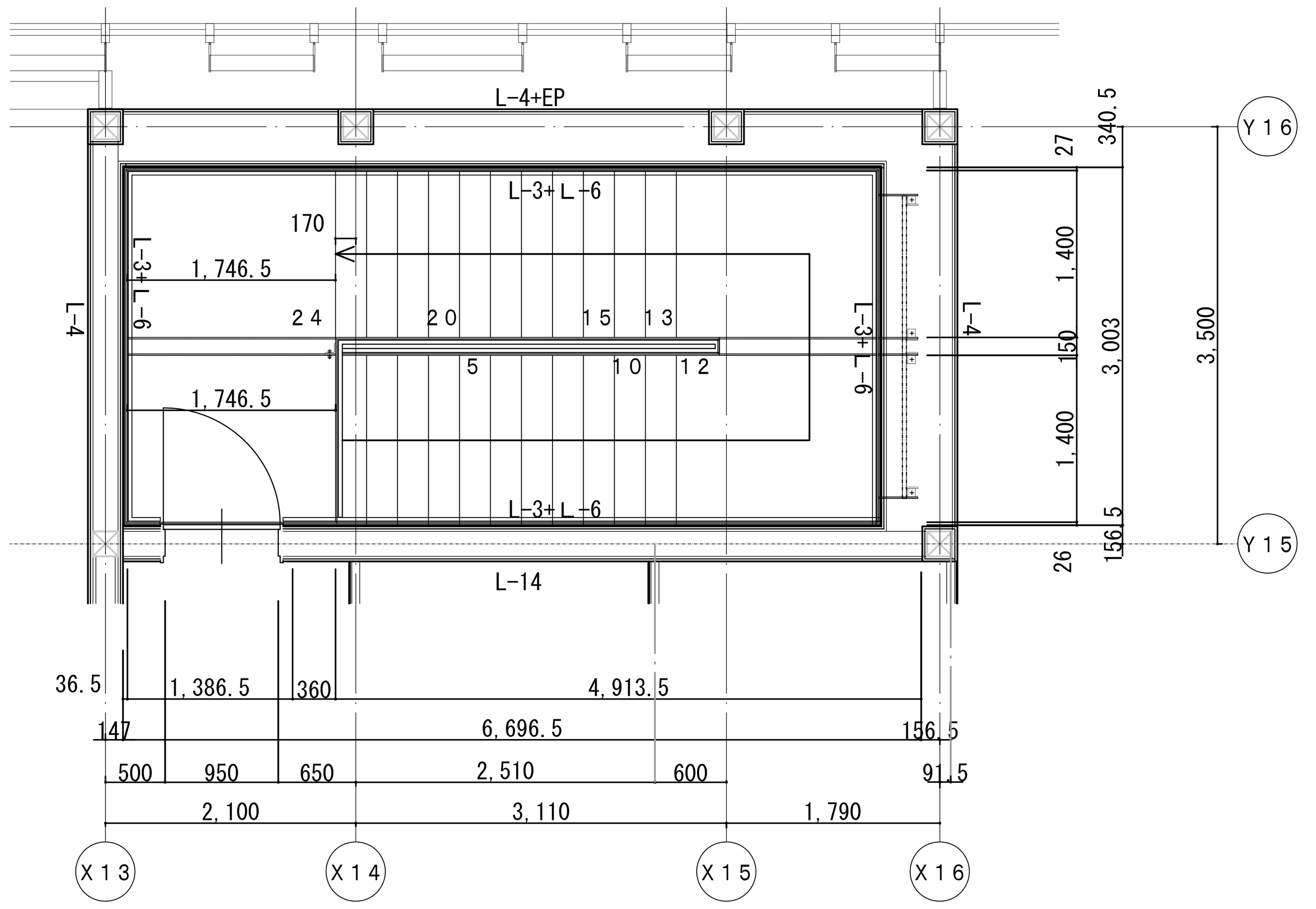
	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

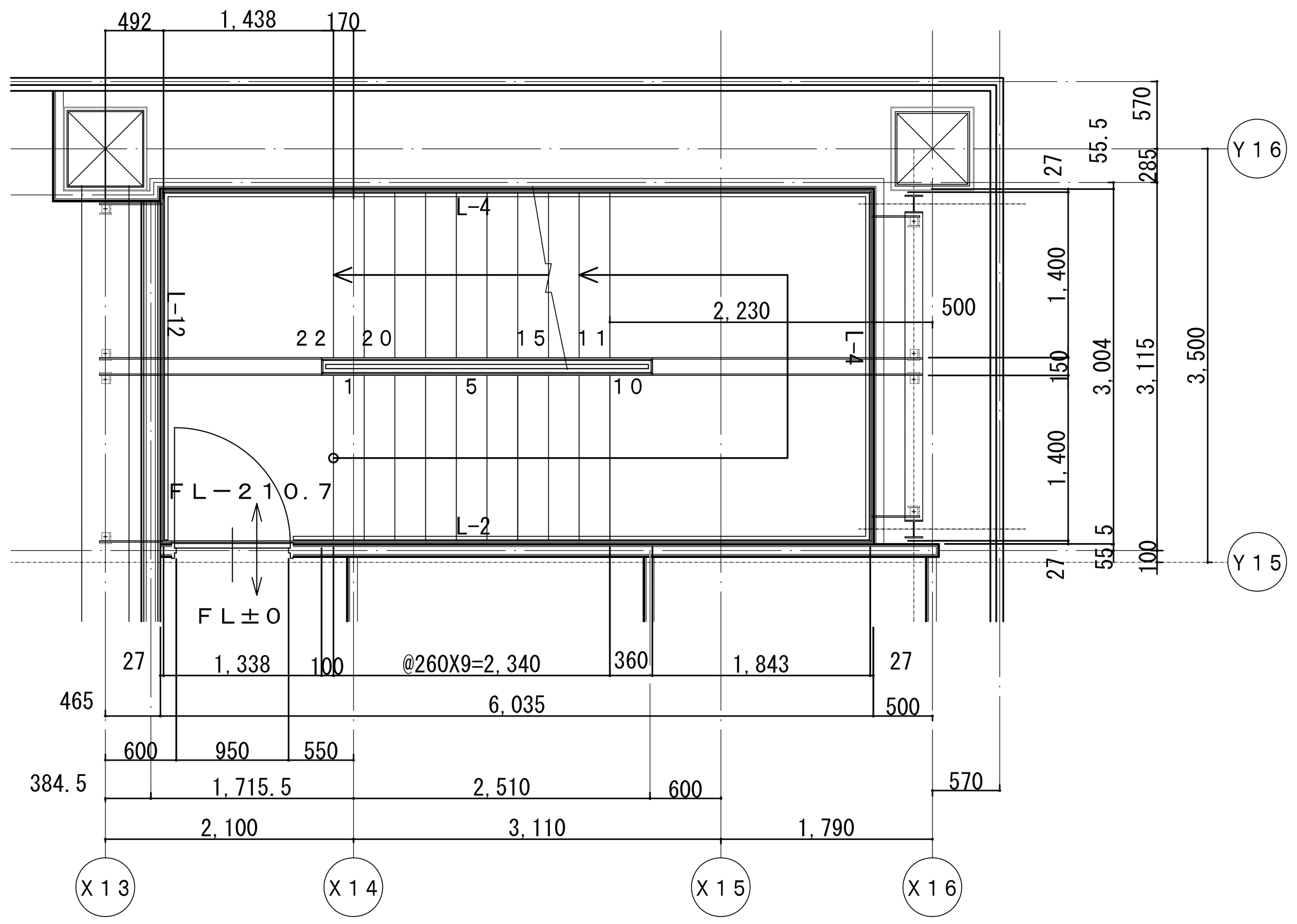
図面内容：階段（１）詳細図２
縮尺：1/50(A1) 1/100(A3)
図面番号：1214
区分：建築意匠図



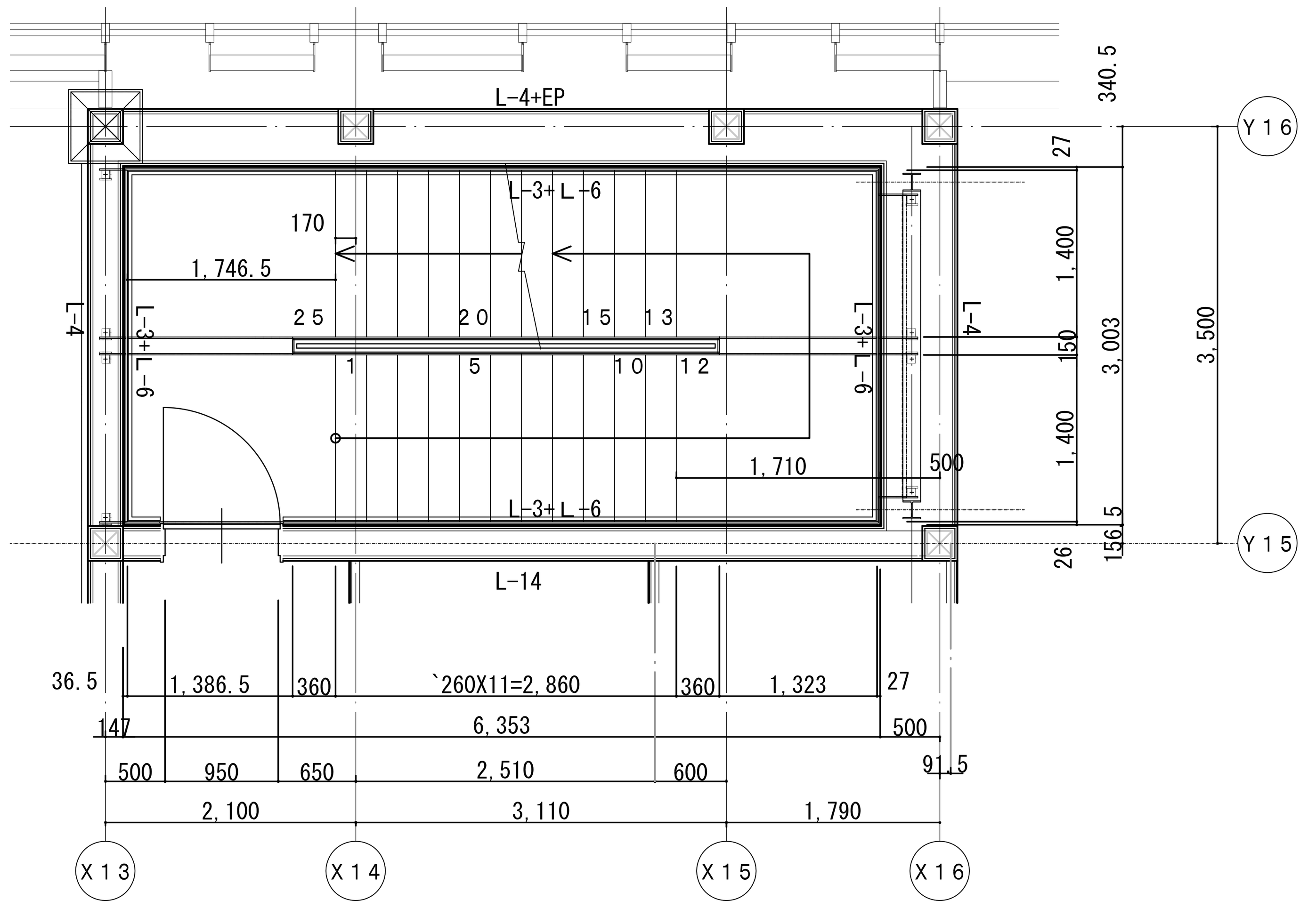
３階　平面図



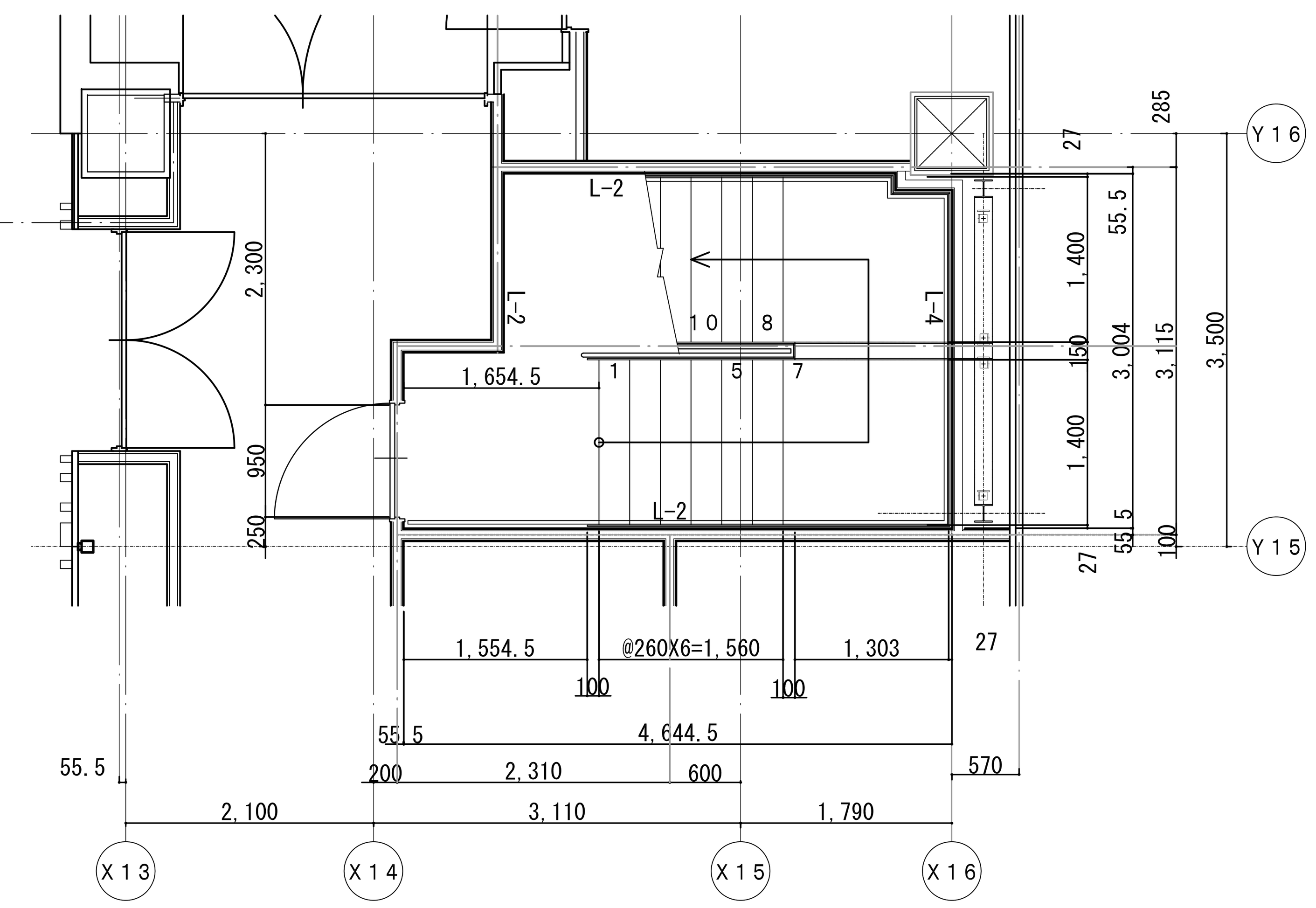
６階　平面図



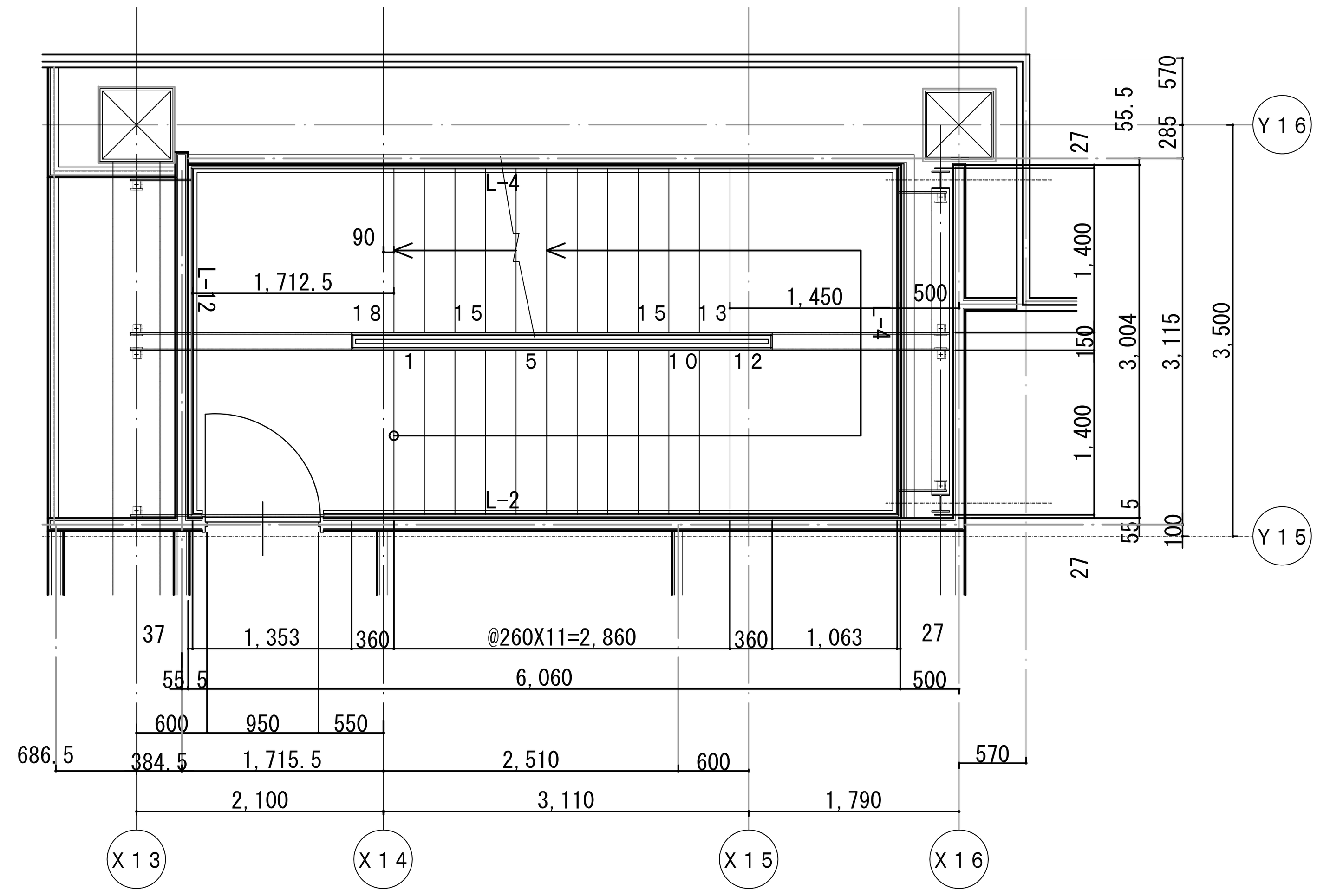
２階　平面図



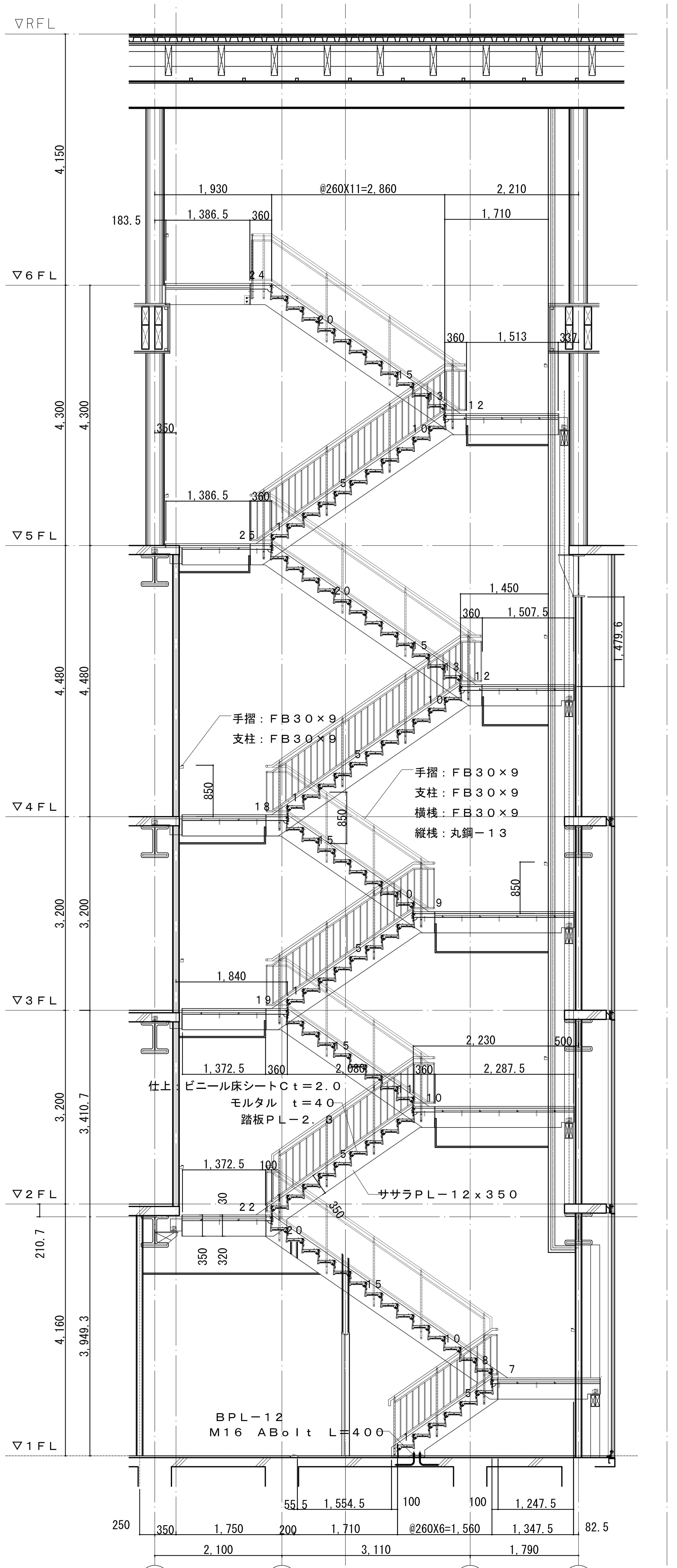
５階　平面図



１階　平面図



４階　平面図



階段２断面詳細図

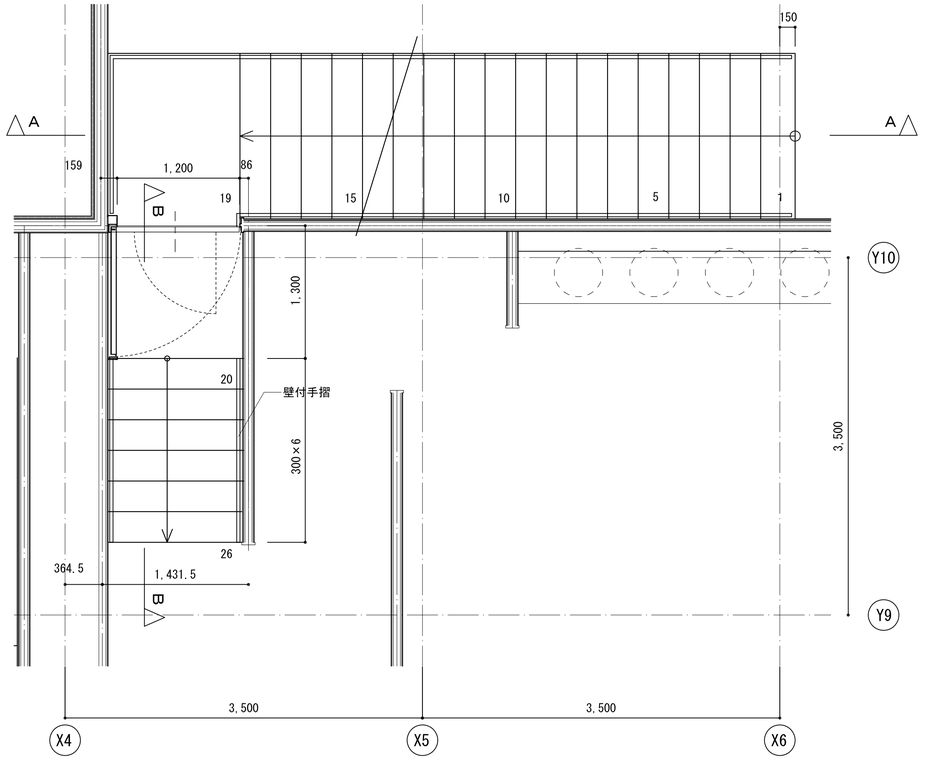
埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記
課長 / 副課長 / 主幹 / 主査 / 主査 / 主査	課長	・

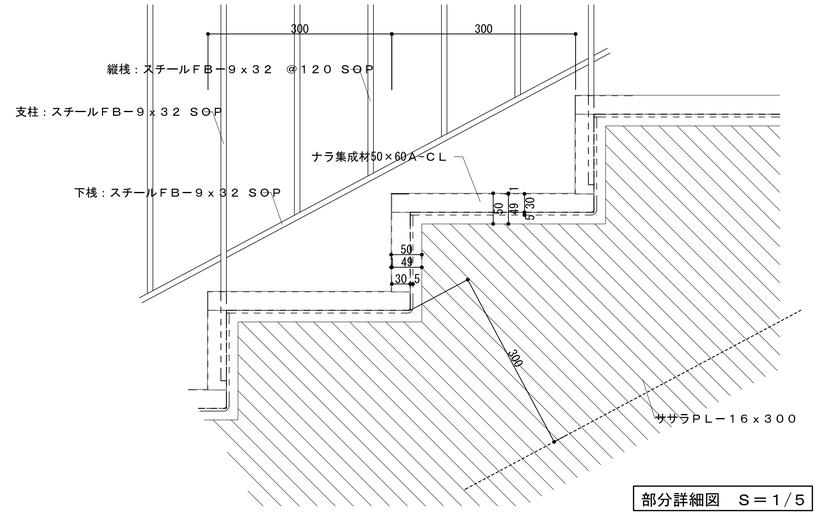
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

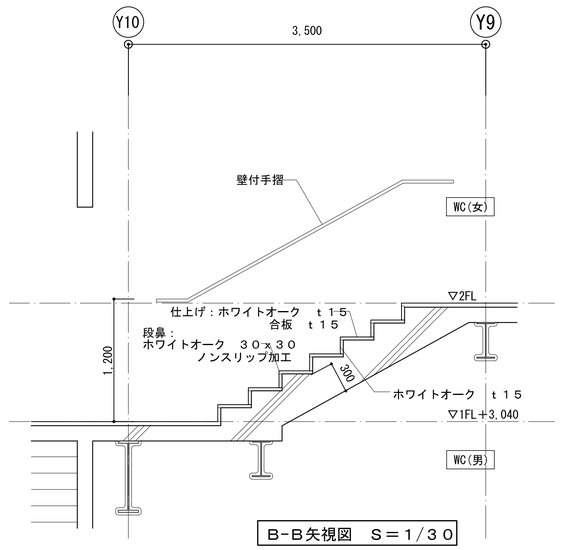
東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
階段（２）詳細図	1215
縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	区分 建築意匠図

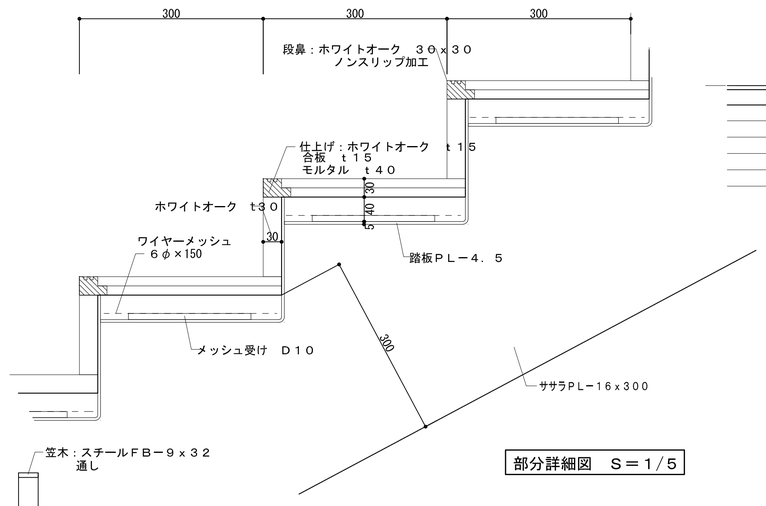




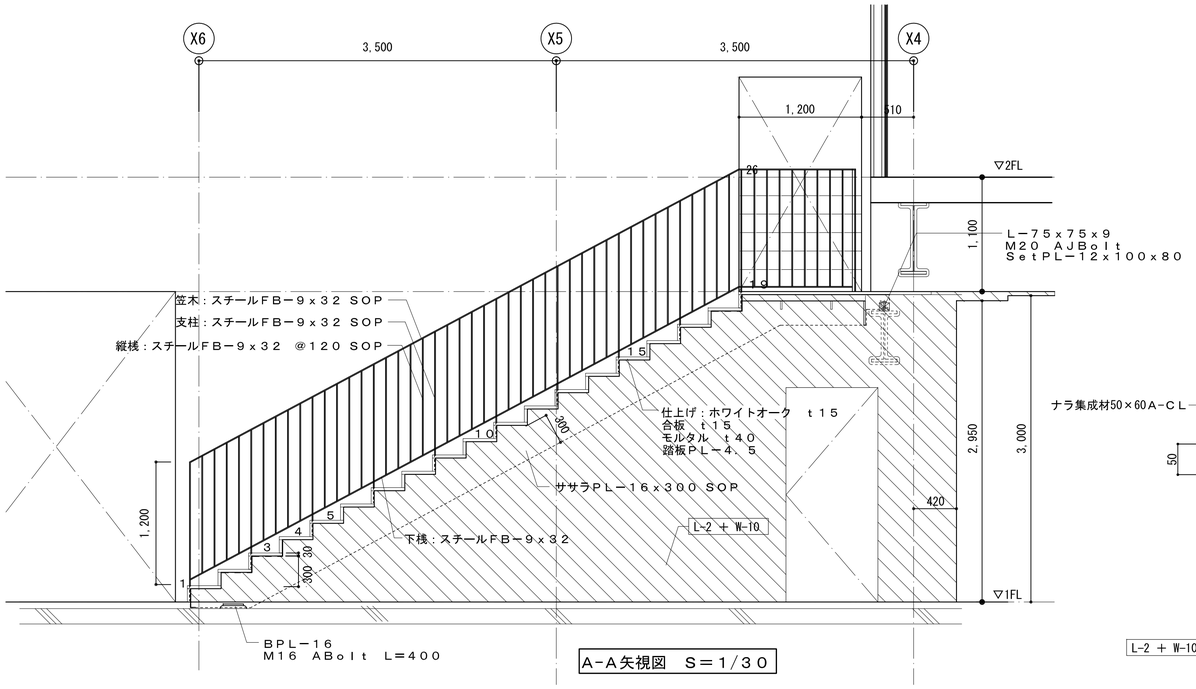
部分詳細図　Ｓ＝１／５



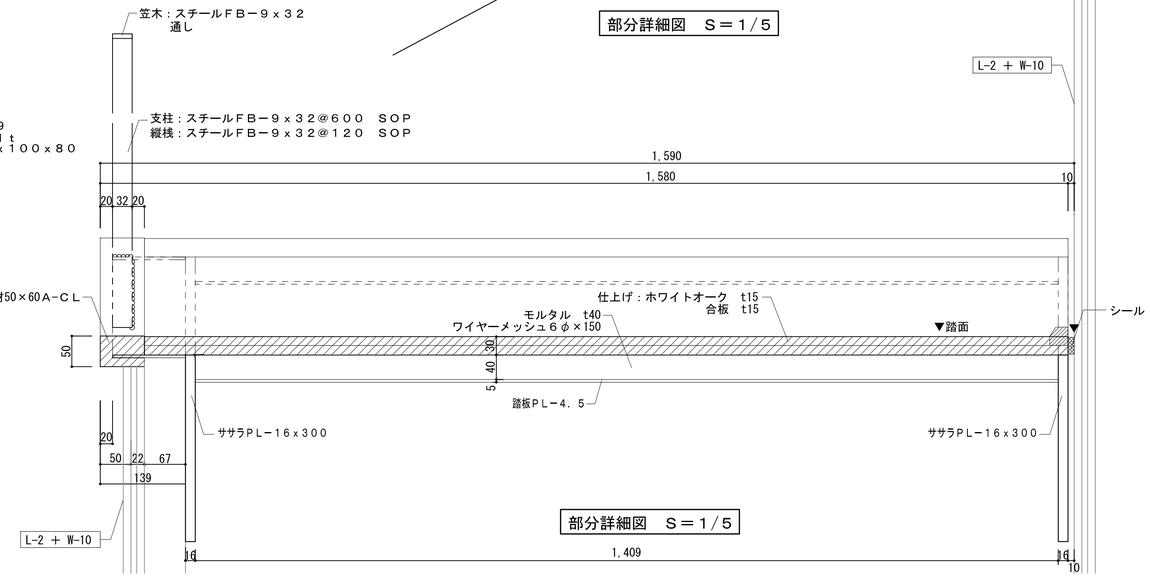
B-B矢視図　Ｓ＝１／３０



部分詳細図　Ｓ＝１／５



A-A矢視図　Ｓ＝１／３０



部分詳細図　Ｓ＝１／５

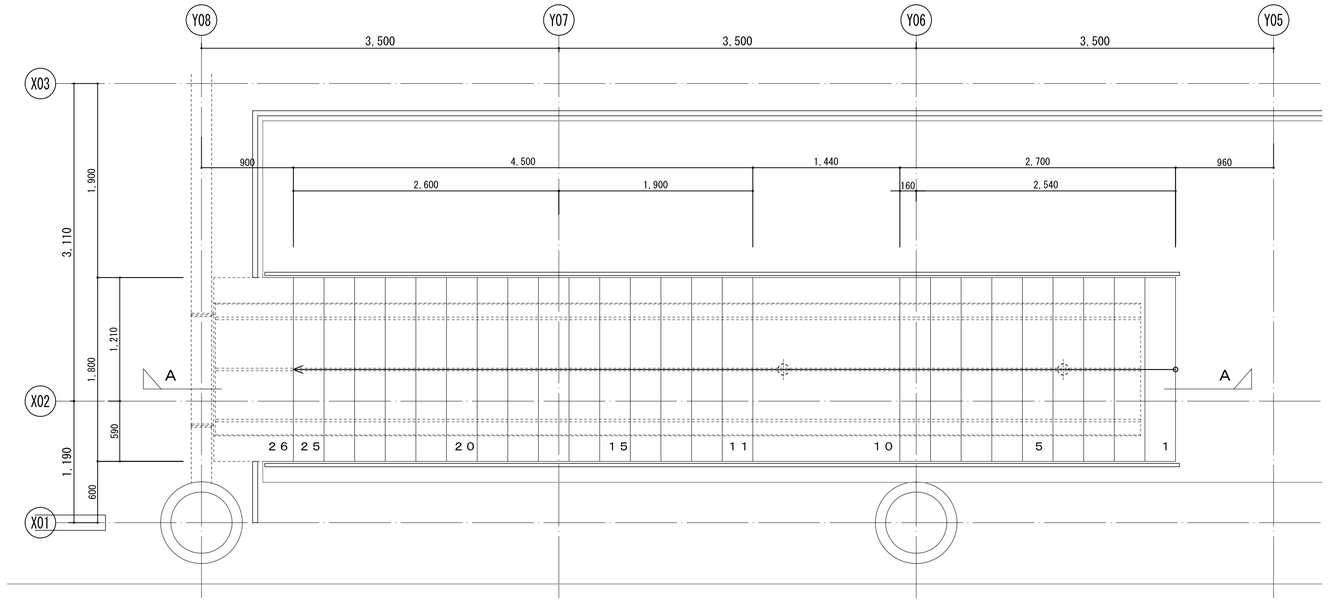
埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課							特記
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長							

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

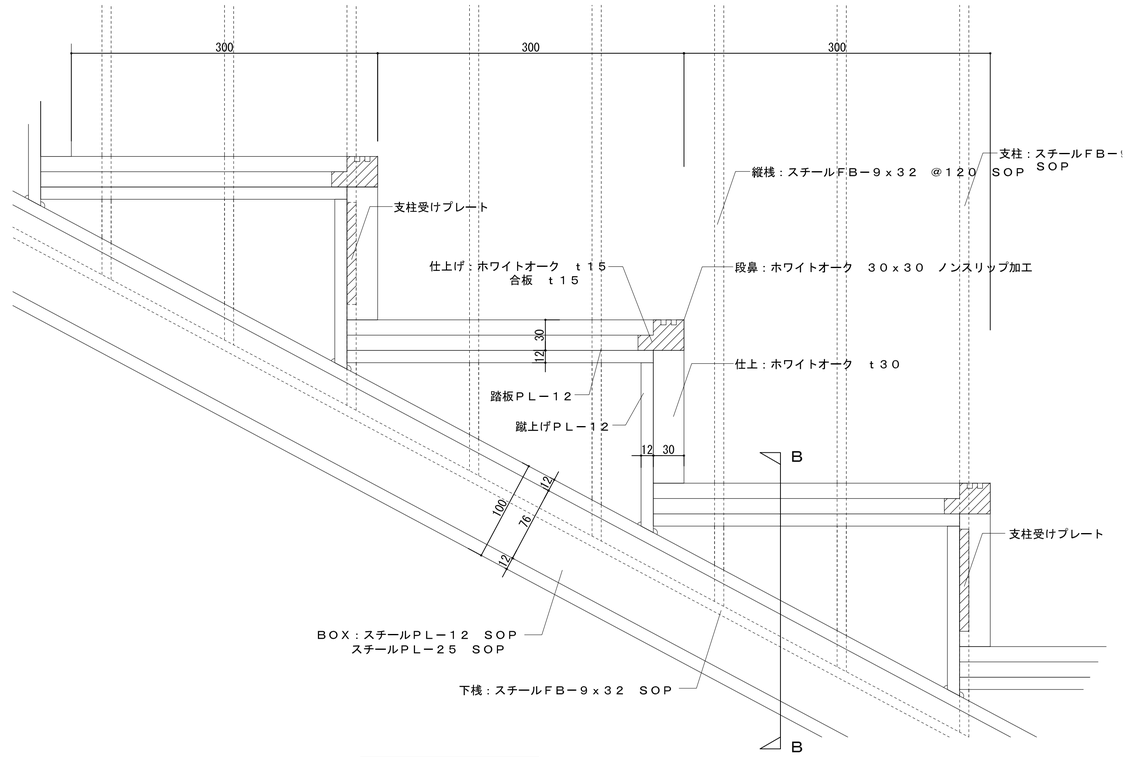
	資格/番号　記名　捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号　石井　靖人			
担当設計者	一級建築士 第219846号　原田　聡			

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

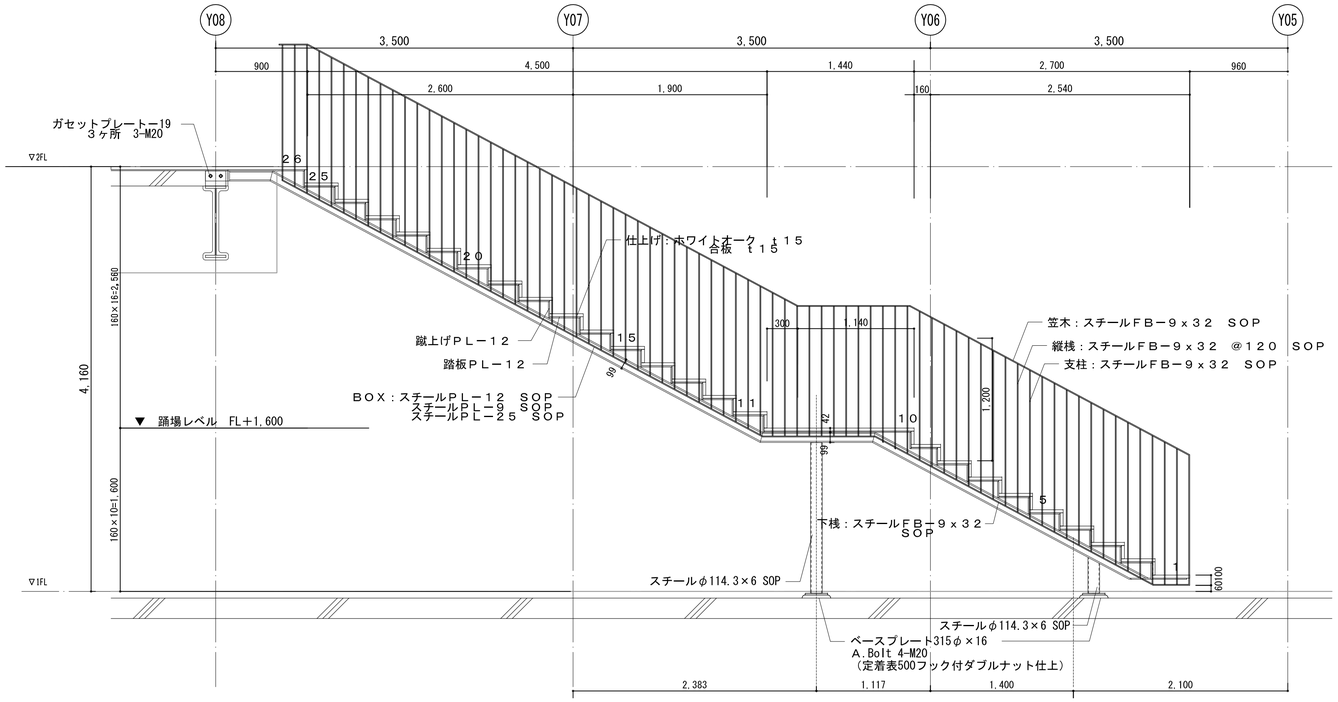
図面内容：階段（３）詳細図
縮尺：1/30(A1) 1/60(A3)
図面番号：1216
区分：建築意匠図



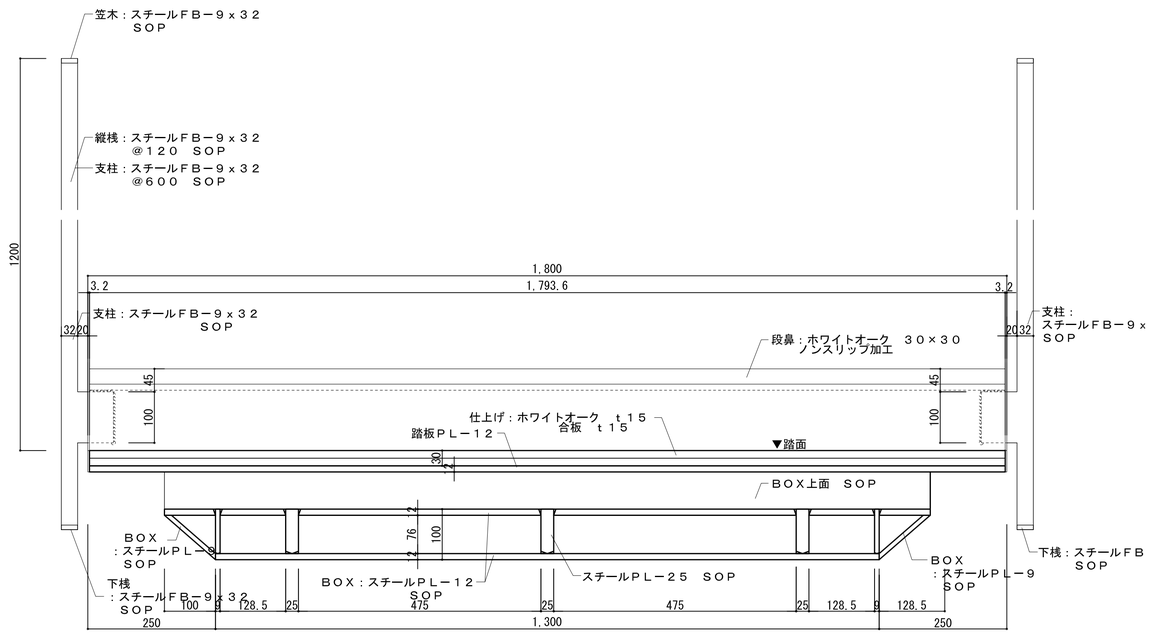
平面図



部分詳細図　Ｓ＝１/３



Ａ－Ａ　矢視図

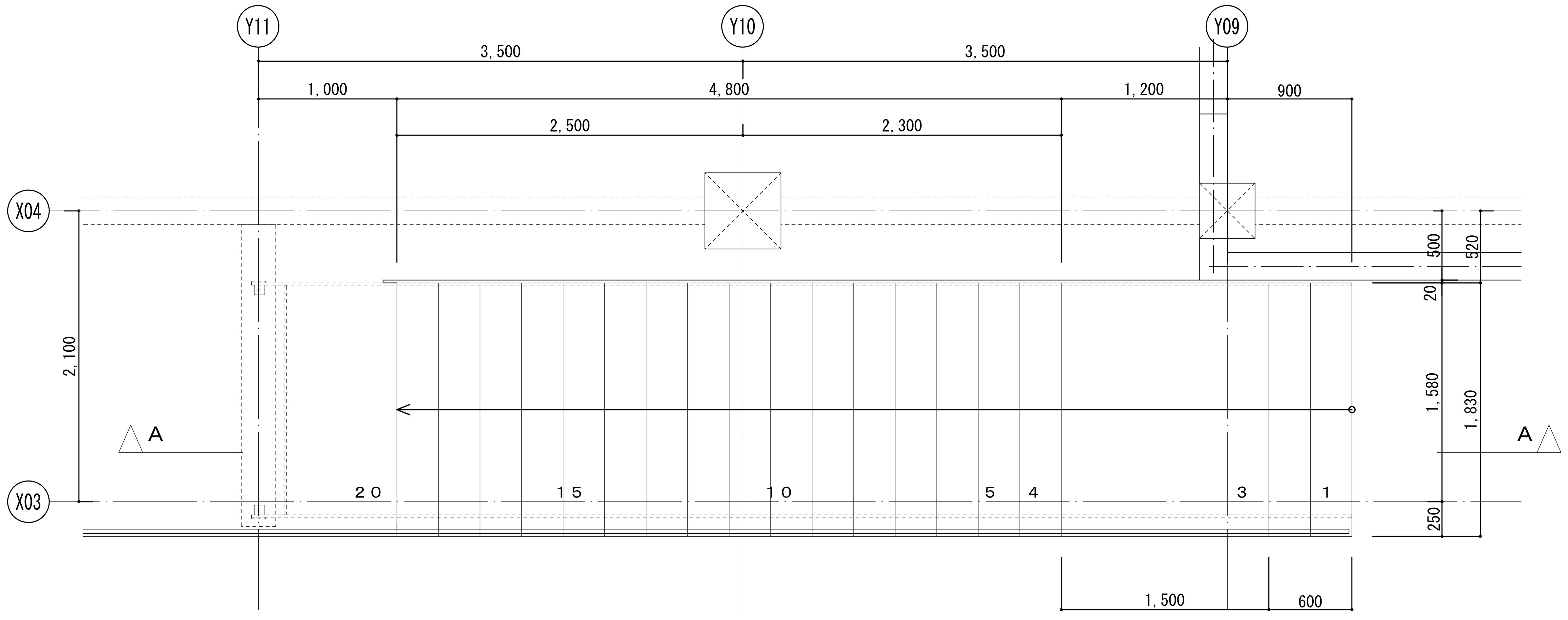


Ｂ-Ｂ断面図　Ｓ＝１/６

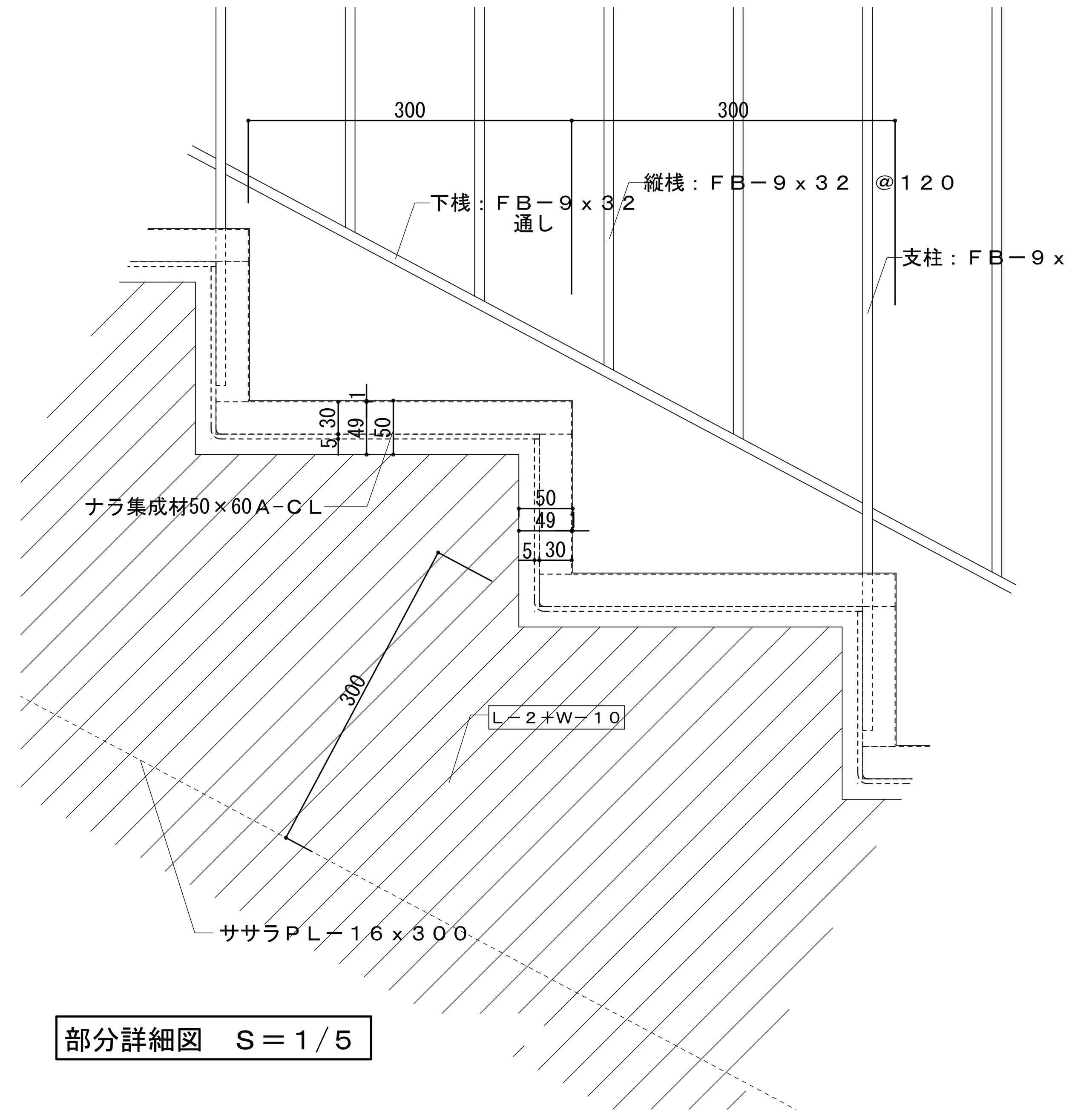
埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課							特記
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長							

株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
	代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人			
	担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡			

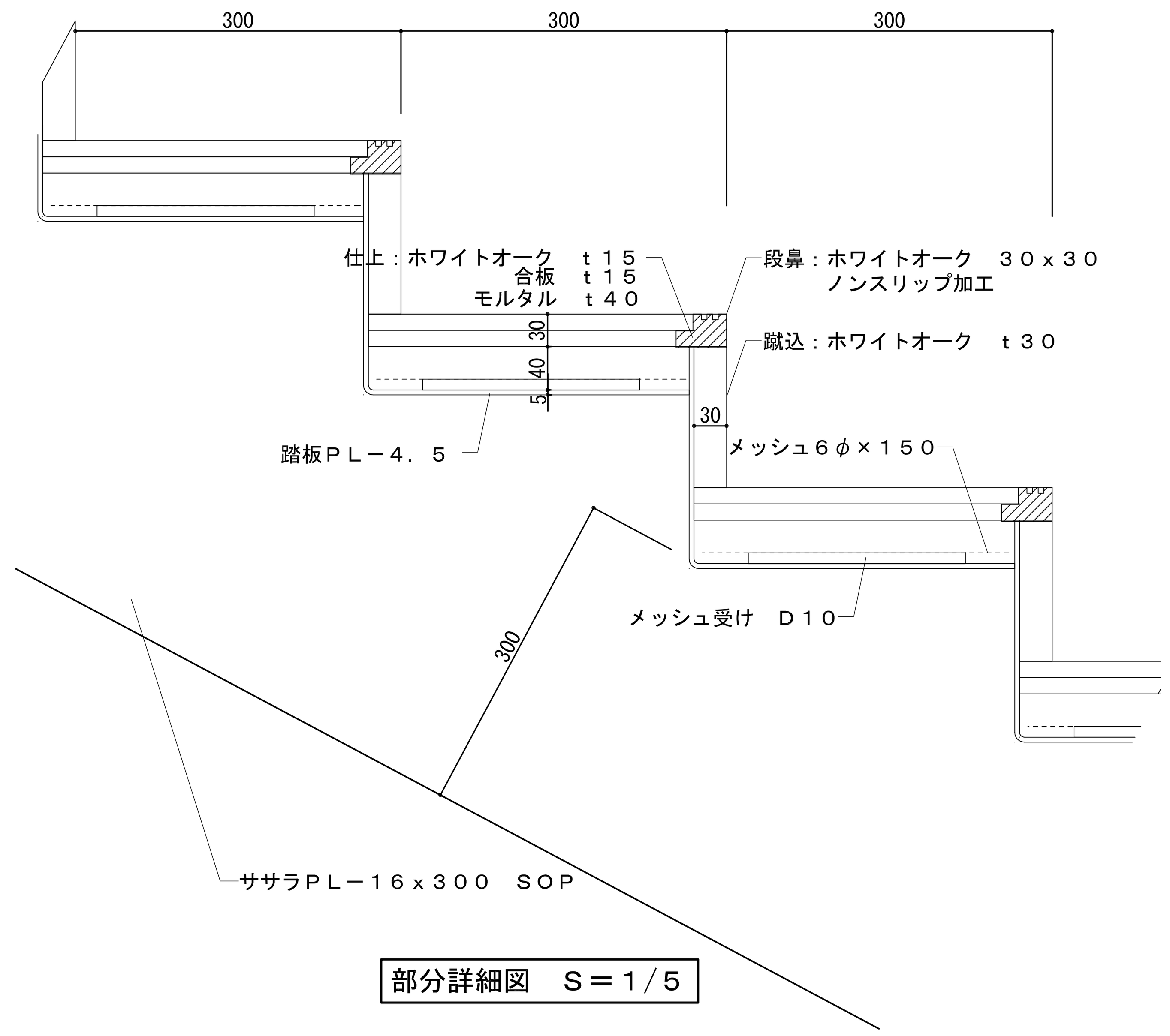
東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称) 建築工事	図面内容	図面番号
	階段（４）詳細図	1217
	縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	区分 建築意匠図



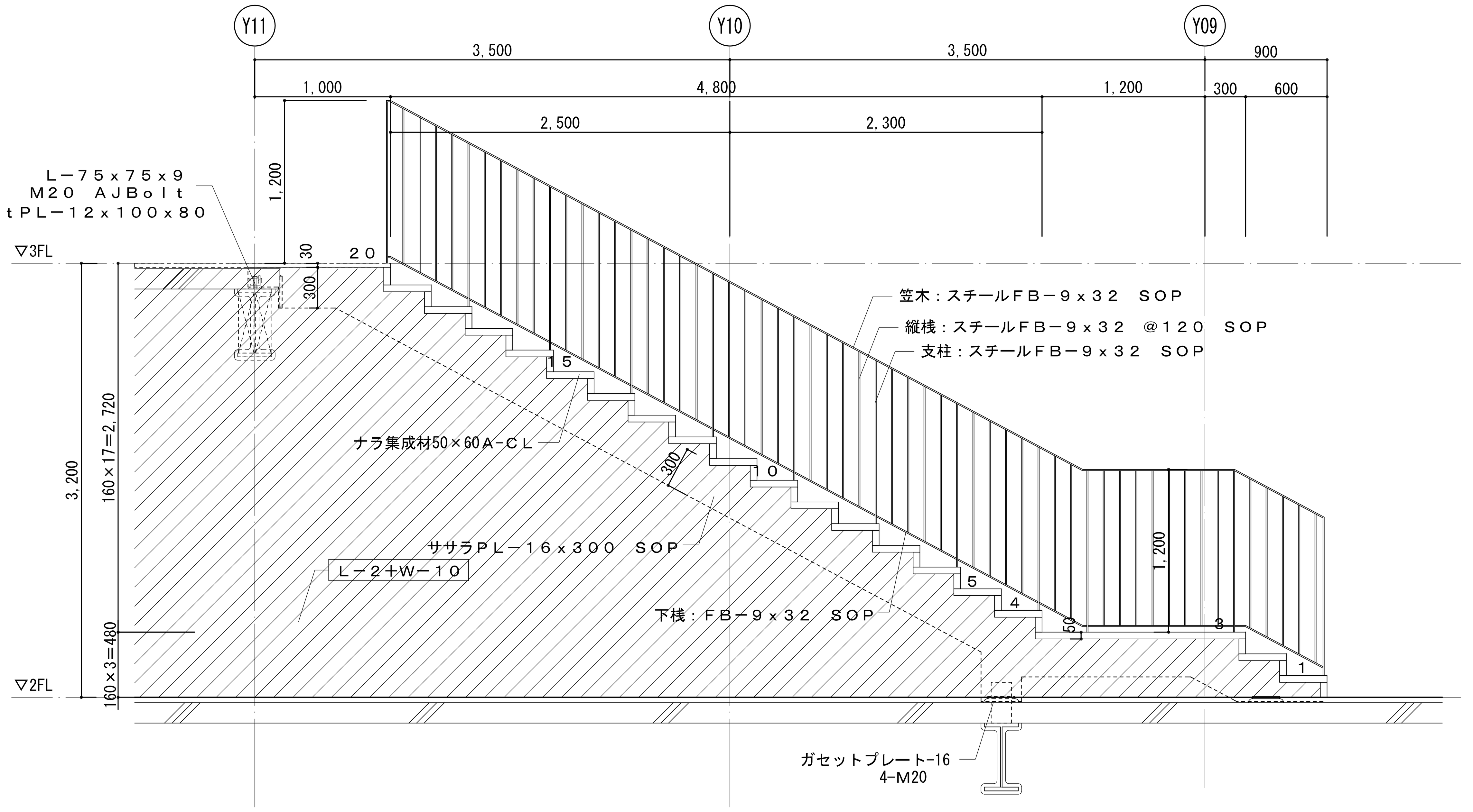
平面図



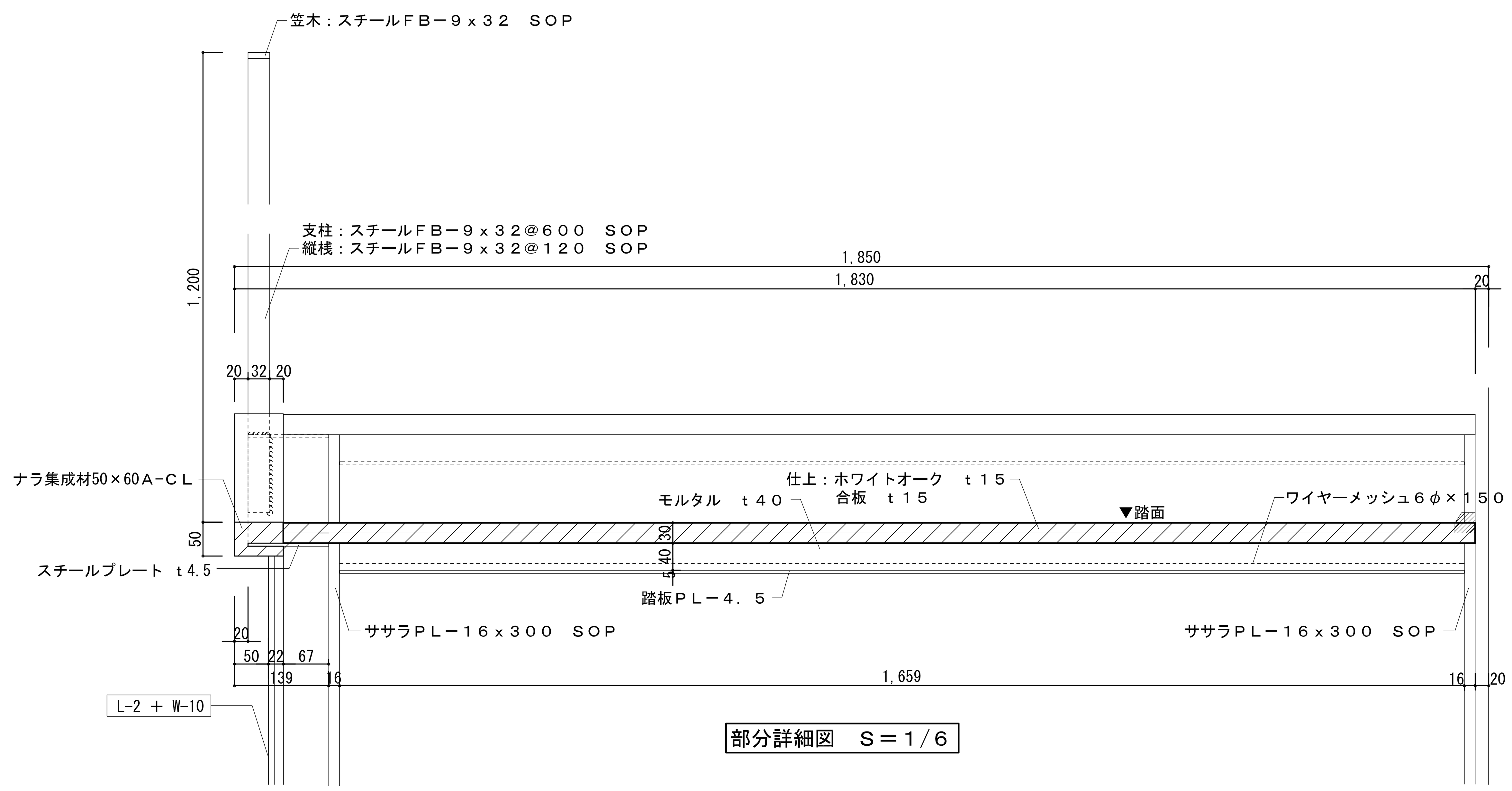
部分詳細図　Ｓ＝１/５



部分詳細図　Ｓ＝１/５

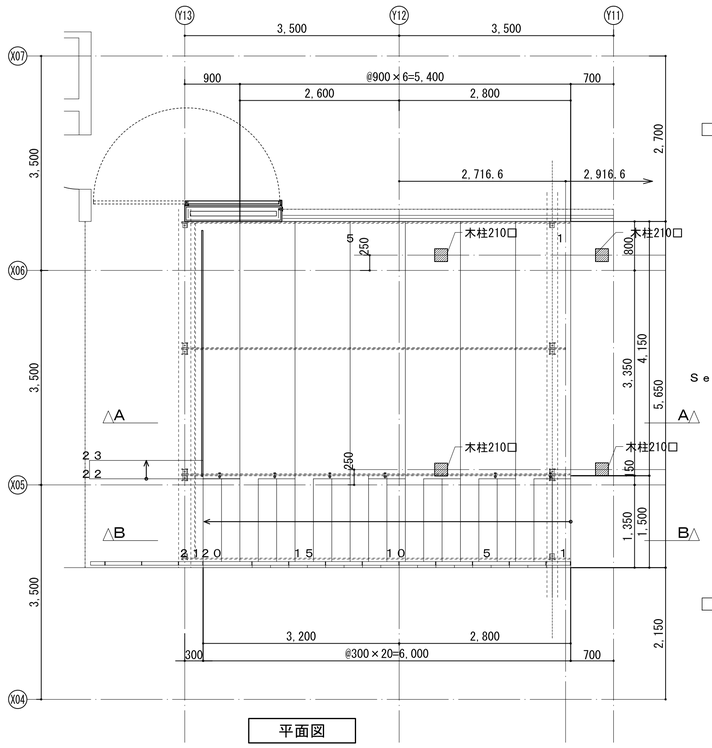


Ａ－Ａ　矢視図

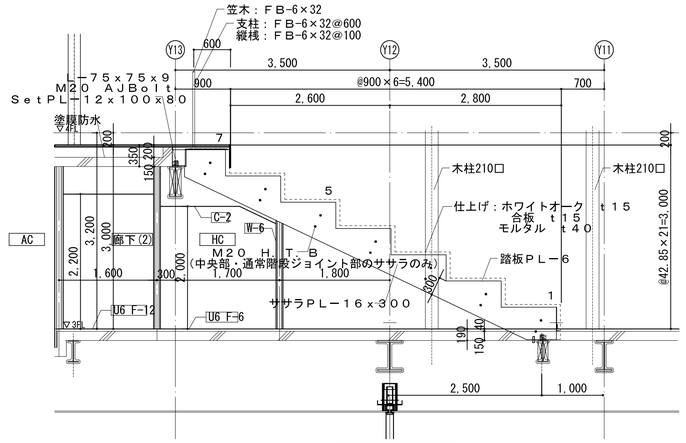


部分詳細図　Ｓ＝１/６

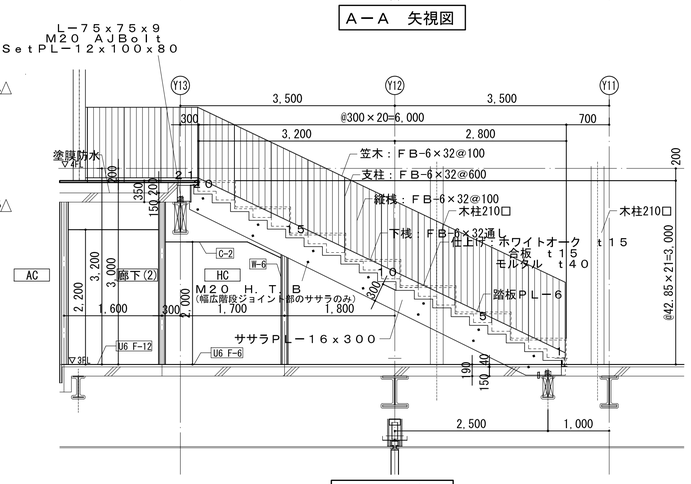
埼玉県産業労働部産業拠点整備課	春日部市都市整備部鉄道高架整備課	特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	代表設計者 一級建築士 第239114号 石井 靖人 / 担当設計者 一級建築士 第219846号 原田 聡	製図	検図	納品検査	東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称) 建築工事	図面内容 階段（５）詳細図	図面番号 1218
課長 / 副課長 / 主幹 / 主査 / 主査 / 主査	課長								縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	区分 建築意匠図



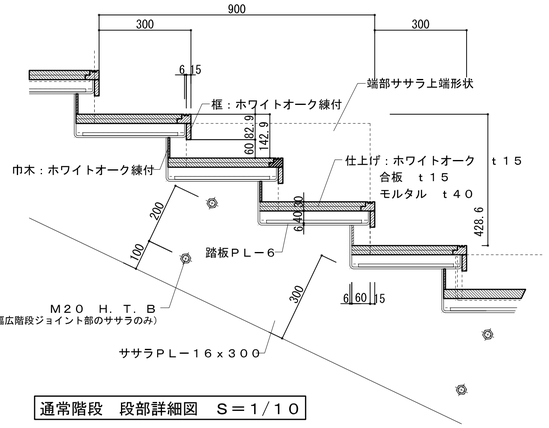
平面図



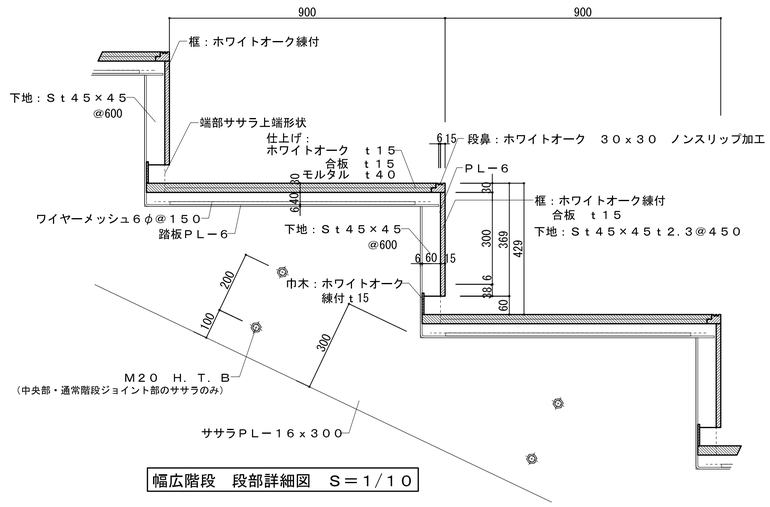
Ａ−Ａ　矢視図



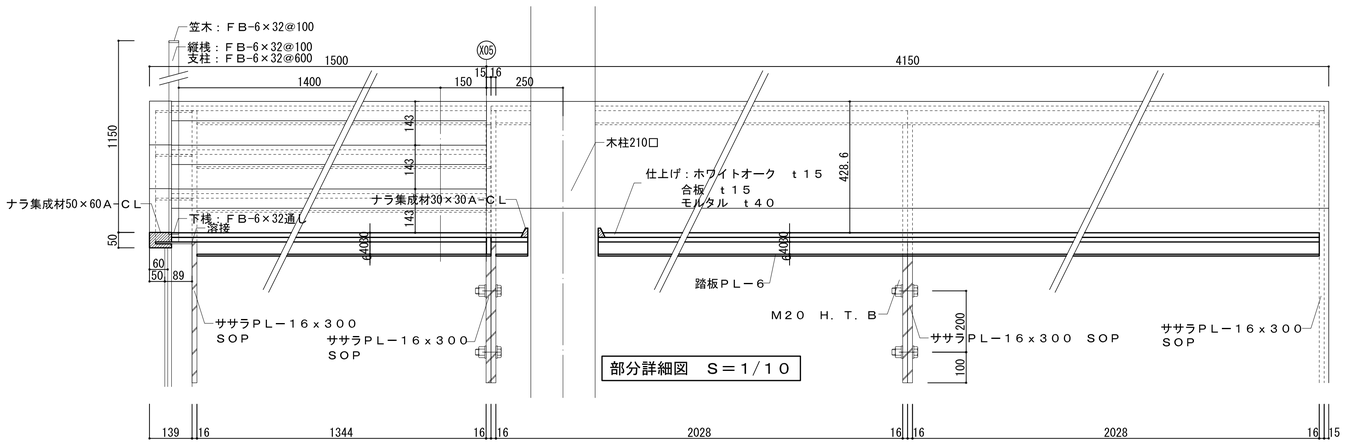
Ｂ−Ｂ　矢視図



通常階段　段部詳細図　Ｓ＝１／１０



幅広階段　段部詳細図　Ｓ＝１／１０



部分詳細図　Ｓ＝１／１０

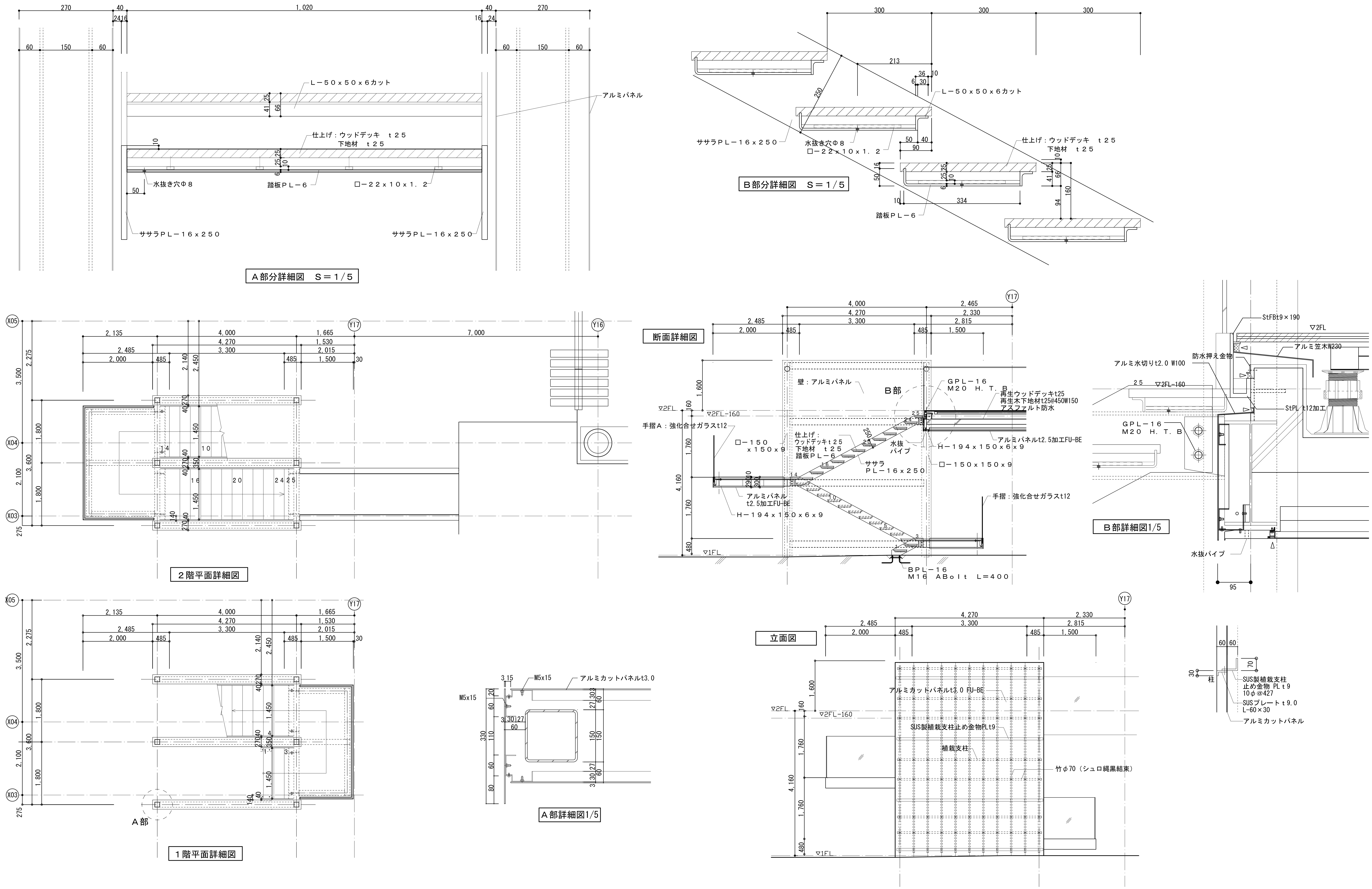
埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課							特記
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長							

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

	資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号	原田 聡				

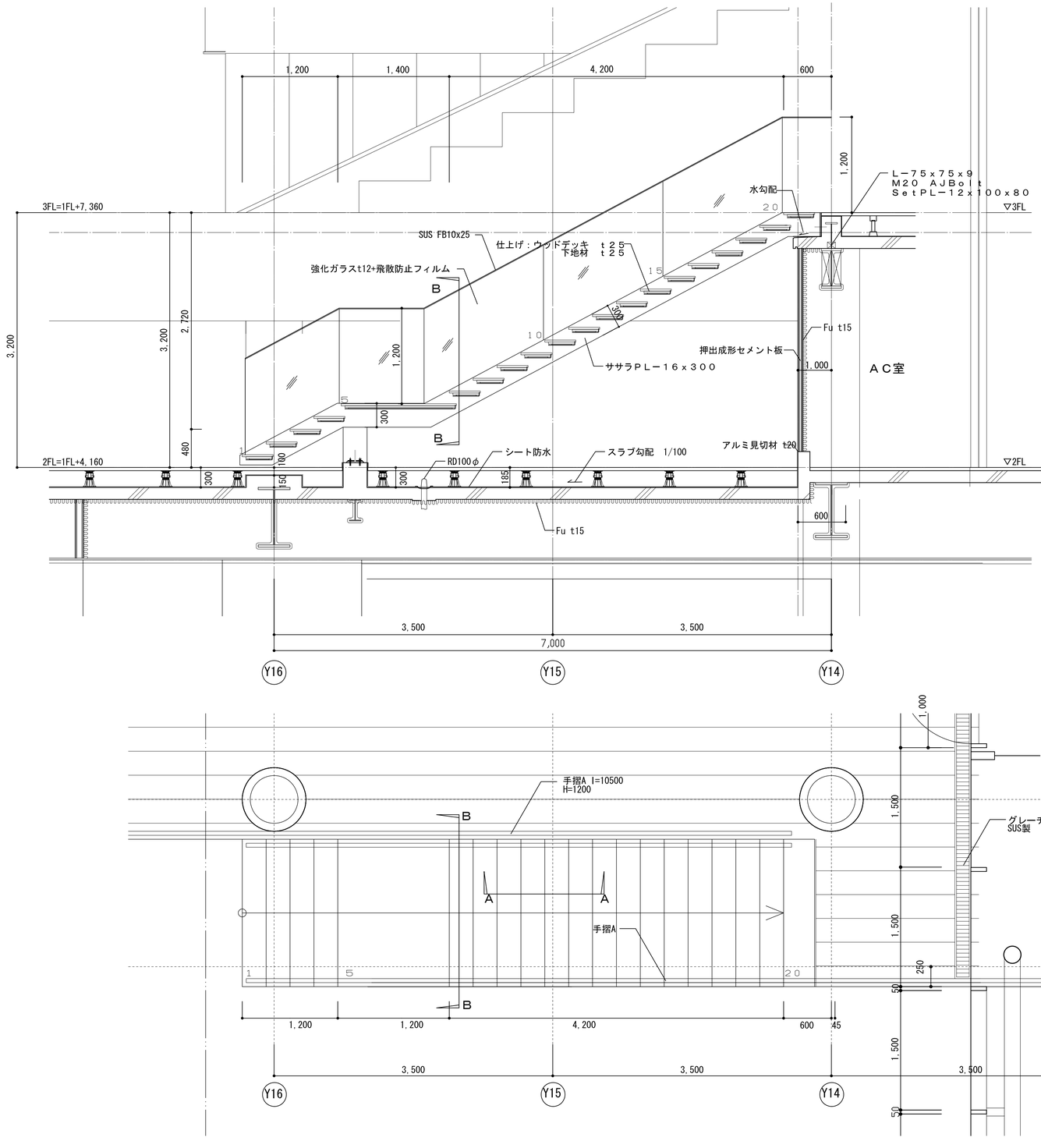
東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

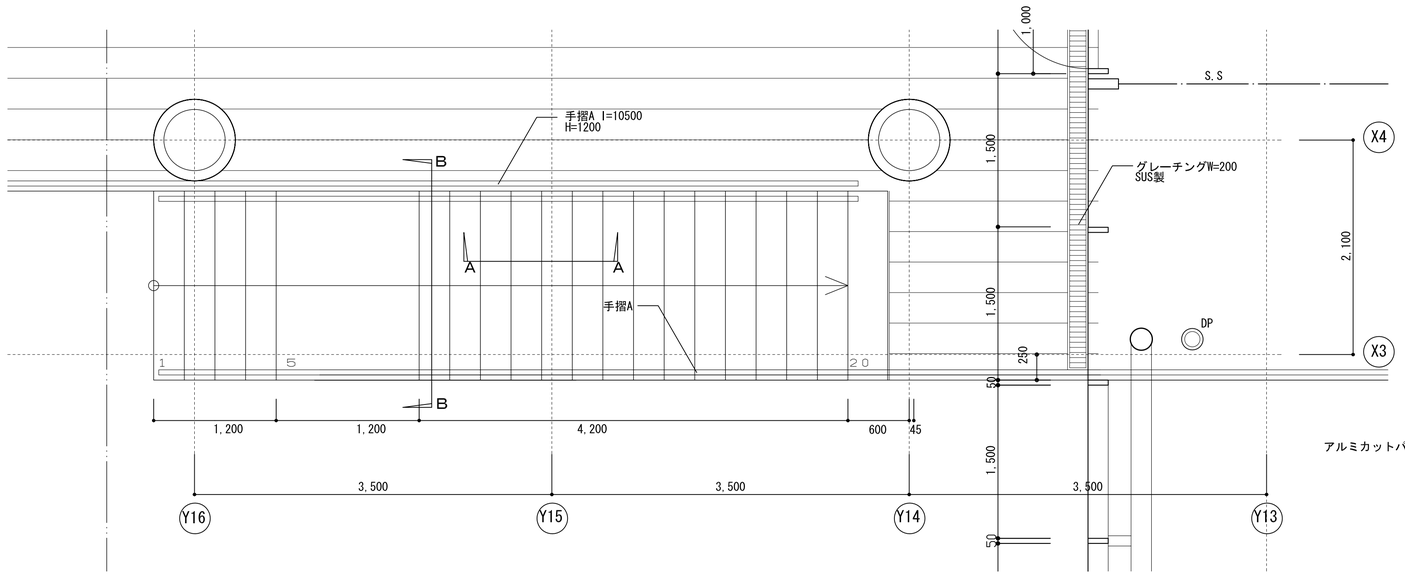
図面内容：階段（７）詳細図
縮尺：1/50(A1) 1/100(A3)
図面番号：1219
区分：建築意匠図

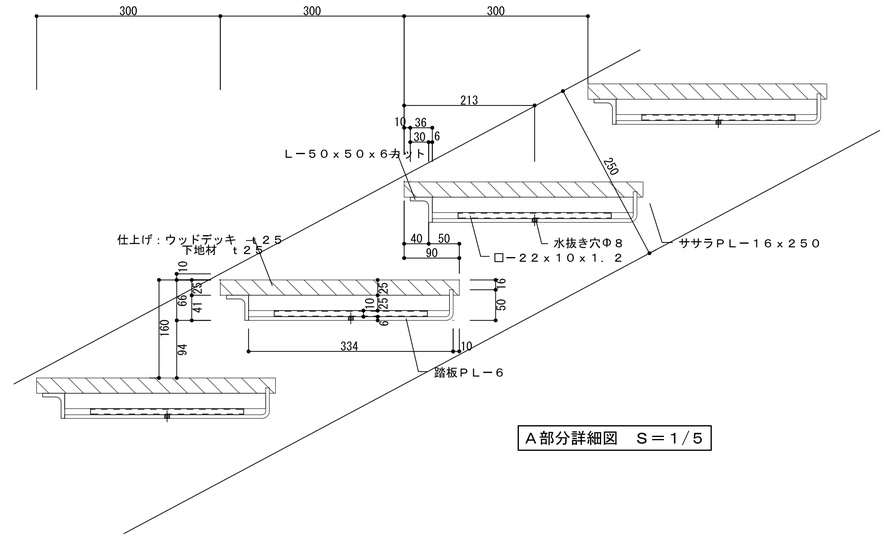


埼玉県産業労働部産業拠点整備課 課長／副課長／主幹／主査／主査／主査	春日部市都市整備部鉄道高架整備課 課長	特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	代表設計者　一級建築士 第239114号　石井 靖人 担当設計者　一級建築士 第219846号　原田 聡

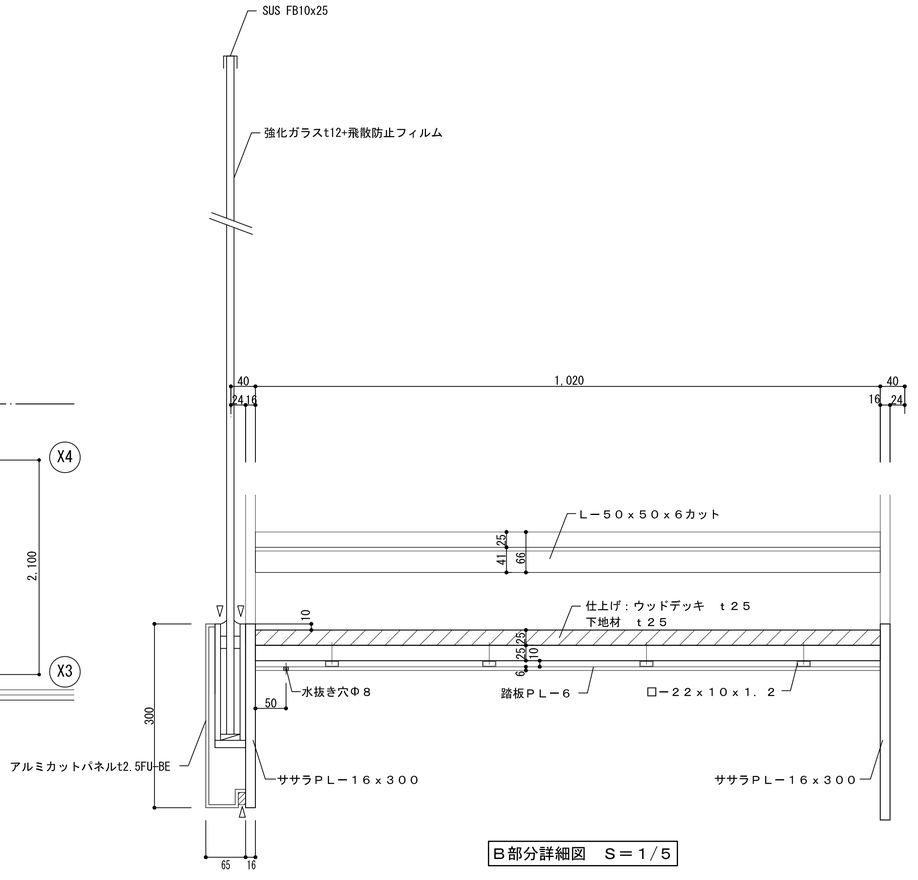
東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称） 建築工事	図面内容：屋外階段（1）詳細図	図面番号：1220	
	縮尺：1/50(A1)　1/100(A3)	区分：建築意匠図	







Ａ部分詳細図　Ｓ＝１／５



Ｂ部分詳細図　Ｓ＝１／５

※鉄部はローバル塗装仕上とする。

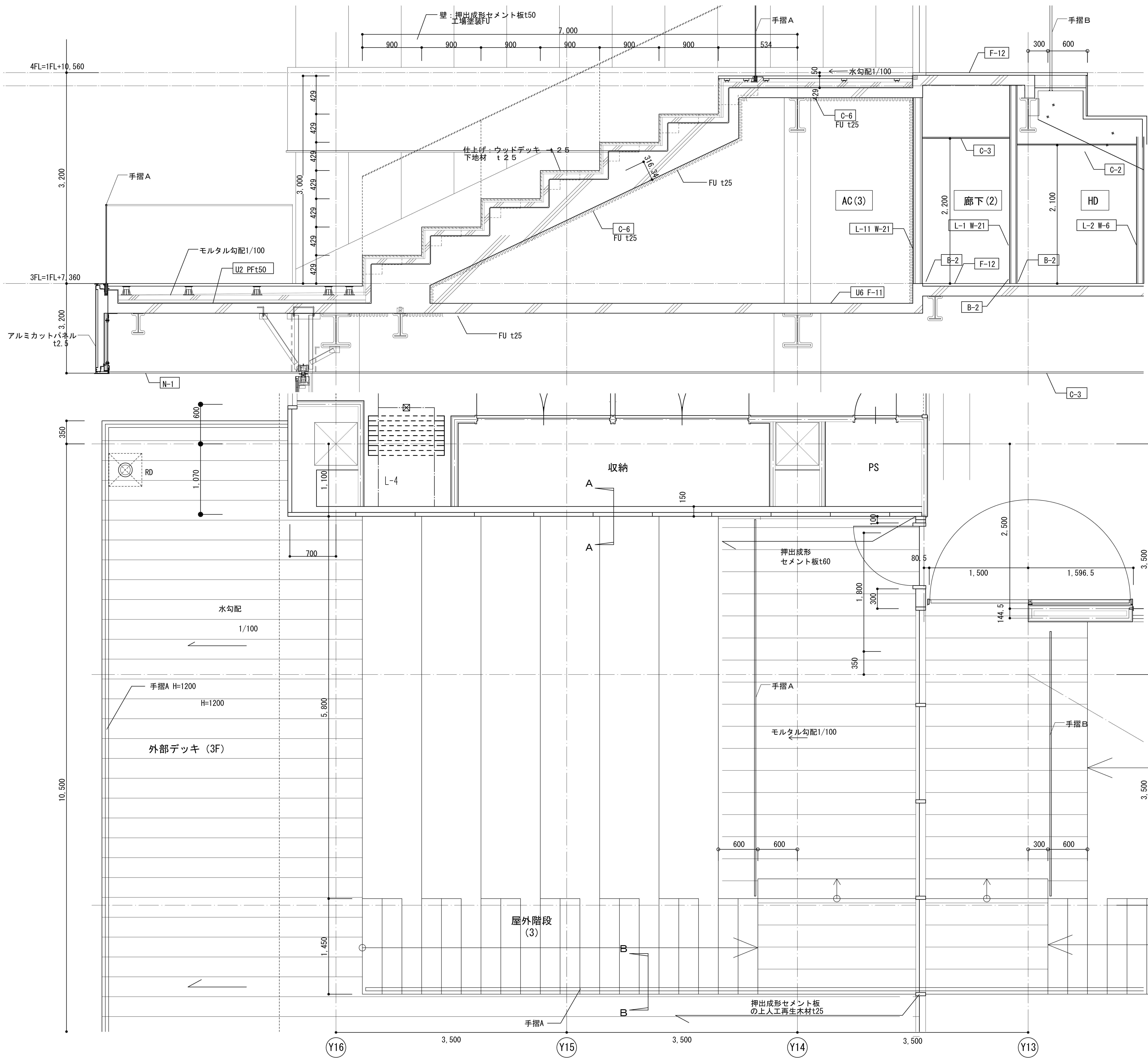
埼玉県産業労働部産業拠点整備課							春日部市都市整備部鉄道高架整備課						特記	
課長	副課長	主幹	主査	主査	主査	主査	課長							

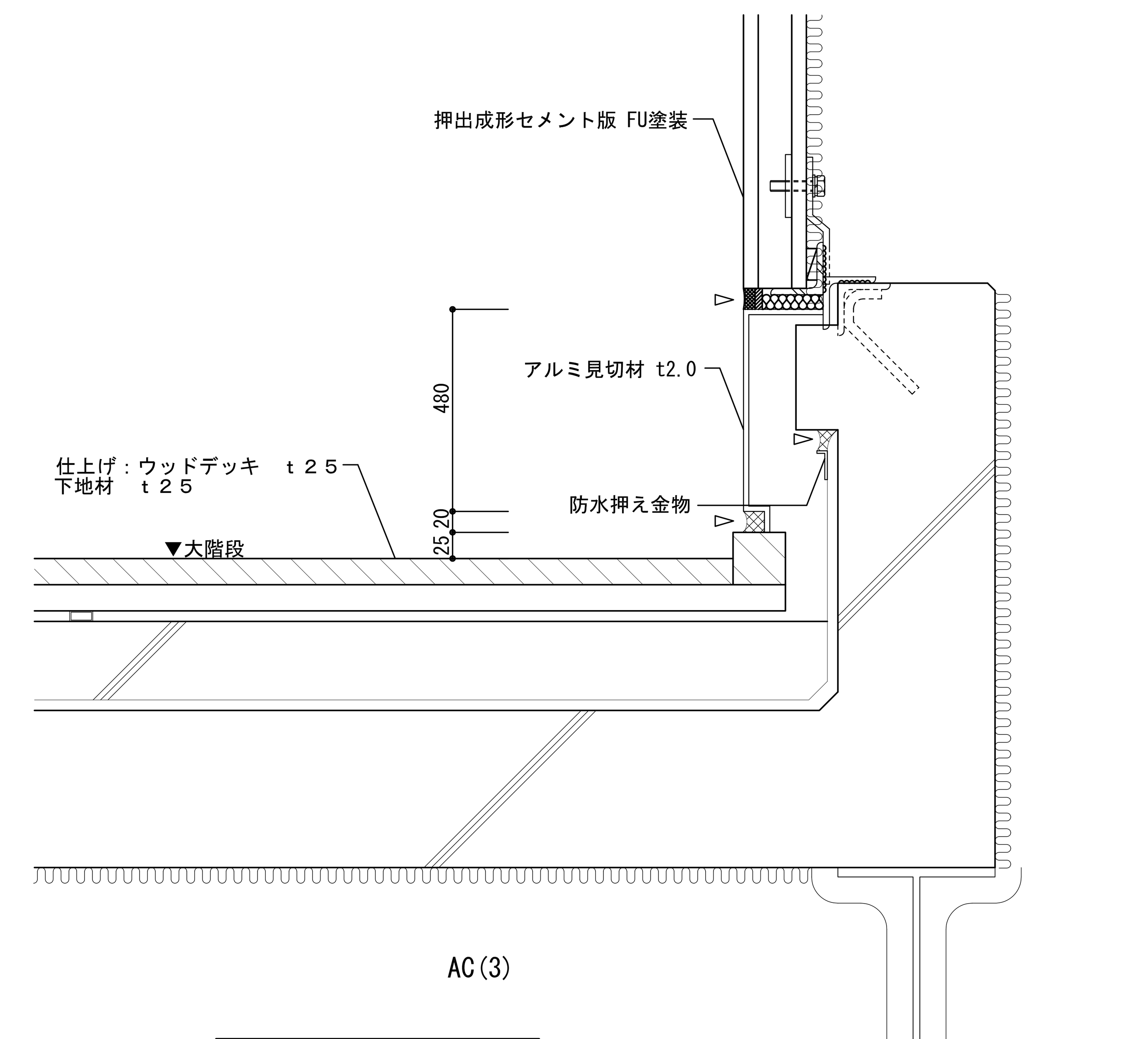
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者	一級建築士 第239114号 石井 靖人				
担当設計者	一級建築士 第219846号 原田 聡				

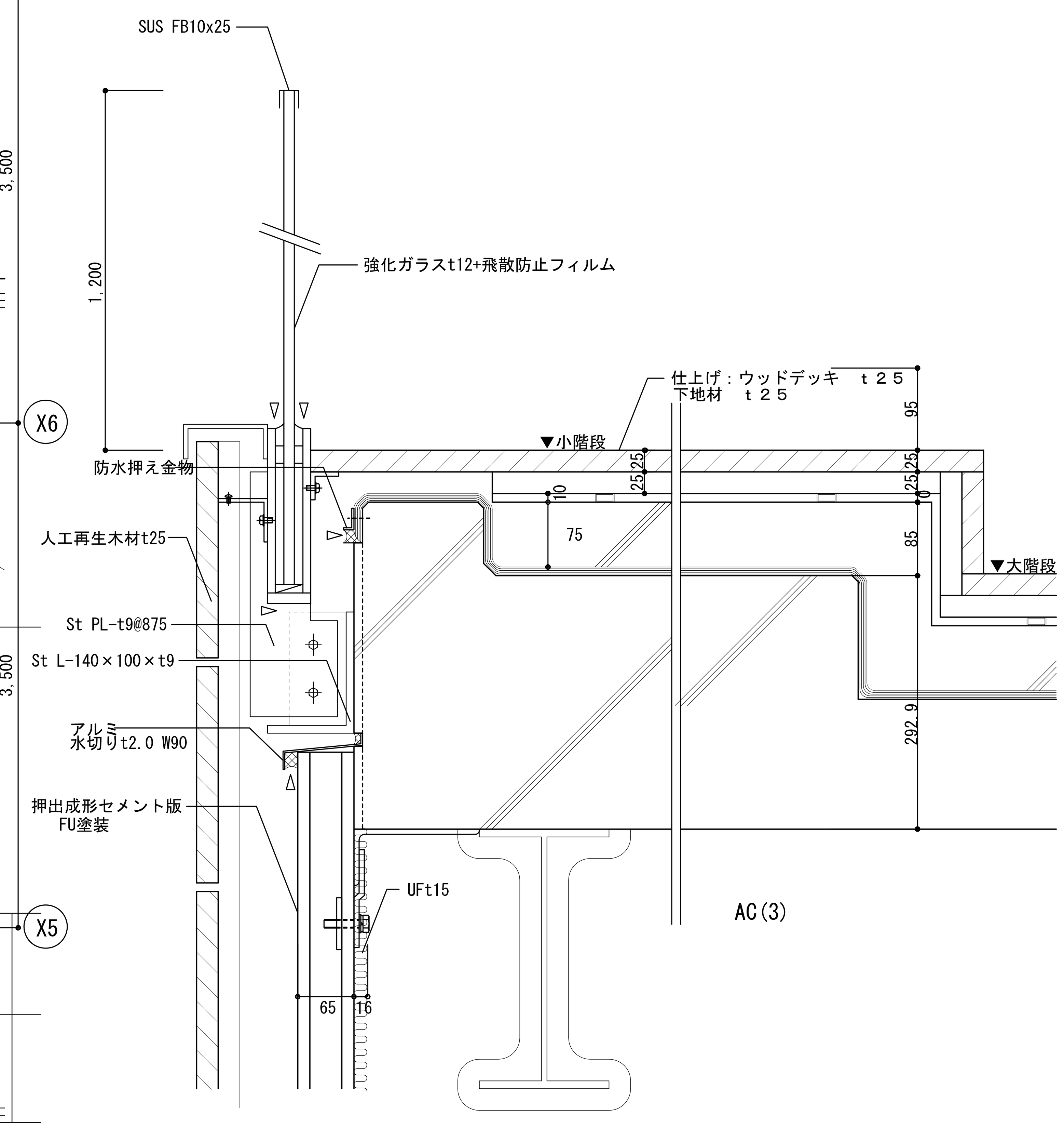
東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	屋外階段（２）詳細図	図面番号 1221
縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)	区分 建築意匠図





A部分詳細図 S＝1/5



B部分詳細図 S＝1/5

埼玉県産業労働部産業拠点整備課 課長 副課長 主幹 主査 主査 主査	春日部市都市整備部鉄道高架整備課 課長	特記	株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

資格/番号	記名	捺印	製図	検図	納品検査
代表設計者 一級建築士 第239114号	石井 靖人				
担当設計者 一級建築士 第219846号	原田 聡				

東部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)
建築工事

図面内容	図面番号
屋外階段（3）詳細図	1222
縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	区分 建築意匠図